

平成22年度

決算に係る主要な施策の成果の

説 明 書

佐 世 保 市

## 平成22年度決算に係る主要な施策の成果の説明書

地方自治法第233条第5項の規定に基づき、平成22年度における主要な施策の成果の説明書を提出する。

平成23年9月30日

佐世保市長 朝長 則男

# 目 次

## ○ 概 要

1	経済情勢と国及び地方財政	1
(1)	日本経済の動向	1
(2)	国の予算	1
(3)	地方財政	3
2	本市予算及び決算の概況と収支の状況	5
(1)	経済の状況	5
(2)	予算の概況	5
(3)	決算の概況	7
(4)	健全化判断比率及び資金不足比率	9
(5)	市の私債権の放棄	10
3	一般会計決算の概要	19
(1)	歳入	19
ア	性質別	19
イ	項目別	19
(2)	歳出	23
ア	目的別	23
イ	性質別	26
4	特別会計決算の概要	29
(1)	住宅事業	29
(2)	国民健康保険事業	29
(3)	競輪事業	29
(4)	卸売市場事業	30
(5)	老人保健医療事業	30
(6)	地域交通体系整備事業	30
(7)	土地取得事業	31
(8)	介護保険事業	31
(9)	交通船事業	32

(10) 集落排水事業	32
(11) 後期高齢者医療事業	32
(12) 風力発電事業	32
(第1表) 平成22年度会計別決算額	11
(第2表) 一般会計繰越事業費の内訳	12
特別会計繰越事業費の内訳	18
(第3表) 一般会計歳入決算額	22
(第4表) 一般会計目的別歳出決算額	25
(第5表) 一般会計性質別歳出決算額	28
(第6表) 平成22年度末会計別市債現在高	34
平成22年度末一般会計市債現在高(借入先別内訳)	35
(第7表) 平成22年度末基金現在高	36

○ まちづくりの基本目標に基づく重点的な施策の成果

【総括】

1 健康で安心して暮らせる福祉のまち	38
2 安全な生活を守るまち	39
3 心豊かな人を育むまち	40
4 あふれる魅力を創出し体感できるまち	41
5 雇用を生み出す力強い産業のまち	43
6 人と自然が共生するまち	45
7 快適な生活と交流を支えるまち	46
8 総合計画の推進(市民とともに歩み、変革し続ける行政)	47
※ その他の施策(基地対策に関する業務の推進)	49

「政策概要書」「施策概要書」「事務事業 決算評価一覧」の記載内容について



## 【政策概要書・施策概要書・決算評価一覧】

◇「健康で安心して暮らせる福祉のまち」		
1	健康を支える環境づくり	54
2	地域医療の体制づくり	57
3	高齢者の生活を支える環境づくり	60
4	障がい者の自立と社会参加の環境づくり	65
5	確かな安心と自立を支える制度の実施	69
◇「安全な生活を守るまち」		
6	災害に強いまちづくり	73
7	消防・救急救助の体制づくり	76
8	地域安全を支える環境づくり	80
9	交通安全を支えるまちづくり	83
10	安全な消費生活のための環境づくり	86
11	健康を守る安全な生活環境づくり	89
◇「心豊かな人を育むまち」		
12	子どもと子育てを支える環境づくり	94
13	学校教育の充実	100
14	青少年を心豊かに育むまちづくり	106
15	生涯学習のまちづくり	109
16	スポーツに親しめる環境づくり	112
17	人権が尊重される社会づくり	116
18	男女共同参画の社会づくり	119
◇「あふれる魅力を創出し体感できるまち」		
19	観光を活かしたまちづくり	123
20	文化芸術に親しめる環境づくり	127
21	国際色豊かなまちづくり	131
22	魅力ある景観づくり	134

◇ 「雇用を生み出す力強い産業のまち」	
23	地域経済を支える地場企業の振興 ..... 137
24	魅力ある商業の振興と流通の活性化 ..... 141
25	農林業の振興 ..... 145
26	水産業の振興 ..... 151
27	雇用の創出と労働の安定 ..... 156
◇ 「人と自然が共生するまち」	
28	環境に配慮したまちづくり ..... 160
29	循環型のまちづくり ..... 164
◇ 「快適な生活と交流を支えるまち」	
30	快適で魅力ある街の再生 ..... 168
31	公園・緑地による憩いの場づくり ..... 172
32	安全・安心で安定した水の供給 ..... 175
33	交流を支える地域交通づくり ..... 178
34	活力と賑わいのあるみなとづくり ..... 183
◇ 「都市経営の取組み」	
35	市民協働によるまちづくり ..... 187
36	経営の視点による行政運営 ..... 191
37	持続可能な財政運営 ..... 195
38	合併地域等の振興 ..... 199
39	広域行政の推進 ..... 202
◆	総合計画を支える包括的な政策 ..... 205
◆	総合計画に位置付けられない政策 ..... 207

## ○ 概 要

### 1 経済情勢と国及び地方財政

#### (1) 日本経済の動向

平成22年1月に政府が決定した「平成22年度の経済見通しと経済財政運営の基本的態度」では、「明日の安心と成長のための緊急経済対策」や平成22年度予算に盛り込まれた施策等により、民間需要が底堅く推移することに加え、世界経済の緩やかな回復が続くと期待され、平成22年度の我が国の国内総生産（GDP）の実質成長率は、名目で0.4%程度、実質で1.4%程度になるものと見込まれました。

これに対し、平成23年1月下旬段階における政府の経済動向では、「同年秋から足踏み状態にあるが、今後は踊り場を脱する動きが進むと見込まれる。物価の動向をみると、緩やかなデフレ状況が続いている。消費者物価は、2年連続の下落になるが、GDPギャップ（供給超過）の縮小等により下落幅は縮小する。」とされ、その結果、平成22年度の国内総生産の実質成長率は、平成21年度後半が外需や政策の需要創出・雇用の下支え効果により高い成長となったため、3.1%程度と3年ぶりのプラス成長が見込まれました。また、国民の景気実感に近い名目成長率は、1.1%程度と見込まれました。これは、平成22年9月に政府が決定した「新成長戦略実現に向けた3段階の経済対策」により経済危機対応・地域活性化予備費の活用や補正予算の成立に伴い、景気・雇用の両面から経済の下支えを図ってきたことから、上方修正されました。

その後、原油価格を始めとする資源価格の高騰に加え、東日本大震災の発生という大規模な景気の下押し圧力が上乗せされたものの、平成21年度後半から外需や政策の需要創出・雇用下支え効果により高い成長となったことなどにより、3年ぶりのプラス成長となり、名目で0.4%、実質では2.3%となりました。また、完全失業率は5.0%と前年度比0.2ポイント低下しました。

平成22年度の日本経済を総括しますと、概ね政府の見通しのとおり、景気は着実に持ち直してきたものの、失業率が高水準にあるなど依然として厳しい状況にあります。

#### (2) 国の予算

平成22年度の国の予算については、「人間のための経済を目指す。何よりも人のいのちを大切にし、国民の生活を守る政治を行う。国民の暮らしを犠牲にし

ても経済合理性を追求するという発想をとらず、国民の暮らしの豊かさに力点を置いた経済・社会に転換していく」との観点から、子育て、雇用、環境、科学・技術に特に重点を置くこととされました。その際、事業仕分けの評価結果の厳格な反映によって不要不急の歳出の削減を行うとともに、特別会計については聖域なき見直しを断行した上で税外収入を確保し、これを最大限活用した予算編成を行い、国債発行額の水準については、財政規律を重視する姿勢を明確に示す観点から、平成22年度の国債発行額を平成21年度第1次補正予算後の国債発行額である約44兆円以内に抑えることとしていましたが、新規国債発行額は過去最悪の44兆円3,030億円に達し、当初予算ベースでは景気低迷により税収が大きく落ち込むなか、戦後初めて国債が税収を上回るという異常事態となりました。

その結果、一般会計当初予算の規模は、前年度当初比4.2%増の92兆2,992億円となり、政策的経費である一般歳出は、同3.3%増の53兆4,542億円となりました。

平成22年度一般会計当初予算の主な特色としては、①「明日の安心と成長のための緊急経済対策」（平成21年12月8日決定）を踏まえた平成21年度第2次補正予算（「雇用」「環境」「景気」を主要分野と位置づけ7.2兆円）と平成22年度予算とにおいて、切れ目ない連続的に施策の実行、状況に応じた果敢な対応、②マニフェスト（子ども手当や高校の実質無償化、農家の戸別補償制度、高速道路の無料化など）の着実な実施、③行政刷新会議の事業仕分けの結果の反映等による歳出歳入の見直しなど徹底した予算の効率化などが挙げられます。

その後、経済情勢は各種政策の下支え効果等により持ち直してきたものの、依然として厳しい状況にあり、多くの地域における雇用情勢、特に新卒者・若年者の雇用状況は厳しく、デフレ終結に向けた経済の基盤は未だ脆弱であるという認識から、平成22年9月10日に決定した「新成長戦略実現に向けた3段構えの経済対策」を受け、当初予算に計上していた経済危機対応・地域活性化予備費（9,179億円）を活用するとともに、10月8日に決定した円高・デフレ対策のための緊急総合経済対策を実施するための平成22年度第1次補正予算を編成しました。

その結果、一般会計最終予算の規模は、96兆7,284億円（前年度最終予

算比5兆8,298億円、5.7%減)となりました。

### (3) 地方財政

平成22年度の地方財政計画の規模は、8兆2,268億円、前年度比4,289億円(0.5%)減となっており、前年度を下回ることとなりました。歳出のうち公債費などを除いた地方の政策的経費である地方一般歳出は、6兆3,289億円で、前年度比0.2%の増加となり、前年度を上回ることとなりました。

平成22年度においては、極めて厳しい地方財政の現状及び現下の経済情勢等を踏まえ、「地域のことは、地域で決める」地域主権の確立に向けた制度改革に取り組むとともに、地域に必要なサービスを確実に提供できるよう、地方財政の所要の財源を確保することで、住民生活の安心と安全を守るとともに地方経済を支え、地域の活力を回復させていくとの基本理念に立ち、歳出面においては、経費全般について徹底した節減合理化に努める一方、当面の地方単独事業等の実施に必要な歳出及び地域のニーズに適切に応えるために必要な経費(「地域活性化・雇用等臨時特例費」9,850億円)を計上するほか、歳入面においては、安定的な財政運営に必要な地方税、地方交付税などの一般財源総額の確保を図ることを基本として、過去最大規模の財源不足について、地方財政の運営上支障が生じないように適切な補てん措置を講じることとされました。

歳入についてみると、地方税は、個人所得の大幅な減少や企業収益の急激な悪化等により、前年度比10.2%減の3兆5,096億円、地方譲与税は、平成20年度税制改正に伴い地方法人特別譲与税の増などにより、同31.1%増の1兆9,171億円、地方特例交付金等は、17.1%減の3,832億円となりました。また、地方交付税は、当初の地方単独事業等の実施に必要な特別枠の加算などにより1.1兆円増額するなど、6.8%増の1兆6,935億円、普通会計分の地方債発行予定額は、臨時財政対策債7兆7,069億円を含め、総額1兆3,939億円で、前年度比14.0%の増加となりました。

これらの結果、地方一般財源総額(地方税、地方交付税、臨時財政対策債、地方譲与税、地方特例交付金等の合計額)は、5兆4,103億円、前年度比0.6%の増加となり、一般財源比率(ここでの一般財源とは上記一般財源総額から臨時財政対策債を除いたもの)は、前年度を2.3ポイント下回る63.0%、地方債依存度(臨

時財政対策債を含む) は、前年度を2.1ポイント上回る16.4%となりました。

一方、歳出では、給与関係経費について、引き続き定員の純減を進めるとともに、義務教育教職員の改善増等を見込むことにより、全体として20,666人の純減等を行うこととし、前年度比2.0%減の21兆6,864億円となった。一般行政経費は、社会保障関係経費の自然増等により、「国庫補助負担金等を伴うもの」が17.4%増となる一方、「国庫補助負担金を伴わないもの(通常分)」は前年度と同額となっており、前年度比8.0%増の29兆4,331億円となりました。公債費は、公的資金の元利償還金の増加等により前年度比0.8%増の13兆4,025億円となっており、投資的経費は、総額11兆9,074億円で、前年度比15.3%の減少となりましたが、その内訳は、直轄事業負担金7,072億円(前年度比31.5%減)、補助事業4兆3,319億円(同12.5%減)、地方単独事業6兆8,683億円(同15.0%減)となっています。また、昨年度に引き続き、地方団体が自主的・主体的に取り組む地域活性化施策に必要な経費として、地方税の偏在是正により生じる財源を活用し、地域再生対策費4,000億円が措置されています。

また、その後の補正予算において、極めて厳しい地方財政の現状を踏まえ、円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策の一環として、地方交付税の増額(1兆3,126億円)や地域活性化交付金(3,500億円)が創設されました。

## 2 本市予算及び決算の概況と収支の状況

### (1) 経済の状況

地域経済・雇用情勢も国の経済と同様に、平成20年9月のリーマンショック後に急速な景気悪化に陥りましたが、企業倒産や雇用情勢などに改善の動きが見られるようになりました。しかしながら、平成23年3月に発生した東日本大震災の影響により、先行き不透明な状況となっています。

主な業種を見てみると、主要産業である造船業において、船舶受注や売上高は増加し、当期純利益も増加しました。観光業では平成21年7月にオープンした九十九島水族館「海きらら」が、来館者予想を大幅に上回る結果となり、平成22年の入館者数も引き続き順調に推移しました。また、平成20年からの世界的な景気後退や平成21年に流行した新型インフルエンザの影響が一段落したこと、さらに、ハウステンボスが新たな支援会社のもとリニューアルを行い、入場者数を伸ばしたことなどから、観光客数は415万900人と前年比7.7%増となり、3年ぶりに増加となりました。

また、住宅の新規着工は、戸数・面積ともに前年度を上回ったものの、県北地区の公共工事の前金払い保証実績は、前年度を下回りました。

企業倒産については、負債総額で前年度比61.4億円減の8.9億円、件数についても前年度比8件減の12件と、低水準で推移しました。

雇用情勢については、有効求人倍率が、前年度の平均0.38倍から0.47倍へ緩やかに改善しました。

### (2) 予算の概況

国・地方ともに財政状況が逼迫する中、「地域のことは地域が責任を持って決め、実行したことに責任を持つ」という真の地域主権を実現するために、財政規律を保ちながら、いかに有効な政策を打ち出すことができるのか、地方自治体の行政経営手腕が厳しく問われる時代を迎えたといえます。

平成22年度の本市予算については、「市民の生活・地域経済を支え、地域を元気にする予算」として、元気で活力あふれる佐世保市を実現するため、「明るく、豊かで、住みやすく、市民誰しものが誇りを持つことのできるまちづくり」を基本理念とし、「市民第一主義」の姿勢を堅持しながら、地元経済の活性化・雇用拡大の推進をはじめ、まちづくりの重点課題について効果的な施策展開を図っていくこととしまし

た。

予算編成にあたっては、少子高齢社会の進行に伴う社会保障関係経費の自然増など財政環境が厳しさを増していく中、経営方針に基づく重点施策や社会保障費などの義務的経費等については所要額を確保するとともに、住民に最も近い主管部局が改革改善を図りながら予算編成にあたる「財源配分型予算編成方式」を基本としつつ、住民生活に身近な生活関連公共事業費や施設維持等維持管理経費については、前年度水準を維持することとし、限られた財源配分の最適化及び単年度収支不足額の縮減に努めました。また、旧江迎町及び旧鹿町町の合併により、新市建設計画（まちづくり計画）に沿って生活圈、行政圏の一体化を図るための予算編成に努めるとともに、市民サービスの向上や地域の活性化につながる施策、新たな試みとして職員発案の事業を予算化しました。

この結果、一般会計における当初予算の規模は、1,088億9,869万円となり、前年度比で9.9%増となりました。これは、旧江迎町及び旧鹿町町の合併に伴う増加分54億6,572万円に加えて、子ども手当、生活保護、障がい者支援など扶助費の増加や中小企業への融資制度対策の拡充などによるものです。

自主財源比率は、景気悪化の影響による市税の減や基金繰入れの減等により、5.7ポイント減少し38.9%となりました。義務的経費については、社会保障費の増による扶助費の増加により構成比は1.9ポイント増加し53.9%となりました。

また、特別会計の当初予算の規模は、保険給付費の伸びなどによる国民健康保険事業及び介護保険事業などが増加したものの、共同通信社杯競輪開催費減に伴う競輪事業特別会計の減少などにより、前年度比0.5%減の703億8,256万円となりました。

その後、本市の観光施設の中心的存在であるハウステンボスの再生計画の履行が困難とのことから、市としても最大限の支援努力を行うとともに、本市のみならず長崎県、九州観光を中心としたあらゆる分野において様々な影響が及ぼすとの認識から、ハウステンボスが継続できるために広い範囲で支援要請を行うこととし、ハウステンボス事業の再生とハウステンボス地区の維持発展を図ることを目的とした「ハウステンボス再生支援交付金」8億7,890万円を補正しました。また、編入合併した各地域が引き続き過疎地域とみなされたことに伴い、平成22年度から平成27年度ま



でを計画期間とする過疎地域自立促進計画に沿った過疎対策事業費を補正いたしました。さらには、「景気回復の芽を摘むことがないよう、予防的な観点から即効性のある措置をとることにより早期のデフレ脱却のための基盤づくりを行う」という国の方針のもと、経済雇用対策を切れ目なく実行するため、ふるさと雇用再生特別基金事業などの雇用対策、地域活性化ニーズに応じた事業が実施できるよう創設された「きめ細かな交付金」やDV対策・弱者対策、知の地域づくりなどに対する取組みを支援するために創設された「住民生活に光をそそぐ交付金」等を活用した経済対策・公共事業等の追加など、計5回の補正予算において合計42億3,749万円の経済雇用対策事業を追加しました。

その結果、一般会計において、総額83億4,560万円の補正予算を編成し、一般会計の最終予算規模は、前年度から61億284万円、率にして5.5%増の1,172億4,429万円となりました。

特別会計は、706億9,662万円で前年度比1.6%の減となりました。

### (3) 決算の概況

会計別の決算額、収支額は第1表のとおりとなっています。

一般会計においては、歳入決算額1,183億5,921万円、歳出決算額1,130億7,008万円で、翌年度へ繰り越すべき財源13億6,139万円を差し引いた実質収支額は39億2,774万円の黒字決算となり、平成21年度の実質収支額36億9,547万円を差し引いた単年度の収支は、2億3,227万円の黒字決算となりました。

平成22年度においては、収支不足を補てんするため、財政調整基金、減債基金を合わせて24億3,890万円の基金の取り崩しを行いました。一方で、前年度からの繰越金や東部クリーンセンター建設工事における談合賠償金などを財源に41億8,777万円の積戻し及び将来の財政支出を想定した積立てを行いました。この結果、2基金の平成22年度末残高は106億3,504万円となり、前年度末残高88億8,618万円から17億4,887万円増加しました。

また、市債残高については、発行を調整したことなどから、前年度末と比較して20億191万円減少し、財政の健全性を維持するための戦略方針のひとつである「実質的なプライマリーバランスの黒字化」（市債発行額を元金償還額の範囲内に抑えること）を達成することができ、このようなことから平成22年度においては、総

じて堅調な財政運営ができたものと考えております。

特別会計においては、12会計合計で、歳入決算額673億9,443万円、歳出決算額669億6,138万円となっており、実質収支額で4,330万円の黒字決算となりました。しかし、平成21年度の実質収支の額22億2,249万円を差し引いた単年度の収支では、17億8,949万円の赤字決算となりました。これは、競輪事業において、平成22年度から単年度収支をより明らかなものとするを目的に競輪場の施設整備に限定していた基金の用途を競輪事業全般に拡大したことにより、剰余金の積立を行ったことや国民健康保険事業において、歳入の前期高齢者交付金の前々年度分精算に伴う大幅な減額によって収支が悪化したことなどによるものです。

一般会計の決算としては、歳入で4.6%、歳出で3.8%の増加となりましたが、市町合併による影響に加え、歳入においては、地方交付税が増加したこと、歳出においては、国の経済雇用対策に伴う定額給付金給付事業や水族館整備事業が終了したものの、生活保護費や子ども手当、保険給付の増加に伴う社会保障関係経費の自然増によるものです。

歳入決算額（第3表）のうち、自主財源については、市税において、自主納税の啓発と滞納整理の促進により市税の収納率が91.7%と前年度比0.7ポイントの増となったことなどから、前年度と比較して4億712万円、1.4%の増加となりましたが、繰入金、諸収入が大きく減少したことから、10億6,936万円、2.2%の減となりました。また、一般財源については、市税や地方交付税の大幅な増加等により、前年度と比較し、60億8,308万円、10.9%増となりました。市債は後年度負担を考慮し発行の調整に努めたものの、実質的な地方交付税である臨時財政対策債23億2,160万円の増加により、8億7,110万円、9.6%の増加となりました。

歳出決算額では、性質別（第5表）にみると、義務的経費については、570億6,581万円で、児童福祉費や生活保護費といった扶助費の増加のほか、合併による人件費の増加などにより、前年度から67億1,817万円、13.3%の増加となり、構成比では46.2%から50.5%と4.3ポイント増加しました。投資的経費については147億7,890万円で、普通建設費において栄・常盤地区市街地再開発事業や小中学校耐震対策事業などにより増加したものの、国の経済対策である

地域活性化交付金関係事業の縮小や高砂街区再整備事業、水族館整備事業など大型事業の終了により減少し、前年度から4億6,695万円、3.1%の減少となり、構成比では14.0%から13.1%と0.9ポイント減少しました。

そのほか、特筆すべきこととして、国の経済雇用対策に伴う定額給付金給付事業が終了したものの、ハウステンボスに対する再生支援交付金や中小企業緊急経営対策に伴い貸付金が増加するなど、歳出全体としては、前年度比41億965万円、3.8%の増加となりました。

特別会計の決算としては、国民健康保険事業や介護保険事業の保険給付費が増加する一方、災害共済事業特別会計の廃止により、本市の設置する特別会計が1会計減少し、12会計となったことに加え、共同通信社杯特別競輪の開催終了に伴い競輪事業が大きく減少したことなどに伴い、歳入決算額が前年度比4.2%減、歳出決算額が前年度比1.7%減となりました。

なお、繰越事業の状況は第2表のとおりとなっています。一般会計においては、繰越明許費繰越で79件、49億4,744万円（前年度は繰越明許費繰越と継続費通次繰越で88件、56億4,712万円）、特別会計においては、住宅事業で1件、1億9,710万円（前年度1件、402万円）、卸売市場事業で1件3,197万円を平成23年度へ繰り越しました。

なお、平成22年度においては、地域活性化交付金事業など国の補正予算を受けた経済・雇用対策事業に係る予算措置が年度後半であったことから、前年度に引き続き繰越明許費繰越の件数が多くなっています。

また、東日本大震災による納品の遅れや石木ダム建設の工事遅延により4件、2,085万円が事故繰越しとなっています。

#### (4) 健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項及び第22条第1項の規定による、健全化判断比率及び資金不足比率については、前年度同様、実質赤字、連結実質赤字、資金不足は生じておらず、また、実質公債費比率13.1%（前年度13.8%、0.7ポイントの減）、将来負担比率83.6%（前年度95.4%、11.8ポイントの減）となっており、いずれも健全化基準を下回っていることから、本市の財政状況は健全段階にあるといえます。

#### (5) 市の私債権の放棄

佐世保市債権管理条例（平成23年条例第9号）第6条第2項の規定により、平成22年度決算から、当該年度に放棄した市の私債権について、議会に対し報告を行うこととなりました。

平成22年度においては、土地建物貸付収入で19件、434,880円、奨学資金貸付金収入で86件、461,500円、東京事務所厚生施設利用料で2件、175,000円、合計で107件、107万1,380円の市の私債権の放棄を行いました。

(第1表)

## 平成22年度会計別決算額

(単位：千円)

区 分	歳 入 決 算 額	歳 出 決 算 額	歳入歳出 差 引 額	翌年度へ 繰り越す べき財源	実質収支額	
一 般 会 計	118,359,213	113,070,077	5,289,136	1,361,395	3,927,741	
特 別 会 計	住 宅 事 業	2,096,584	1,963,451	133,133	55	133,078
	国民健康保険事業	29,971,149	29,846,411	124,738	0	124,738
	競 輪 事 業	9,806,872	9,791,375	15,497	0	15,497
	卸 売 市 場 事 業	1,334,709	1,332,482	2,227	0	2,227
	老人保健医療事業	18,093	18,093	0	0	0
	佐世保市等地域 交通体系整備事業	565	565	0	0	0
	土 地 取 得 事 業	109,187	109,187	0	0	0
	介 護 保 険 事 業	21,174,073	21,075,840	98,233	0	98,233
	交 通 船 事 業	60,306	50,578	9,728	0	9,728
	集 落 排 水 事 業	57,391	57,369	22	0	22
	後期高齢者医療事業	2,697,593	2,648,119	49,474	0	49,474
	風 力 発 電 事 業	67,908	67,908	0	0	0
	小 計	67,394,430	66,961,379	433,051	55	432,996
合 計	185,753,643	180,031,456	5,722,187	1,361,450	4,360,737	

表中における計数は、それぞれ表示単位未満の端数調整等を行っているため、計とは一致しない場合があります。(以下の表についても同じ)

(第2表)

## 一般会計繰越事業費の内訳

(繰越明許費繰越)

(単位：千円)

款 別	事 業 名	翌 年 度 繰 越 額	左の財源内訳	
			未 収 入 特 定 財 源	翌年度へ繰り 越すべき財源
総 務 費	本 庁 舎 改 修 事 業	479,350	124,463	354,887
	市 有 財 産 管 理 事 業	4,387	0	4,387
	交 通 公 園 歩 道 整 備 事 業	3,500	2,710	790
	宇久行政センター浄化槽改修事業	14,350	11,116	3,234
民 生 費	バリアフリー情報収集提供事業	3,500	3,187	313
	やすらぎ荘・あたご荘・よしい荘改修事業	13,500	10,458	3,042
	公 的 介 護 施 設 整 備 事 業	330,750	330,750	0
	児 童 虐 待 防 止 啓 発 事 業	2,500	2,185	315
	児 童 セ ン タ ー 運 営 事 業	5,157	0	5,157
	北部子育て支援センター改修事業	15,000	11,620	3,380
	天 心 寮 環 境 改 善 事 業	4,893	4,418	475
衛 生 費	鹿町温泉設備改修事業	16,000	12,368	3,632
	犬 管 理 所 改 修 事 業	1,084	840	244
	看護専門学校教材等整備事業	2,393	1,745	648
	地 球 温 暖 化 防 止 啓 発 事 業	4,100	3,176	924
	東 部 芳 世 苑 改 修 事 業	5,408	4,189	1,219
	西 部 芳 世 苑 改 修 事 業	23,063	17,865	5,198

(繰越明許費繰越)

(単位：千円)

款 別	事 業 名	翌 年 度 繰 越 額	左の財源内訳	
			未 収 入 特 定 財 源	翌年度へ繰り 越すべき財源
衛 生 費	やすらぎ苑改修事業	12,175	9,431	2,744
	西部芳世苑江楯池水質浄化事業	6,500	5,035	1,465
	市有墓地等改修事業	8,520	6,600	1,920
	下水道事業会計繰出金	5,536	0	5,536
	水道事業会計出資金	47,133	40,159	6,974
農 林 水 産 業 費	畜産施設・機械整備事業	7,837	6,071	1,766
	市単独干害恒久対策事業	9,000	0	9,000
	市単独農道新設改良事業	11,777	0	11,777
	基盤整備施設維持管理事業	29,000	14,718	14,282
	市有ため池管理事業	15,000	0	15,000
	烏帽子散策の森維持管理事業	5,000	4,552	448
	林道維持管理事業	2,500	1,937	563
	種 苗 生 産 事 業	14,800	13,475	1,325
	水産センター等管理保全事業	13,200	12,018	1,182
	柿ノ浦地区地域水産物供給基盤整備事業	172,466	169,715	2,751
	神崎地区地域水産物供給基盤整備事業	161,165	159,186	1,979
	浅子地区地域水産物供給基盤整備事業	12,712	12,281	431
太郎ヶ浦地区地域水産物供給基盤整備事業	92,798	89,738	3,060	

(繰越明許費繰越)

(単位：千円)

款 別	事 業 名	翌 年 度 繰 越 額	左の財源内訳	
			未 収 入 特 定 財 源	翌年度へ繰り 越すべき財源
農 林 水 産 業 費	漁 港 維 持 管 理 事 業	11,800	9,140	2,660
商 工 費	卸売市場事業特別会計繰出金	31,965	24,761	7,204
	させぼ物産みかわち振興センター設備改修事業	19,000	14,718	4,282
	住宅リフォーム緊急支援事業	44,935	34,788	10,147
	動植物園・水族館連携PR事業	22,500	16,753	5,747
	動植物園再整備事業	29,024	29,024	0
土 木 費	安全・安心住まいづくり支援事業	7,000	5,100	1,900
	道路新設改良事業	372,049	257,776	114,273
	県営事業負担金 (道路新設改良事業)	33,637	0	33,637
	橋りょう新設改良事業	7,000	0	7,000
	河川改良事業	15,141	0	15,141
	水路新設改良事業	30,000	0	30,000
	県営事業負担金 (急傾斜地崩壊対策事業)	26,247	0	26,247
	栄・常盤地区市街地再開発事業	1,516,800	1,173,450	343,350
	県営事業負担金 (早岐駅周辺整備推進事業)	16,737	0	16,737
	三川内山まちづくり推進事業	95,421	36,200	59,221
	県営事業負担金 (街路事業)	105,824	100,500	5,324
	公園便所整備事業	9,500	7,282	2,218



(繰越明許費繰越)

(単位：千円)

款 別	事 業 名	翌 年 度 繰 越 額	左の財源内訳	
			未 収 入 特 定 財 源	翌年度へ繰り 越すべき財源
土 木 費	公 園 整 備 事 業	27,400	0	27,400
港 湾 費	佐世保港内維持補修事業	9,000	6,972	2,028
	多目的国際ターミナル整備事業	268,547	236,460	32,087
	佐世保港内港湾海岸施設改良事業	20,000	15,493	4,507
	港 湾 施 設 改 良 事 業	21,043	6,700	14,343
	相 浦 棧 橋 改 修 事 業	88,485	86,776	1,709
	長 寿 命 化 計 画 策 定 事 業	10,200	4,000	6,200
消 防 費	防 災 行 政 無 線 整 備 事 業	159,505	157,358	2,147
教 育 費	教 職 員 住 宅 管 理 事 業	8,200	6,352	1,848
	小 学 校 施 設 維 持 改 修 事 業	15,900	12,317	3,583
	小 学 校 耐 震 対 策 事 業	71,642	20,617	51,025
	中 学 校 施 設 維 持 改 修 事 業	28,000	21,690	6,310
	中 学 校 図 書 整 備 事 業	7,000	6,373	627
	中 学 校 耐 震 対 策 事 業	28,300	0	28,300
	公 民 館 施 設 改 修 事 業	12,855	9,958	2,897
	島瀬美術センター設備改善事業	9,000	6,925	2,075
	図 書 館 施 設 整 備 事 業	17,623	16,002	1,621
	図 書 館 運 営 事 業	14,071	12,811	1,260

(繰越明許費繰越)

(単位：千円)

款 別	事 業 名	翌 年 度 繰 越 額	左の財源内訳	
			未 収 入 特 定 財 源	翌年度へ繰り 越すべき財源
教 育 費	あすなる教室運営事業	5,254	4,717	537
	青少年教育センター施設改修事業	3,427	3,101	326
	非行防止対策事業	1,309	1,192	117
	長崎国体推進事業	1,365	1,057	308
	体育館建設事業	40,600	38,500	2,100
	長崎国体施設整備事業	98,678	90,042	8,636
	体育施設整備事業	3,600	2,789	811
諸支出金	交通事業会計繰出金	25,802	23,491	2,311
合 計		4,947,441	3,587,191	1,360,250

(事故繰越し)

(単位：千円)

款 別	事 業 名	翌 年 度 繰 越 額	左の財源内訳	
			未 収 入 特 定 財 源	翌年度へ繰り 越すべき財源
総務費	高齢者交通安全教育事業	756	0	756
民生費	D V 等 対 策 事 業	331	0	331
	放課後児童健全育成事業	11,000	11,000	0
衛生費	水道事業会計出資金	8,758	8,700	58
合 計		20,845	19,700	1,145

## 特別会計繰越事業費の内訳

(繰越明許費繰越)

(単位：千円)

会計別	事業名	翌年度 繰越額	左の財源内訳	
			未収入 特定財源	翌年度へ繰り 越すべき財源
卸売市場事業	食肉地方卸売市場整備事業	31,965	31,965	0
合 計		31,965	31,965	0

(継続費通次繰越)

(単位：千円)

会計別	事業名	翌年度 通次繰越額	左の財源内訳	
			繰越金	特定財源
住宅事業	市営住宅建替事業（桜木住宅建替4期）	197,102	55	197,047
合 計		197,102	55	197,047

### 3 一般会計決算の概要

#### (1) 歳入

一般会計歳入決算額は、第3表のとおりとなっています。歳入決算総額は1,183億5,921万円で前年度1,131億5,309万円に比べ、52億613万円(4.6%)と前年度と比較して増加しました。これは、佐世保地域広域市町村圏組合事務費引継金や合併に伴う旧町などからの決算剰余金などの臨時的な収入が減少したものの、旧江迎町、旧鹿町との合併や地方交付税が増加したことなどによるものです。

#### ア 性質別

自主財源の決算額は、市税、使用料及び手数料、繰越金は増加したものの、寄附金、繰入金、諸収入などの減少により、前年度比2.2%の減少となりました。また、依存財源は、主に国庫支出金が減少しましたが、地方消費税交付金、国有提供施設等所在市町村助成交付金、地方特例交付金、地方交付税、県支出金及び市債などが増加したことにより9.9%の増加となりました。自主財源の構成比は41.1%となり、前年度に比べ2.8ポイント減少しました。

一般財源の決算額は、市税、地方交付税、地方特例交付金などの増加により、前年度比10.9%増の620億4,202万円となりました。

#### イ 項目別

決算額の主な内訳は、市税291億1,291万円(構成比24.6%)、地方交付税288億4,557万円(同24.4%)、国庫支出金182億2,963万円(同15.4%)、市債99億6,110万円(同8.4%)、県支出金77億9,426万円(同6.6%)、となっています。

主な増減としては、市税が4億712万円、1.4%の増加となりました。市民税は合併による増加はあったものの、給与所得者の所得減少に伴う個人住民税所得割の減少により8,677万円、0.7%の減少となりました。固定資産税は2.8%増、都市計画税は0.1%の増加となりました。このほか軽自動車税は7.5%増、市たばこ税は7.7%の増加となりました。

地方譲与税は1,969万円の増加となりました。内訳としては地方揮発油譲与税が1億1,687万円、82.2%の増、自動車重量譲与税が1.1%の減少、特別

とん譲与税が31.1%の増加となり、全体では2.3%の増加となりました。

交付金では、県税収は減少したものの、合併による影響により地方消費税交付金が3.9%の増、子ども手当制度創設に伴う児童手当及び子ども手当特例交付金の増により、地方特例交付金が29.8%の増加、また、配当割交付金が48.4%、ゴルフ場利用税交付金が3.4%と増加になったものの、利子割交付金が11.8%、株式等譲渡所得割交付金が3.5%、自動車取得税交付金が14.1%、それぞれ減少しました。

地方交付税は合併による影響のほか、地域活性化・雇用等臨時特例費の創設や国の「円高・デフレ対応のための緊急総合経済対策」に係る補正予算による増額があったことなどから54億9,047万円、23.5%の増加となりました。

国有提供施設等所在市町村助成交付金は、調整交付金や対象資産が増加したことにより3,791万円、5.1%の増加となりました。

国庫支出金は、子ども手当負担金、障がい者自立支援給付費負担金、地域活性化・きめ細かな臨時交付金などの増加があったものの、定額給付金給付事業費補助金や地域活性化・生活対策臨時交付金が皆減したことにより、19億2,212万円、9.5%の減少となりました。

県支出金は、ふるさと雇用再生特別補助金、緊急雇用創出事業臨時特例補助金、保育等緊急整備事業などの増加により、16億1,213万円、26.1%の増加となりました。

市債は、高砂街区再整備事業、水族館整備事業の終了などによる減少はあったものの、実質的な地方交付税となる臨時財政対策債、総合教育センター（仮称）建設事業及び学校給食センター（仮称）建設事業の進捗による教育債などが増加したことにより、8億7,110万円、9.6%の増加となりました。なお、市債の現在高は第6表のとおり、1,188億5,071万円となり、市債発行額を元金償還の範囲内としたことから、20億191万円、1.7%の減少となりました。

諸収入は、中小企業緊急経営対策資金融資預託収入の増加があったものの、佐世保地域広域市町村圏組合事務費引継金、長崎縣市町村振興協会市町村配分金、合併に伴う旧町などからの決算剰余金収入が減少したことなどから、9億3,532万円、11.0%の減少となりました。

このほか、寄附金は355万円、10.6%の減少、繰入金は市税や地方交付税の増加により、財源不足を補填するための財政調整基金や減債基金からの取り崩し額が減少したことから、9億6,183万円、22.4%の減少、財産収入は154万円、0.3%の減少となりました。

基金残高は、第7表のとおり180億537万円となり、前年度剰余金や東部クリーンセンター建設工事における談合賠償金などを財源として、国体など後年度の財政需要へ備えるために臨時的な積み立てを行ったため、17億8,354万円の増加となりました。

なお、平成22年度は、子ども未来基金や過疎地域自立促進特別事業基金などを創設しました。

(第3表)

## 一般会計歳入決算額

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度		平成21年度		差引増減	対前年度 伸び率	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比			
自 主 財 源	市 税	29,112,911	24.6	28,705,795	25.4	407,116	1.4
	分担金及び負担金	2,314,827	2.0	2,317,400	2.0	△2,573	△0.1
	使用料及び手数料	1,604,908	1.4	1,580,720	1.4	24,188	1.5
	財 産 収 入	452,817	0.4	454,353	0.4	△1,536	△0.3
	寄 附 金	29,878	0.0	33,427	0.0	△3,549	△10.6
	繰 入 金	3,327,395	2.8	4,289,226	3.8	△961,831	△22.4
	繰 越 金	4,192,662	3.5	3,788,518	3.3	404,144	10.7
	諸 収 入	7,576,518	6.4	8,511,841	7.5	△935,323	△11.0
	小 計	48,611,916	41.1	49,681,280	43.9	△1,069,364	△2.2
依 存 財 源	地 方 譲 与 税	894,254	0.8	874,567	0.8	19,687	2.3
	利子割交付金	93,882	0.1	106,417	0.1	△12,535	△11.8
	配当割交付金	32,545	0.0	21,930	0.0	10,615	48.4
	株式等譲渡所得割交付金	10,646	0.0	11,037	0.0	△391	△3.5
	地方消費税交付金	2,432,861	2.1	2,341,239	2.1	91,622	3.9
	ゴルフ場利用税交付金	39,903	0.0	38,593	0.0	1,310	3.4
	自動車取得税交付金	147,002	0.1	171,039	0.2	△24,037	△14.1
	国有提供施設等所在 市町村助成交付金	786,418	0.7	748,505	0.7	37,913	5.1
	地方特例交付金	432,439	0.4	333,214	0.3	99,225	29.8
	地 方 交 付 税	28,845,574	24.4	23,355,105	20.6	5,490,469	23.5
	交通安全対策特別交付金	46,791	0.0	46,290	0.0	501	1.1
	国庫支出金	18,229,627	15.4	20,151,742	17.8	△1,922,115	△9.5
県 支 出 金	7,794,255	6.6	6,182,130	5.5	1,612,125	26.1	
市 債	9,961,100	8.4	9,090,000 (8,441,000)	8.0	871,100 (1,520,100)	9.6 (18.0)	
小 計	69,747,297	58.9	63,471,808 (62,822,808)	56.1	6,275,489 (6,924,489)	9.9 (11.0)	
合 計	118,359,213	100.0	113,153,087 (112,504,087)	100.0	5,206,125 (5,855,125)	4.6 (5.2)	
うち一般財源	62,042,017	52.4	55,958,936	49.5	6,083,081	10.9	

※表中の( )書きは、公的資金繰上償還の借換え分を除く額及びその額をもとに算定した率を表します。



## (2) 歳 出

歳出決算総額は1,130億7,008万円の前年度1,089億6,043万円に比べ、41億965万円(3.8%)の増加となり、2年連続の増加となりました。

増加の要因としては、旧江迎町及び旧鹿町との合併に伴う増加のほか、子ども手当やハウステンボス再生支援交付金の新設によるものです。

### ア 目的別

目的別歳出決算額は、第4表のとおりとなっています。

決算の主な目的別内訳をみると、民生費373億9,052万円(構成比33.1%)、総務費159億6,012万円(同14.1%)、公債費139億8,236万円(同12.4%)、衛生費109億1,291万円(同9.7%)、教育費100億5,291万円(同8.9%)、商工費81億8,611万円(同7.2%)、土木費67億5,530万円(同6.0%)の順となっています。

主な事業(特徴的なもの)としては、総務費では、高砂街区再整備事業、ハウステンボス再生支援交付金などです。民生費では、生活保護などのほか、敬老特別乗車証交付事業などの高齢者支援事業、子ども手当などの子育て支援事業です。衛生費では、健康診査事業、予防接種事業、水道事業会計繰出金などです。労働費では、労働雇用対策事業などです。農林水産業費では、有害鳥獣被害防止対策事業、畜産振興対策事業、地産池消の推進事業、漁港整備事業などです。商工費では、企業立地奨励事業、観光客誘致促進事業、特産品の販路拡大事業、産学官連携技術振興事業、動植物園再整備事業、野生動植物の希少種保存繁殖事業などです。土木費では、生活関連道路整備事業、急傾斜地崩壊対策事業などです。港湾費では、国際航路開設事業、港湾漁業用施設整備事業などです。消防費では、防災行政無線整備事業などです。教育費では、総合教育センター(仮称)建設事業、小中学校耐震対策事業、学校給食センター(仮称)建設事業などです。

主な増減としては、総務費では、25億3,349万円、13.7%の減で、合併に伴う人件費、ハウステンボス再生支援交付金、国勢調査にかかる経費などが増となったものの、高砂街区再整備事業、佐世保地域広域市町村圏組合解散に伴う構成市町返還金や基金造成費などの減による影響が大きく、全体としては減となりました。民生費では、53億3,036万円、16.6%の増加で、生活保護費や子ども手当な

どの扶助費、介護保険事業特別会計繰出金などが増加したことによるものです。衛生費では、11億2,510万円、11.5%の増加で、北松中央病院運営事業の皆増をはじめ、健康診査事業、予防接種事業、水道事業会計への繰出金などが増加しました。農林水産業費では、2億6,521万円、11.3%の増加で、漁港整備事業の増によるものです。商工費では、41億6,241万円、33.7%の大幅減となりました。これは、国の経済雇用対策に伴う定額給付金給付事業の減少が最も大きく、このほか、市営工業団地整備事業、水族館整備事業、観光客誘致促進事業などが減少したことによるものです。土木費では、5億8,954万円、9.6%の増加で、栄・常盤地区市街地再開発事業、生活関連道路整備事、斜面密集市街地対策事業などの増加によるものです。港湾費では、4億9,964万円、30.6%の増加で、多目的国際ターミナル整備事業、国直轄事業負担金などの増加によるものです。消防費では、2億245万円、5.2%の増で、人件費、防災行政無線整備事業などの増加によるものです。教育費では、15億5,909万円、18.4%の増加で、総合教育センター（仮称）建設事業、小中学校耐震対策事業、体育施設整備事業などの増加によるものです。公債費では、14億3,419万円、11.4%の増加で、公的資金補償金免除繰上償還に伴う償還元金の増加などによるものです。諸支出金では、1億3,074万円、64.0%の減で、旧鹿町町一時借入金返済金の皆減などによるものです。

(第4表)

## 一般会計目的別歳出決算額

(単位：千円、%)

款別	平成22年度		平成21年度		差引増減	対前年度 伸び率
	決算額	構成比	決算額	構成比		
議会費	535,724	0.5	561,501	0.5	△25,777	△4.6
総務費	15,960,122	14.1	18,493,615	17.0	△2,533,493	△13.7
民生費	37,390,522	33.1	32,060,158	29.4	5,330,364	16.6
衛生費	10,912,910	9.7	9,787,808	9.0	1,125,102	11.5
労働費	85,113	0.1	91,168	0.1	△6,055	△6.6
農林水産業費	2,605,576	2.3	2,340,363	2.1	265,213	11.3
商工費	8,186,110	7.2	12,348,521	11.3	△4,162,411	△33.7
土木費	6,755,302	6.0	6,165,764	5.7	589,538	9.6
港湾費	2,133,117	1.9	1,633,481	1.5	499,636	30.6
消防費	4,114,893	3.6	3,912,441	3.6	202,452	5.2
教育費	10,052,912	8.9	8,493,819	7.8	1,559,093	18.4
災害復旧費	281,981	0.2	319,435	0.3	△37,454	△11.7
公債費	13,982,359	12.4	12,548,172 (11,899,172)	11.5	1,434,187 (2,083,187)	11.4 (17.5)
諸支出金	73,436	0.1	204,178	0.2	△130,742	△64.0
合計	113,070,077	100.0	108,960,425 (108,311,425)	100.0	4,109,652 (4,758,652)	3.8 (4.4)

※表中の( )書きは、公的資金繰上償還の借換え分を除く額及びその額をもとに算定した率を表します。

## イ 性質別

性質別歳出決算額は、第5表のとおりとなっています。

歳出の性質別分類では、義務的経費570億6,581万円（構成比50.5%）、投資的経費147億7,890万円（同13.1%）、その他の経費412億2,537万円（同36.5%）となっています。

義務的経費では、合併による当然増もあって、人件費をはじめ全項目増加し、前年度比13.3%の増加となり、歳出に占める構成比も4.3ポイント増加しました。投資的経費は、高砂街区整備事業をはじめとする大型事業の減少により、前年度比3.1%の減少となり、歳出に占める構成比も0.9ポイント減少しました。

義務的経費の内訳は、人件費181億682万円（構成比16.0%）、扶助費249億7,669万円（同22.1%）、公債費139億8,230万円（同12.4%）となっています。人件費は合併による職員の増加により5.2%の増加、扶助費は児童福祉費、生活保護費の増加などにより21.3%の増加、公債費は合併による残高の増加、公的資金補償金免除繰上償還に伴う償還元金の増加により、11.4%の増加となっています。

投資的経費の内訳は、普通建設事業費144億9,692万円（構成比12.8%）、災害復旧事業費2億8,198万円（同0.2%）となっています。普通建設事業費は、栄・常盤地区市街地再開発事業、小中学校耐震対策事業などが増加したものの、高砂街区再整備事業、水族館整備事業の終了などにより、2.9%の減少となりました。また、災害復旧事業費については、土木施設災害復旧費の減少により、11.7%の減少となりました。

その他の経費の内訳は、物件費122億3,903万円（構成比10.8%）、維持補修費6億7,775万円（同0.6%）、補助費等98億2,625万円（同8.7%）、繰出金68億9,902万円（同6.1%）、積立金51億1,093万円（同4.5%）、投資及び出資金6億7,399万円（同0.6%）、貸付金57億9,840万円（同5.1%）となっています。

このうち、前年度比増減の大きなものとしては、定額給付金給付事業終了などにより補助費等が26.2%の減少、財政調整基金への積立ての減などにより積立金が15.5%の減少、維持補修費が122.5%の大幅増、中小企業緊急経営対策など

により貸付金が32.9%の増となりました。

(第5表)

## 一般会計性質別歳出決算額

(単位：千円、%)

区 分	平成22年度		平成21年度		差引増減	対前年度 伸び率	
	決 算 額	構成比	決 算 額	構成比			
義務的経費	人 件 費	18,106,824	16.0	17,215,345	15.8	891,479	5.2
	扶 助 費	24,976,689	22.1	20,584,204	18.9	4,392,485	21.3
	公 債 費	13,982,301	12.4	12,548,092 (11,899,092)	11.5	1,434,209 (2,083,209)	11.4 (17.5)
	小 計	57,065,814	50.5	50,347,641 (49,698,641)	46.2	6,718,173 (7,367,173)	13.3 (14.8)
投資的経費	普通建設事業費	14,496,917	12.8	14,926,408	13.7	△429,491	△2.9
	災害復旧事業費	281,981	0.2	319,435	0.3	△37,454	△11.7
	失業対策事業費						
	小 計	14,778,898	13.1	15,245,843	14.0	△466,945	△3.1
その他の経費	物 件 費	12,239,028	10.8	12,035,769	11.0	203,259	1.7
	維持補修費	677,747	0.6	304,570	0.3	373,177	122.5
	補助費等	9,826,251	8.7	13,318,673	12.2	△3,492,422	△26.2
	繰 出 金	6,899,020	6.1	6,452,691	5.9	446,329	6.9
	積 立 金	5,110,932	4.5	6,049,348	5.6	△938,416	△15.5
	投資及び出資金	673,989	0.6	842,674	0.8	△168,685	△20.0
	貸 付 金	5,798,398	5.1	4,363,216	4.0	1,435,182	32.9
	小 計	41,225,365	36.4	43,366,941	39.8	△2,141,576	△4.9
合 計	113,070,077	100.0	108,960,425 (108,311,425)	100.0	4,109,652 (4,758,625)	3.8 (4.4)	

※表中の( )書きは、公的資金繰上償還の借換え分を除く額及びその額をもとに算定した率を表します。

## 4 特別会計決算の概要

### (1) 住宅事業

住宅事業特別会計の歳入決算額は20億9,658万円（前年度比21.6%減）、歳出決算額は19億6,345万円（同25.0%減）で、翌年度に繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は1億3,308万円となりました。

桜木住宅建替4期工事について事業を実施しています。

なお、管理戸数は、平成22年度末で5,768戸となっています。

### (2) 国民健康保険事業

国民健康保険事業特別会計の歳入決算額は299億7,115万円（前年度比3.5%増）、歳出決算額は298億4,641万円（同6.7%増）で、実質収支額は1億2,474万円となりました。

レセプト点検、適正受診への訪問指導、がん検診助成、水中健康教室などを行い、医療費適正化及び健康管理意識の高揚を図るとともに、生活習慣病予防のための特定健康診査・特定保健指導等を実施しました。特定健康診査受診率は約33%となりました。

一方、保険税の収納は、収納窓口時間の延長、滞納処分の強化、口座振替の促進等を行うなど収納率向上に努め、現年度分の収納率は92.3%となりました。

被保険者一人当たりの療養給付費実績は、25万3,889円で前年度比2.9%増となりました。

### (3) 競輪事業

競輪事業特別会計の歳入決算額は98億687万円（前年度比31.8%減）、歳出決算額は97億9,137万円（同27.2%減）で、実質収支額は1,550万円となりました。

車券発売額及び入場料の総額は、84億7,148万円（前年度比35.0%減）、開催に伴う経費は、97億9,138万円（前年度比27.2%減）となりました。そのうち、記念競輪の車券発売額及び入場料の総額は、68億1,890万円（前年度特別競輪比38.6%減）、開催に伴

う経費は64億4,148万円(同39.4%減)となり、前年度に特別競輪「共同通信社杯(春一番)GⅡ」を開催したことから大幅な減少となりました。

また、基金条例を改正し、競輪場の施設整備に限定していた基金の用途を広く競輪事業の運営全般に要する経費の財源とするため、前年度繰越金9億2,904万円から佐世保市競輪事業基金に7億9,023万円の積み立てを行いました。基金残高は7億9,471万円となっています。

年間入場者数は、4万6,874人と前年度比9.1%減となり、全国的に入場者数、売上共に減少しているなか、場外開催における受託事業収入も低迷し、単年度の収支不足を繰越金から補てんを行った状況であることから、一般会計へ繰り出すことはできませんでした。

#### (4) 卸売市場事業

卸売市場事業特別会計の歳入決算額は13億3,471万円(前年度比8.9%減)、歳出決算額は13億3,248万円(同8.8%減)で、実質収支額は223万円となりました。

卸売市場の取扱数量は、水産市場では前年度比12.6%の増となりましたが、青果、花き及び食肉市場では前年度より減少しました。とりわけ青果市場におきましては、夏の猛暑等による天候不順により入荷量が落ち込み、前年度比9.4%の減となりました。

取扱金額は、入荷量の減等により単価高となったことから、前年度比6.7%増の205億4,146万円となりました。

#### (5) 老人保健医療事業

老人保健医療事業特別会計の歳入決算額は1,809万円(前年度比82.6%減)、歳出決算額は1,809万円(同80.0%減)となりました。なお、同特別会計は平成22年度末をもって廃止しました。

#### (6) 地域交通体系整備事業

地域交通体系整備事業特別会計の歳入、歳出決算額はともに57万円(前年度比



50.7%減)となりました。

地域交通体系整備基金の適切な運用に努め、基金運用益44万円を積み立て、基金残高は2億9,090万円となっています。

#### (7) 土地取得事業

土地取得事業特別会計の歳入、歳出決算額はともに1億919万円(前年度比76.1%減)となりました。

公共事業用地の先行取得はありませんでしたが、公共事業の円滑な執行を図るため、3件、1億675万円の公共用地払下げを計画的に行うとともに、土地開発基金へ積立てを行い、基金の適切な運用に努めました。

基金残高は19億4,960万円(土地8億4,190万円、現金11億770万円)となっています。

#### (8) 介護保険事業

介護保険事業特別会計の歳入決算額は211億7,407万円(前年度比8.1%増)、歳出決算額は210億7,584万円(同8.6%増)で、実質収支額は、9,823万円となりました。

保険事業勘定の歳入決算額は210億478万円(前年度比8.0%増)、歳出決算額は209億6,070万円(同8.6%増)で、実質収支額は4,408万円となりました。

予算に対する介護給付及び予防給付額の執行率は、在宅サービスにおいて96.6%、施設サービスにおいて97.6%となり、全体では96.8%となっています。

なお、平成22年度末における要介護認定者数は1万4,796人、利用者数は1万2,369人となっています。

また、介護サービス事業勘定の歳入決算額は1億6,929万円(前年度比23.5%増)、歳出決算額は1億1,514万円(同4.4%増)で、実質収支額は、5,415万円となりました。

(9) 交通船事業

交通船事業特別会計の歳入決算額は6,031万円（前年度比8.4%減）、歳出決算額は5,058万円（同10.9%減）で、実質収支額は973万円となりました。

なお、交通船利用者数は6,374人（前年度比6.3%減）となっています。

(10) 集落排水事業

集落排水事業特別会計の歳入決算額は5,739万円（前年度比2.0%増）、歳出決算額は5,737万円（同2.0%増）で、実質収支額は2万円となりました。

なお、加入世帯数は、平成22年度末で野方地区30世帯、本飯良地区24世帯、合計54世帯で前年度比2世帯の増となっています。

(11) 後期高齢者医療事業

後期高齢者医療事業特別会計の歳入決算額は26億9,759万円（前年度比4.7%増）、歳出決算額は26億4,812万円（同4.7%増）で、実質収支額は、4,947万円となりました。

市町村事務である保険料の徴収及び各種申請・届出の受付業務等を行い後期高齢者医療制度の適正な運用に努めました。

なお、平成22年度の平均被保険者数は、34,818人となっています。

(12) 風力発電事業

風力発電事業特別会計の歳入決算額は6,791万円（前年度比243.9%増）、歳出決算額は6,791万円（同246.4%増）となりました。

歳入・歳出決算額ともに増となった理由は、主軸部の不具合により平成21年12月から稼働を停止した風力発電施設について、復旧工事を実施したことによるものです。

なお、復旧後の平成22年12月に落雷事故による翼損傷により再び稼働停止となり、年間発電量は、1,146MWh（前年度比31.2%減）で、年間売電量

は、1,123MWh（同31.4%減）となっています。

(第6表)

## 平成22年度末会計別市債現在高

(単位：千円、%)

会 計	平成21年度末 現 在 額	平成22年度中 起 債 額	平成22年度中 償 還 額	平成22年度末 現 在 額
一般会計	120,852,626	9,961,100	11,963,013	118,850,712
特別会計	19,641,766	93,100	1,450,451	18,284,415
住宅	10,810,625	93,100	838,116	10,065,610
卸売市場	8,316,608	0	566,452	7,750,156
集落排水	443,057	0	34,324	408,733
風力発電	71,476	0	11,559	59,916
合 計	140,494,392	10,054,200	13,413,464	137,135,127

会 計	市民1人あたり の 額 ( 円 )	差 引 増 減	対 前 年 度 伸 び 率
一般会計	450,561	△2,001,913	△1.7
特別会計	69,316	△1,357,351	△6.9
住宅	38,159	△745,016	△6.9
卸売市場	29,381	△566,452	△6.8
集落排水	1,550	△34,324	△7.7
風力発電	227	△11,559	△16.2
合 計	519,877	△3,359,264	△2.4

※表中の市民1人当たりの額の人口は平成22年度末現在の住民基本台帳人口の数値(263,784人)

平成22年度末一般会計市債現在高（借入先別内訳）

（単位：千円、％）

区 分		未償還元金	構成比	年 利 率	前 年 度 構 成 比
政府 資金	財 務 省	70,108,463	59.0	0.00～6.00	58.2
	日 本 郵 政 公 社	11,166,449	9.4		10.6
	国 土 交 通 省	23,464	0.0		0.0
	小 計	81,298,376	68.4		68.8
機 構 資 金	地方公共団体金融機構	9,362,034	7.9	0.40～6.40	7.6
	日本政策金融公庫	24,555	0.0		0.0
	小 計	9,386,589	7.9		7.6
共 済 組 合 資 金	長崎県市町村職員共済組合	44,465	0.0	0.40～1.40	0.1
	全国市有物件災害共済会	127,228	0.1		0.1
	地方公務員共済組合連合会	7,500	0.0		0.0
	小 計	179,193	0.2		0.2
長 崎 県		50,488	0.0	0.00～1.60	0.1
市 中 銀 行 等	親 和 銀 行	9,945,396	8.4	0.40～3.30	7.7
	十 八 銀 行	3,656,485	3.1		3.0
	長 崎 銀 行	137,144	0.1		0.1
	西日本シティ銀行	2,479,250	2.1		2.2
	佐 賀 銀 行	491,493	0.4		0.4
	ながさき西海農業協同組合	5,761,441	4.8		4.9
	九十九島漁業協同組合	402,670	0.3		0.3
	信 金 中 央 金 庫	473,768	0.4		0.4
	九州ひぜん信用金庫	651,564	0.5		0.6
	九州労働金庫	860,766	0.7		0.9
	生 命 保 險 会 社	542,170	0.5		0.6
	市 町 村 振 興 協 会	633,920	0.5		0.6
	小 計	26,036,067	21.9		22.3
市 場 公 募 債		1,900,000	1.6	0.64～0.99	1.1
合 計		118,850,712	100.0		100.0

※日本郵政公社は平成20年10月に民営化されましたが、民営化以前の借入であることから政府資金としています。

※公営企業金融公庫は地方公営企業等金融機構を経て平成21年6月1日から地方公共団体金融機構となっています。

(第7表)

## 平成22年度末基金現在高

(単位：千円、%)

基金名	平成21年度末 現在高	平成22年度中増減額			平成22年度末 現在高	差引 増減	対前年度 伸び率
		積立	繰入	その他			
減債基金	3,541,315	1,422,745	1,400,000		3,564,060	22,745	0.6
財政調整基金	5,344,860	2,765,021	1,038,900		7,070,981	1,726,121	32.3
災害補てん基金	656,309	10,984			667,294	10,984	1.7
退職手当基金	391,928	15,357	100,000		307,285	△84,643	△21.6
奨学基金	396,942	23,141	30,480		389,603	△7,339	△1.8
交通災害共済基金	44,645	61	7,091		37,614	△7,031	△15.7
火災共済基金	53,613	77			53,690	77	0.1
交通安全基金	10,979	16			10,996	16	0.2
福祉基金	1,697,434	6,317	622,512		1,081,239	△616,195	△36.3
教育文化振興基金	262,888	17,467	9,803		270,553	7,664	2.9
ふるさと創生基金	525,374	4,555	20,544		509,385	△15,989	△3.0
交通遺児救済基金	49,855	4,347	1,826		52,376	2,521	5.1
合併市町村振興基金	3,111,977	39,702	12,023		3,139,656	27,679	0.9
市民公益活動団体自立化支援基金	35,169	440	2,608		33,002	△2,168	△6.2
肉用牛振興基金	40,001	29,665	9,081		60,585	20,584	51.5
グリーンニューデール基金	58,540	88	39,951		18,677	△39,863	△68.1
子ども未来基金		605,070	32,577		572,493	572,493	皆増
住民生活に光をそそぐ基金		47,179			47,179	47,179	皆増
過疎地域自立促進特別事業基金		118,700			118,700	118,700	皆増
一般会計合計	16,221,829	5,110,932	3,327,395		18,005,366	1,783,537	11.0
住宅基金	578,159	145,197	18,410		704,946	126,787	21.9

佐世保市等地域交通体系整備基金	290,580	445	120		290,905	325	0.1
国民健康保険財政調整基金	1,201,067	1,581			1,202,647	1,581	0.1
土地開発基金	1,947,160	2,436			1,949,597	2,436	0.1
競輪事業基金	4,481	790,228			794,709	790,228	17,635.1
中央卸売市場移転整備基金	1,433,876	5,654	156,200		1,283,330	△150,546	△10.5
介護保険給付費準備基金	897,624	1,451	145,041	53,987	808,021	△89,603	△10.0
介護保険料軽減特例基金	59,682	88	59,770		0	△59,682	皆減
合 計	22,634,459	6,058,011	3,706,936	53,987	25,039,522	2,405,063	10.6

※平成22年度中増減額の「その他」は、地方財政法に定める決算積立額のことです。

## ○ まちづくりの基本目標に基づく重点的な施策の成果

### 【総括】

#### 1 健康で安心して暮らせる福祉のまち

基本目標「健康で安心して暮らせる福祉のまち」は、保健福祉部、総合病院において取り組みを行いました。（民生費、衛生費、国民健康保険事業特別会計、介護保険事業特別会計、老人保健医療事業特別会計、後期高齢者医療事業特別会計）

主な施策として、自ら進んで取り組む「心と体」の健康づくりに対する総合的な支援を行いました。

成果としては、「けんこうシップさせぼ21」、「佐世保市食育推進計画」、「佐世保市歯科保健基本計画」などに基づき、がん検診受診率の向上に努めるなど、市民の健康づくりを計画的に進めました。

高齢者支援においては、第4期佐世保市介護保険事業計画に基づき、介護給付、予防給付事業を行うとともに、地域包括支援センターを中心とした介護予防のための取り組みを行いました。

障がい者支援においては、「佐世保市障がい者プラン」、「佐世保市障がい福祉計画」に基づき、ホームヘルプサービスや就労移行支援事業等の福祉サービスを提供することにより、障がい者の地域生活での自立につながる必要なサービス利用の支援を行いました。

今後も、子どもから高齢者や障がい者までのすべての市民が健康で充実した生活を送ることができるよう、年代に応じた健康づくりや健康診査、自立支援等に取り組むとともに、一次から三次救急までの医療機能が十分活用され、市民ひとりひとりが安心して暮らせるよう医療体制の更なる充実を図ります。



## 2 安全な生活を守るまち

基本目標「安全な生活を守るまち」は、消防局、市民生活部、土木部、保健福祉部などにおいて取り組みを行いました。（消防費、総務費、土木費、衛生費）

主な施策として、“地域ぐるみ”での「安全・安心な生活を守るまちづくり」の仕組みの構築に取り組みました。

成果としては、災害危険箇所等の把握に努め、水害等の事前対策を講じるなど体制強化を図るとともに、自主防災組織結成の促進のため各町を対象に防災研修会を開催しました。

市民に対する災害時の緊急情報を迅速かつ的確に伝達する体制づくりを確立するため、旧佐世保市域において同報系防災行政無線の整備に着手しました。また、火災予防活動として予防査察の強化や火災の早期発見のため、住宅用火災警報器の設置促進に取り組みました。

さらに、救命率の向上のため一般市民及び事業所を対象に普通救命講習等を実施し、応急手当の普及啓発に努めました。

また、東日本大震災への対応として、全国の緊急消防援助隊とともに佐世保市消防局も災害救助活動等に参加しました。

食・住環境等の安全を確保するため、監視指導等を実施し、生活衛生環境の維持・向上に努めました。さらに、感染症の予防・拡大防止のため、公費助成等接種機会の確保に努めたうえで、インフルエンザや子宮頸がん、ヒブ等のワクチン接種を行いました。

交通安全活動については、飲酒運転根絶やシートベルト着用の徹底などを訴える街頭キャンペーンの実施や広報活動の実施、高齢者への交通安全啓発などを推進しました。また、防犯活動についても関係機関と連携し、暴力追放運動などを強力に推進しました。

今後は、未曾有の災害となった東日本大震災の発生を踏まえて、当市における万一の災害に備え、避難場所や避難経路等の防災情報を市民に分かりやすく伝える方策を研究します。

また、市民の防災意識の向上を図るために、訓練、研修会及び各種広報媒体を活用し、広く地域に

向けて防災情報を提供します。

「地域防災計画」等に基づき関係機関との協力・連携のもと、総合的な防災管理体制のさらなる充実並びに自主防災組織の結成促進と育成強化を図っていきます。

火災予防対策では、建築物の関係者等に法令遵守の徹底並びに住宅用火災警報器の未設置住宅に戸別訪問調査による設置促進を図ります。また、医療機関との連携強化を推進し「救える命を救う」救急体制の構築を目指します。

地域での防犯活動や交通安全活動については、警察等の関係機関と連携・協力体制をより深めるとともに市民の意識高揚を図っていきます。

### 3 心豊かな人を育むまち

基本目標「心豊かな人を育むまち」は、子ども未来部、市民生活部、教育委員会、企画部において取り組みを行いました。（民生費、衛生費、総務費、教育費）

主な施策として、家庭・学校・地域が一体となって支える子育て・教育の環境づくりを展開しました。

成果としては、子ども手当や父子家庭への児童扶養手当支給など、国の制度変更への対応や乳幼児福祉医療の「現物給付方式」導入など経済的負担軽減と利便性の向上を図りました。

また、子育て支援への寄付の受け皿として、新たに「子ども未来基金」を創設するとともに、児童クラブや保育施設の整備など保育環境の改善や、子育てバリアフリーの充実、子どもの事故予防への取り組みを行うなど、子どもと子育て家庭の支援に努めました。

人権および男女共同参画に関するリーフレットを作成し、全世帯に配布して啓発を行うとともに、DV被害者等に係る支援を行いました。

市立小・中学校教育において、地域や学校の特性を生かした特色ある学校づくりの実践活動及び市単独の少人数指導支援員・特別支援教育補助指導員・学校司書等の人的措置により、

確かな学力の向上と豊かな心を育む教育の推進を図りました。

また、「佐世保市立学校施設耐震化計画」を策定し、本格的に耐震化工事を開始しました。

さらに、図書ボランティアの養成や学校図書司書の配置等「読書大好き佐世保っ子プラン21」の推進に取り組むとともに、「総合教育センター」を供用開始しました。

平成26年度開催の長崎国体に向け、本市開催競技の諸準備に取り組むとともに、体育協会が行うジュニア層競技力向上事業を強化し、競技力向上を図りました。

今後は、学校・家庭・地域が連携し、子どもたちを育ていく「教育コミュニティ」づくりを推進するとともに、徳育推進計画及び生涯学習のまちづくり推進計画（仮称）を策定し、総合教育センターや学校、公民館等を活用し、教職員の資質向上の強化、学習機会の充実と拠点施設による生涯学習の推進及び学習成果を活かす仕組みづくりの推進を図っていきます。

安全な教育環境を整えるため、「佐世保市立学校施設耐震化計画」に基づき、学校施設の耐震化を行っていきます。

また、平成26年度開催の長崎国体に向け、長崎県及び競技団体等と緊密な連携を図りながら必要な事業に取り組むとともに、体育施設の整備・改修を計画的に行っていきます。

社会全体で子どもと子育てを支援していく気運を高め、子どもが健やかに成長できる環境づくりを推進するとともに、人権が尊重される男女共同参画の社会づくりのため、啓発講演会を実施するとともに、地域や企業を対象にした出張講座を実施して効果的な啓発活動に取り組めます。

#### **4 あふれる魅力を創出し体感できるまち**

基本目標「あふれる魅力を創出し体感できるまち」は、企業立地・観光物産振興局、企画部、教育委員会、都市整備部において取り組みを行いました。（商工費、総務費、教育費、土木費）

主な施策として、自然、歴史・文化、産業等の地域資源を活用した佐世保の魅力向上に取

り組みました。

成果としては、平成21年の九十九島水族館「海きらら」と平成22年のハウステンボスの相次ぐリニューアルオープンに伴い、積極的な観光客誘致促進を（財）佐世保観光コンベンション協会等とともに実施した結果、観光客数、宿泊客数は前年比で3年ぶりに増加に転じました。

西海パールシーリゾートにおいては、環境省により整備された九十九島ビジターセンターが7月に開館したことから、九十九島水族館とともに九十九島の魅力を伝える情報発信機能の拠点化が図られました。また、老朽化したウッドデッキ改修のための実施設計や鹿子前観光ターミナルビルの改修を行うなど安全で快適な空間の提供に努めました。

さらに、宿泊施設等の観光関連事業所やさせぼエコツーリズムのガイドなどの人材育成事業を実施するとともに、させぼエコツーリズムにおいては、本市特有の自然や歴史・文化、産業等、地域の魅力的な素材を活かした着地型旅行商品のブランドとして「時旅」を立ちあげました。また、動植物園についてはモンキーゾーンやツシマヤマネコ展示舎などの施設整備を行うとともに、水族館「海きらら」と連携した観光客誘致を推進しました。

東アジア地域との交流促進により本市の活性化を目指すため、中国や韓国の各都市への交流可能性の調査等をもとに「佐世保市国際戦略活動指針」を策定するとともに、姉妹都市等との青少年や文化団体等の交流事業を実施し、友好親善関係の進展を図りました。

本市における文化財を保護活用することを目的に、世界遺産登録や福井洞窟の発掘整備に向けた事業を推進しました。特に世界遺産登録推進事業では、その構成資産候補である「黒島の文化的景観」について約3年間にわたる学術調査の結果、「国重要文化的景観」に選定されました。

また、魅力的な景観を形成するために、景観法に基づく景観計画の策定及び景観条例の制定を行いました。

「佐世保市文化振興基本計画」に基づき、次世代育成のための「子どものための音楽鑑賞体験教室」の開催など、文化の人材育成事業を実施しました。

今後とも「佐世保市観光振興基本計画」に基づき事業展開を行い、九十九島水族館・動植物園などの観光施設の魅力アップと連携強化を図るとともに、本市主要観光施設であるハウステンボスとの連携促進、「させぼエコツーリズム」における佐世保ならではのツアー造成、本市特有の自然や歴史等地域素材を活かした着地型旅行商品の販売強化や、国内外への効果的な情報発信、人材育成などを推進します。

東アジア地域との交流をさらに促進するため「国際戦略活動指針」に基づき、本市の魅力を積極的にアピールするとともに、外国人観光客の受入体制の整備を図ります。

魅力的な景観形成につきましては、地元と協議を行いながら黒島地区重点景観計画の策定を進めます。

本市の歴史的特徴を表す貴重な資源である洞窟遺跡や近代化遺産をはじめとする文化財の保護並びに文化面における人材育成の推進を図ることにより、あふれる魅力を創出し体感できるまちの推進を図ります。

## **5 雇用を生み出す力強い産業のまち**

基本目標「雇用を生み出す力強い産業のまち」は、農水商工部、企業立地・観光物産振興局などにおいて取り組みを行いました。（商工費、卸売市場事業特別会計、農林水産業費、集落排水事業特別会計、労働費）

主な施策として、企業誘致と地域の人材育成を柱とした地元経済の活性化・雇用の拡大の推進に取り組みました。

成果として、依然として厳しい経済・雇用環境に対応するため、国の「ふるさと雇用再生特別基金事業・緊急雇用創出事業」、「きめ細かな交付金」、「住民生活に光をそそぐ交付金」を積極的に活用した事業を実施するとともに、昨年度に引き続き、市内消費を喚起するため「させぼ振興券」の発行に対する支援を行い、また新規学卒者を対象とした企業との合同面談会の開催により就業機会を確保するなど、「緊急経済雇用対策」を切れ目なく実施すること

で、雇用の下支えを行い、地域経済の活性化に努めました。

企業誘致については、市内製造業の立地を目的に平成21年度に整備した「吉井町御橋工業団地」に引き続き、主に市外企業立地のための市営工業団地（小佐々地区）整備事業実施に向けて準備を進めました。併せて、雇用創出の大きい情報通信関連産業についても、市内の民間空きオフィスへの誘致を進めました。

地場企業の振興については、経営基盤の強化・企業経営の安定を図るため、資金ニーズに応じた制度融資の設定、利子補給などで利用し易い制度に改善いたしました。また、技術力の高度化を図るため、企業が取り組む技術開発や販路拡大を支援し、商工会議所など関係機関との連携による、企業の経営安定、人材育成、技術力向上構想の推進や新規創業支援を行いました。また、産業支援センターにおいて、窓口相談や企業訪問による既存企業の課題解決の支援や起業家育成、新規創業支援を行いました。

農林業の振興については、担い手の育成対策に努めるとともに、生産基盤の整備を図りました。また、農産物の生産振興について支援を行うとともに、全国和牛能力共進会の開催に向け優良牛の造成に努め、さらに有害鳥獣対策を図りました。

水産業の振興については、意欲ある漁業従事者確保に積極的に取り組むとともに、資源回復のため、漁港整備、集落環境整備などの生産基盤の整備、栽培漁業の推進を図りました。

地場産品の販路拡大の観点から、各種商談会等への出展や「させぼ戦略産品」を中心としたプロモーションを展開したほか、長崎市・雲仙市と合同の福岡アンテナショップ「キトラス」と宇久島特産品のアンテナショップ「うくうく宝島」を開設し、本市特産品の総合展示販売施設「させぼ四季彩館」とあわせ、特産品や観光資源などの情報発信と販売促進に取り組みました。

また、新たな特産品開発を推進するため、本市独自の支援制度を創設するとともに、市民参加型特産品開発プロジェクト「スター商品創造事業」を立ち上げました。

今後についても、「雇用を生み出す力強い産業のまち」を実現するため、関係機関との連携・協力をさらに強化し、市内産業の活性化に向けた取り組みに対する積極的な支援を行い、地域経済や雇用環境の改善に努めていきます。また、本市を代表する新たな特産品の創出と

販路拡大に継続して取り組み、佐世保ブランドの確立に向けた需要開拓支援を行います。

## 6 人と自然が共生するまち

基本目標「人と自然が共生するまち」は、環境部、水道局などにおいて取り組みを行いました。（衛生費など）

主な施策として、環境基本計画の総合的な推進に取り組みました。

成果としては、地球温暖化防止対策について「佐世保市地球温暖化対策地域推進計画」に掲げる温室効果ガス排出量の削減目標を達成するため、4つの重点取組（意識向上、省エネルギー行動、自動車からの排出削減、ごみの減量化）を中心に、住宅用太陽光発電設備への補助やエコドライブ教習など普及啓発を呼びかけました。

佐世保市役所が率先して地球温暖化防止対策に取り組むため、市施設におけるE<sup>+</sup>S<sup>+</sup>C<sup>+</sup>O<sup>+</sup>事業（Energy Service Company の略で、省エネルギーの提案、施設改修、維持・管理など包括的なサービスを行う事業のこと）の事業化に向け事業者の公募、最優秀提案者の選定を行いました。

環境教育・環境学習の推進については、市民・事業者・行政などが、連携・協働を進めるうえでの方向性や目標を明らかにした「佐世保市環境教育・環境学習計画」に基づき、学校版環境ISOの普及等、学校における環境教育の支援や市民への環境学習の機会の提供などに取り組みました。

また、良好な自然環境保全を図るため、希少野生生物の保全活動や啓発活動を行うとともに、大気、水質等の監視による現状把握や環境負荷の発生を抑制するための指導や啓発を行いました。

ごみを適正処理するため、老朽化した設備・機器の整備等を行い、適正かつ効率的な施設の運営を行うとともに、不法投棄対策として、不法投棄多発箇所への監視カメラの設置等を行いました。

生活排水処理の推進を図るために、西部処理区を中心に公共下水道の整備を行うとともに、

浄化槽設置に対する補助金を増額し、市民負担の軽減につながる支援を行いました。

今後は、地球温暖化防止対策として、温室効果ガス排出量削減の4つの重点取り組みを中心に、市民に広く普及啓発を図るとともに、環境に配慮して行動できる「環境市民」を育成するための事業を推進していきます。

また、自然環境保全の推進や野生生物の保護、環境負荷への対策など身近な生活環境の保全に努めていきます。

さらに、「一般廃棄物処理計画」に基づいたごみの減量化・資源化及び生活排水処理を推進し、安定的、かつ効率的な一般廃棄物の収集運搬、適正処理を行い、廃棄物処理施設の総合的、計画的な整備を図っていきます。

## 7 快適な生活と交流を支えるまち

基本目標「快適な生活と交流を支えるまち」は、都市整備部、土木部、水道局、企画部、港湾部などにおいて取り組みを行いました。（土木費、総務費、住宅事業特別会計など）

主な施策として、安全で快適に移動することができる地域交通ネットワークの構築に取り組みしました。

成果としては、市町合併や人口減少、少子高齢社会の進展等の社会情勢の変化に対応するため、新たに「佐世保市都市計画マスタープラン」を策定し、都市・地域づくりの将来像と基本方針を示しました。

栄・常盤地区市街地再開発事業に対する補助を行い、事業の進捗を図りました。また、斜面密集市街地対策として、矢岳・今福地区の道路工事に着手したことにより、地域特性に応じた市街地の再生についての推進を図りました。

西九州自動車道や西彼杵道路などの規格の高い道路の整備について、国・県と連携しながら整備促進を図りました。また、日常生活の基盤となる生活関連道路については、歩道スペースの確保など事故防止のための安全対策を行いました。



既存の公共交通機関の維持に必要な補助や鉄道駅のバリアフリー化を行いました。また、公共交通機関を利用するのが不便な地区の対策のため、一定の取組方針を策定しました。

旧ポートルネッサンス21計画の新たな方向性として、「三浦地区みなとまちづくり計画」を定め、定期借地を含めた土地活用方針の策定と国際航路開設に向けた多目的国際ターミナル整備の進捗を図りました。また、年次計画に沿って港湾施設の維持補修を行いました。

安全な水を安定的に供給できるよう、老朽化した浄水施設の統合による更新事業、北部浄水場統合事業に着手しました。

今後は、公共交通機関の利用促進に力をいれるとともに、交通不便地区対策について具体的な取組を推進していきます。また、「佐世保市都市計画マスタープラン」の都市・地域づくりの方針や将来像をもとに、快適な生活と交流を支えるまちの推進を図っていきます。

## **8 総合計画の推進（市民とともに歩み、変革し続ける行政）**

第6次総合計画では、本市の将来像「ひと・まち育む“キラっ都”佐世保」を実現するにあたり、その下支えとなるものとして、行政像を「市民とともに歩み、変革し続ける行政」と位置付け、まちづくりの基本目標を推進するため市民生活部、総務部、企画部、行財政改革推進局、財務部において取り組みを行いました。（総務費など）

主な施策として、市民と行政との協働によるまちづくりという考え方にに基づき、市民や時代のニーズに柔軟に対応できる経営の視点を持った行政運営を推進しました。

成果としては、昨年引き続き、市民と行政が協働で取り組む「提案公募型協働モデル事業」のほか、市民協働推進委員会との協働で事務事業における協働のあり方を評価する「市民協働事業評価」を実施しました。また、協働によるまちづくりをより一層推進するため「市民協働推進計画（第二次計画）」を策定しました。

協働の相手方となるNPO等については、市民公益活動の拠点施設である「させぼ市民活動交流プラザ」の運営や補助制度等の運用により継続した支援を行いました。また、地域コ

コミュニティあり方検討委員会からの提言を受け、庁内検討体制として「地域コミュニティ推進会議」を設置し検討を行いました。

情報化については、「新電子自治体推進計画（便利な市役所推進計画）」に基づき、IT（情報通信技術）を活用した市民サービスの向上と行政事務の効率化を着実に進めるとともに、地上デジタル放送の受信対策として、共聴施設の整備支援による難視地区の解消を図りました。

「第6次総合計画」に掲げる政策・施策の推進について、行政評価を活用するとともに、佐世保市総合計画審議会や「ひと・まち育む元気プラン市民会議」の意見を聴きながら計画の推進を図りました。

「佐世保市行財政改革アクションプラン」の推進にあたり、計画期間中の平成19年度から22年度までの4か年の累計で、職員定数を206人削減するという目標に対し、事務事業の見直し等を行うことにより、平成22年度における40人の削減実績を含め、208人を削減し、定員管理の適正化を図りました。

組織・機構の見直しに関しては、平成26年秋に開催される「長崎がんばらんば国体」について、開催準備及び運営をより円滑かつ効率的に推進するため、「国体推進室」を新設するなど、政策課題に応じた業務体制の整備を行いました。

また、「佐世保市人材育成基本方針」に基づき、コスト意識や経営感覚を持ち、市民第一主義を具現化する職員を育成するため、職員研修を計画的に実施しました。

「持続可能な財政運営」では、収支バランス、後年度負担を考慮しながら計画的な財政運営に努めるとともに、効果的な滞納整理などによる市税収納率の向上を図り、遊休資産の売却など有効な資産活用に努めました。その結果、一般会計における平成22年度の収支は39.3億円の黒字（単年度収支では2.3億円の黒字）、地方債残高は20.0億円の減、また、市税の収納率は、目標である91.2%を上回る91.7%になるなど、概ね堅調な財政運営となりました。さらに、高砂駐車場の開設、本庁舎耐震改修の計画など行政サービスの拠点としての機能向上に努めました。

財政健全化指標もすべて基準を下回り、本市財政は健全段階にあるといえます。一方、経

済雇用対策として、国の財政支援措置も有効に活用しながら42.4億円の予算を計上し、生活支援、地域経済の下支えに努めました。加えて、資産・債務改革、公会計改革など新たな財政対策の検討を行い、特に債権の管理については、必要な事務手続き等を明確化した条例を新たに制定し、より一層の適正化を図ることとしました。

合併地域については、地区協議会や新たに合併した江迎・鹿町における地域審議会を通じて、地域住民の意見の把握に努めるとともに、まちづくり計画（新市基本計画）に基づき、その振興を図ってまいりました。併せて、過疎地域自立促進特別措置法の期限延長に伴い、過疎地域自立促進計画を策定しました。

また、「合併地域まちづくり特別事業」について、合併地域における活力創出のために、対象事業の拡大や補助率の引き上げなど、より利用しやすい制度への改正作業を行いました。

一方、ハウステンボスの経営安定と、本市の重要な観光拠点であるハウステンボスの再生を図り、観光・雇用・地域産業など幅広く本市全体の活性化を推進するため「ハウステンボス再生支援事業」を実施しました。

今後は、本市を取り巻く情勢の変化や市町合併に係る財政支援措置の段階的な終了等による厳しい状況を踏まえ「新たな行財政改革プラン」に基づく各種取組みの展開を通じ、環境変化に応じた行財政規模の適正化、行政サービスのあり方の見直し等を視野に入れながら、限られた行政資源の適正配分のため事業の選択と集中を行うなど、都市経営基盤の強化を図りながら経営の視点による行財政運営を推進します。

また、住民主体の「地域コミュニティ」推進に向けた指針策定とその周知、モデル事業実施について引き続き検討を行います。

最後に、平成23年度は第6次総合計画の後期基本計画（平成25年度から29年度まで）の見直しの時期にあたることから、市民協働の考えのもと、市民や専門家等の外部の意見を聴きながら、作業を進めていきます。

## ※ その他の施策（基地政策に関する業務の推進）

基地政策に関する業務としては、在日米海軍、陸上・海上自衛隊といった防衛施設の所在

が、市民生活に支障をきたさないよう適時適切な対応を行うとともに、旧軍用財産の本市への転活用等を鋭意図ってきました。

とりわけ議会の決議を得た「新返還6項目」を最大限尊重し、また、防衛施設と民間施設の混在解消を図る佐世保港のすみ分けについては、最重要課題として関係部署と連携し取り組んできました。

主な取り組みとしては、「新返還6項目」の最重要課題である前畑弾薬庫の移転・返還をはじめとする港のすみ分けの早期実現を目指して、市民と議会、行政が一体となり国等に対し要望活動を行うとともに、防衛施設周辺住民の民生安定、福祉向上に資するものとして防衛補助事業を推進してきました。

現在まで「新返還6項目」のうち赤崎貯油所に関連する2項目が完結をみており、国直轄事業として平成16年に着手されたジュリエット・ベースン内の新岸壁築造事業が平成22年3月末に竣功し、同年10月、米軍へ提供されました。

このことを受け、「立神港区第3・4・5号岸壁の一部の返還」について、平成23年5月、第33回旧軍港市国有財産処理審議会において、米国政府に対して返還要求するとともに、返還後は佐世保重工業㈱へ売却することが承認されました。このことは、本市の命題である港のすみ分けがいっそう進展するものと期待されるところです。

加えて、基地問題の最重要課題である前畑弾薬庫の移転・返還につきましては、平成23年1月17日、日米合同委員会で合意されたところであります。

前畑弾薬庫の移転・返還は、その跡地を本市の公共的利用または産業の振興に活用するため、昭和46年から国に対して要望を続けてきた、いわば市民の悲願であり、今回の合意は、その実現に向けた大きな第一歩になるものです。

今後においても、海上自衛隊による崎辺地区の利活用といった残された課題も含め、港のすみ分けの早期実現へ向け、引き続き国等に対し要望を行うとともに、防衛施設周辺住民の民生安定を図るため、防衛補助事業等を積極的に活用していきます。

## 「政策概要書」「施策概要書」「事務事業 決算評価一覧」の記載内容について

### ●「政策概要書」について

政策概要書は、第6次佐世保市総合計画の「まちづくりの基本目標」を実現するための各政策について表記しています。なお、【トータルコスト】については、当該政策の「事業費（決算額）」と、当該政策に携わった人員に平成22年度平均給与額（8,165千円）を乗じた「人件費」の合計を記載しています。

### ●「施策概要書」について

施策概要書は、政策の目的を達成するための各施策について、22年度の成果や課題、そして、今後の方向性などを記載しています。また、施策の目的を達成するための手段である事務事業の優先度を「事務事業のポジショニング」として表記しています。

### ●「事務事業 決算評価一覧」について

決算評価は、平成22年度に実施したすべての事務事業の「妥当性」「有効性」「効率性」をそれぞれ点数化するとともに、個々の評価の視点をもとに「どこに課題があるか」を総合評価として示しています。また、総合評価や取り巻く環境変化をふまえ、次年度以降にどのように対応していくかを「次年度以降の方向性」として示しています。

（※なお、人件費、特別会計への一般会計繰出金、公債費、予備費、災害復旧事業については、評価対象外としています）

◆具体的な【妥当性】【有効性】【効率性】の評価点については、次のとおりです。

#### 【妥当性】

##### ①目的の妥当性

政策体系や市民ニーズ等と照らし合わせて、事業の目的が妥当だったか（施策に対して目的と手段の関係になっていたか、社会的要請や市民のニーズに適合したものであったか）を評価しています。

\*法令等で市として実施が義務付けられている事業及び施設等整備事業については評価対象外としています。

「適合していた」・・・（1点）

「適合していなかった」・・・（0点）

（評価対象外は空欄となっています。）

##### ②手段の妥当性

事務事業の目的を達成するための手段は適切なものだったか（活動の内容や方法に適切でないものや有効でないものがなかったか）を3段階で評価しています。

\*法令等で市として実施が義務付けられている事業については評価対象外としています。

「適切であった」・・・（2点）

「一部適切でなかった」・・・（1点）

「適切でなかった」・・・（0点）

（評価対象外は空欄となっています。）

③市の関与の妥当性

市（行政）が関与すべきだったかどうか、また、その度合は妥当だったかどうかを3段階で評価しています。

\*法令等で市として実施が義務付けられている事業については評価対象外としています。

「妥当であった」・・・（2点）

「一部妥当でなかった」・・・（1点）

「妥当ではなかった」・・・（0点）

（評価対象外は空欄となっています。）

【有効性】

④目的の達成度

目的にどれだけ近づいたか、目標をどれくらい達成できたか（達成度＝目標値に対する実績値）により3段階で評価しています。

\*施設等整備事業については評価対象外としています。

達成度110%以上・・・「大いに達成できた」（3点）

達成度90%以上110%未満・・・「概ね達成できた」（2点）

達成度90%未満・・・「達成できなかった」（1点）

（評価対象外は空欄となっています。）

⑤上位への貢献度

上位施策の意図（目的）に対して当該事務事業がどの程度貢献できたかを3段階で評価しています。

\*施設等整備事業については評価対象外としています。

概ね120%以上・・・「大いに貢献できた」（3点）

概ね80%以上120%未満・・・「概ね貢献できた」（2点）

概ね80%未満・・・「貢献できたとは言い難い」（1点）

（評価対象外は空欄となっています。）

【効率性】

⑥活動量

目的を達成するための活動量が十分であったのかを、達成度（目標値に対する実績値）等により3段階で評価をしています。

\*100%未満であっても、目的の達成度が100%以上であれば「十分であった」を選択することも可能としています。

達成度100%以上・・・「十分であった」（3点）

達成度70%以上100%未満・・・「一部十分でなかった」（2点）

達成度70%未満・・・「十分ではなかった」（1点）

⑦コスト縮減努力

コスト縮減の努力を行ったかどうか、その努力によりどの程度コスト縮減ができたか（縮減度）を以下の計算式により評価しています。

\*事業費が法令等で規定されているものは評価対象外としています。

○21年度と22年度のサービス原価を比較

計算式＝22年度サービス原価／21年度サービス原価×100

➤ サービス原価

＝（決算額－投資的経費＋従事職員人件費＋減価償却費＋起債利子等）／対象指標

➤ 簡易方式サービス原価＝（決算額＋従事職員人件費）／対象指標

計算式の結果が

縮減度が90%未満・・・・・・・・・・「大いに努力した」（3点）

縮減度が90%以上100%未満・・・・「ある程度努力した」（2点）

縮減度が100%以上・・・・・・・・・・「努力したとは言い難い」（1点）

（評価対象外は空欄となっています。）

◎ 事業費単価による評価が不適切又は困難な事務事業については、予算・決算の比較でコスト縮減努力を評価しています。

◆総合評価（平成22年度設定目標に対する総括）

総合評価	評 価 内 容
妥当性に課題あり	廃止を視野に事業・業務を抜本的に見直す必要があると評価したものです。
有効性に課題あり	成果（目的）の達成状況、上位施策への貢献度に課題があると評価（分析）したものです。
効率性に課題あり	成果を達成するための活動量、コスト縮減努力に課題があると評価（分析）したものです。
有効性及び効率性に課題あり	有効性・効率性ともに課題があると評価（分析）したものです。
特に課題は見当たらない	「目標」が達成され、効率性も十分であったなど現状のまま事業を継続すると評価したものです。（「目的」が達成され事業が終了期にある（ゴールに到着した）場合も含みます）

◆次年度以降の方向性

方向性	内 容
改 善	問題点を解決するために、何らかの改革改善を行う場合
現状維持	対象、目的、手段、コストいずれもとくに見直さない場合
休止・廃止	環境変化や有効性の観点から、休止または廃止（を検討）する場合
終 了	法令や計画、合併協議等に基づき終了時期を迎える場合

# 政策概要書

政策名：健康を支える環境づくり

部局名：保健福祉部

対象	市民						
目的	市民が運動や栄養、睡眠など健康な生活の基礎となることからへの理解を深め、生活習慣を見直すことにより、生涯を通じて健康で充実した生活を送ることができます。						
内容	<p>●市民の健康づくりを推進するために「けんこうシップさせほ21計画」に基づき、健康教育、健康相談事業を実施するとともに、医師会、歯科医師会等の協力を得て、各種がん検診、歯科健診等を実施しました。運動普及、食生活改善に向けた事業については、市民ボランティアである運動普及推進員及び食生活改善推進員の協力を得て実施しました。●食育推進計画に基づき各種料理教室（乳幼児期、壮年期、高齢期）や食に関する相談事業や食育イベントなどを実施しました。●地域保健と職域保健との連携を進めるため、地域・職域連携推進専門部会において情報の共有化を行いました。</p>						
トータルコスト	580,004 千円	うち 事業費	446,669 千円	うち 人件費	133,335 千円		
22年度の成果	<p>●健康だと思う市民の割合は72%で、前年比3ポイント減少となり、目標には届きませんでした。 ●メタボリックシンドローム該当者・予備群の減少率は1.5%で、前年比0.3ポイント縮小となり、目標には届きませんでした。</p>						
成果指標	①	指標名	健康だと思う市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
		指標式		% 75	% 78	% 72	% 80
	②	指標名	メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
		指標式		% 1.8	% 5	% 1.5	% 10
政策課題	<p>●健康づくりに取り組むきっかけとなり、行動変容につながるような情報提供に努める必要があります。●がん検診の受診率向上に向けた取り組みの充実が必要です。</p>						
今後の方向性	<p>【改善】 ●生活習慣病や介護予防のため、市民一人ひとりが生活習慣の改善を目指し、行動変容につながるようなわかりやすい情報提供などの支援を行っていきます。●がん検診の受診率向上のため検診の重要性について普及啓発を図るとともに、受診機会の確保・拡大に向けた取り組みを行います。●職域保健関係者及び医療関係団体との意見や情報の交換により連携を図り、ネットワークを強化してすべての市民の健康づくりを支援していきます。</p>						



# 施策概要書

<b>施策名</b>	健康づくりの理解・実践の促進	<b>課名</b>	健康づくり課																			
<b>目的</b>	健康づくりに対する理解を深め、「適度な運動」、「健全な食生活」など自ら健康づくりを実践します。																					
<b>22年度の成果</b>	●運動普及推進員は21年度の214人から22年度は237人に、食生活改善推進員は234人から312人に増加しました。(目標達成度: $549 \div 510 = 107.6\%$ ) ●健康づくり(生活習慣の改善)に取り組んでいる市民の割合は、目標値82%に対し65.2%でした。(目標達成度: $65.2 \div 82 = 79.5\%$ )																					
<b>成果指標</b>	①健康づくりに取り組む市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																	
		%	%	%	%																	
		65.3	82	65.2	90																	
<b>成果指標</b>	②「食生活改善推進員」と「運動普及推進員」の人数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																	
		人	人	人	人																	
		448	510	549	530																	
<b>施策の課題</b>	●健康づくりの意識啓発や行動変容につなげていくための手法について随時検証を行っていく必要があります。●地域における健康づくりの担い手である食生活改善推進員と運動普及推進員は、2町との合併により会員は増加しましたが、引き続き活動に対する市の支援が必要です。●健診や健康教育・相談など保健事業を利用しにくい環境にある個人事業主や小規模な事業所で働く人たちの健康づくりを支援する必要があります。																					
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●生活習慣病予防のため、市民が自ら生活習慣の改善を目指し、行動変容ができるようなわかりやすく焦点を絞った情報提供など、広報の充実に努めます。●食生活改善推進員・運動普及推進員について、その活動を支援するとともに養成講習参加者を増やし、会員の拡大につなげていきます。●職域の保健関係者との意見や情報の交換などを通して連携を図り、すべての市民の健康づくり支援体制の強化を図ります。																					
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">↑ 大 中 小 ↓ 上位への貢献度</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: right;">01 07</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">02 08</td> <td style="text-align: center;">04 05 06 09</td> <td style="text-align: center;">03</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table>		↑ 大 中 小 ↓ 上位への貢献度				01 07	02 08	04 05 06 09	03			低い	普通	高い			→ 優先度				<ul style="list-style-type: none"> <li>01 歯科保健推進事業(健康づくり)</li> <li>02 調理師研修事業</li> <li>03 食生活改善事業</li> <li>04 健康と福祉フェスティバル開催事業</li> <li>05 献血、骨髄・臓器移植啓発事業</li> <li>06 食育推進事業</li> <li>07 けんこうシップさせぼ21計画推進事業</li> <li>08 健やか高齢者経穴療法提供事業</li> <li>09 鹿町温泉施設管理運営事業</li> </ul>
↑ 大 中 小 ↓ 上位への貢献度					01 07																	
	02 08	04 05 06 09	03																			
	低い	普通	高い																			
	→ 優先度																					

<b>施策名</b>	健康管理の支援	<b>課名</b>	健康づくり課																			
<b>目的</b>	健診等を受けることにより、早期発見・早期治療へつなげることができるようになること、また、生活習慣病を理解し、自己の生活習慣を振り返り生活習慣の改善を自らが選択し行動変容につなげていくことができるようになることです。																					
<b>22年度の成果</b>	●がん検診受診率は19.6%で、22年度の目標24%には達しませんでした。(目標達成度: $19.6 \div 24.0 = 81.7\%$ ) 特定健診の受診率も33%で、目標の50%には達しませんでした。目標達成度: $33.0 \div 50.0 = 66.0\%$																					
<b>成果指標</b>	①特定健診受診率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																	
		%	%	%	%																	
		30	50	33	65																	
<b>成果指標</b>	②がん検診受診率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																	
		%	%	%	%																	
		19.2	24	19.6	30																	
<b>施策の課題</b>	●がん検診を受診しにくい環境にある個人事業主や小規模事業所の従業員などへの情報提供や受診勧奨が必要です●検診の重要性の啓発、特に40歳代、50歳代の方や女性への啓発が必要です。●集団検診の実施や特定健診との同時実施、日曜検診など受診機会の確保・拡大が必要です。																					
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●受診率の向上を図るため、検診の重要性などについて市民へ効果的な普及啓発を行うとともに、受診機会の確保・拡大に向けた取り組みを実施していきます。●市と健康保険組合、商工会議所など職域保健関係者及び医療関係団体とのネットワークを強化し、がん検診の受診率向上や保健事業の地域・職域共同実施につなげていきます。●国保加入者や小規模事業所の従業員など職場でのがん検診のない市民に対し、重点的に受診勧奨を行います。																					
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">↑ 大 中 小 ↓ 上位への貢献度</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: right;">05</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">01 02</td> <td style="text-align: center;">04</td> <td style="text-align: center;">03</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table>		↑ 大 中 小 ↓ 上位への貢献度				05	01 02	04	03			低い	普通	高い			→ 優先度				<ul style="list-style-type: none"> <li>01 健康手帳交付事業</li> <li>02 健康相談事業</li> <li>03 健康増進事業</li> <li>04 健康教育事業</li> <li>05 健康運動支援事業</li> </ul>
↑ 大 中 小 ↓ 上位への貢献度					05																	
	01 02	04	03																			
	低い	普通	高い																			
	→ 優先度																					

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
健康づくりの理解・実践の促進										
歯科保健推進事業（健康づくり）	健康づくり課	1	2	2	2	3	2	3	効率性に課題あり	改善
調理師研修事業	健康づくり課				2	2	3	1	特に課題は見当たらない	維持
食生活改善事業	健康づくり課	1	2	2	2	2	2	2	有効性に課題あり	維持
健康と福祉フェスティバル開催事業	健康づくり課	1	2	2	3	2	2	3	有効性に課題あり	休廃止
献血・骨髄・臓器移植啓発事業	健康づくり課				1	2	2	3	有効性に課題あり	維持
食育推進事業	健康づくり課	1	2	2	1	2	1	3	有効性に課題あり	維持
けんこうシップさせぼ21計画推進事業	健康づくり課	1	1	2	2	3	3	3	有効性に課題あり	維持
健やか高齢者経穴療法提供事業	長寿社会課	1	2	2	2	2	1	3	妥当性に課題あり	改善
鹿町温泉施設管理運営事業	健康づくり課	1	2	2	2	2	3	3	有効性に課題あり	維持
健康管理の支援										
健康手帳交付事業	健康づくり課				2	2	2	3	有効性に課題あり	休廃止
健康相談事業	健康づくり課				2	2	3	3	有効性に課題あり	休廃止
健康増進事業	健康づくり課				1	3	2	2	有効性に課題あり	維持
健康教育事業	健康づくり課				2	2	3	3	有効性に課題あり	休廃止
健康運動支援事業	宇久保健福祉センター	1	2	2	2	3	3	2	有効性に課題あり	改善

# 政策概要書

政策名：地域医療の体制づくり

部局名：保健福祉部

対象	●市民、●医師・歯科医師・薬剤師・看護師等の医療従事者、●病院・診療所・医薬品販売業者など 医事業事関係機関						
目的	●地域の医療従事者及び医療機関の体制が整備されることで、市民が良質で適切な医療サービスを受けることができることです。						
内容	●医療関係機関、医療機関、消防機関の協力のもとに、一次から二次救急までの救急医療体制を維持しました。●疾患によっては救急患者の受け入れが特定の医療機関に限定されることから、従来の二次救急輪番体制に加え、脳卒中などの疾患に対し、早期に専門的な受診ができるように「重症脳疾患サポート事業」を開始しました。●医療に対する市民の不安に対処するため医療安全支援センターでの相談業務を行いました。●医療施設への立入り検査を実施し、良質な医療の確保に努めました。●「佐世保・東北地域医療のあり方検討会」を開催し、今後の佐世保・東北地域の医療提供体制について検討を重ね、一定の方向性を示すことができました。						
トータルコスト	1,249,465千円	うち 事業費	1,139,795千円	うち 人件費	109,670千円		
22年度の成果	●医療体制に対する市民満足度は目標値及び前年数値を下回りましたが、一次から二次救急までの救急医療体制を維持し、救急時の医療を市民に提供することができました。●なお、医療体制に対する市民不満足度は12.1ポイントと、前年の13.3ポイントより1.2ポイント改善することができました。●医療施設の立入り検査における検査項目の適合率については、目標値を達成できませんでしたが、前年より1.1ポイント上昇させ、医療の質を維持することができました。						
成果指標	①	指標名	医療の取組みに対する市民満足度	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
		指標式	地域医療の取組全般に対する市民の満足度（市民意識アンケート調査）				
	②	指標名	医療施設等の立入り検査における検査項目の適合率	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
		指標式	良質な医療サービス提供が提供されているかを、検査項目の適合率で計る。				
政策の課題	●長崎県医療計画において、佐世保医療圏と東北医療圏が統合されたことから、救急医療提供体制の再構築が求められています。●各医療機関の連携や役割を明確にした上で、地域全体で質の高い医療を提供する「地域完結型医療」への転換が求められています。●地域連携クリティカルパス（患者一人一人の治療開始から終了までの全体的な治療計画）を共有した医療連携体制の構築が求められています。●医療機関相互の機能分担を支援するとともに、医療連携体制を再構築し、市民と医療機関との信頼関係構築及び医療の安全性向上が求められています。●医師や看護師等が地域に定着するよう、人材育成も含めた取組みの強化が必要となっています。						
今後の方向性	【改善】 ●一次から三次救急までの医療機能が十分活用されるよう、地域医療再生計画の具現化により佐世保地域の救急医療体制を再構築し、体制の更なる充実を図ります。●医療の向上、安全確保のため、立入り調査と医療相談体制の充実を図ります。●医療機関相互の機能分担や医療連携体制を再構築し、市民と医療機関との信頼関係構築及び医療の安全性向上を図ります。●地域の高度専門医療分野を担う市立総合病院と東北地域の基幹病院である北松中央病院の機能充実を図ります。●市立看護専門学校においては、質の高い看護師を育成し、市民に良質で適切な医療サービスを提供します。						

# 施策概要書

<b>施策名</b>	医療提供体制の充実	<b>課名</b>	保健福祉政策課																																																																						
<b>目的</b>	●安全で安心な質の高い医療提供体制を構築し、市民が安心して適切な医療を受けることができます。●医療機関等が医療法など関係法令を遵守し、医療の安全と信頼を高め、市民に対して適切な医療を提供することです。●佐世保市総合病院、北松中央病院の運営が適切に行われることです。																																																																								
<b>2-2年度の成果</b>	●医療施設の立入検査における検査項目の適合率については、目標値を達成できませんでしたが、前年より1.1ポイント上昇させることができました。●また、医療相談の適正対応率については、目標値を達成できました。																																																																								
<b>成果指標</b>	① 医療施設等の立入検査における検査項目の適合率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">93.5</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">94.6</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	93.5	100	94.6	100																																																											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																																																																						
%	%	%	%																																																																						
93.5	100	94.6	100																																																																						
	② 医療相談対応率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	100	100	100	100																																																											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																																																																						
%	%	%	%																																																																						
100	100	100	100																																																																						
<b>施策の課題</b>	●医療機関の連携や役割を明確にした上で、地域全体で質の高い医療を提供する「地域完結型医療」への転換が求められています。●市民と医療機関の信頼関係構築及び医療の安全性向上並びに地域の医療連携体制の再構築が求められています。																																																																								
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●「佐世保・東北地域医療のあり方検討会」で示された一定の方向性について、今後も引き続き検討を重ね、医療機関相互の機能分担や医療連携体制を再構築し、市民と医療機関との信頼関係の構築及び医療の安全性の向上を図ります。																																																																								
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↑</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">02 04 05 06</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">01 03</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">             01 保健医療推進事業              02 医事・薬事監視事業              03 総合病院事業会計繰出金              04 看護専門学校運営事業              05 医療安全支援センター運営事業              06 北松中央病院運営事業         </div>			大										↑			02 04 05 06							中			01 03							↓										小											低い	普通	高い								→ 優先度								
大																																																																									
↑			02 04 05 06																																																																						
中			01 03																																																																						
↓																																																																									
小																																																																									
	低い	普通	高い																																																																						
	→ 優先度																																																																								

<b>施策名</b>	救急医療提供体制の充実	<b>課名</b>	保健福祉政策課																																																																						
<b>目的</b>	●休日や夜間に急病になった市民（救急患者）が、市立急病診療所、在宅当番医、二次救急病院において、質の高い、適切な医療の提供を受けることができます。																																																																								
<b>2-2年度の成果</b>	●医療体制に対する市民満足度は目標値及び前年数値を下回りましたが、一次から二次救急までの救急医療体制を維持し、救急時の医療を市民に提供することができました。●なお、医療体制に対する市民不満足度は12.1ポイントと、前年の13.3ポイントより1.2ポイント改善することができました。																																																																								
<b>成果指標</b>	① 医療の取組みに対する市民満足度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">33.3</td> <td style="text-align: center;">36</td> <td style="text-align: center;">32.9</td> <td style="text-align: center;">37</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	33.3	36	32.9	37																																																											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																																																																						
%	%	%	%																																																																						
33.3	36	32.9	37																																																																						
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																																																																			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																																																																						
<b>施策の課題</b>	●いつでも・どこでも安心して医療を受けることができる救急医療体制の充実が求められています。●長崎県医療計画において、佐世保医療圏と県北医療圏が統合されたことから、救急医療体制の再構築が求められています。																																																																								
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●一次から三次救急医療の医療機能が十分活用されるよう、地域医療再生計画の具現化により佐世保地域の救急医療体制を再構築し、体制の更なる充実を図ります。																																																																								
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↑</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">02</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">01 03</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <div style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">             01 健康危機管理対策事業              02 初期救急医療提供事業              03 二次救急医療提供事業         </div>			大										↑			02							中			01 03							↓										小											低い	普通	高い								→ 優先度								
大																																																																									
↑			02																																																																						
中			01 03																																																																						
↓																																																																									
小																																																																									
	低い	普通	高い																																																																						
	→ 優先度																																																																								

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
医療提供体制の充実										
保健医療推進事業	保健福祉政策課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
医事・薬事監視事業	保健福祉政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
総合病院事業会計繰出金	保健福祉政策課	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持
看護専門学校運営事業	教務課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
医療安全支援センター運営事業	保健福祉政策課	1	2	2	2	3	1	3	特に課題は見当たらない	維持
北松中央病院運営事業	保健福祉政策課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
救急医療提供体制の充実										
健康危機管理対策事業	保健福祉政策課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
初期救急医療提供事業	保健福祉政策課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
二次救急医療提供事業	保健福祉政策課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名 : 高齢者の生活を支える環境づくり

部局名 : 保健福祉部

対象	市民特に高齢者						
目的	身近な地域において、高齢者が楽しく安心して自立した生活を送れるようになります。						
内容	<p>●第4期介護保険事業計画に基づき、介護給付、介護予防給付事業を行いました。また、介護予防のための取組みを地域包括支援センターを中心に行いました。●高齢者虐待に対する対応を行いました。●認知症の高齢者を地域において支援する取組みの一環として認知症サポーターの養成を行いました。●高齢者の生きがいをづくりのため、老人クラブへの活動支援、敬老特別乗車証の交付、老人福祉センターの運営などを行いました。</p>						
トータルコスト	21,848,667千円	うち 事業費	21,598,083千円	うち 人件費	250,584千円		
22年度の成果	要支援・要介護認定者の割合は目標値を上回っています。高齢者支援に対する市民満足度は31.1%で目標を大きく上回っています。						
成果指標	①	指標名	要支援・介護等認定者の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値
				% 21.6	% 22.5	% 22.3	% 23.2
		指標式	要介護等認定を受けた人/高齢者(65歳以上)人口				
	②	指標名	高齢者支援の取組みに対する市民の満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値
			% 20.1	% 23	% 31.1	% 25	
		指標式	高齢者支援の取組全般に対する満足度を「市民意識アンケート調査」で計ります。				
政策の課題	<p>●介護予防に対する市民の意識が十分ではありません。●介護支援については、地域における介護の実践を実現するため、介護を支える人材の育成・確保が必要です。●高齢者の虐待を未然に防止するなど、高齢者の尊厳と権利を社会全体で守る環境づくりが必要です。●高齢者が住み慣れた地域で安心と生きがいをもって暮らせるよう、身近な地域コミュニティにおいて、高齢者を支える環境づくりが求められています。</p>						
今後の方向性	<p>【改善】 ●介護サービスの質的、量的充実など介護保険制度の安定的な運営を図ります。●在宅支援サービスを提供するための体制の充実を図ります。●高齢者虐待防止や予防対策、権利擁護を強化します。●要介護者やその家族を支えるボランティアの育成と地域の見守りネットワークを充実します。●高齢者の生きがいをづくりと社会参加を支援します。</p>						

# 施策概要書

<b>施策名</b>	介護予防の推進	<b>課名</b>	長寿社会課																		
<b>目的</b>	高齢者が要支援・要介護状態にならず、地域において自立した日常生活を営むことができるようになります。																				
<b>22年度の成果</b>	22年度要介護認定者の割合を22.5%と見込んでいましたが22.3%と目標を上回っている状況にあります。																				
<b>成果指標</b>	①要支援・要介護認定者の割合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>21.6</td> <td>22.5</td> <td>22.3</td> <td>23.2</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	%	%	%	%	21.6	22.5	22.3	23.2							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
%	%	%	%																		
21.6	22.5	22.3	23.2																		
	②	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値															
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
<b>施策の課題</b>	介護予防の重要性を、高齢者・市民に理解してもらい実践してもらうことが、課題です。																				
<b>今後の方向性</b>	【改善】 二次予防事業対象者へチェックリストを直接郵送し、対象者の把握の充実に図るとともに、老人クラブ等地域の自主組織への働きかけ、魅力的な介護予防サービスの提供に努めます。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">02</td> <td style="text-align: center;">03</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">01</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">01 特定高齢者等介護予防事業 02 要支援認定者介護予防事業 03 介護予防普及啓発事業</p>			大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度				02	03			01			低い	普通	高い		→ 優先度		
大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度																					
	02	03																			
		01																			
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

<b>施策名</b>	介護支援の充実	<b>課名</b>	長寿社会課																		
<b>目的</b>	ニーズに応じた適切な介護サービス（在宅・施設）を提供することにより、住み慣れた地域で高齢者が暮らし続けることができるようになります。																				
<b>22年度の成果</b>	小規模多機能型居宅サービスの利用者数及び夜間対応型訪問介護サービスの利用者数ともに、実績値が目標値を上回り、達成できました。																				
<b>成果指標</b>	①小規模多機能型居宅介護サービスの利用者数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>4,788</td> <td>5,880</td> <td>5,895</td> <td>6,530</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	人	人	人	人	4,788	5,880	5,895	6,530							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
人	人	人	人																		
4,788	5,880	5,895	6,530																		
	②夜間対応型訪問介護サービスの利用者数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>380</td> <td>384</td> <td>407</td> <td>513</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	人	人	人	人	380	384	407	513							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
人	人	人	人																		
380	384	407	513																		
<b>施策の課題</b>	要介護高齢者の増加による介護ニーズの増加や介護保険料の増大に対して、必要に応じた適切な介護サービスをどのように提供していくのが課題です。																				
<b>今後の方向性</b>	【改善】 住み慣れた地域で暮らし続けるため、地域密着型介護サービス提供体制を充実させるとともに、介護サービスの質の向上及び量の確保、適切な福祉サービスの提供、介護者に対する情報提供や相談体制等支援の充実が必要です。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">01</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">02</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">01 適正な介護サービス・福祉サービスの提供事業 02 家族介護支援事業</p>			大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度				01			02				低い	普通	高い		→ 優先度		
大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度																					
	01																				
	02																				
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	高齢者の尊厳と権利を守る環境づくり	<b>課名</b>	長寿社会課		
<b>目的</b>	地域住民や関係者の協力により高齢者が、地域での見守りや虐待防止ネットワークの充実ににより、虐待等から守られて安心して暮らせるようになります。				
<b>22年度の成果</b>	長寿社会課及び地域包括支援センターへの虐待に関する相談等については、認知症高齢者等の増加に伴い毎年増加傾向にあったが、平成22年度は減少した。相談案件については、保健師、社会福祉士、主任ケアマネージャーが関係機関と連携しながら適切に対応できました。				
<b>成果指標</b>	① 虐待に関する相談等対応率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値
		%	%	%	%
		100	100	100	100
	②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値
<b>施策の趣</b>	今後も増加していくと思われる虐待に対する早期発見や相談（養護者への支援含む）に対する行政の支援体制の整備、高齢者支援センターを含めた地域包括支援センターの相談機能の周知が必要です。				
<b>今後向の性</b>	【改善】 高齢者虐待の早期発見、成年後見制度の利用促進と地域における相談体制の維持を図ります。				
<b>事務事業のポジショニング</b>			01 相談体制充実事業 02 高齢者虐待防止事業 03 権利・財産保護事業		

<b>施策名</b>	地域における生活支援体制の充実	<b>課名</b>	長寿社会課		
<b>目的</b>	独り住まいの高齢者、高齢者のみの世帯、認知症高齢者が、住み慣れた地域で安全で安心した生活を送ることができるようになります。				
<b>22年度の成果</b>	認知症サポーターの養成については、平成22年度までに1,914人のサポーターを養成し、目標を達成しました。				
<b>成果指標</b>	① 認知症サポーター養成人数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値
		人	人	人	人
		1,219	1,719	1,914	3,219
	② 身近な地域での支え合いに対する市民の意識	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値
		%	%	%	%
		57.6	67.4	56.5	70
<b>施策の趣</b>	要援護高齢者やその家族を、地域包括支援センター、地域住民、関係機関の連携により、見守り支援する、地域のネットワークの充実が必要です。				
<b>今後向の性</b>	【改善】 ●地域における要援護高齢者や家族を支えるボランティアの育成と活動を支援します。●関係機関の連携により、地域で高齢者を見守るネットワークの充実を図ります。				
<b>事務事業のポジショニング</b>			01 地域支え合い事業 02 緊急通報対策事業		



# 施策概要書

施策名	生きがいと社会参加の促進	課名	健康づくり課												
目的	高齢者の外出や生きがいづくりなどの支援を行うことにより、高齢者が積極的に社会参加ができ生きがいを持つことができるようになることです。														
22年度の成果	<p>●敬老特別乗車証の交付者数は増加していますが、75歳以上の人口に占める交付率は22年度目標値62.2%を下回り、55.8%、目標達成度は、89.7%でした。未交付者は、あまり外出しない人や自家用車など他の交通手段を利用する人などが考えられます。●生きがいを感じる高齢者の割合は、22年度目標値77.0%を下回り64.8%、ここ数年横ばい状態が続いています。目標達成度は、84.2%でした。</p>														
成果指標	①敬老特別乗車証交付率	※21年度実績値	※22年度目標値												
		%	%												
	60.3	62.2	55.8												
	63	63	63												
	②生きがいを感じる高齢者の割合	※21年度実績値	※22年度目標値												
		%	%												
	65.3	77	64.8												
施策の課題	<p>●高齢化の進展に伴う高齢者の増加に対応できるよう限られた財源の有効活用を図っていく必要があります。●高齢者が健康で生きがいを持って生活を送れるよう継続的に支援を行う必要があります。●敬老特別乗車証については、利用状況の分析を行い、交付率、利用率の向上を図る必要があります。●老人クラブについては、新規加入者が少なく、会員の高齢化が進んでおり、活動のリーダーとなる役員の育成が必要です。●老人福祉センターの老朽化が進むとともに利用者の減少傾向が続いています。</p>														
今後の方向性	<p>【改善】                  ●高齢者をもつ経験・知恵・技能などを社会に還元できるよう、また生涯現役で生きがいをもって生活できるよう高齢者の社会参加を促進します。●老人クラブについては、健康づくり活動、奉仕活動、友愛訪問など地域における活動の活性化と役員など担い手の育成を支援していきます。●老人福祉センターについては、施設の改修を行いつつ各種教室やクラブの充実など魅力ある施設づくりに努めます。</p>														
事業の貢献度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">03</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">02 04 05</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">01</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">低い ← 普通 → 高い 優先度 →</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">                 大 中 小 ↑ 上位への貢献度             </div> <div style="text-align: right;">                 01 老人クラブ活動支援事業                  02 敬老事業                  03 敬老特別乗車証交付事業                  04 老人福祉センター等運営事業                  05 宇久地区高齢者等移動支援事業             </div> </div>						03		02 04 05		01				
			03												
	02 04 05		01												

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
<b>介護予防の推進</b>										
特定高齢者等介護予防事業	長寿社会課	1	2	2	1	1	2	3	有効性に課題あり	改善
要支援認定者介護予防事業	長寿社会課	1	2	2	2	2	3	1	特に課題は見当たらない	維持
介護予防普及啓発事業	長寿社会課	1	1	2	1	2	2	3	妥当性に課題あり	改善
<b>介護支援の充実</b>										
適正な介護サービス・福祉サービスの提供事業	長寿社会課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
家族介護支援事業	長寿社会課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
<b>高齢者の尊厳と権利を守る環境づくり</b>										
相談体制充実事業	長寿社会課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
高齢者虐待防止事業	長寿社会課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
権利・財産保護事業	長寿社会課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
<b>地域における生活支援体制の充実</b>										
地域支え合い事業	長寿社会課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	維持
緊急通報対策事業	長寿社会課	1	2	2	2	2	2	2	効率性に課題あり	維持
<b>生きがいと社会参加の促進</b>										
老人クラブ活動支援事業	健康づくり課	1	2	2	2	2	2	2	有効性に課題あり	維持
敬老事業	健康づくり課	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	維持
敬老特別乗車証交付事業	健康づくり課	1	2	2	2	3	2	2	有効性に課題あり	維持
老人福祉センター等運営事業	健康づくり課	1	2	2	2	2	2	2	有効性に課題あり	維持
宇久地区高齢者等移動支援事業	宇久保健福祉センター	1	2	2	2	2	1	2	効率性に課題あり	改善
<b>高齢者の生活を支える環境づくりを実現するための包括的な施策</b>										
高齢者福祉行政一般管理事業	長寿社会課	1	2	2	1	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：障がい者の自立と社会参加の環境づくり

部局名：保健福祉部

対象	●障がい者を中心とする市民					
目的	●障がい者が積極的に就労や社会参加を行えるようになるとともに、身近な地域で自立した生活ができるようになることがねらいです。					
内容	●障がい者の医療・健康を支援するために、医療費の助成、保健師による訪問相談などを実施しました。また、障害者自立支援法に基づいて、障がい者の地域での日常生活を支援するために、ホームヘルプ事業・生活介護などの介護給付、自立訓練・就労移行支援などの訓練給付、外出時の移動支援・地域活動支援センター・市内5ヶ所での相談支援などの地域生活支援事業などを実施しました。					
トータルコスト	4,993,298 千円	うち 事業費	4,763,861 千円	うち 人件費	229,437 千円	
22年度の成果	●入所施設から地域生活へ移行した人数は、旧法施設の新サービス体系への移行があまり進まなかったことから、目標値を下回る結果となりました。					
成果指標	指標名	入所施設から地域生活への移行者数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	①		人 50	人 84	人 54	人 103
	指標式	入所施設から地域生活への移行者数				
	②					
政策の課題	●障害者自立支援法の廃止が決定し、今までその根幹を成してきた法の見直しになるため、今後の国の動向を注視するとともに情報収集に努め、対応していく必要があります。					
今後の方向性	【現状維持】 ●「障がい者プラン」および「障がい福祉計画」に基づき、今後も障がい者の生活を支援する自立支援制度の円滑な運営に努めるとともに、社会参加や就労の促進を図ることにより、共生社会の実現を目指します。●なお平成23年度は、新制度の設計に向けた情報収集を行いながら、現行の計画期間満了に伴う次期計画を策定します。					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	障がい者への保健・医療サービスの充実	<b>課名</b>	障がい福祉課																		
<b>目的</b>	●障がい者の家族や周囲の人々への障がいに対する理解を促進するとともに、障がい者や家族を支援し、適切な保健・医療を提供して、障がい者が地域で自立して生活できるよう支援します。																				
<b>22年度の成果</b>	●福祉医療費支給年間件数は、障害者手帳所持者数の伸び率を基に設定した目標を下回ったものの、適正な申請に対して全て支給できました。また、精神保健訪問は、訪問が必要と見込まれる1,246件に対して、その78.6%である979件の訪問を目標としておりましたが、実績852件でした。しかし、これ以外に、その他の障がいに関する訪問実績が862件あります。今後、サービス利用計画策定業務を一部委託することとしており、訪問件数の向上が期待されます。																				
<b>成果指標</b>	①福祉医療費支給年間件数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>件</td> <td>件</td> <td>件</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>82,489</td> <td>87,370</td> <td>90,281</td> <td>92,500</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	件	件	件	件	82,489	87,370	90,281	92,500							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
件	件	件	件																		
82,489	87,370	90,281	92,500																		
	②精神保健訪問の対応率	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>66.6</td> <td>78.6</td> <td>87</td> <td>85</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	66.6	78.6	87	85							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
66.6	78.6	87	85																		
<b>施策の趣</b>	●福祉医療費のうち乳幼児に係る医療費については、平成22年中に現物給付に移行しました。障がい者に係る現物給付の検討が課題になります。																				
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●障がい者が必要な医療を安心して受けられるよう医療費の一部助成を継続します。●ケアプラン作成等の業務を一部委託し、精神保健訪問等をさらに充実させます。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">01 02 03</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p>01 福祉医療費助成事業 02 障がい者保健事業 03 自立支援医療事業</p>			上位への貢献度 大 中 小			01 02 03								低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 大 中 小			01 02 03																		
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

<b>施策名</b>	地域での生活支援	<b>課名</b>	障がい福祉課																		
<b>目的</b>	●障がい者が身近な地域で自立した生活を送るためのサービスを受けられます。																				
<b>22年度の成果</b>	●障がい者の地域での生活は現実的には厳しい点も多く、地域移行への進展は難しい状況です。ホームヘルプサービスを初めとする訪問系サービスは、サービス提供量が目標を下回ったものの、利用者の要望にはすべて対応できました。																				
<b>成果指標</b>	①訪問系サービスの年間利用量（時間）	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> <td>時間</td> </tr> <tr> <td>78,549</td> <td>105,179</td> <td>63,742</td> <td>126,500</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	時間	時間	時間	時間	78,549	105,179	63,742	126,500							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
時間	時間	時間	時間																		
78,549	105,179	63,742	126,500																		
	②	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値															
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
<b>施策の趣</b>	●平成23年度末までに、旧法施設は新体系サービスに移行することとなっています。障がい者の方が適切なサービスを受けられるようスムーズに移行することが求められています。																				
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●福祉、保健、医療、教育、就労が一体となった生活支援が実現できるよう、相談支援窓口の地域への拡充を図ります。利用者のニーズに適切に対応した質の高いサービスを提供し、また、施設入所者が地域生活に移行できるよう支援します。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">01 02 05 06 07 08</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td>03</td> <td>04</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p>01 身体障がい者（児）補装具給付事業 02 重度障がい者（児）福祉手当給付事業 03 身体障がい者（児）在宅支援事業 04 障がい者（児）福祉行政一般管理事業 05 介護給付事業 06 自立支援推進事業 07 難病患者支援事業 08 地域生活支援事業</p>			上位への貢献度 大 中 小		01 02 05 06 07 08		03	04						低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 大 中 小		01 02 05 06 07 08																			
	03	04																			
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	社会参加・就労の支援	<b>課名</b>	障がい福祉課												
<b>目的</b>	●障がい者の就労や、芸術・文化・スポーツ活動等への参加が進みます。市民、事業者の障がいに対する理解が深まります。														
<b>22年度の成果</b>	●障がい者自立支援法に基づく事業として、就労移行支援事業に取り組んでおり、目標値には届いていませんが、9人が一般就労に移行できました。														
<b>成果指標</b>	①福祉施設から一般就労へ移行した人数	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 25%;">21年度実績値</th> <th style="width: 25%;">22年度目標値</th> <th style="width: 25%;">22年度実績値</th> <th style="width: 25%;">24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">8</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">9</td> <td style="text-align: center;">21</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人	8	15	9	21	
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値											
人	人	人	人												
8	15	9	21												
②	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 25%;">21年度実績値</th> <th style="width: 25%;">22年度目標値</th> <th style="width: 25%;">22年度実績値</th> <th style="width: 25%;">24年度目標値</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>			21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値								
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
<b>施策の課題</b>	●障がい者の就労環境は、最近の経済情勢等により大変厳しい環境にあります。今後も就労支援体制の充実が必要になります。														
<b>今後方向性</b>	【現状維持】 ●施設から一般就労への移行をさらに支援していくために、地域の関係機関で構成するネットワークを強化し、地域全体で障がい者の就労支援に取り組みます。														
<b>事業の貢献度</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">04 06</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">02 03</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td style="text-align: center;">01 05</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">低い ← 普通 → 高い</p> <p style="text-align: center;">← 優先度 →</p> <div style="margin-top: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>01 訓練等給付事業</li> <li>02 交通費助成事業</li> <li>03 啓発活動事業</li> <li>04 文化・スポーツ活動支援事業</li> <li>05 社会参加・就労支援事業</li> <li>06 旧法施設事業</li> </ul> </div>			大	04 06	02 03		中		01 05		小			
大	04 06	02 03													
中		01 05													
小															

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
障がい者への保健・医療サービスの充実										
福祉医療費助成事業	障がい福祉課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
障がい者保健事業	障がい福祉課	1	2	2	3	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
自立支援医療事業	障がい福祉課				2	3	2		特に課題は見当たらない	維持
地域での生活支援										
身体障がい者（児）補装具給付事業	障がい福祉課				3	3	3		特に課題は見当たらない	維持
重度障がい者（児）福祉手当給付事業	障がい福祉課				2	3	3		特に課題は見当たらない	維持
身体障がい者（児）在宅支援事業	障がい福祉課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
障がい者（児）福祉行政一般管理事業	障がい福祉課	1	2	2	1	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
介護給付事業	障がい福祉課				2	3	3		特に課題は見当たらない	維持
自立支援推進事業	障がい福祉課				2	3	2	3	特に課題は見当たらない	維持
難病患者支援事業	障がい福祉課				2	3	2	3	特に課題は見当たらない	維持
地域生活支援事業	障がい福祉課				2	3	3		特に課題は見当たらない	維持
社会参加・就労の支援										
訓練等給付事業	障がい福祉課				2	2	2		特に課題は見当たらない	維持
交通費助成事業	障がい福祉課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
啓発活動事業	障がい福祉課	1	2	2	1	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
文化・スポーツ活動支援事業	障がい福祉課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
社会参加・就労支援事業	障がい福祉課	1	1	2	1	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
旧法施設事業	障がい福祉課				2	3	3		特に課題は見当たらない	休廃止

# 政策概要書

政策名：確かな安心と自立を支える制度の実施

部局名：保健福祉部

対象	市民						
目的	市民が社会連帯・相互扶助の理念のもと、安心して自立した生活を送ることができるようになること。						
内容	<p>●国民健康保険事業の安定運営を図るため、歳入確保対策として「収納率向上対策事業」を、歳出抑制策として「医療費適正化事業」、「健康増進事業」、「特定健康診査事業」及び「特定保健指導事業」を実施しました。●後期高齢者医療については、円滑な運営に向けた各種制度の周知に努めました。●第4期介護保険事業計画に基づき、介護予防システムの確立、介護給付を行いました。●要介護認定の公平性確保、適切なケアプラン作成のための取り組みを行いました。●生活保護の相談への対応及び生活支援を適切に行うとともに、自立支援の取り組みを推進しました。</p>						
トータルコスト	45,677,749 千円	うち 事業費	44,451,529 千円	うち 人件費	1,226,220 千円		
22年度の成果	<p>●平成22年度実績値の対前年度比は2.6%の増、目標に対する達成度は104.8%（実績値61.6%/目標値58.8%×100）となり目標を達成できました。</p>						
成果指標	①	指標名	社会保障制度により安心した生活だと感じる市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
		指標式	社会保障制度があることで、安心した生活がおくれていると感じる市民の割合を「市民意識アンケート調査」で計ります。	% 59	% 58.8	% 61.6	% 60
成果指標	②	指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
		指標式					
政策の課題	<p>●国民健康保険を持続可能なものとしていくために、保険税の収納率向上や特定健康診査等の医療費適正化に努める必要があります。●現在、国において新たな高齢者医療制度が検討されていますが、その状況を注視して、改正内容に迅速に対応していく必要があります。●介護保険の適切な運営を図るため、介護予防の普及・制度に関する市民の理解度の向上に努め、介護認定の迅速化・公平性の確保、各種サービスを支える人材育成や活動支援が必要です。●生活保護世帯の自立を促進するため、自立意識の向上を図るとともに、就労等につながる自律支援メニューの提供及び適切な指導を推進する必要があります。</p>						
今後の方向性	<p>【改善】 ●保険税の収納率向上や特定健診等の医療費適正化に取り組み、国民健康保険事業の安定運営等を図ると共に、高齢者医療制度等の見直し状況を注視し、予定される医療制度改革への対応（体制整備、市民への周知）を図ります。●高齢者が増加する中で、介護保険制度の適切な運営を行うため、第5次介護保険計画を適切に策定し、高齢者福祉を増進します。●セーフティーネットとしての生活保護の適正実施と保護からの自立支援をさらに推進していきます。</p>						

# 施策概要書

<b>施策名</b>	国民健康保険事業の安定運営等	<b>課名</b>	医療保険課																														
<b>目的</b>	●国保の被保険者が制度を正しく理解し、納税の義務を果たすこと。●国保被保険者が適切な医療給付を受けられ、医療機関が適正な診療報酬請求を行うこと。●国保被保険者各自が健康保持・増進に努めること。●後期高齢者医療被保険者が適切な医療給付を受けられることです。																																
<b>22年度の成果</b>	①(現年度全体)実績値92.27%/目標値91.66%×100=100.7%で目標を達成することができました。(内訳:一般91.73%・退職97.21%) ②目標値には約17%届きませんでしたが、昨年度と比較すると約3%向上しており、一定の成果を取めました。※実績値(見込み/速報値)33%/目標値50%×100=66.0%(注)確定は11月頃 ※(参考)21年度県内市町平均受診率30.0%																																
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">①国民健康保険税収納率</td> <td style="width: 12.5%;">21年度実績値</td> <td style="width: 12.5%;">22年度目標値</td> <td style="width: 12.5%;">22年度実績値</td> <td style="width: 12.5%;">24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">91.29</td> <td style="text-align: center;">91.66</td> <td style="text-align: center;">92.27</td> <td style="text-align: center;">91.66</td> </tr> <tr> <td>②特定健康診査受診率</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">50</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;">65</td> </tr> </table>			①国民健康保険税収納率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値		%	%	%	%		91.29	91.66	92.27	91.66	②特定健康診査受診率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値		%	%	%	%		30	50	33	65
①国民健康保険税収納率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																													
	%	%	%	%																													
	91.29	91.66	92.27	91.66																													
②特定健康診査受診率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																													
	%	%	%	%																													
	30	50	33	65																													
<b>施策の趣</b>	●国保制度が地域住民の健康を守る役割を果たすことができるよう、常に万全な事業運営の安定を図るため、今後とも歳入確保策・歳出抑制策に取組む必要があります。歳入確保策については、国民健康保険税の税率見直し(必要時)や収納率の向上が課題です。歳出抑制策については、医療費適正化の更なる推進及び特定健康診査受診率の向上が課題です。●後期高齢者医療については、現在、国において検討されている新たな高齢者医療制度に的確に対応する必要があります。																																
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●国保事業の歳入確保策として、税率見直しの検討と併に、広域化支援方針による県の標準収納率(一般被保険者現年収納率90.0%)以上を堅持し、更なる収納率の向上を図るため、新たな口座振替促進策等に取組みます。歳出抑制策として、後発医薬品使用時個別差額通知を実施し更なる医療費適正化に努めます。特定健康診査については、引き続き受診時の自己負担金を無料とすると併に、新たに未受診者宅への家庭訪問を実施し、受診率の向上を図ります。●新たな高齢者医療制度について、情報収集と体制整備、市民への周知を行います。																																
<b>事務事業のマトリョニク</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">01 03</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; vertical-align: top;">                     01 国民健康保険運営事業                      02 国民健康保険収納率向上対策事業                      03 国民健康保険医療費適正化事業                      04 国民健康保険健康増進事業                      05 老人保健医療運営事業                      06 国民健康保険特定健康診査事業                      07 国民健康保険特定保健指導事業                      08 後期高齢者医療推進事業                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td style="text-align: center;">05</td> <td style="text-align: center;">02 04 06 07 08</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">優先度 →</p>			大			01 03	01 国民健康保険運営事業 02 国民健康保険収納率向上対策事業 03 国民健康保険医療費適正化事業 04 国民健康保険健康増進事業 05 老人保健医療運営事業 06 国民健康保険特定健康診査事業 07 国民健康保険特定保健指導事業 08 後期高齢者医療推進事業	中		05	02 04 06 07 08	小					低い	普通	高い													
大			01 03	01 国民健康保険運営事業 02 国民健康保険収納率向上対策事業 03 国民健康保険医療費適正化事業 04 国民健康保険健康増進事業 05 老人保健医療運営事業 06 国民健康保険特定健康診査事業 07 国民健康保険特定保健指導事業 08 後期高齢者医療推進事業																													
中		05	02 04 06 07 08																														
小																																	
	低い	普通	高い																														

<b>施策名</b>	介護保険の適正な運営	<b>課名</b>	長寿社会課																														
<b>目的</b>	自立した生活を支える制度として介護保険制度を適正に維持し、適切な介護サービス・予防サービスを提供していきます。																																
<b>22年度の成果</b>	介護保険料の収納率は、平成20年度98.12%、21年度98.13%、22年度98.24%で、年々増加しています。																																
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">①介護保険料の収納率</td> <td style="width: 12.5%;">21年度実績値</td> <td style="width: 12.5%;">22年度目標値</td> <td style="width: 12.5%;">22年度実績値</td> <td style="width: 12.5%;">25年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">98.13</td> <td style="text-align: center;">98</td> <td style="text-align: center;">98.24</td> <td style="text-align: center;">98</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			①介護保険料の収納率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値		%	%	%	%		98.13	98	98.24	98	②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値			%	%	%	%					
①介護保険料の収納率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																													
	%	%	%	%																													
	98.13	98	98.24	98																													
②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値																														
	%	%	%	%																													
<b>施策の趣</b>	介護認定の迅速化・公平性の確保、介護保険制度に関する市民の理解度の向上を図る必要があります。																																
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●要介護認定調査について、調査員への研修や事例検討等を通じて、迅速化・公平性の確保を図ります。●介護サービスの適正利用と保険財政の安定化のため、介護給付費の請求内容について、調査を行い、給付費の適正化を図ります。																																
<b>事務事業のマトリョニク</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td rowspan="3" style="width: 60%; vertical-align: top;">                     01 適正な介護保険運営事業                      02 介護サービスの質の向上事業                      03 介護給付適正化事業                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td style="text-align: center;">01</td> <td style="text-align: center;">02 03</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">優先度 →</p>			大				01 適正な介護保険運営事業 02 介護サービスの質の向上事業 03 介護給付適正化事業	中		01	02 03	小					低い	普通	高い													
大				01 適正な介護保険運営事業 02 介護サービスの質の向上事業 03 介護給付適正化事業																													
中		01	02 03																														
小																																	
	低い	普通	高い																														



# 施策概要書

<b>施策名</b>	生活保護の適正な実施と自立促進	<b>課名</b>	生活福祉課																		
<b>目的</b>	<p>●安心して生活できるセーフティネットを確保します。生活保護の相談、また必要に応じて自立を目的とした生活支援を行うとともに、自立への意識を高め、就労等を促進します。</p>																				
<b>22年度の成果</b>	<p>●就職又は稼働収入増による自立者は、目標値の85.3%となり、前年度の97.1%を上回ることはできず、目標の達成には至りませんでした。●今後は、平成20年度から開始した「就労支援相談員プログラム事業」を更に進め、就労開始や増収による自立世帯の増加を図って行きたいと考えております。●今回成果目標の達成には至りませんでした。●生活支援が必要な要保護者に対するセーフティネットとしての役割は概ね確保できたものと考えております。</p>																				
<b>成果指標</b>	① 就職又は稼働収入増による自立世帯数	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>66</td> <td>75</td> <td>64</td> <td>90</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	世帯	世帯	世帯	世帯	66	75	64	90	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
世帯	世帯	世帯	世帯																		
66	75	64	90																		
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値																			
<b>施策の課題</b>	<p>●経済不況、雇用情勢の悪化等を主な原因として、被保護世帯数は、年々増加の一途をたどっていますが、平成20年後半からは、その傾向がさらに顕著になってきています。●そのような中、いかに生活保護からの自立を助長できるかが、今後の大きな課題となっています。</p>																				
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】          ●保護からの自立助長をさらに推進するため、公共職業安所が実施する就労支援事業、本市独自の稼働能力推進事業を引き続き活用してまいります。●加えて、平成20年度から開始した「就労支援相談員プログラム事業」をさらに充実させるため、平成22年度から就労支援員を2名体制としており、今後も更なる自立助長の推進を図ってまいりたいと考えております。</p>																				
<b>事業の貢献度</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">           上位への貢献度            ↑            大            中            小            ↓         </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">01</td> </tr> <tr> <td></td> <td>02 04 05</td> <td>03</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <div style="font-size: small; margin-top: 5px;">           01 生活保護措置事業            02 相談・指導体制充実事業            03 自立促進支援事業            04 保護調査事業            05 住宅手当緊急特別措置事業         </div>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓			01		02 04 05	03					低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓			01																		
		02 04 05	03																		
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
国民健康保険事業の安定運営等										
国民健康保険運営事業	医療保険課				2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
国民健康保険収納率向上対策事業	保険料課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
国民健康保険医療費適正化事業	医療保険課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
国民健康保険健康増進事業	医療保険課	1	2	2	2	2	2	2	効率性に課題あり	改善
老人保健医療運営事業	医療保険課				2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
国民健康保険特定健康診査事業	医療保険課				1	2	3	2	効率性に課題あり	改善
国民健康保険特定保健指導事業	医療保険課				2	2	3	2	効率性に課題あり	改善
後期高齢者医療推進事業	医療保険課				2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
介護保険の適正な運営										
適正な介護保険運営事業	長寿社会課	1	2	2	1	2	3	2	効率性に課題あり	改善
介護サービスの質の向上事業	長寿社会課	1	2	2	1	2	1	3	効率性に課題あり	維持
介護給付適正化事業	長寿社会課	1	2	2	2	2	2	2	効率性に課題あり	維持
生活保護の適正な実施と自立促進										
生活保護措置事業	生活福祉課				1	3	3	2	有効性に課題あり	改善
相談・指導体制充実事業	生活福祉課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
自立促進支援事業	生活福祉課	1	2	2	1	2	1	2	有効性に課題あり	改善
保護調査事業	生活福祉課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
住宅手当緊急特別措置事業	生活福祉課	1	2	2	3	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：災害に強いまちづくり

部局名：消防局

対象	市民、市内滞在者、事業者、防災関係者						
目的	災害や緊急事態から市民等を守り、また、防災関係者と連携して被害を最小限に抑えることがねらいです。						
内容	<p>●気象情報の入手等により、台風等の災害に対する事前対策を講じるなど体制強化に努めました。●未結成町内会等により自主防災組織の必要性を呼びかけると共に自主防災組織等を対象として研修会を実施し育成活動を行いました。●各種防災訓練を実施して各防災機関との連携強化を図りました。●旧市内及び合併地区の災害危険箇所を整備を実施しました。●国が定める「放射能調査指針大綱」「同実施要領」に基づき、より充実した監視体制を確立することができました。●既存ビルに係わる避難施設及び老朽家屋の所有者、管理者等に対し防災査察により改善指導を行いました。●旧市域の防災行政無線整備に向けて本格工事の準備ができました。</p>						
トータルコスト	1,226,929 千円	うち 事業費	1,051,541 千円	うち 人件費	195,801 千円		
22年度の成果	<p>指標である防災対策に対する市民満足度は、目標値35%に対し、実績値24.1%でした。大震災を踏まえて不安感が高まったことも一因と思われますが、防災に関心を持ち、身近なものとして捉えてもらうように市民意識の向上を図っていきます。</p>						
成果指標	①	指標名	防災対策に対する市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
				% 27.9	% 35	% 24.1	% 38
		指標式	防災対策全般に対する市民の満足度を「市民意識アンケート調査」で計ります。				
	②	指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
		指標式					
政策の課題	<p>●大震災を踏まえて防災に対する市民の意識高揚を図る必要があります。●災害及び防災に関する情報伝達手段を早期に向上させる必要があります。●避難場所や避難経路などの防災情報を市民にわかりやすく伝える必要があります。●防災訓練等を通じ関係機関等との連携強化が必要です。●自主防災組織の結成を促進し、地域が主体となった身近な防災体制づくりを図る必要があります。●災害を未然に防ぐため、まちの基盤づくりや危険箇所の計画的な整備を図っていく必要があります。</p>						
今後の方向性	<p>【改善】 ●防災に関する市民の意識を向上させるため、防災訓練・研修会等の実施、広報誌あるいはホームページなどの手段により一層PRに努めます。●緊急時の災害情報等を迅速的確に市民に伝達する体制づくりを推進します。●避難場所等の案内が分かりやすくできるような方を研究します。●防災訓練等を通じて関係機関との連携を強化します。●自主防災組織の結成率向上を目指して積極的に宣伝し育成に努めます。●災害危険箇所等の改善に向けて関係部局と連携します。</p>						

# 施策概要書

<b>施策名</b>	災害や緊急事態に対応できる体制の充実	<b>課名</b>	防災対策課																												
<b>目的</b>	●地域防災計画や国民保護計画等の内容が充実され、関係機関や市民との連携体制が円滑に運用されることがねらいです。●行政機関及び市民双方の災害や緊急事態に対する危機意識が向上することがねらいです。																														
<b>22年度の成果</b>	●地域防災力については32.57/33.93×100=95.9%●災害への備えに対する市民の実践度については（現在集計中）●地域防災力については目標値を下回ったため、さらに対策向上を進めていきます。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">①地域防災力</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>ポイント</td> <td>ポイント</td> <td>ポイント</td> <td>ポイント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>32.41</td> <td>33.93</td> <td>32.57</td> <td>36.01</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②災害への備えに対する市民の実践度</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>19</td> <td>26</td> <td>25.6</td> <td>31</td> </tr> </table>			①地域防災力	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント		32.41	33.93	32.57	36.01	②災害への備えに対する市民の実践度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		19	26	25.6	31
①地域防災力	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	ポイント	ポイント	ポイント	ポイント																											
	32.41	33.93	32.57	36.01																											
②災害への備えに対する市民の実践度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	19	26	25.6	31																											
<b>施策の課題</b>	●大震災を踏まえて防災に対する市民の意識高揚を図る必要があります。●災害及び防災に関する情報伝達手段を早期に向上させる必要があります。●避難場所や避難経路等の防災情報を市民に分かりやすく伝える必要があります●防災訓練等を通じ関係機関等との連携強化が必要です●自主防災組織の結成を促進し地域が主体となった身近な防災体制づくりを図る必要があります。●災害を未然に防ぐため町の基盤づくりや危険箇所の計画的な整備を図っていく必要があります。																														
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●防災に関する市民の意識を向上させるため防災訓練・研修会等の実施、広報誌あるいはホームページなどの手段により一層PRに努めます。●緊急時の災害情報等を迅速的確に市民に伝達する体制づくりを推進します。●避難場所等の案内が分かりやすくできるような方策を研究します。●防災訓練等を通じて関係機関との連携を強化します。●自主防災組織の結成率向上を目指して積極的に宣伝し育成に努めます。●災害危険箇所等の改善に向けて関係部局と連携します。																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">                 大 ↑ 中 ↑ 小 ↑ 上位への貢献度             </td> <td style="text-align: center;">08</td> <td style="text-align: center;">05 06 07</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">03</td> <td style="text-align: center;">01 02 04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 災害援護事業 02 防災コミュニティ推進事業 03 建築物災害防止事業 04 災害対応計画推進事業 05 防災行政無線施設管理事業 06 災害時要援護者調査事業 07 原子力放射能測定調査事業 08 水防倉庫整備事業</p>			大 ↑ 中 ↑ 小 ↑ 上位への貢献度	08	05 06 07	03	01 02 04			低い		普通			高い	優先度 →														
大 ↑ 中 ↑ 小 ↑ 上位への貢献度	08	05 06 07																													
	03	01 02 04																													
低い		普通																													
		高い																													
優先度 →																															

<b>施策名</b>	災害危険箇所の環境整備	<b>課名</b>	河川課																												
<b>目的</b>	●災害危険箇所の防災対策により危険箇所が減少します●適切な防災情報の提供により周辺住民を災害から守ります。●災害危険箇所について未然防止の対策が図られます。																														
<b>22年度の成果</b>	全事務事業においては概ね成果目標を達成できました。特に特殊地下壕対策事業や河川整備プログラム策定事業においては目標を概ね上回る成果が得られています。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">①急傾斜地崩壊対策工事の完了率</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>25.6</td> <td>24.3</td> <td>24.3</td> <td>24.7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②特殊地下壕対策工事の完了率</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>23.6</td> <td>26.4</td> <td>27.8</td> <td>50</td> </tr> </table>			①急傾斜地崩壊対策工事の完了率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		25.6	24.3	24.3	24.7	②特殊地下壕対策工事の完了率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		23.6	26.4	27.8	50
①急傾斜地崩壊対策工事の完了率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	%	%	%	%																											
	25.6	24.3	24.3	24.7																											
②特殊地下壕対策工事の完了率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	23.6	26.4	27.8	50																											
<b>施策の課題</b>	●市街地開発等による危険箇所の増加や、厳しい財政状況、また境界確定が困難などの理由により事業進捗が図れず、ハード対策だけでは限界があるため、住民の生命を守るための警戒避難体制の整備等のソフト対策が必要です。●今後の河川の整備計画の策定に際しては、洪水や浸水被害に対する危険度や重要度を評価し整備優先度を検討する必要があります。●旧耐震基準の建築物が多数あり、大規模地震が発生した場合に大きな被害が予測されます。●地下壕の復旧において、壕内利用者の理解や希少生物へ配慮した復旧工法の検討が必要です。																														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●土砂災害が発生する恐れがある土地等については、危険状況の把握を進めながら随時整備を行います。●河川や水路については、洪水や浸水被害等の水災害から住民の生命と財産を守るため、計画的な整備を行います。●大規模地震に備え、公共施設、戸建木造住宅等の耐震化を推進すると共に、計画的な支援を行います。●特殊地下壕対策については現状を総合的に評価し、緊急性のある箇所から計画的な整備を行います。																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center;">                 大 ↑ 中 ↑ 小 ↑ 上位への貢献度             </td> <td style="text-align: center;">04</td> <td style="text-align: center;">09</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">03</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 急傾斜地崩壊対策事業 02 特殊地下壕対策事業 03 住宅・建築物耐震化推進事業 04 河川附帯構造物管理事業 05 河川整備事業 06 水路整備事業 07 水路整備補助金事業 08 雨水渠整備受託事業 09 河川整備プログラム策定事業</p>			大 ↑ 中 ↑ 小 ↑ 上位への貢献度	04	09		03			低い		普通			高い	優先度 →														
大 ↑ 中 ↑ 小 ↑ 上位への貢献度	04	09																													
		03																													
低い		普通																													
		高い																													
優先度 →																															

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
災害や緊急事態に対応できる体制の充実											
	災害援護事業	市民生活課	1	2	2	2	2	3	3	有効性に課題あり	改善
	防災コミュニティ推進事業	防災対策課	1	2	2	3	2	2	3	効率性に課題あり	改善
	建築物災害防止事業	建築指導課	1	2	2	1	2	2	3	有効性に課題あり	改善
	災害対応計画推進事業	防災対策課	1	2	2	2	2	3	2	効率性に課題あり	改善
	防災行政無線施設管理事業	防災対策課	1	2	2	2	3	3	2	効率性に課題あり	改善
	災害時要援護者調査事業	保健福祉政策課	1	2	2	2	3	1	3	効率性に課題あり	改善
	原子力放射能測定調査事業	環境保全課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	水防倉庫整備事業	河川課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
災害危険箇所の環境整備											
	急傾斜地崩壊対策事業	河川課		2	2			3	3	特に課題は見当たらない	維持
	特殊地下壕対策事業	河川課		2	2			1	2	特に課題は見当たらない	維持
	住宅・建築物耐震化推進事業	建築指導課	1	2	2	1	2	2	3	有効性に課題あり	改善
	河川附帯構造物管理事業	河川課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	河川整備事業	河川課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
	水路整備事業	道路維持課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
	水路整備補助金事業	道路維持課		2	2			2	3	特に課題は見当たらない	維持
	雨水渠整備受託事業	河川課		2	2			1	3	特に課題は見当たらない	維持
	河川整備プログラム策定事業	河川課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
災害に強いまちづくりを実現するための包括的な施策											
	河川行政一般管理事業	土木政策・管理課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：消防・救急救助の体制づくり

部局名：消防局

対象	●佐世保市地域広域圏（2市5町）の住民及び全ての滞在者●消防職員、消防団員●地域の防災組織、事業所●防災関係機関					
目的	火災、救急、救助体制の根幹である人材及び消防施設・設備を充実させるとともに、地域社会に自助、共助の精神を根付かせることにより、市民及び町民が安心して安全に暮らせる社会になります。					
内容	●住宅用火災警報器が既存住宅に平成21年6月1日から義務付けられたことから、管内各地域で講習会開催並びに未設置住宅の個別調査を実施し、設置促進と火災予防を呼びかけたり、宅火災の減少に多めしました。●高度救助資機材搭載の救急工作車や高規格救急自動車など計画どおり車両を更新し、多様化する災害や火災、救急事案に対応できる体制整備を行いました。●一般市民を対象とした、またり一般事業所等において普通救命講習等を実施し、心肺蘇生法やAEDを使用できる市民の養成を図り、生存率向上に向けた体制づくりを行いました。●すべての救急現場で、高度かつ適切な救急活動を成し現するため、救急救命士3名、気管挿管実施救急救命士6名、薬剤投与実施救急救命士7名を養成しました。					
トータルコスト	3,834,330 千円	うち 事業費	919,422 千円	うち 人件費	2,914,908 千円	
22年度の成果	●人口1万人あたりの出火件数は、目標値3.5に対し、実績値4と達成できず、また建物火災件数は前年比7件増加し、総火災件数も前年比12件増加しました。また建物火災1件当たりの焼損面積は目標値の40㎡に対して実績値46㎡と増加したことから、あまり達成できなかったと考えています。●救急救助1ヶ月後の生存率は、目標値20%に対し実績値が6.3%で目標を達成できませんでしたが、これは、通報等の遅れ等が影響していると思われるが、AEDを使用した救急講習の更なる普及啓発が必要と考えています。					
成果指標	指標名	人口1万人あたり出火件数（出火率）	21年度実績値 件 3.8	22年度目標値 件 3.5	22年度実績値 件 4	24年度目標値 件 3
	指標式	消防の体制整備全般の成果として、人口1万人あたりの出火件数で計ります。				
	指標名	救急救助1ヵ月後生存率	21年度実績値 % 33.3	22年度目標値 % 20	22年度実績値 % 6.3	24年度目標値 % 20
	指標式	救急救助の体制整備全般の成果として、心肺停止の傷病者における1ヵ月後の生存の割合で計ります。				
政策の種別	●火災の早期発見、早期通報による被害の低減及び防火意識の向上を図り、出火率及び焼損面積の低減を図る必要があります。●各種災害に迅速・的確に対応するためには、消防施設や設備等の充実が必要であり、また、それを活用する人材の育成を図っていく必要があります。●救急業務において救命効果の更なる向上のためには、高度な救急処置ができる救急救命士の養成と救急隊と医療機関との連携強化が必要です。また、増大する救急需要の中で、入院の必要のない軽症患者搬送が33%を占めています。●救急車利用のハードルが低くなっている現状もあり、適正な救急車利用を認識してもらう必要があります。					
今後の方向性	【改善】 ●火災の早期発見には住宅用火災警報器の設置が有効なため、未設置住宅への設置促進を図り、かつ防火教室やマスメディアを通じて集中的に広報を実施し、防火に対する意識を高めてもらい、火災被害の低減を図ります。●消防車両や消防水利などの消防施設・設備等を計画的に更新整備します。●高度な救急処置を求められていることから、救急救命士の再教育の実施や、応急処置を行える市民を一人でも多く増やしていくとともに、長崎県が策定した傷病者の搬送及び受け入れの実施に関する基準を活用し、医療機関との連携強化を努め「救える命を救う」救急体制の構築を目指します。●職員の資格取得・職員研修の充実を図ります。					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	火災予防体制の整備	<b>課名</b>	予防課															
<b>目的</b>	事業所における防火・防災安全上の不備をなくし施設利用者に火災及び地震等による被害を与えないような安全体制が確立されるとともに、市町民は各種研修会や広報に触れることで、自らの生活区域の危険性を把握し、地域の火災予防が徹底されます。																	
<b>22年度の成果</b>	消防局管内における建物火災件数は、平成21年中71件が22年中78件で7件の増加となり、また住宅火災1件当たりの焼損面積の目標値40㎡に対する実績値は46㎡であり、目標を達成することができませんでした。																	
<b>成果指標</b>	①住宅火災による焼損面積の低減	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>㎡/1件</td> <td>㎡/1件</td> <td>㎡/1件</td> <td>㎡/1件</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>40</td> <td>46</td> <td>40</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	㎡/1件	㎡/1件	㎡/1件	㎡/1件	31	40	46	40	②			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値															
㎡/1件	㎡/1件	㎡/1件	㎡/1件															
31	40	46	40															
<b>施策の課題</b>	建築物の関係者等に対する法令順守の徹底及び向上、火災の「早期発見」、「早期通報」、「早期消火」による被害の低減の継続及び市民や施設関係者等への防火意識の啓発の向上等を行い、人的被害及び焼損面積の低減を図ることが必要と考えます。																	
<b>今後の方向性</b>	【改善】 防火対象物や危険物施設への年間を通した立入検査を実施し、建築物の関係者等に対する法令順守の徹底及び向上を図るとともに、防火教室の開催時やマスメディアを活用した広報活動等により住宅用火災警報器の設置促進に重点を置き、あらゆる機会をとらえ市民の方々や施設関係者に火災の発生状況を知らせ、防火に対する意識を高めてもらい、火災による被害の低減を図っていきます。																	
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑                  大                  中                  小                  ↓             </td> <td style="border: 1px solid black;">01 05</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">04</td> <td style="border: 1px solid black;">02 06</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">03 07 08</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>01 予防査察指導事業</li> <li>02 住宅防火推進事業</li> <li>03 防火組織の育成指導及び活動支援事業</li> <li>04 危険物施設保安体制指導事業</li> <li>05 広域予防査察指導事業</li> <li>06 広域住宅防火推進事業</li> <li>07 広域防火組織の育成指導及び活動支援事業</li> <li>08 広域危険物施設保安体制指導事業</li> </ul>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓	01 05		04	02 06	03 07 08			低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓	01 05																	
	04	02 06																
	03 07 08																	
	低い	普通	高い															
	→ 優先度																	

<b>施策名</b>	消防体制の整備	<b>課名</b>	消防局総務課															
<b>目的</b>	消防体制の充実強化が図られ、地域住民等の生命・身体・財産が各種災害から守られます。																	
<b>22年度の成果</b>	指標①は、目標値6.5分に対し実績値6.6分でほぼ目標値でした。指標②は、当初水利不足地域の11箇所を解消する目標でしたが、結果的に13箇所の不足地域を改善することができました。水利充足率目標値85.6%に対し実績値85.78%と達成できました。																	
<b>成果指標</b>	①消防隊の初動時間	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>6.5</td> <td>6.6</td> <td>6.5</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	分	分	分	分	6	6.5	6.6	6.5	②消防水利施設の充足率			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値															
分	分	分	分															
6	6.5	6.6	6.5															
		<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>86.6</td> <td>85.6</td> <td>85.78</td> <td>86.5</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	86.6	85.6	85.78	86.5				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値															
%	%	%	%															
86.6	85.6	85.78	86.5															
<b>施策の課題</b>	各種災害に対応する消防体制を充実するためには、消防車両・消防水利等の施設や通信指令システム等の設備の充実が必要です。特に消防水利施設では、小佐々町・江迎町・鹿町等の合併町が低い地域が多いので、重点的に設置促進を図り充足率を上げることが課題です。また、組織の核となる消防職・団員の人材育成を計画的に行う必要があります。また、法的に移行期限がある消防救急無線のデジタル化整備や耐震診断で耐震指標を満たしていない庁舎並びに老朽化した庁舎の建て替えなどを進めていく必要があります。																	
<b>今後の方向性</b>	【改善】 消防車両や消防水利及びその他の消防施設・設備等を計画的に更新整備すると共に、消防職・団員の人材育成のため研修・訓練等を充実させ、組織の活性化に努め効率的な体制づくりを図ります。また、消防救急無線のデジタル化整備や老朽化・狭隘化した庁舎の建て替えなど消防体制の整備に取り組みます。																	
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑                  大                  中                  小                  ↓             </td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;">03 04 05 08 09 12</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">07</td> <td style="border: 1px solid black;">01 02 10 11</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">06</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>01 消防行政一般管理事業</li> <li>02 消防庁舎整備管理事業</li> <li>03 通信指令システム整備管理事業</li> <li>04 消防車両等管理事業</li> <li>05 消防水利管理事業</li> <li>06 消防団一般管理事業</li> <li>07 消防団組織活性化事業</li> <li>08 消防団施設管理事業</li> <li>09 消防団車両等管理事業</li> <li>10 広域消防行政一般管理事業</li> <li>11 広域消防庁舎整備管理事業</li> <li>12 広域通信指令システム整備管理事業</li> </ul>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓		03 04 05 08 09 12	07	01 02 10 11	06			低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓		03 04 05 08 09 12																
	07	01 02 10 11																
	06																	
	低い	普通	高い															
	→ 優先度																	

# 施策概要書

<b>施策名</b>	消防体制の整備	<b>課名</b>	消防局総務課																									
<b>目的</b>	消防体制の充実強化が図られ、地域住民等の生命・身体・財産が各種災害から守られます。																											
<b>22年度の成果</b>	指標①は、目標値6.5分に対し実績値6.6分でほぼ目標値でした。指標②は、当初水利不足地域の11箇所を解消する目標でありましたが、結果的に13箇所の不足地域を改善することができました。水利充足率目標値85.6%に対し実績値85.78%と達成できました。																											
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">①消防隊の初動時間</td> <td style="width: 12.5%;">21年度実績値</td> <td style="width: 12.5%;">22年度目標値</td> <td style="width: 12.5%;">22年度実績値</td> <td style="width: 12.5%;">24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6</td> <td>6.5</td> <td>6.6</td> <td>6.5</td> </tr> <tr> <td>②消防水利施設の充足率</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>86.6</td> <td>85.6</td> <td>85.78</td> <td>86.5</td> </tr> </table>			①消防隊の初動時間	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値		分	分	分	分		6	6.5	6.6	6.5	②消防水利施設の充足率	%	%	%	%		86.6	85.6	85.78	86.5
①消防隊の初動時間	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																								
	分	分	分	分																								
	6	6.5	6.6	6.5																								
②消防水利施設の充足率	%	%	%	%																								
	86.6	85.6	85.78	86.5																								
<b>施策の課題</b>	各種災害に対応する消防体制を充実するためには、消防車両・消防水利等の施設や通信指令システム等の設備の充実が必要です。特に消防水利施設では、小佐々町・江迎町・鹿町等の合併町が低い地域が多いので、重点的に設置促進を図り充足率を上げることが課題です。また、組織の核となる消防職・団員の人材育成を計画的に行う必要があります。また、法的に移行期限がある消防救急無線のデジタル化整備や耐震診断で耐震指標を満たしていない庁舎並びに老朽化した庁舎の建て替えなどを進めていく必要があります。																											
<b>今後の方向性</b>	【改善】 消防車両や消防水利及びその他の消防施設・設備等を計画的に更新整備すると共に、消防職・団員の人材育成のため研修・訓練等を充実させ、組織の活性化に努め効率的な体制づくりを図ります。また、消防救急無線のデジタル化整備や老朽化・狭隘化した庁舎の建て替えなど消防体制の整備に取り組みます。																											
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">大 ↑ 中 ↑ 小</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">13</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">13 広域消防車両等管理事業</p>			大 ↑ 中 ↑ 小			13			低い	普通	高い			→ 優先度													
大 ↑ 中 ↑ 小			13																									
	低い	普通	高い																									
	→ 優先度																											

<b>施策名</b>	救急救助体制の整備	<b>課名</b>	養防課																									
<b>目的</b>	①救急車の出動要請に対し、的確な応急処置が受けられ早期の治療及び生存率の向上が図られます。②救助技術の向上及び高度救助資機材等の整備により、災害発生時の人命・財産の被害軽減が図られます。																											
<b>22年度の成果</b>	AEDを使用できる市民の割合は目標値の21.3%より5.8ポイント上回ることができました。しかし救急隊の初動時間については、地理的条件や出動時間帯によっては、時間短縮が難しく目標を達成できませんでした。しかしながら目標値の達成に努めることは必要であり、時間短縮が可能である出動指令から実際に救急隊が出動するまでの準備時間のさらなる短縮に努めます。																											
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">①AEDを使用できる市民の割合</td> <td style="width: 12.5%;">21年度実績値</td> <td style="width: 12.5%;">22年度目標値</td> <td style="width: 12.5%;">22年度実績値</td> <td style="width: 12.5%;">24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>21.7</td> <td>21.3</td> <td>27.1</td> <td>44.7</td> </tr> <tr> <td>②救急隊の初動時間</td> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td></td> <td>6.7</td> <td>6.1</td> <td>6.7</td> <td>6</td> </tr> </table>			①AEDを使用できる市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値		%	%	%	%		21.7	21.3	27.1	44.7	②救急隊の初動時間	分	分	分	分		6.7	6.1	6.7	6
①AEDを使用できる市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																								
	%	%	%	%																								
	21.7	21.3	27.1	44.7																								
②救急隊の初動時間	分	分	分	分																								
	6.7	6.1	6.7	6																								
<b>施策の課題</b>	①病院外心停止を減少させるため、救急隊員の質の向上と一般市民による適切な応急手当の普及啓発が必要です。②多種多様化する救急・救助事故に対応するため、若手職員の育成が急務となっています。																											
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ①長崎県メディカルコントロール協議会との連携のもと、気管挿管認定救急救命士の再教育や救急救命士の病院実習を強化します。②局内に消防職員技能管理委員会を発足させ、個人評価表による相対的評価を行い、救助隊員のレベルアップに努めます。																											
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center;">大 ↑ 中 ↑ 小</td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">03 04</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: right;">01 救急救助業務高度化推進事業 02 救急装備等管理事業 03 広域救急救助業務高度化推進事業 04 広域救急装備等管理事業</p>			大 ↑ 中 ↑ 小			03 04			低い	普通	高い			→ 優先度													
大 ↑ 中 ↑ 小			03 04																									
	低い	普通	高い																									
	→ 優先度																											



# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
火災予防体制の整備											
	予防査察指導事業	予防課				2	3	2	3	有効性に課題あり	改善
	住宅防火推進事業	予防課				1	2	2	3	効率性に課題あり	改善
	防火組織の育成指導及び活動支援事業	予防課	1	2	2	1	1	3	2	有効性に課題あり	改善
	危険物施設保安体制指導事業	予防課				2	2	2	3	有効性に課題あり	改善
	広域予防査察指導事業	予防課				3	3	2	3	有効性に課題あり	改善
	広域住宅防火推進事業	予防課				3	2	2	3	有効性に課題あり	改善
	広域防火組織の育成指導及び活動支援事業	予防課	1	2	2	1	1	3	3	有効性に課題あり	改善
	広域危険物施設保安体制指導事業	予防課				1	1	2	3	有効性に課題あり	改善
消防体制の整備											
	消防行政一般管理事業	消防局総務課	1	2	2	2	2	2	3	有効性に課題あり	改善
	消防庁舎整備管理事業	消防局総務課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	改善
	通信指令システム整備管理事業	指令課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	消防車両等管理事業	警防課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	消防水利管理事業	警防課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	消防団一般管理事業	消防局総務課	1	2	2	2	1	2	2	有効性に課題あり	改善
	消防団組織活性化事業	消防局総務課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
	消防団施設管理事業	消防局総務課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	消防団車両等管理事業	警防課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	改善
	広域消防行政一般管理事業	消防局総務課	1	2	2	2	2	3	3	有効性に課題あり	改善
	広域消防庁舎整備管理事業	消防局総務課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	改善
	広域通信指令システム整備管理事業	指令課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	広域消防車両等管理事業	警防課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
救急救助体制の整備											
	救急救助業務高度化推進事業	警防課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	救急装備等管理事業	警防課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	広域救急救助業務高度化推進事業	警防課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	広域救急装備等管理事業	警防課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：地域安全を支える環境づくり

部局名：市民生活部

対象	市民、事業者、関係機関、地域			
目的	身近な地域における犯罪被害の発生の防止に寄与することがねらいです。			
内容	<p>●平成19年9月に制定した佐世保市犯罪のない安全・安心まちづくり条例に基づく推進協議会（第Ⅱ期）を開催し、協議会から受けた答申書をもとに、具体的な防犯施策の検討を行いました。●また、町内会等自治組織が管理している防犯灯の電灯料補助や各警察署管内にある防犯協会への補助など、防犯活動への支援を行いました。●瀬戸越町の暴力団事務所撤去活動に対し支援を行うとともに、警察署や暴力追放運動推進協議会や防犯関係団体と連携しながら暴力団事務所撤去パレードや募金活動を実施するなど、暴力追放運動を強力に推し進めました。</p>			
トータルコスト	77,308 千円	うち 事業費	60,161 千円	うち 人件費 17,147 千円
22年度の成果	<p>犯罪認知件数は、前年より幾分増加しましたが、目標値2,096件に対し1,976件で目標を達成しました。しかしながら身近な地域の治安に対する市民満足度については、目標値69%に対し66%と達成できませんでしたが、前年度の実績を維持しています。</p>			
成果指標	①	指標名	21年度実績値	22年度目標値
		犯罪認知件数	21年度実績値 件 1,846	22年度目標値 件 2,096
	②	指標名	21年度実績値	22年度目標値
		身近な地域の治安に対する市民満足度	21年度実績値 % 66	22年度目標値 % 69
		指標式	22年度実績値	24年度目標値
		身近な地域において、治安が良いと思う市民の割合（夜間の歩行の安全など）	22年度実績値 % 66	24年度目標値 % 70
政策の課題	<p>●身近な地域の治安に対する市民満足度は前年の実績を維持しているものの、目標値には到達していないことから、市民の危機意識の低さが考えられるため、自主防犯活動の支援及び市民への意識啓発の手段に課題があると考えます。</p>			
今後の方向性	<p>【現状維持】 ●防犯意識の高揚、自主防犯活動の高まりに対応するため、自主防犯活動の支援及び市民への意識啓発推進など防犯施策の実施を図っていきます。●暴力団事務所撤去問題を含めた防犯施策について、行政内における情報共有、連携、及び警察をはじめとする各関係団体とのさらなる連携、働きかけを行うとともに積極的に支援を行っていきます。●防犯問題の関心が高まっていることから、防犯灯設置基数の増加が予想されるため、それに伴い防犯灯電灯料経費の対策が必要となってきます。</p>			

# 施策概要書

施策名	防犯活動への支援	課名	交通安全・防犯推進室																		
目的	犯罪を未然に防ぐために、市民一人一人が防犯に対する意識を高め、市民が防犯に対し関心を持ち、防犯対策に自ら進んで取り組んでいくように働きかけます。																				
22年度の成果	戸締りの徹底や近所どうしの声かけなど犯罪に遭わないように気をつけている市民の割合は、目標を達成できずに減少しました。																				
成果指標	① 犯罪に遭わないように気をつけている市民の割合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>96</td> <td>96</td> <td>96</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td>87</td> <td>93</td> <td>86.1</td> <td>95</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	96	96	96	96	87	93	86.1	95							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
96	96	96	96																		
87	93	86.1	95																		
	②	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値															
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
施策の問題	自主防犯活動が広がりを見せている中で犯罪に遭わないように気をつけている市民の割合が上昇しなかった。分析結果として、危機意識の低さから上昇しなかったものと考えられるため、自主防犯活動の支援及び市民への意識啓発の手段に課題があると考えます。																				
今後の方向性	【現状維持】 ●犯罪に遭わないように気をつけている市民の割合の上昇を図るため、自主防犯活動の支援及び市民への意識啓発を進めていきます。●また、行政内における情報共有、連携、及び警察をはじめとする各関係団体とのさらなる連携、働きかけを行っていきます。●暴力団事務所撤去問題に対しても、警察などの関係機関との連携を図り、住民運動に対して支援を行っていきます。																				
事業事業のマトリックス	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: middle;">大</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">01</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">01 地域安全活動支援事業</td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="vertical-align: middle;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table>			大			01	01 地域安全活動支援事業	中				小					低い	普通	高い	優先度
大			01	01 地域安全活動支援事業																	
中																					
小																					
	低い	普通	高い	優先度																	

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
防犯活動への支援										
地域安全活動支援事業	交通安全・防犯 推進室	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当 たらない	維持
地域安全を支える環境づくりを実現するための包括的な施策										
更生保護事業	交通安全・防犯 推進室	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当 たらない	維持

# 政策概要書

政策名 :交通安全を支えるまちづくり

部局名 :市民生活部

対象	●市民全般に対してであるが、特に幼児、高齢者など交通弱者やドライバーを重点に働きかけています。					
目的	●市民一人ひとりが、交通安全に関する正しい知識と交通道徳を身につけることにより、交通事故防止を図ります。●交通安全施設の設置を行い、道路環境を整備することで交通事故の減少をめざします。●車の増加により安全な環境(道路)づくりをすることで、生活しやすいまちづくりをめざします。					
内容	●各季の交通安全運動期間中、街頭でのキャンペーン(飲酒運転根絶やシートベルト着用の徹底など)を行ったり、広報車での広報活動、街頭での交通安全指導を行いました。●高齢者事故対策として、市内6自動車学校で運転者対象とした体験型の交通安全教室を実施するとともに、地区の公民館にて歩行者を対象とした交通安全教室を市民協働で開催しました。●交通安全母の会・交通少年団による交通安全にかかるとる啓発活動を行いました。●幼児教育については、幼児交通指導員が市内の各幼稚園・保育園に出向き交通安全のため教育指導を行いました。●安全施設の面では、カーブミラーやガードレールの設置を行ったり、公安委員会が管轄する横断歩道や信号機の設置については警察へ進達を行っています。					
トータルコスト	137,974千円	うち 事業費	101,884千円	うち 人件費	36,090千円	
22年度の成果	①交通事故発生件数については、平成21年が1,456件から平成22年1,451件と減少しました。 $[1,526 - (1,451 - 1,526)] / 1,526 \times 100 = 104.9\%$ ②市民満足度は、目標値が38.7%であったのに対して、22年度が32.9%となりました。 $32.9\% / 38.7\% \times 100 = 85.0\%$					
成果指標	①	指標名 交通事故発生件数	21年度実績値 件 1,456	22年度目標値 件 1,526	22年度実績値 件 1,451	24年度目標値 件 1,500
		指標式	交通事故発生件数を過去5年間の平均の5%減1500件以下とする。			
	②	指標名 交通安全の取組みに対する市民満足度	21年度実績値 % 36.1	22年度目標値 % 38.7	22年度実績値 % 32.9	24年度目標値 % 40
		指標式	交通安全の取組全般に対する市民の満足度を「市民意識アンケート調査」で計ります。			
政策の課題	●高齢者の交通事故件数、死者数、負傷者数とも昨年に比べ減少しましたが、事故全体に占める割合は依然として高く、引き続き高齢者の事故対策が必要です。●「交通少年団」などの交通安全組織の活動支援を行っていますが、少子高齢化による会員不足が懸念されています。●歩道やカーブミラー等の交通安全施設、事故の危険性が高い箇所について、地域の実情やニーズに応じて、整備していく必要があります。●危険な踏切における交通の円滑化を図るため、狭い踏切の改良・歩道の設置を計画的に整備する必要があります。					
今後の方向性	【現状維持】 ●高齢者の交通事故を減少させるために高齢者の運転者・歩行者各々を対象とした交通安全教室を実施するとともに、市民全般に対しても交通安全の意識高揚を図っていき、市民満足度の向上に努めます。●交通安全組織については組織の維持と拡大を図るよう支援策を講じていきます。●警察や交通安全協会といった組織や団体との連携のうえ、交通安全の意識高揚を図ります。●地域からの要望に応じたカーブミラーなどの交通安全施設の適切な設置や警察等への進達を行い、安全で安心して暮らせる環境づくりに努めます。●踏切の安全対策を早急に行う必要があることから、順次、踏切の改良工事に着手します。					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	交通安全啓発・教育の推進	<b>課名</b>	交通安全・防犯推進室																					
<b>目的</b>	交通安全に対する市民意識の高揚や飲酒運転・暴走運転の根絶など交通ルールや交通マナーを守る意識を浸透させて、市民が交通事故を起こさないよう、また、交通事故の被害に遭わないようにすることをねらいとしています。																							
<b>22年度の成果</b>	①市民意識アンケートでは、目標値97.6%に対し、実績値は97.1%となっています。97.1%/97.6%×100=99.5% ②高齢者の事故件数が目標値286件に対し、平成22年度は348件となりました。[(286-348)/286×100]=78.3%の達成度																							
<b>成果指標</b>	①交通ルール・マナーの理解・実践度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">95.7</td> <td style="text-align: center;">97.6</td> <td style="text-align: center;">97.1</td> <td style="text-align: center;">98</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	95.7	97.6	97.1	98										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
%	%	%	%																					
95.7	97.6	97.1	98																					
	②高齢者の交通事故発生件数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">369</td> <td style="text-align: center;">286</td> <td style="text-align: center;">348</td> <td style="text-align: center;">280</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	件	件	件	件	369	286	348	280										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
件	件	件	件																					
369	286	348	280																					
<b>施策の課題</b>	●交通ルールやマナーを理解・実践している人の割合が前年度より上昇しているものの目標値には達していないことから、引き続き交通安全意識啓発を推進します。●また、高齢者の事故が増えている背景には、高齢者の免許保有率が増加し、高齢者の認知判断と運転技術が加齢と共に衰えていることを自覚していない人がいることに要因があると推察され、更なる安全意識高揚が必要と思われます。																							
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●交通安全意識向上を図るため、交通安全運動期間中の巡回広報や各種キャンペーンを継続するとともに、警察や交通安全協会などの組織との連携を深め、粘り強く取り組みます。●高齢者対策では、運転者及び歩行者各々の交通安全教室を開催し、加齢による運転技術の減退を意識することや交通法規を再認識させることで交通事故の加害者・被害者とならないよう交通安全教育を実施していきます。																							
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">02</td> <td style="width: 20%; text-align: center;">01 03</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 交通安全運動推進事業                  02 交通安全組織育成事業                  03 交通安全教育事業             </td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小		02	01 03	01 交通安全運動推進事業 02 交通安全組織育成事業 03 交通安全教育事業									低い	普通	高い			優先度 →		
上位への貢献度 大 中 小		02	01 03		01 交通安全運動推進事業 02 交通安全組織育成事業 03 交通安全教育事業																			
		低い	普通	高い																				
		優先度 →																						

  

<b>施策名</b>	交通安全のための施設整備	<b>課名</b>	道路維持課																					
<b>目的</b>	地域の住民や通行車両が安全に通行できる環境づくりを整備し、安心して暮らせるようにすることです。																							
<b>22年度の成果</b>	平成22年度のあんしん歩行エリア内における事故発生件数55件。目標値69件を下回り、目標を達成しました。[(69-55)/69×100]=120.3%																							
<b>成果指標</b>	①「あんしん歩行エリア」における事故発生件数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">67</td> <td style="text-align: center;">69</td> <td style="text-align: center;">55</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	件	件	件	件	67	69	55	66										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
件	件	件	件																					
67	69	55	66																					
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	件	件	件	件														
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
件	件	件	件																					
<b>施策の課題</b>	交通安全施設整備や交差点・危険踏切に対する市民のニーズは高く、限られた予算の中での効率的な整備が必要です。また、交通安全施設構造物等のストックも年々増加傾向にあり、これらの維持管理に要する費用についても心配されます。																							
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 交通事故を未然に防ぐため緊急性の高い箇所を優先的に整備を図ります。また、交通安全施設構造物等の維持管理の充実を図り、計画的かつ効率的な維持管理を推進します。																							
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 交通安全施設等整備事業                  02 あんしん歩行エリア整備事業                  03 踏切重点整備事業             </td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小				01 交通安全施設等整備事業 02 あんしん歩行エリア整備事業 03 踏切重点整備事業									低い	普通	高い			優先度 →		
上位への貢献度 大 中 小					01 交通安全施設等整備事業 02 あんしん歩行エリア整備事業 03 踏切重点整備事業																			
		低い	普通	高い																				
		優先度 →																						

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
交通安全啓発・教育の推進										
交通安全運動推進事業	交通安全・防犯推進室	1	2	2	3	3	2	3	特に課題は見当たらない	維持
交通安全組織育成事業	交通安全・防犯推進室	1	2	2	1	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
交通安全教育事業	交通安全・防犯推進室	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
交通安全のための施設整備										
交通安全施設等整備事業	道路維持課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
あんしん歩行エリア整備事業	道路維持課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
踏切重点整備事業	道路維持課		2	2			1	1	効率性に課題あり	改善
交通安全を支えるまちづくりを実現するための包括的な施策										
交通安全対策一般管理事業	交通安全・防犯推進室	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名 : 安全な消費生活のための環境づくり

部局名 : 市民生活部

対象	●市民●消費者団体●事業者					
目的	●消費者被害を未然に防止します。●被害から救済します。●適正な計量を実施します。					
内容	●消費生活相談事業では、相談員3名を配置して、消費生活に関する苦情・相談を受け付け関係機関と連携を図り適切な助言やあっせんを行っています。●消費生活意識啓発事業では、消費者大学講座や出前講座の開催などで適切な情報の提供を行う他、消費者団体の支援を行っています。●計量行政推進事業では、適正な計量の実施を確保するため、計量器の定期検査や商品内容量立入検査などを行っています。					
トータルコスト	52,848 千円	うち 事業費	20,187 千円	うち 人件費	32,661 千円	
22年度の成果	消費生活相談の処理率は、目標達成には至らなかったものの、満足できる成果をあげたものと考えます。					
成果指標	①	指標名 消費生活に関する相談処理率	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
			99.6	100	99	100
		指標式	(他機関紹介+助言+斡旋解決+情報提供) ÷ (相談受付件数-処理不要-処理不能)			
成果指標	②	指標名 計量立入検査合格率	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
			99.2	100	99.6	100
		指標式	立入検査合格件数 ÷ 立入検査総件数 × 100			
政策の課題	●巧妙化・悪質化する消費者トラブルに巻き込まれないよう、発生事例や対応方法等に関する情報発信が必要です。●消費者被害にあった際、適切な対応ができるよう、相談窓口の充実が更に求められています。					
今後の方向性	【現状維持】 ●消費者相談事案は、複雑、巧妙化しているため、相談員を各種研修会に派遣し質的向上を図るとともに、関係機関等との連携を強化するよう努めています。また、消費者被害防止ネットワークやメールマガジンなどを活用して被害情報の迅速的確な提供を図り、被害の拡大を未然に防止し、事後相談件数を抑制します。●難易度が高く専門的な知識が必要な計量器定期検査業務については指定定期検査機関に委託することを検討しています。●消費者庁設置に関連して、地方消費生活センターを一元的な消費者相談窓口と位置付けるなど消費生活センターの強化充実についても提言されており、今後の国の動向に注視していきます。					



# 施策概要書

<b>施策名</b>	消費生活に関する意識啓発・相談窓口の充実	<b>課名</b>	市民生活課																		
<b>目的</b>	消費者が自主性をもって、健全な消費生活を営むことができるようになることです。																				
<b>22年度の成果</b>	21年度と比べて、輪旋不調件数は増加し、目標達成までは至りませんでした。しかし消費者行政活性化交付金を利用して、市民の消費に対する問題意識を向上できました。																				
<b>成果指標</b>	①消費生活に関する相談処理率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">99.6</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">99</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	99.6	100	99	100							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
99.6	100	99	100																		
	②消費生活に関する理解度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">91.7</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">96.4</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	91.7	100	96.4	100							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
91.7	100	96.4	100																		
<b>施策の課題</b>	消費者被害を迅速かつ適切に救済するために相談員の資質向上を図ります。また消費者被害を未然に防止するため、より一層の消費者啓発を推進する必要がありますが、全市民に消費生活センターの存在が知られていません。所在がわかりにくく、普段市民の目につくことがありません。																				
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 消費者を取り巻く環境は、規制緩和、情報化社会、高齢化などにより大きく変化しており、相談内容も若年層から高齢者まで益々複雑化多様化しています。よって、職員、相談員の研修会参加等により相談窓口の充実に努めるとともに、出前講座の働きかけ、関係機関の連携により、的確な情報を広く提供し、消費生活センターの所在、業務内容を周知させることにより、消費者支援の取組みを進めます。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">01</td> </tr> <tr> <td></td> <td>02 03</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">01 消費生活相談事業 02 消費者意識啓発事業 03 消費生活センター管理運営事業</p>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01		02 03						低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01																		
		02 03																			
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

<b>施策名</b>	適正な計量の推進	<b>課名</b>	市民生活課																		
<b>目的</b>	適正な計量器の使用を確保すること。適正な計量で商品やサービスが提供されることです。																				
<b>22年度の成果</b>	不合格の機器もあつたが、全体の合格率は99.6%で、目標をほぼ達成できました。																				
<b>成果指標</b>	①計量立入検査合格率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">99.2</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">99.6</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	99.2	100	99.6	100							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
99.2	100	99.6	100																		
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
<b>施策の課題</b>	計量器定期検査未受検の防止及び商品内容量立入検査や各種計量器立入検査を徹底し、適正な計量による市民環境を確保し続けなければいけません。そのため業務に専門的な知識、技術が必要であり、対応できる機関育成がマニュアル作成が必要です。																				
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 本市の定期検査業務を外注できる体制を模索していきます。検査業務の委託内容については、センター内の事務分掌を含めての検討を行います。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">01</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">01 計量行政推進事業</p>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01								低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01																		
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
消費生活に関する意識啓発・相談窓口の充実										
消費生活相談事業	市民生活課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
消費者意識啓発事業	市民生活課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
消費生活センター管理運営事業	市民生活課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
適正な計量の推進										
計量行政推進事業	市民生活課				2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 政 策 概 要 書

政策名 : 健康を守る安全な生活環境づくり

部局名 : 保健福祉部

対 象	市民、事業者					
目 的	感染症や食中毒などの健康被害の発生を防止するとともに、快適な生活環境を支えます。					
内 容	<p>●インフルエンザ、3種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）、MR混合（麻疹・風疹）などの予防接種事業を実施し、感染症予防に努めました。また、任意接種である子宮頸がん・ヒブ・小児肺炎球菌のワクチン接種に対する公費負担を実施しました。●食品検査や食品関連事業所の指導を実施し食中毒などの健康被害の予防に努めました。●食品・食肉・生活環境の安全を確保するための各種試験・検査を行いました。●狂犬病予防のための登録と予防注射を行うとともに、動物の愛護と適性飼養のための啓発活動を行いました。</p>					
トータルコスト	1,366,179 千円	うち 事業費	789,889 千円	うち 人件費	576,290 千円	
22年度の成果	<p>●食品・環境衛生施設への監視指導を行ってきましたが、衛生基準の適合率は、目標に達しませんでした。●健康を守る環境衛生の取組みに対する市民満足度は、26%で前年比同じでしたが、目標に達しませんでした。</p>					
成果指標	①	指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
		衛生基準の適合率	%	%	%	%
			98	100	94	100
		指標式	基準適合件数÷試験検査実施件数			
②	指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	
	健康を守る環境衛生の取組みに対する市民満足度	%	%	%	%	
		26	40	25.7	50	
	指標式	環境衛生の取組みに満足であると回答した人／アンケート回答者				
政策の課題	<p>●食品や生活環境に関する情報提供、それらの監視指導・検査体制の充実が必要です。●予防接種の有効性など正しい知識の提供を行い、接種率の向上を図る必要があります。●新たな感染症や化学物質の検査に対応するため、検査体制の充実が必要です。●犬や猫などの動物に関する苦情や相談が増加しており、飼い主のモラル向上のための啓発が必要です。</p>					
今後の方向性	<p>【改善】 ●食品・生活環境における安全性確保のための体制充実を図るとともに、食品衛生対策に関する情報提供に努めます。●市民の感染症予防意識の醸成や情報提供を図り、予防接種率の向上に努めます。●新たな検査技術の習得に努めます。●狂犬病予防注射率の向上を図るとともに、動物の適正飼養について啓発を行います。</p>					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	食品衛生対策の推進	<b>課名</b>	生活衛生課																
<b>目的</b>	食品取扱業者や生産者による自主管理が徹底されるとともに、食品衛生に関する必要な情報が市民に迅速に周知され、食中毒を未然に防ぐ生活様式が確立されて、安全な食生活が守られることです。																		
<b>22年度の成果</b>	食中毒発生件数は、この数年、数件の発生を維持しており、事業効果が果たされていると考えています。平成21年度0件となった食中毒事件数が、平成22年度1件発生しました。成果指標である食中毒患者数は達成できました。																		
<b>成果指標</b>	① 食中毒患者数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>0</td> <td>120</td> <td>55</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人	0	120	55	100	②				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
人	人	人	人																
0	120	55	100																
<b>施策の課題</b>	●食の安全・安心に関する正しい情報を迅速かつわかりやすく伝える必要があります。また安全な食品を提供するため食品検査および監視指導体制の充実が求められています。●迅速・的確な行政手腕の展開を図るべき、広域化した行政エリアの対応策を講ずることが必要です。																		
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●食品の安全のための体制の充実・・・食品製造所、販売店に対する収去検査の充実を図り、輸入加工食品の収去検査を実施します。検査結果に基づく指導強化を図ります。●食品衛生対策に関する情報提供・・・広報誌、ホームページなどによる市民向けの食中毒予防や食品のリスク等に関する情報発信、食に関する知識啓発事業としての市民・行政・食品関係事業者が一体化した体験事業の開催やサイエンスカフェ形式の意見交換会開催、自主的な食品衛生管理の徹底のため事業者向け講習会の受講率の向上と講習内容の充実を図ります。</p>																		
<b>事務事業のポジションング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">01 02 03</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 食品衛生監視指導事業                  02 食品営業許可調査指導事業                  03 食中毒起因菌等の対策事業                  04 食の安心・安全啓発事業             </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小			01 02 03	01 食品衛生監視指導事業 02 食品営業許可調査指導事業 03 食中毒起因菌等の対策事業 04 食の安心・安全啓発事業			04	低い	普通	高い	優先度 →				
上位への貢献度 大 中 小			01 02 03		01 食品衛生監視指導事業 02 食品営業許可調査指導事業 03 食中毒起因菌等の対策事業 04 食の安心・安全啓発事業														
			04																
	低い	普通	高い																
優先度 →																			
<b>施策名</b>	衛生的な食肉の提供（食肉衛生検査の充実）	<b>課名</b>	食肉衛生検査所																
<b>目的</b>	●消費者が食肉製品の情報を得て、リスクを納得の上に食肉の消費ができるようになります。●食肉及び食鳥処理業者が高度の衛生知識を習得し、衛生的な処理製造をできるようになります。●生産者が高品質の家畜を生産し、衛生的に搬入できるようになります。●検査員が法規定の検査を確実に迅速にできるようになります。																		
<b>22年度の成果</b>	H. 20年度は「14個」、21年度は成果の目標値「10個未満」を達成し、22年度も維持できました。																		
<b>成果指標</b>	① 枝肉清浄度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>個未満</td> <td>個未満</td> <td>個未満</td> <td>個未満</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>10</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	個未満	個未満	個未満	個未満	1	10	3	10	②				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
個未満	個未満	個未満	個未満																
1	10	3	10																
<b>施策の課題</b>	●検査対象疾病として増強されたウイルス疾病等や食肉中の残留動物用医薬品検査に対する検査体制の確立です。●団塊の世代獣医師の退職に伴う技術伝承が課題です。																		
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●「と畜場法」等の強化により増加された検査対象疾病への検査力の向上習得を図ります。●ポジティブリスト制導入により強化された動物用医薬品検査の方法を構築していきます。●新興・再興人獣共通感染症対策として農林水産部局との情報共有整備及び危機管理体制を構築します。●と畜場、食鳥処理場の衛生力及び自主検査力を向上強化します。</p>																		
<b>事務事業のポジションング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">01 02 03</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 と畜検査事業                  02 食鳥検査事業                  03 残留抗菌性物質対策事業             </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="5" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小			01 02 03	01 と畜検査事業 02 食鳥検査事業 03 残留抗菌性物質対策事業				低い	普通	高い	優先度 →				
上位への貢献度 大 中 小			01 02 03		01 と畜検査事業 02 食鳥検査事業 03 残留抗菌性物質対策事業														
	低い	普通	高い																
優先度 →																			

# 施策概要書

<b>施策名</b>	環境衛生対策の推進	<b>課名</b>	生活衛生課																							
<b>目的</b>	理容・美容・クリーニング・興業所・公衆浴場・水道等市民を取り巻く環境を構成するいろいろな因子が安全安心であり、環境因子による健康危害がないことを目的とします。																									
<b>22年度の成果</b>	試験検査における衛生基準適合率は、成果指標目標値の100%に対し、成果の達成度は93.9%で、平成21年度に比べ4.1ポイント悪化しました。																									
<b>成果指標</b>	① 衛生基準の適合率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">98</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">93.9</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	98	100	93.9	100												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
%	%	%	%																							
98	100	93.9	100																							
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
<b>施策の課題</b>	●環境法令に関する水・空気・衣・住等に対して住民が危害を受けない環境因子を作り、安全で、衛生的な生活環境の確保、監視指導がひつようです。●シックハウスやアスベスト対策の強化や相談体制の充実が求められます。アスベスト対策については、安全で衛生的な生活環境を確保に努めておりますが、建物所有者等の理解を得ることが必要です。																									
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●安全で衛生的な生活環境づくりとして法規定基準の監視指導や検査を通じて有害物質に起因する健康被害を防止します。●アスベスト対策としては、相談体制及び協力体制を強化し、所有者との面談等を重ねて健康被害に対する対応を図ります。●斎場墓園の適切な運営を行います。																									
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 大 ↑ 中 ↓ 小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">02 07</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>03 04</td> <td>01 05 06 09</td> <td></td> </tr> <tr> <td>08</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>01 住まいの衛生啓発事業</li> <li>02 公衆浴場補助事業</li> <li>03 保健環境連合会活動事業費補助事業</li> <li>04 アスベスト対策事業</li> <li>05 東部芳世苑管理運営事業</li> <li>06 西部芳世苑管理運営事業</li> <li>07 市民墓園墓地管理事業</li> <li>08 松浦斎苑火葬料補助金</li> <li>09 やすらぎ苑管理運営事業</li> </ul>			大 ↑ 中 ↓ 小		02 07				03 04	01 05 06 09		08					低い	普通	高い			→ 優先度			
大 ↑ 中 ↓ 小		02 07																								
		03 04	01 05 06 09																							
	08																									
	低い	普通	高い																							
	→ 優先度																									

<b>施策名</b>	動物の愛護と適正な管理の推進	<b>課名</b>	生活衛生課																							
<b>目的</b>	●狂犬病予防のための登録と狂犬病予防注射が徹底されることにより狂犬病発生と蔓延の防止に資することです。●愛護意識のもと人と動物が良好な関係を形成することです。																									
<b>22年度の成果</b>	●登録頭数15,548頭に対する注射頭数は11,786頭、予防注射率は75.8%で70%を維持すれば狂犬病の蔓延は阻止できるため目標値(90%)は下回りましたが目的は達成できました。●処分頭数は10年間で半減することが目標であり、処分頭数は目標2,300頭以下に対し980頭で大幅に減数し、はじめて1,000頭以下に突入し、目標達成できました。																									
<b>成果指標</b>	① 狂犬病予防注射率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">75.5</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">75.8</td> <td style="text-align: center;">90</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	75.5	90	75.8	90												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
%	%	%	%																							
75.5	90	75.8	90																							
	② 犬猫処分頭数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">頭</td> <td style="text-align: center;">頭</td> <td style="text-align: center;">頭</td> <td style="text-align: center;">頭</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,485</td> <td style="text-align: center;">2,300</td> <td style="text-align: center;">980</td> <td style="text-align: center;">2,100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	頭	頭	頭	頭	1,485	2,300	980	2,100												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
頭	頭	頭	頭																							
1,485	2,300	980	2,100																							
<b>施策の課題</b>	●転出・死亡などの未報告による犬登録台帳と犬の実数の差があり、注射実施率に影響しています。●犬や猫の飼育に関する苦情や相談が年々増加しています。また動物愛護行政推進について要望がでています。●対人法令の「狂犬病予防法」と対動物法令の「動物の愛護及び管理に関する法律」の事業の仕分けが必要です。●人獣共通感染症発生時の整理が必要です。																									
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●動物管理の充実のため、広報誌やインターネット等を利用して狂犬病の脅威について広報し予防注射率の向上を図るとともに、犬猫の選好・去勢を推奨するなど適正な犬猫の飼い方について広く市民に発信します。犬登録台帳の見直し、確認を実施します。●動物愛護の意識啓発のため動物に関する知識と愛護精神の普及を図り、学校での動物飼育の推進、動物教室などで動物とのふれあいの機会を創出するとともに、情報発信拠点としての施設の整備の検討を行います。																									
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 大 ↑ 中 ↓ 小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>01 02</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>01 狂犬病予防対策事業</li> <li>02 動物の愛護・管理事業</li> </ul>			大 ↑ 中 ↓ 小							01 02							低い	普通	高い			→ 優先度			
大 ↑ 中 ↓ 小																										
			01 02																							
	低い	普通	高い																							
	→ 優先度																									

# 施策概要書

<b>施策名</b>	感染症の予防体制の充実	<b>課名</b>	健康づくり課																								
<b>目的</b>	市民が感染症の予防や対応に対する正しい知識や意識をもち予防行動ができるようになること、また、感染症が発生したときに、感染予防・拡大防止に対応できるようになることです。																										
<b>22年度の成果</b>	●感染症予防に対する認知度は、87.8%で目標達成度は97.6%でした。●子どものインフルエンザ予防接種率は、前年度を3ポイント上回る62.7%でしたが、目標値には7.3ポイントとどかず目標達成度は89.6%でした。																										
<b>成果指標</b>	① 感染症予防に対する認知度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">89.4</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">87.8</td> <td style="text-align: center;">90</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	89.4	90	87.8	90	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">59.7</td> <td style="text-align: center;">70</td> <td style="text-align: center;">62.7</td> <td style="text-align: center;">73</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	59.7	70	62.7	73
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																								
%	%	%	%																								
89.4	90	87.8	90																								
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																								
%	%	%	%																								
59.7	70	62.7	73																								
<b>施策の課題</b>	●感染症の発症予防と拡大防止に向けた取組の充実や市民に対する正しい知識の普及啓発を図るとともに、予防接種の有効性などについて広く市民へ情報提供を行い接種率の向上を図る必要があります。																										
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●新しい感染症への対応、市民の感染症に対する予防意識の醸成、平時の適時・適切な情報提供などを継続していきます。																										
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; text-align: center;">03</td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; text-align: center;">01 02</td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <div style="margin-left: 20px; font-size: small;">                 01 予防接種事業                  02 感染症対策事業                  03 結核対策事業             </div>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小		03			01 02					低い		普通	高い	→ 優先度									
上位への貢献度 ↑ 大 中 小		03																									
		01 02																									
低い		普通	高い																								
→ 優先度																											

<b>施策名</b>	試験検査の充実	<b>課名</b>	試験検査課																								
<b>目的</b>	生活環境や水、食品などの安全性に対する市民の不安に対応するために、迅速かつ的確な試験検査を行える体制を整えます。																										
<b>22年度の成果</b>	検査依頼に対して十分な対応ができ、信頼性の高い検査結果を100%提供することができました。検査対応率=実施項目数÷依頼項目数×100%、40,223÷40,223×100=100%																										
<b>成果指標</b>	① 検査対応率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	%	%	%	%	100	100	100	100	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																								
%	%	%	%																								
100	100	100	100																								
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																								
%	%	%	%																								
<b>施策の課題</b>	新たな感染症や増え続ける化学物質の検査に対応するため、機器の整備等検査体制の充実することが求められています。																										
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 食中毒や感染症等及び行政上の監視指導等に必要科学的根拠となる試験検査結果を迅速かつ適切に実施し提供します。また、新たな感染症や農産物残留農薬等のポジティブリスト制度等に対応するため、機器の整備や講習会への積極的な参加など、新たな検査技術の習得に努めます。																										
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px; text-align: center;">01</td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 30px; height: 30px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <div style="margin-left: 20px; font-size: small;">                 01 試験検査事業             </div>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小	01									低い		普通	高い	→ 優先度									
上位への貢献度 ↑ 大 中 小	01																										
低い		普通	高い																								
→ 優先度																											

# 事務事業 決算評価一覧

施策名		妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
事務事業名	課名	目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
食品衛生対策の推進										
食品衛生監視指導事業	生活衛生課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
食品営業許可調査指導事業	生活衛生課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
食中毒起因菌等の対策事業	生活衛生課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
食の安心・安全啓発事業	生活衛生課	1	2	2	2	2	3	3	有効性に課題あり	改善
衛生的な食肉の提供（食肉衛生検査の充実）										
と畜検査事業	食肉衛生検査所	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
食鳥検査事業	食肉衛生検査所	1	2	2	2	3	2	1	特に課題は見当たらない	維持
残留抗菌性物質対策事業	食肉衛生検査所	1	2	2	2	3	3	1	効率性に課題あり	改善
環境衛生対策の推進										
住まいの衛生啓発事業	生活衛生課	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持
公衆浴場補助事業	生活衛生課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
保健環境連合会活動事業費補助事業	生活衛生課	1	2	2	2	2	3	1	効率性に課題あり	改善
アスベスト対策事業	建築指導課	1	2	2	2	2	3	3	有効性に課題あり	維持
東部芳世苑管理運営事業	生活衛生課	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	改善
西部芳世苑管理運営事業	生活衛生課	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	改善
市民霊園墓地管理事業	生活衛生課	1	2	2	2	3	3	2	有効性に課題あり	改善
松浦斎苑火葬料補助金	生活衛生課	1	2	2	2	1	1		効率性に課題あり	維持
やすらぎ苑管理運営事業	生活衛生課	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	改善
動物の愛護と適正な管理の推進										
狂犬病予防対策事業	生活衛生課	1	2	2	2	2	2	3	有効性及び効率性に課題あり	改善
動物の愛護・管理事業	生活衛生課	1	2	2	3	2	3	2	有効性及び効率性に課題あり	改善
感染症の予防体制の充実										
予防接種事業	健康づくり課				2	3	3	1	有効性に課題あり	維持
感染症対策事業	健康づくり課				2	2	3	3	有効性に課題あり	維持
結核対策事業	健康づくり課				2	2	2	3	有効性に課題あり	維持
試験検査の充実										
試験検査事業	試験検査課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：子どもと子育てを支える環境づくり

部局名：子ども未来部

対象		子ども、保護者、関係者、地域社会、企業です。																																																
目的		●子どもを安心して産み、楽しく育てます。●地域や企業などの理解が得られ、社会全体で子育てを支援します。●子育てをしながら安心して働くことができます。●子どもが健やかに成長します。																																																
内容		●子育て支援への寄付の受け皿として、「子ども未来基金」を創設しました。●「子どもを安心して産むためのサポート事業」を開始し、乳幼児健診、妊婦健診のほか出産や後援の新たな手当を支給し、産後ケアにも取り組んでいます。●「子育て応援センター」を開設し、子育てに関する相談窓口を設置し、相談センターとして、子育て支援の一環として、放課後の居場所づくり等を実施しました。●「子育てと仕事の両立」では、保育所運営及び施設整備、認定こども園の設置、児童クラブ運営、増設を図りました。また、延長保育や休日保育、病児保育事業を実施しました。●次世代育成支援佐世保市行動計画（22年度～26年度）の進捗管理を行いました。																																																
トータルコスト		13,703,266 千円	うち 事業費	12,827,151 千円	うち 人件費	876,115 千円																																												
22年度の成果		子育て支援に対する市民満足度は、やや満足、非常に満足が32.0%で目標には、2ポイント足りませんでした。しかし、前年度と比較すると3.3ポイントと大きく上昇し、また、不満と答えた方も2.1ポイント減少しており、これは乳幼児福祉医療の現物給付など本市の子育て支援政策の成果が評価に繋がったものと考えます。乳幼児健診の受診率については、目標値の96%を1.4ポイント下り、目標値には至りませんでしたが、引き続き、受診率の向上を目指し事業を推進していきます。																																																
成果指標		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">子育て支援の取組みに対する市民満足度</th> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <th>%</th> <th>%</th> <th>%</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>①</td> <td></td> <td>28.7</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td colspan="6">指標式 子育て支援の取組全般に対する市民の満足度を「市民意識アンケート調査」で計ります。</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">指標名</th> <th rowspan="2">乳幼児健診の受診率</th> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <th>%</th> <th>%</th> <th>%</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td>95.9</td> <td>96</td> <td>94.6</td> <td>96</td> </tr> <tr> <td colspan="6">指標式 子育て支援の成果として、乳幼児健診の対象者のうち受診した割合で計ります。</td> </tr> </tbody> </table>					指標名	子育て支援の取組みに対する市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	①		28.7	34	32	36	指標式 子育て支援の取組全般に対する市民の満足度を「市民意識アンケート調査」で計ります。						指標名	乳幼児健診の受診率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	②		95.9	96	94.6	96	指標式 子育て支援の成果として、乳幼児健診の対象者のうち受診した割合で計ります。					
指標名	子育て支援の取組みに対する市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																																													
		%	%	%	%																																													
①		28.7	34	32	36																																													
指標式 子育て支援の取組全般に対する市民の満足度を「市民意識アンケート調査」で計ります。																																																		
指標名	乳幼児健診の受診率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																																													
		%	%	%	%																																													
②		95.9	96	94.6	96																																													
指標式 子育て支援の成果として、乳幼児健診の対象者のうち受診した割合で計ります。																																																		
政策の課題		●国において「子ども・子育て新システム」の基本制度案が示され、25年度の施行に向け現在、財源の一元化、幼保一体化など具体的な制度内容の検討が進められており、今後、子育て支援に対する市の役割も大きく変化する見込みです。そのため、スムーズに移行できるよう事前の研究や本市の子育てに対するニーズ調査の必要があります。●共働きや就労形態の多様化による多種多様なニーズに対応できるよう、保育環境の整備と改善が必要です。●母子の健康管理の充実を図るとともに、子どもに関する相談体制を強化するなど児童虐待の未然防止のための取り組みが必要です。																																																
今後の方向性		【現状維持】 ●子育てに関する国の制度設計が逐次変わる中で、制度内容を的確に捉え適時適切に対応します。●次世代育成支援佐世保市行動計画に基づき、計画的に事業を推進していきます。●保育所の建設や子ども遊び場づくりなど、子育て環境の整備に努めます。●母子の健康保持に取組むとともに、子ども子育て支援センターの充実を図り、児童虐待の防止や育児不安の解消に努めます。●関係団体と連携して子育て支援に取り組めるよう、ネットワークを強化します。●子ども発達センターの充実を図るため検討を進めます。●国の子育て支援制度が、現状に則した制度となるよう、国・県に対し引き続き働きかけていきます。●所有財産の適正管理に努めます。																																																



# 施策概要書

<b>施策名</b>	子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実	<b>課名</b>	子ども保健課																															
<b>目的</b>	安心して妊娠・出産が出来る体制を確保することや経済的支援を行うことで、安心して楽しい子育てができるための環境をつくります。																																	
<b>2・2年度の成果</b>	●成果指標である子ども発達センター受診率、乳児家庭全戸訪問実施率は各々目標には達しなかったものの、乳児家庭全戸訪問では、前年度（87.8%）より大きく上回り94.1%となり、乳幼児と母親の育児負担の軽減と不安の解消に貢献することができました。																																	
<b>成果指標</b>	① 特別支援予定児童の子ども発達センター受診率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">95.4</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">95.7</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	95.4	100	95.7	100																				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																															
%	%	%	%																															
95.4	100	95.7	100																															
	② 生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業実施率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">87.8</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">94.1</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	87.8	100	94.1	100																				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																															
%	%	%	%																															
87.8	100	94.1	100																															
<b>施策の課題</b>	●核家族化や地域関係の希薄化など生活様式の多様化による子育ての孤立、育児不安による虐待が懸念されます。●地域や医療機関との更なる連携を図り、虐待予防を推進する必要があります。●育児不安を解消するため、子ども発達センター・子ども子育て応援センター等の相談体制を強化する必要があります。●妊婦健診の公費負担の継続を国、県に求める必要があります。●子ども発達センターが抱える問題点を解消する必要があります。●利用者が減少している母子生活支援施設の今後についての検討を行う必要があります。																																	
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●乳幼児健診や乳児家庭全戸訪問事業、子ども子育て応援センター事業等の実施並びに関係団体等の連携を引き続き推進し、子育て負担の軽減と育児不安の解消に努め、懸念される虐待予防に努めます。●地域の民生児童委員等へ児童虐待予防に関するパンフレットを配布し啓発に努めます。●妊婦健診の公費負担の継続を国、県に要請します。●子ども発達センターが抱える問題解消や利便性の向上に向けた検討を行います。●母子生活支援施設の今後のあり方について検討します。																																	
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度                 </td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">10 12</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">01 02 03 04</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">05 06 08 09</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>07</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>11</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">                     低い ← 普通 → 高い 優先度                 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>01 子育て福祉行政一般管理事業</li> <li>02 福祉医療支給事業</li> <li>03 健康診査事業（子ども）</li> <li>04 歯科保健推進事業（子ども）</li> <li>05 育児相談指導事業</li> <li>06 思春期の子ども対策事業</li> <li>07 知的障害児通園施設運営事業（すぎのこ園）</li> <li>08 子ども発達センター事業</li> <li>09 子育て短期支援事業</li> <li>10 助産施設措置事業</li> <li>11 児童手当支給事業</li> <li>12 母子寡婦福祉支援事業</li> </ul>			大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度		10 12		01 02 03 04		05 06 08 09			07				11																	低い ← 普通 → 高い 優先度
大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度		10 12			01 02 03 04		05 06 08 09																											
		07					11																											
							低い ← 普通 → 高い 優先度																											

<b>施策名</b>	子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実	<b>課名</b>	子ども保健課																															
<b>目的</b>	安心して妊娠・出産が出来る体制を確保することや経済的支援を行うことで、安心して楽しい子育てができるための環境をつくります。																																	
<b>2・2年度の成果</b>	●成果指標である子ども発達センター受診率、乳児家庭全戸訪問実施率は各々目標には達しなかったものの、乳児家庭全戸訪問では、前年度（87.8%）より大きく上回り94.1%となり、乳幼児と母親の育児負担の軽減と不安の解消に貢献することができました。																																	
<b>成果指標</b>	① 特別支援予定児童の子ども発達センター受診率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">95.4</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">95.7</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	95.4	100	95.7	100																				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																															
%	%	%	%																															
95.4	100	95.7	100																															
	② 生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業実施率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">87.8</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">94.1</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	87.8	100	94.1	100																				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																															
%	%	%	%																															
87.8	100	94.1	100																															
<b>施策の課題</b>	●核家族化や地域関係の希薄化など生活様式の多様化による子育ての孤立、育児不安による虐待が懸念されます。●地域や医療機関との更なる連携を図り、虐待予防を推進する必要があります。●育児不安を解消するため、子ども発達センター・子ども子育て応援センター等の相談体制を強化する必要があります。●妊婦健診の公費負担の継続を国、県に求める必要があります。●子ども発達センターが抱える問題点を解消する必要があります。●利用者が減少している母子生活支援施設の今後についての検討を行う必要があります。																																	
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●乳幼児健診や乳児家庭全戸訪問事業、子ども子育て応援センター事業等の実施並びに関係団体等の連携を引き続き推進し、子育て負担の軽減と育児不安の解消に努め、懸念される虐待予防に努めます。●地域の民生児童委員等へ児童虐待予防に関するパンフレットを配布し啓発に努めます。●妊婦健診の公費負担の継続を国、県に要請します。●子ども発達センターが抱える問題解消や利便性の向上に向けた検討を行います。●母子生活支援施設の今後のあり方について検討します。																																	
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度                 </td> <td style="width: 10%;">13</td> <td style="width: 10%;">14</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">15 16 18 19</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;">20 21 22 23</td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>17</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>24</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">                     低い ← 普通 → 高い 優先度                 </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>13 父子手当事業</li> <li>14 母子父子家庭祝金事業</li> <li>15 児童扶養手当支給事業</li> <li>16 母子生活支援施設事業</li> <li>17 児童養護施設運営事業（天心寮）</li> <li>18 DVからの緊急避難事業</li> <li>19 養育医療事業</li> <li>20 母子保健医療サービス事業</li> <li>21 子ども子育て応援センター事業</li> <li>22 少子化対策事業</li> <li>23 離島地域安心出産支援事業</li> <li>24 子ども手当支給事業</li> </ul>			大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度	13	14		15 16 18 19		20 21 22 23			17				24																	低い ← 普通 → 高い 優先度
大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度	13	14			15 16 18 19		20 21 22 23																											
		17					24																											
							低い ← 普通 → 高い 優先度																											

# 施策概要書

<b>施策名</b>	子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実	<b>課名</b>	子ども保健課																												
<b>目的</b>	安心して妊娠・出産が出来る体制を確保することや経済的支援を行うことで、安心して楽しい子育てができるための環境をつくります。																														
<b>2・2年度の成果</b>	●成果指標である子ども発達センター受診率、乳児家庭全戸訪問実施率は各々目標には達しなかったものの、乳児家庭全戸訪問では、前年度（87.8%）より大きく上回り94.1%となり、乳幼児と母親の育児負担の軽減と不安の解消に貢献することができました。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">① 特別支援予定児童の子ども発達センター受診率</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">95.4</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">95.7</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業実施率</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">87.8</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">94.1</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>			① 特別支援予定児童の子ども発達センター受診率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%		95.4	100	95.7	100	② 生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業実施率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%		87.8	100	94.1	100
① 特別支援予定児童の子ども発達センター受診率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		26年度目標値																										
	%	%	%	%																											
	95.4	100	95.7	100																											
② 生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業実施率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	87.8	100	94.1	100																											
<b>施策の課題</b>	●核家族化や地域関係の希薄化など生活様式の多様化による子育ての孤立、育児不安による虐待が懸念されます。●地域や医療機関との更なる連携を図り、虐待予防を推進する必要があります。●育児不安を解消するため、子ども発達センター・子ども子育て応援センター等の相談体制を強化する必要があります。●妊婦健診の公費負担の継続を国、県に求める必要があります。●子ども発達センターが抱える問題点を解消する必要があります。●利用者が減少している母子生活支援施設の今後についての検討を行う必要があります。																														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●乳幼児健診や乳児家庭全戸訪問事業、子ども子育て応援センター事業等の実施並びに関係団体等の連携を引き続き推進し、子育て負担の軽減と育児不安の解消に努め、懸念される虐待予防に努めます。●地域の民生児童委員等へ児童虐待予防に関するパンフレットを配布し啓発に努めます。●妊婦健診の公費負担の継続を国、県に要請します。●子ども発達センターが抱える問題解消や利便性の向上に向けた検討を行います。●母子生活支援施設の今後のあり方について検討します。																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 30%;"></td> <td style="width: 30%; text-align: center;">25</td> <td rowspan="3" style="width: 30%; vertical-align: middle;">25 公共施設子育てバリアフリー推進事業</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			大		25	25 公共施設子育てバリアフリー推進事業	中			小				低い	普通	高い		優先度 →												
大		25	25 公共施設子育てバリアフリー推進事業																												
中																															
小																															
	低い	普通	高い																												
	優先度 →																														

<b>施策名</b>	地域での子どもと子育ての支援	<b>課名</b>	子ども育成課																												
<b>目的</b>	地域で子どもと子育てを支えあう環境ができることによって、子育ての不安や負担を軽減することができます。このことによって、子どもたちの健やかな発達が保障されます。																														
<b>2・2年度の成果</b>	●地域子育て支援センターの利用人数は、前年度影響があった新型インフルエンザの流行もなく、出前保育や育児講座等の積極的な実施で目標を大きく上回り、育児不安の解消など子育て支援の役割を果たすことができました。●ファミリーサポートセンターの登録数は目標に届きませんでしたが、引き続き増加しました。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">① 地域子育て支援センター利用延人数</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">25,914</td> <td style="text-align: center;">31,600</td> <td style="text-align: center;">37,622</td> <td style="text-align: center;">34,000</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② ファミリーサポートセンター登録数</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">951</td> <td style="text-align: center;">1,000</td> <td style="text-align: center;">955</td> <td style="text-align: center;">1,300</td> </tr> </table>			① 地域子育て支援センター利用延人数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	人	人	人	人		25,914	31,600	37,622	34,000	② ファミリーサポートセンター登録数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	人	人	人	人		951	1,000	955	1,300
① 地域子育て支援センター利用延人数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		26年度目標値																										
	人	人	人	人																											
	25,914	31,600	37,622	34,000																											
② ファミリーサポートセンター登録数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																											
	人	人	人	人																											
	951	1,000	955	1,300																											
<b>施策の課題</b>	●人間関係の希薄化や核家族化の進行により、子育て家庭の負担や不安が増大するとともに、ライフスタイルの多様化に伴い、様々な子育て支援が求められており、一時預かりや延長、夜間、休日保育等多岐にわたる事業展開が必要です。●在宅親子への子育て支援の重要性が増していることから、子育て支援センターを地域の拠点として支援を行っていますが、支援事業への参加、交流をしない親子の育児不安や孤立化をなくすため、さらに地域（民生委員や主任児童委員）や子育て関係団体等との連携を深める必要があります。																														
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●地域における子育て支援の拠点として、地域子育て支援センターの拡充が必要ですが、支援事業を義務付けられた認定子ども園が増加していることから、その設置状況も見据えながら、支援センター利用の増加を図ります。●児童センターにおいても、週2回の午前中間館を継続して子育て支援事業を展開します。●育児の孤立化を防ぐために、子育て支援センターと地域の民生委員や主任児童委員との連携をさらに深めて、地域で子育てを支える環境づくりを推進します。																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">02</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">08</td> <td style="width: 30%; text-align: center;">03 04 05 06</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td style="text-align: center;">01 07</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 児童センター運営事業 02 母親クラブ活動費助成事業 03 子育て環境づくり推進事業 04 児童福祉週間事業 05 地域子育て支援センター事業 06 一時預かり事業 07 ファミリーサポートセンター事業 08 保育所地域活動事業</p>			大	02	08	03 04 05 06	中		01 07		小					低い	普通	高い		優先度 →										
大	02	08	03 04 05 06																												
中		01 07																													
小																															
	低い	普通	高い																												
	優先度 →																														

# 施策概要書

<b>施策名</b>	子育てと仕事の両立支援		<b>課名</b>	子ども支援課								
<b>目的</b>	●子育て中の保護者や子どもに対し、ニーズにあった保育サービスを提供することで、安心して仕事に専念できる環境を作ります。●保護者が就労中の児童に安全・安心な居場所を提供することで、児童の健全育成を図ります。											
<b>22年度の成果</b>	●保育所の待機児童数は、入所定員の見直しなどにより4月当初0人という目標を達成できました。●児童クラブの登録者数についても、22年度に4クラブを増設し目標を達成することができました。●その他の事業についても、概ね目標を達成できました。											
<b>成果指標</b>	①保育所持機児童数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値							
		人	人	人	人							
		0	0	0	0							
②児童クラブ登録者数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値								
	人	人	人	人								
	1,494	1,440	1,621	1,940								
<b>施策の課題</b>	●就学前児童の保育を担当する認可保育所では、老朽化した施設も多く、保護者が安心して子どもを預けられるよう施設の整備が必要です。●保護者の働き方に応じて、子どもを受け入れられるよう、延長保育の実施時間の延長、休日保育の実施園の拡大などのニーズへの対応が求められています。●小学生の児童を預かる児童クラブについては、未設置地区の解消が必要です。●これらの事業経費の一部となる保育料等について、適正で公平な負担をいただくため収納の確保に努めます。											
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●老朽化した保育所には、助成を行い計画的な改築を進めます。●保育所における延長保育・休日保育の充実を図るほか、保育所、認可外保育所等の乳幼児を預かる施設の環境整備に努めます。●児童クラブは、小学校区に1箇所を目標に必要な地区への整備を進めます。●柔軟なサービスの提供や経費の効率化のため民間に運営を委託している公立保育所の民間譲渡を進めます。●保育料について、口座振替の推進、訪問徴収や納付指導の実施により収納率向上に努めます。											
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度             </td> <td style="text-align: center;">03 04 09</td> <td style="text-align: center;">02 06 07 08</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">05</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度	03 04 09	02 06 07 08	05				01 東部子育て支援センター建設事業 02 保育料収納事務事業 03 民間保育所支援事業 04 認可外保育施設助成事業 05 へき地保育所運営事業 06 児童クラブ事業 07 私立保育所運営事業 08 公立保育所運営事業 09 保育環境改善事業 10 障がい児保育事業 11 延長保育サービス事業 12 保育所看護師等配置促進事業		
大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度	03 04 09	02 06 07 08										
	05											
	低い ← 普通 → 高い 優先度											

<b>施策名</b>	子育てと仕事の両立支援		<b>課名</b>	子ども支援課								
<b>目的</b>	●子育て中の保護者や子どもに対し、ニーズにあった保育サービスを提供することで、安心して仕事に専念できる環境を作ります。●保護者が就労中の児童に安全・安心な居場所を提供することで、児童の健全育成を図ります。											
<b>22年度の成果</b>	●保育所の待機児童数は、入所定員の見直しなどにより4月当初0人という目標を達成できました。●児童クラブの登録者数についても、22年度に4クラブを増設し目標を達成することができました。●その他の事業についても、概ね目標を達成できました。											
<b>成果指標</b>	①保育所持機児童数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値							
		人	人	人	人							
		0	0	0	0							
②児童クラブ登録者数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値								
	人	人	人	人								
	1,494	1,440	1,621	1,940								
<b>施策の課題</b>	●就学前児童の保育を担当する認可保育所では、老朽化した施設も多く、保護者が安心して子どもを預けられるよう施設の整備が必要です。●保護者の働き方に応じて、子どもを受け入れられるよう、延長保育の実施時間の延長、休日保育の実施園の拡大などのニーズへの対応が求められています。●小学生の児童を預かる児童クラブについては、未設置地区の解消が必要です。●これらの事業経費の一部となる保育料等について、適正で公平な負担をいただくため収納の確保に努めます。											
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●老朽化した保育所には、助成を行い計画的な改築を進めます。●保育所における延長保育・休日保育の充実を図るほか、保育所、認可外保育所等の乳幼児を預かる施設の環境整備に努めます。●児童クラブは、小学校区に1箇所を目標に必要な地区への整備を進めます。●柔軟なサービスの提供や経費の効率化のため民間に運営を委託している公立保育所の民間譲渡を進めます。●保育料について、口座振替の推進、訪問徴収や納付指導の実施により収納率向上に努めます。											
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度             </td> <td></td> <td style="text-align: center;">13 14</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> </table>		大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度		13 14					13 病児保育事業 14 認定こども園運営事業		
大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度		13 14										
	低い ← 普通 → 高い 優先度											

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
子どもを安心して産み育てることのできる環境の充実											
	子育て福祉行政一般管理事業	子ども政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	福祉医療支給事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
	健康診査事業（子ども）	子ども保健課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	歯科保健推進事業（子ども）	子ども保健課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	育児相談指導事業	子ども保健課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	思春期の子ども対策事業	子ども保健課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	知的障害児通園施設運営事業（すきごこ園）	子ども育成課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	子ども発達センター事業	子ども保健課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	改善
	子育て短期支援事業	子ども子育て応援センター	1	2	2	2	3	1	2	特に課題は見当たらない	維持
	助産施設措置事業	子ども子育て応援センター	1	2	2	2	3	3	1	特に課題は見当たらない	維持
	児童手当支給事業	子ども支援課				2	3	2		特に課題は見当たらない	維持
	母子寡婦福祉支援事業	子ども政策課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	父子手当事業	子ども政策課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	終了
	母子父子家庭祝金事業	子ども政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	改善
	児童扶養手当支給事業	子ども支援課				2	3	2		特に課題は見当たらない	維持
	母子生活支援施設事業	子ども子育て応援センター	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	児童養護施設運営事業（天心寮）	子ども育成課	1	2	2	2	2	1	3	特に課題は見当たらない	維持
	DVからの緊急避難事業	子ども子育て応援センター	1	2	2	3	3	3	1	特に課題は見当たらない	維持
	養育医療事業	子ども保健課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	母子保健医療サービス事業	子ども保健課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	子ども子育て応援センター事業	子ども子育て応援センター	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	少子化対策事業	子ども政策課	1	2	2	2	3	2	3	特に課題は見当たらない	改善
	離島地域安心出産支援事業	子ども保健課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	子ども手当支給事業	子ども支援課				2	3	2		特に課題は見当たらない	維持
	公共施設子育てバリアフリー推進事業	子ども政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	休廃止
地域での子どもと子育ての支援											
	児童センター運営事業	子ども育成課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	改善
	母親クラブ活動費助成事業	子ども支援課	1	2	2	1	3	3	1	有効性に課題あり	終了

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
地域での子どもと子育ての支援											
	子育て環境づくり推進事業	子ども育成課	1	2	2	2	3	3	1	効率性に課題あり	改善
	児童福祉週間事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	地域子育て支援センター事業	子ども支援課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	一時預かり事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	ファミリーサポートセンター事業	子ども育成課	1	2	2	2	2	3	1	効率性に課題あり	改善
	保育所地域活動事業	子ども支援課	1	2	2	1	3	2	3	特に課題は見当たらない	維持
子育てと仕事の両立支援											
	東部子育て支援センター建設事業	子ども育成課		2	2			3	3	特に課題は見当たらない	維持
	保育料収納事務事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	3	2	有効性に課題あり	改善
	民間保育所支援事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	認可外保育施設助成事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
	へき地保育所運営事業	子ども育成課	1	2	2	2	2	3	1	特に課題は見当たらない	維持
	児童クラブ事業	子ども育成課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	私立保育所運営事業	子ども支援課				2	3	3		特に課題は見当たらない	維持
	公立保育所運営事業	子ども育成課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	保育環境改善事業	子ども支援課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	障がい児保育事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	2	1	特に課題は見当たらない	維持
	延長保育サービス事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	保育所看護師等配置促進事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	2	1	特に課題は見当たらない	維持
	病児保育事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	認定こども園運営事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	3	1	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：学校教育の充実

部局名：教育委員会

対象	●児童生徒及びその保護者 ●小・中学校及び教職員等				
目的	確かな学力と豊かな心をもち、地域を担う優れた人材を育てるため、学校教育の充実を図ります。				
内容	<p>●幼児教育の機会均等のための経済的負担の軽減を図りました。●入学児童が円滑に義務教育に          われるよう、幼保小連携の推進を図りました。●6月を「いのちを見つめる強調月間」として、関          庭・学校・地域が一体となり子どもを見守り育む活動を展開しました。●市立小・中学校におい          特色ある学校づくりの実践活動及び市単独の少人数指導支援員・学校司書等の人的措置によ          力の充実の定着を図りました。●特別支援教育補助指導員を配置して、特別支援教育を推          ●国際理解教育や、体験活動を通じた環境教育等を行い、児童生徒の学力向上と豊かな心          を展開しました。●市の教育センターを主とする各種講座開催により、教育活動の充実と          質向上に取り組みました。●県配置のスクールカウンセラー及び市配置の心の教室相談員、並          係機関との連携により、児童生徒の心のケアに努めました。●中学校給食実施に向けた給食セ          の実施設計を終了し、実施に向け進んでいます。●「佐世保市立学校施設耐震化推進計画」を策定          平成22年度から本格的に耐震化工事を開始しました。●県立大学との包括連携協定を締結等、高          等・専門教育の充実を図りました。</p>				
トータルコスト	6,918,082 千円 うち 事業費	5,392,696 千円 うち 人件費	1,525,386 千円		
22年度の成果	●幼児教育においては、幼児教育センターが、幼保小連携の核として位置付けてきました。●学校 育では、成果目標には及びませんが、毎年少しずつではあるが評価は上がっています。●市 内全小・中学校における学校評価の平均値を成果指標としており、総合的な観点での改善が求めら れます。				
成果指標	① 指標名 学校教育に満足している児童・生徒、保護者、地域住民の 指標式 学校教育の充実の成果として、全小中学校で実施する学校評価（学校教育に対する満足度） で計ります。	21年度実績値 % 81.8	22年度目標値 % 86	22年度実績値 % 82.6	24年度目標値 % 90
政策の課題	●社会の変化に対応した質の高い幼児教育の提供とともに、幼保小連携のさらなる推進が必要です。 ●発達段階に応じた子どもを取り巻く環境の整備が求められています。●確かな学力と豊かな心を併 せ持つ児童生徒を育むため、家庭・学校・地域が連携しながら、特色ある教育を展開することが必要 です。●児童生徒が安心して学ぶことができるよう、学校施設の計画的な整備・充実が必要です。● 高等・専門教育機関は、地域を担う有能な人材の育成はもとより、県北地域の学術研究拠点として、 義務教育との連携をはじめ、機能強化が求められます。				
今後の方向性	【改善】 ●幼児教育センターを核とし、幼保小連携のさらなる推進を行い、就学前教育の充実を図ります。● これまでに引き続き、学校教育の質の向上を図るとし、各学校の創意工夫を生かした特色ある学 校づくり、学校司書の効果的な配置による学校図書館の充実を図ります。●教育センターを拠点と た教職員研修・研究の充実・強化などの取り組みを推進します。●「佐世保市立学校施設耐震化計画 」に基づき、学校施設の耐震化を行うことなどにより、安全な教育環境を整えます。●通学区審議 会の答申を受け、学校の適正規模化の研究を行います。（市立小・中学校の統廃合等）●高等・専 門教育機関と義務教育との連携のあり方を検討します。				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	幼児教育の充実	<b>課名</b>	子ども育成課																											
<b>目的</b>	幼児期における教育は、それに続く義務教育や生涯にわたっての人格形成・生きる力の基礎を培う大切な時期です。この時期に幼児が適切な教育・保育を受けられるようにすると共に、質の高い幼児教育・保育を提供できるようにすることを目的とします。																													
<b>22年度の成果</b>	幼児教育・保育に対する幼稚園教諭・保育士の理解度は1ポイント増加し、幼稚園の就園率は、0.6ポイント上昇し、達成できました。																													
<b>成果指標</b>	①幼稚園の就園率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td>95.2</td> <td>100</td> <td>95.8</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	95.2	100	95.8	100	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td>98</td> <td>100</td> <td>99</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	98	100	99	100											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																											
95.2	100	95.8	100																											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																											
98	100	99	100																											
<b>施策の課題</b>	●厳しい経済情勢の中にあって、保護者の経済的負担の軽減が一層求められています。●社会の変化に対応した質の高い幼児教育の提供とともに、小学校への「生活」と「学び」の滑らかな接続のために、幼保小連携のさらなる推進が必要となっています。●「子ども・子育て新システム」における幼・保一体化「子ども園（仮称）」への対応が必要です。																													
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●幼児教育の機会均等は今後も必要であり、就園のための経済的負担の軽減に努めます。●質の高い幼児教育の提供と保護者支援のため、幼児教育関係者及び保育者等の研修や、保護者への支援等の充実に努めるとともに、幼保小連携推進会議を中心として、幼保小連携のための接続カリキュラムの検討など、さらなる推進を行い、就学前教育の充実を図っていきます。●「子ども・子育て新システム」の情報収集を行ない適確な対応に努めます。																													
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="border: none;">↑</td> <td style="border: none;">大</td> <td style="border: none;">02 03 06</td> <td style="border: none;">01 05</td> <td rowspan="3" style="border: none;">                 01 幼稚園就園奨励費助成事業                  02 公立幼稚園管理運営事業                  03 公立幼稚園施設維持改修事業                  04 幼児ことばの教室運営事業                  05 幼児教育センター管理運営事業                  06 私立幼稚園助成事業             </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中</td> <td style="border: none;">中</td> <td style="border: none;">04</td> <td style="border: none;">04</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">↓</td> <td style="border: none;">小</td> <td style="border: none;">小</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;">←</td> <td style="border: none;">低い</td> <td style="border: none;">普通</td> <td style="border: none;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;">→</td> <td style="border: none;">優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小	↑	大	02 03 06	01 05	01 幼稚園就園奨励費助成事業 02 公立幼稚園管理運営事業 03 公立幼稚園施設維持改修事業 04 幼児ことばの教室運営事業 05 幼児教育センター管理運営事業 06 私立幼稚園助成事業	中	中	04	04	↓	小	小					←	低い	普通	高い					→	優先度
上位への貢献度 大 中 小	↑	大	02 03 06		01 05	01 幼稚園就園奨励費助成事業 02 公立幼稚園管理運営事業 03 公立幼稚園施設維持改修事業 04 幼児ことばの教室運営事業 05 幼児教育センター管理運営事業 06 私立幼稚園助成事業																								
	中	中	04		04																									
	↓	小	小																											
		←	低い	普通	高い																									
				→	優先度																									

<b>施策名</b>	確かな学力の向上（義務教育）	<b>課名</b>	学校教育課																											
<b>目的</b>	●児童生徒が習得した知識や技能を活用することにより、思考力や判断力、表現力を身に付けることができます。																													
<b>22年度の成果</b>	●達成度については、指標の【学校評価】において、一定成果が出ているものと考えます。●学校評価だけでは表せない学力の向上として、全国学力・学習状況調査においても、全国平均をわずかに上回る結果です。																													
<b>成果指標</b>	①学校の指導方針、特色ある教育活動に満足していると感	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>81.7</td> <td>85</td> <td>81.8</td> <td>90</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	81.7	85	81.8	90	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>79.9</td> <td>84</td> <td>81.1</td> <td>90</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	79.9	84	81.1	90											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																											
81.7	85	81.8	90																											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																											
79.9	84	81.1	90																											
<b>施策の課題</b>	●児童生徒の学力向上をめざし、特色ある学校づくりの推進や、職員の資質向上を図ることで。●全国的な課題として、習得した知識や技能を活用し、思考力や判断力、表現力を身につけさせなければなりません。●学習指導要領の改訂に基づいた、学校における教育課程の実現を図ることで。●特別な支援を要する子どもに対しても、個に応じた学力向上を図り、社会の中で生き抜いていく力をつける必要があります。																													
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●各学校の創意工夫を生かした、特色ある学校づくりを推進します。また、国際理解教育や、体験活動を通じた環境教育等を行い、児童生徒の学力の向上を図ります。●教育センターを拠点とした研究・研修事業の充実を図り、教職員の資質を向上させることにより、児童生徒の学力向上につなげます。●少人数指導により児童生徒一人一人に応じたきめ細かな学習を推進します。●障がいのある児童生徒への教育推進として、特別支援教育補助指導員を配置します。●学校図書館機能の充実を図るため、学校司書の充実と効果的な配置を推進します。																													
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="border: none;">↑</td> <td style="border: none;">大</td> <td style="border: none;">04 11</td> <td style="border: none;">10</td> <td rowspan="3" style="border: none;">                 01 小学校情報教育推進事業                  02 中学校情報教育推進事業                  03 特色ある学校づくり対策事業                  04 教職員資質向上事業                  05 基礎学力・学習意欲向上推進事業                  06 少人数指導支援事業                  07 国際理解・交流能力育成事業                  08 体験学習・環境教育充実事業                  09 教育センター事業                  10 障がい児教育推進事業                  11 病院内病弱児童支援事業                  12 特別支援教育相談事業             </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中</td> <td style="border: none;">中</td> <td style="border: none;">01 02 09</td> <td style="border: none;">03 05 06 07 08 12</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">↓</td> <td style="border: none;">小</td> <td style="border: none;">小</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;">←</td> <td style="border: none;">低い</td> <td style="border: none;">普通</td> <td style="border: none;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;">→</td> <td style="border: none;">優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小	↑	大	04 11	10	01 小学校情報教育推進事業 02 中学校情報教育推進事業 03 特色ある学校づくり対策事業 04 教職員資質向上事業 05 基礎学力・学習意欲向上推進事業 06 少人数指導支援事業 07 国際理解・交流能力育成事業 08 体験学習・環境教育充実事業 09 教育センター事業 10 障がい児教育推進事業 11 病院内病弱児童支援事業 12 特別支援教育相談事業	中	中	01 02 09	03 05 06 07 08 12	↓	小	小					←	低い	普通	高い					→	優先度
上位への貢献度 大 中 小	↑	大	04 11		10	01 小学校情報教育推進事業 02 中学校情報教育推進事業 03 特色ある学校づくり対策事業 04 教職員資質向上事業 05 基礎学力・学習意欲向上推進事業 06 少人数指導支援事業 07 国際理解・交流能力育成事業 08 体験学習・環境教育充実事業 09 教育センター事業 10 障がい児教育推進事業 11 病院内病弱児童支援事業 12 特別支援教育相談事業																								
	中	中	01 02 09		03 05 06 07 08 12																									
	↓	小	小																											
		←	低い	普通	高い																									
				→	優先度																									

# 施策概要書

<b>施策名</b>	豊かな心を育む教育の充実（義務教育）	<b>課名</b>	学校教育課																								
<b>目的</b>	●豊かな心を育む教育を推進することにより、児童生徒が安心して、楽しい学校生活を送れるようになることを目的としています。																										
<b>22年度の成果</b>	●出現率は減少しました。しかし、不登校児童生徒の原因は、学校教育の問題だけではなく、社会の環境の変化の問題でもあります。目的達成までには時間を要します。●学校を楽しんでいる児童生徒・保護者・地域住民の割合は、毎年少しずつではあるが評価が上がっており、一定の成果が出ているものと考えます。																										
<b>成果指標</b>	①子どもたちが楽しく学校に通学していると感じている児 ②不登校児童・生徒の出現率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>#21年度実績値</th> <th>#22年度目標値</th> <th>#22年度実績値</th> <th>#25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>84</td> <td>87.4</td> <td>85.4</td> <td>90</td> </tr> </table>	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#25年度目標値	%	%	%	%	84	87.4	85.4	90	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>#21年度実績値</th> <th>#22年度目標値</th> <th>#22年度実績値</th> <th>#25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>1.31</td> <td>0.96</td> <td>1.22</td> <td>0.96</td> </tr> </table>	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#25年度目標値	%	%	%	%	1.31	0.96	1.22	0.96
#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#25年度目標値																								
%	%	%	%																								
84	87.4	85.4	90																								
#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#25年度目標値																								
%	%	%	%																								
1.31	0.96	1.22	0.96																								
<b>施策の課題</b>	●いじめ、不登校の問題は、特に義務教育諸学校において重要な課題です。児童生徒のみの心の問題とせず、教職員も研修会等積極的に取り組まなければなりません。●心のケアのため教職員や保護者を支援していく体制をつくらなければなりません。●全ての責任を学校に求める風潮があるので、家庭と地域と学校の役割分担や連携のあり方について、市民一人ひとりが考えていく必要があります。●コミュニケーション能力の向上とともに、社会生活を営む人間として必要な規範意識を身につかせ、高めていくのが課題となります。																										
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●児童生徒の豊かな心を育むために、学校・家庭・地域の連携した取組みを推進します。●道徳教育を推進するため、教職員の資質向上や技能を高めるための研修を行い授業の質の向上を図ります。●心の相談及びいじめ・不登校対策の充実適応指導教室での相談や学習支援等を通じ、児童生徒の不安や悩みの解消を図り、いじめの防止や不登校児童生徒の学校復帰を促進すると共に、教職員に、いじめ・不登校に関する研修を行います。●スクールソーシャルワーカーや臨床心理士等の教育相談員の派遣件数を増やし、教育相談に対応します。																										
<b>事業の優先順位</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">上位への貢献度</td> <td>大</td> <td></td> <td></td> <td>01</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">優先度</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td>03 05 06</td> <td>02 04</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">01 いじめ・不登校対策事業 02 心の相談充实事業 03 道徳教育等推進事業 04 豊かな心をはぐくむ実践事業 05 教育相談活動事業 06 学校適応指導対策事業</p>			上位への貢献度	大			01	優先度	中		03 05 06	02 04	小							低い	普通	高い				
上位への貢献度	大				01	優先度																					
	中		03 05 06	02 04																							
小																											
		低い	普通	高い																							

  

<b>施策名</b>	安全・安心な教育環境の確保	<b>課名</b>	教育委員会総務課																								
<b>目的</b>	義務教育において、ニーズに対応した多様な教育を受ける環境の確保を図ります。																										
<b>22年度の成果</b>	目標値の92ポイントには届きませんでした、21年度より1ポイントアップしました。																										
<b>成果指標</b>	①学校安全性満足度 ②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>#21年度実績値</th> <th>#22年度目標値</th> <th>#22年度実績値</th> <th>#24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>82</td> <td>92</td> <td>83</td> <td>100</td> </tr> </table>	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	%	%	%	%	82	92	83	100	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>#21年度実績値</th> <th>#22年度目標値</th> <th>#22年度実績値</th> <th>#24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値								
#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値																								
%	%	%	%																								
82	92	83	100																								
#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値																								
<b>施策の課題</b>	安全・安心な学校づくりにおいて、学校施設の耐震化を図ることが急務となっており、補強・改築による耐震化を図るとともに、中学校給食の対応など、取り巻く環境の多様な変化に対応する必要があります。また、周辺都での人口増による過大規模校の適正化を図る必要があります。																										
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●義務教育における環境の整備充実：学校規模の適正化、施設の耐震化など ●学校給食の推進：中学校の完全給食の実施など ●保健管理・安全教育の推進：健康診断、安全教育活動の推進など																										
<b>事業の優先順位</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">上位への貢献度</td> <td>大</td> <td></td> <td>01</td> <td>02 03 04 05</td> <td rowspan="2" style="writing-mode: vertical-rl;">優先度</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td>08 09</td> <td>06 07</td> </tr> <tr> <td>小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">01 教育行政一般管理事業 02 小学校施設整備事業 03 中学校施設整備事業 04 小学校管理運営事業 05 中学校管理運営事業 06 小学校児童助成事業 07 中学校生徒助成事業 08 学校給食事業 09 子どもの安全対策事業 10 小学校施設維持改修事業 11 中学校施設維持改修事業 12 学校保健管理事業</p>			上位への貢献度	大		01	02 03 04 05	優先度	中		08 09	06 07	小							低い	普通	高い				
上位への貢献度	大		01		02 03 04 05	優先度																					
	中		08 09	06 07																							
小																											
		低い	普通	高い																							



# 施策概要書

<b>施策名</b>	安全・安心な教育環境の確保	<b>課名</b>	教育委員会総務課																		
<b>目的</b>	義務教育において、ニーズに対応した多様な教育を受ける環境の確保を図ります。																				
<b>22年度の成果</b>	目標値の92ポイントには届きませんでしたが、21年度より1ポイントアップしました。																				
<b>成果指標</b>	①学校安全性満足度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>9%</td> <td>9%</td> <td>9%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>82</td> <td>92</td> <td>83</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	9%	9%	9%	9%	82	92	83	100	②						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
9%	9%	9%	9%																		
82	92	83	100																		
<b>施策の課題</b>	安全・安心な学校づくりにおいて、学校施設の耐震化を図ることが急務となっており、補強・改築による耐震化を図るとともに、中学校給食の対応など、取り巻く環境の多様な変化に対応する必要があります。また、周辺部での人口増による過大規模校の適正化を図る必要があります。																				
<b>今後の方向性</b>	<b>【改善】</b> ●義務教育における環境の整備充実：学校規模の適正化、施設の耐震化など ●学校給食の推進：中学校の完全給食の実施など ●保健管理・安全教育の推進：健康診断、安全教育活動の推進など																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度                 </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: right;">15</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <div style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">                     13 学校給食施設整備事業                      14 学校給食費未納対策事業                      15 中学校統合事業                 </div>			大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度			15	14						低い		普通	高い	優先度 →			
大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度			15																		
	14																				
低い		普通	高い																		
優先度 →																					

  

<b>施策名</b>	高等・専門教育の充実	<b>課名</b>	政策経営課																		
<b>目的</b>	●高等・専門教育の充実を図り、地域を担う有能な人材の育成はもとより、県北地域の学術研究拠点としての機能強化を推進します。																				
<b>22年度の成果</b>	●大学等の高等・専門教育機関の地域貢献の一つとして地域住民を対象にした公開講座の参加人数を目標にしています。開催回数、開催場所等を考慮し3000人を目標にしていますが、今年度は長崎国際大学の創立10周年による記念講座があり例年を大幅に上回りました。																				
<b>成果指標</b>	①大学等における公開講座参加延べ人数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>3,172</td> <td>2,900</td> <td>3,949</td> <td>3,000</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	人	人	人	人	3,172	2,900	3,949	3,000	②						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
人	人	人	人																		
3,172	2,900	3,949	3,000																		
<b>施策の課題</b>	●奨学金制度の継続的な運用などにより、引き続き高等教育の充実を行う必要があります。●県立大学の施設建て替えについては、県の中長期目標に基づき、地域貢献のための施設が整備されるよう県・大学と協議が必要になります。●大学等との連携事業を推進していくためには、行政側のニーズと大学側のシーズのマッチングを図る必要があり、地域課題を具体的に整理するとともに、多くの地域課題に関する研究を行いその成果を蓄積していく必要があります。																				
<b>今後の方向性</b>	<b>【改善】</b> ●私立高校への助成制度、奨学金制度の継続的な運用を行います。●地域の意向やニーズ等を踏まえながら、大学等の機能充実を促進していきます。●大学等との連携については、行政側と大学側のシーズ、ニーズのマッチングを図る仕組みを検討します。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度                 </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: right;">02 04</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">03</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">01</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <div style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">                     01 奨学金充実事業                      02 大学等支援事業                      03 佐世保市育英会運営助成事業                      04 私立学校助成事業                 </div>			大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度		02 04		03	01					低い		普通	高い	優先度 →			
大 ↑ 中 ↓ 小 上位への貢献度		02 04																			
	03	01																			
低い		普通	高い																		
優先度 →																					

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
<b>幼児教育の充実</b>											
	幼稚園就園奨励費助成事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	2	1	特に課題は見当たらない	維持
	公立幼稚園管理運営事業	子ども育成課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
	公立幼稚園施設維持改修事業	子ども育成課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	休廃止
	幼児ことばの教室運営事業	学校教育課	1	2	2	2	2	2	2	効率性に課題あり	改善
	幼児教育センター管理運営事業	子ども育成課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	私立幼稚園助成事業	子ども支援課	1	2	2	2	3	2	1	特に課題は見当たらない	維持
<b>確かな学力の向上（義務教育）</b>											
	小学校情報教育推進事業	教育センター	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	中学校情報教育推進事業	教育センター	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	特色ある学校づくり対策事業	学校教育課	1	1	2	2	2	3	2	妥当性に課題あり	改善
	教職員資質向上事業	学校教育課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	基礎学力・学習意欲向上推進事業	教育センター	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	少人数指導支援事業	学校教育課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	休廃止
	国際理解・交流能力育成事業	学校教育課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	体験学習・環境教育充実事業	学校教育課	1	2	2	1	2	2	2	有効性に課題あり	改善
	教育センター事業	教育センター	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持
	障がい児教育推進事業	学校教育課	1	2	2	2	3	2	2	効率性に課題あり	改善
	病院内病弱児童支援事業	学校教育課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	休廃止
	特別支援教育相談事業	教育センター	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
<b>豊かな心を育む教育の充実（義務教育）</b>											
	いじめ・不登校対策事業	学校教育課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	心の相談充実事業	学校教育課	1	2	2	3	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	道徳教育等推進事業	教育センター	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	休廃止
	豊かな心をはぐくむ実践事業	教育センター	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	教育相談活動事業	青少年教育センター	1	2	2	3	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	学校適応指導対策事業	青少年教育センター	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
<b>安全・安心な教育環境の確保</b>											
	教育行政一般管理事業	教育委員会総務課				2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
安全・安心な教育環境の確保											
	小学校施設整備事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	中学校施設整備事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	小学校管理運営事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	3	2	1	特に課題は見当たらない	維持
	中学校管理運営事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	3	2	1	特に課題は見当たらない	改善
	小学校児童助成事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	中学校生徒助成事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持
	学校給食事業	学校教育課	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	改善
	子どもの安全対策事業	学校教育課	1	2	2	2	2	3	1	特に課題は見当たらない	維持
	小学校施設維持改修事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	3	3	3	効率性に課題あり	維持
	中学校施設維持改修事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	3	3	3	効率性に課題あり	維持
	学校保健管理事業	学校教育課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	改善
	学校給食施設整備事業	教育委員会総務課		2	2			3	3	特に課題は見当たらない	維持
	学校給食費未納対策事業	学校教育課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	中学校統合事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
高等・専門教育の充実											
	奨学金充実事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	2	3	3	効率性に課題あり	改善
	大学等支援事業	政策経営課	1	2	2	2	3	3	3	有効性に課題あり	改善
	佐世保市育英会運営助成事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	終了
	私立学校助成事業	教育委員会総務課	1	2	2	2	3	3	2	有効性に課題あり	改善

# 政策概要書

政策名：青少年を心豊かに育むまちづくり

部局名：教育委員会

対象	市民（子ども・青少年・青少年の保護者・全ての大人）					
目的	学校や地域の中で、さまざまな体験学習をすること及び、「放課後子どもプラン」に基づく子どもたちの身近な居場所づくり等を通じ、家庭・学校・地域の連携が図られ、子どもたちの心が豊かになり、また個性や能力が磨かれます。					
内容	<p>●地域社会全体で青少年を育む仕組みを構築するために、家庭・学校・地域の連携による推進母体（学校支援会議）の設置を促進するとともに、同会議との協働、及び教育委員会と子ども未来部との連携により、放課後子どもプラン等の学社融合事業等を推進しました。●青少年を健全に育成していくために、健全育成会の活動を支援、及び自然体験活動の提供を目的とした野外教育事業に取り組んだほか、青少年教育センターにおいて、地区ごとに配置している補導委員による補導活動を展開しました。●補導業務については、研修体制を充実し、補導委員間で意見の交換等やスキルアップを図りました。</p>					
トータルコスト	94,024 千円	うち 事業費	55,238 千円	うち 人件費	38,786 千円	
22年度の成果	<p>少年補導率：目標値＝5.4％ 実績値＝4.2％で数値的な目標は達成できています。地域での支え合いに対する市民の意識は、61.0％（目標値68％）となり、目標には達成できませんでしたが、前年度実績より0.7％増加しました。</p>					
成果指標	指標名	少年補導率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	①		% 5.4	% 5.4	% 4.2	% 5
	指標式	少年補導率を減少させる方向で、青少年を心豊かに育むまちづくりが行われているかを計ります。				
	指標名	地域での支え合いに対する市民の意識	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
②		% 60.3	% 68	% 61	% 70	
指標式	青少年の健全な育成に必要な地域での支え合いに対する市民の意識を、「市民意識アンケート調査」で計ります。					
政策の課題	<p>●青少年の健全育成を進めるため、家庭・学校・地域及び関係機関等の連携を深め、地域の教育力を高める必要がありますが、家庭・学校・地域それぞれが担うべき役割を認識し、果たして行くことが課題となっています。●市の補導業務については、時間・範囲ともに限界があるので、青少年を取り巻く環境変化に対応困難な状況が生まれています。</p>					
今後の方向性	<p>【現状維持】 ●家庭・学校・地域が連携し社会全体で子どもたちを育んでいこうという「教育コミュニティ」づくりを推進する為に、学校支援会議や放課後子ども教室などの周知に努め、より多くの方の参加を促し、各種の健全育成活動や体験学習活動を推進していきます。●警察と連携した少年補導業務や環境浄化活動の活発化により、青少年を非行や犯罪から守り善導していきます。</p>					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	青少年を育む教育コミュニティづくりの推進	<b>課名</b>	社会教育課																												
<b>目的</b>	家庭、学校、地域が連携した、青少年を育む教育コミュニティの形成を推進します。																														
<b>2・2年度の果</b>	市内小中学校における「学校支援会議」設置率の目標値達成割合は 実績値÷目標値=82.1÷85=96.59%、小学校は、すべて達成していますが、中学校が28校中、14校で、50%の達成率でした。																														
<b>成果指標</b>	①学校支援会議設置率	<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">80.6</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td style="text-align: center;">82.1</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </tbody> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	80.6	85	82.1	100	②																
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																												
%	%	%	%																												
80.6	85	82.1	100																												
<b>施策の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「学社融合」に関する理解と関心が一般市民にまで浸透していません。</li> <li>●学校支援会議は、中学校の設置促進と支援会議の運営の充実について学校・家庭・地域が一体となって組織的に実動していくことが必要です。</li> </ul>																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「地域ぐるみの子どもの育成」の取組等を通し、家庭・学校・地域・行政の役割を明確にし、地域全体の教育力の充実を図ります。</li> <li>●「学社融合推進事業」と「放課後子どもプラン推進事業」を統合・再編し、新規事業として「学社融合推進事業」に整理し、「共育推進事業」と「放課後子どもプラン推進事業」の体制整理を行い、対象や目的、手段の見直しを行います。</li> </ul>																														
<b>事務事業のマトリョニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td style="border: none;">大</td> <td style="border: none;">↑</td> <td style="border: none;">01 02 03</td> <td style="border: none;">01 学社融合推進事業 02 家庭教育推進事業 03 放課後子どもプラン推進事業</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中</td> <td style="border: none;"> </td> <td style="border: none;"> </td> <td style="border: none;"> </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">小</td> <td style="border: none;">↓</td> <td style="border: none;"> </td> <td style="border: none;"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;">←</td> <td style="border: none;">低い</td> <td style="border: none;">普通</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;">→ 高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;">優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度	大	↑	01 02 03	01 学社融合推進事業 02 家庭教育推進事業 03 放課後子どもプラン推進事業	中				小	↓					←	低い	普通				→ 高い					優先度	
上位への貢献度	大	↑	01 02 03		01 学社融合推進事業 02 家庭教育推進事業 03 放課後子どもプラン推進事業																										
	中																														
	小	↓																													
		←	低い	普通																											
			→ 高い																												
			優先度																												
<b>施策名</b>	青少年の健全育成	<b>課名</b>	社会教育課																												
<b>目的</b>	青少年の健全育成のために環境づくりを推進します。																														
<b>2・2年度の果</b>	少年補導率 目標値=5.4% 実績値=4.2%で、数値目標は達成しています。																														
<b>成果指標</b>	①少年補導率	<table border="1" style="font-size: small;"> <thead> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5.38</td> <td style="text-align: center;">5.4</td> <td style="text-align: center;">4.2</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	5.38	5.4	4.2	5	②																
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																												
%	%	%	%																												
5.38	5.4	4.2	5																												
<b>施策の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●健全育成活動の推進母体は、各中学校区の健全育成会ですが、それぞれの組織力や活動に温度差があり、全市的な取り組みとなっていません。また役員の高齢化に伴い、次期役員の選任についても困難な状況にあります。</li> <li>●野外活動推進事業は次期的に同種の事業も多いことから参加者も減少傾向にあり、転換の必要性を感じます。</li> <li>●市が行う補導業務は、警察と異なり時間・範囲とも限界があるため、今日の青少年を取り巻く環境変化に対応が困難な状況が生まれています。</li> </ul>																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●青少年団体の育成、地域での啓発活動や環境浄化活動への支援、野外教育活動の効率的な事業の転換を通し、青少年の健全育成を推進します。</li> <li>●少年補導委員の夜間・昼間・自主補導活動等により、青少年を非行や犯罪から守り善導します。また、警察補導員との連携を深め、情報を共有しながら、効果的な補導活動を行って行きます。</li> </ul>																														
<b>事務事業のマトリョニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td style="border: none;">大</td> <td style="border: none;">↑</td> <td style="border: none;">01 04 05</td> <td style="border: none;">01 青少年教育事業 02 野外教育活動推進事業 03 補導業務推進事業 04 環境浄化健全育成事業 05 青少年教育センター管理運営事業</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中</td> <td style="border: none;"> </td> <td style="border: none;"> </td> <td style="border: none;"> </td> </tr> <tr> <td style="border: none;">小</td> <td style="border: none;">↓</td> <td style="border: none;"> </td> <td style="border: none;"> </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;">←</td> <td style="border: none;">低い</td> <td style="border: none;">普通</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;">→ 高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;">優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度	大	↑	01 04 05	01 青少年教育事業 02 野外教育活動推進事業 03 補導業務推進事業 04 環境浄化健全育成事業 05 青少年教育センター管理運営事業	中				小	↓					←	低い	普通				→ 高い					優先度	
上位への貢献度	大	↑	01 04 05		01 青少年教育事業 02 野外教育活動推進事業 03 補導業務推進事業 04 環境浄化健全育成事業 05 青少年教育センター管理運営事業																										
	中																														
	小	↓																													
		←	低い	普通																											
			→ 高い																												
			優先度																												

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
青少年を育む教育コミュニティづくりの推進											
	学社融合推進事業	社会教育課	1	2	2	2	3	3	3	有効性に課題あり	休廃止
	家庭教育推進事業	社会教育課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	放課後子どもプラン推進事業	社会教育課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	休廃止
青少年の健全育成											
	青少年教育事業	社会教育課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	野外教育活動推進事業	社会教育課	1	2	2	2	2	1	2	有効性に課題あり	改善
	補導業務推進事業	青少年教育センター	1	2	2	3	2	2	2	効率性に課題あり	改善
	環境浄化健全育成事業	青少年教育センター	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	青少年教育センター管理運営事業	青少年教育センター	1	2	2	1	3	2	2	有効性に課題あり	改善
青少年を心豊かに育むまちづくりを実現するための包括的な施策											
	成人式典事業	社会教育課	1	2	2	1	2	2	2	有効性に課題あり	改善

# 政策概要書

政策名：生涯学習のまちづくり

部局名：教育委員会

対象	市民				
目的	年齢や目的に応じて生涯学習活動に参加できるとともに、学習成果を地域の中で活かすことで、地域に循環が生まれ、人材の育成や後継者の育成に繋がることで主体的なまちづくり活動の意識が高まります。				
内容	<p>●生涯学習社会の構築を図るため、多様な学習メニューや講師情報の集約と、地域の日常に根ざした学びを醸成するため、地域コミュニティが活躍の場となるよう生涯学習活動を支えるための拠点施設を、平成22年10月、総合教育センター・少年科学館など、社会教育施設を推進する。●学校教育及び社会教育並びに学社融合の推進を図るため、平成22年3月、総合教育センターを開館しました。●生涯学習のまちづくりを進める上で、今後「生涯学習のまちづくり計画（仮称）」に向け、検討を行いました。●「佐世保市徳育推進検討懇話会」の報告を受け、「徳育推進会議」を設置し、徳育推進の具体的方策について検討を行いました。●平成22年3月「読書大好き佐世保っ子プラン21」の策定により、学校、図書館、社会教育課が連携して読書の推進に取り組みました。</p>				
トータルコスト	1,934,703 千円	うち 事業費	1,513,634 千円	うち 人件費	421,069 千円
22年度の成果	生涯学習の取組に対する市民満足度アンケート結果は、38.6%で目標値45%を達成することができませんでした。				
成果指標	① 指標名 生涯学習の取組に対する市民満足度	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
		42.6	45	38.6	50
	指標式	生涯学習全般の取組に対する市民の満足度を「市民意識アンケート調査」で計ります。			
	② 指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	指標式				
政策の課題	<p>●多様化する市民のニーズを踏まえ、公民館や図書館等の教育機関において積極的に各種講座を開催したり、生涯学習に関する情報の提供が課題です。●各地区の生涯学習推進会が開催する地域の催しや、町内行事への参加が減少している傾向にあります。●地域活動の主力が高齢化していること、若い世代の参加が少ないことなどが課題です。●生涯学習を通じて、人を思いやる心や優れた人格等を養う「徳育」の推進が求められています。●地域における生涯学習の拠点として、地区公民館の果たす役割を明確化することが求められています。</p>				
今後の方向性	<p>【改善】 ●生涯学習の総合的な推進を図るため、「生涯学習のまちづくり計画（仮称）」を策定し、学習活動の啓発、学習機会の提供、人材の育成、拠点施設の機能充実などに努めていきます。●平成21年度策定の「読書大好き佐世保っ子プラン21」により、子どもの読書推進の啓発、学校司書の配置、ボランティアの充実などに継続的に取り組んでいきます。●「徳育推進計画（仮称）」を策定し、全市的な徳育推進の取組を進めていきます。</p>				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	学習機会の充実	<b>課名</b>	社会教育課																
<b>目的</b>	多くの市民に年代や目的に応じた生涯学習の機会を提供することで、地域の一員として生活できる社会を目指します。																		
<b>22年度の成果</b>	達成度＝実績値÷目標値＝79,310人÷92,000人＝86.21%。22年度は生涯学習への参加者数は目標には達していませんでした。																		
<b>成果指標</b>	①生涯学習の参加者数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>73,645</td> <td>92,000</td> <td>79,310</td> <td>95,000</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人	73,645	92,000	79,310	95,000					
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値															
人	人	人	人																
73,645	92,000	79,310	95,000																
②	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
<b>施策の課題</b>	●更なる学習ボランティアの人材育成及び新規登録者の発掘が必要です。●生涯学習推進会役員の高齢化等もあり、事業のマンネリ化や開催場所、対象者の固定化が見うけられ、参加人員も年々減少傾向にあります。																		
<b>今後方向性</b>	【改善】 ●本の読みかたり等を通して、図書ボランティアの活動と学校等との連携を図り、「読書大好き佐世保っ子プラン21」の推進に努めます。●地域活動の推進を図るため、生涯学習、まちづくり等の補助金の有効活用を図り、地区公民館と連携し、事業の推進、人材育成に取り組みます。●徳育推進会議や社会教育委員会等の意見を踏まえ、生涯学習の推進に努めます。																		
<b>事務事業の優先度</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位へ 大 中 小 貢献度             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">01</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 社会教育行政一般管理事業                  02 生涯学習推進事業                  03 生涯学習支援事業                  04 視聴覚ライブラリー運営事業             </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">02 03</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table>			上位へ 大 中 小 貢献度			01	01 社会教育行政一般管理事業 02 生涯学習推進事業 03 生涯学習支援事業 04 視聴覚ライブラリー運営事業			02 03					低い	普通	高い	優先度
上位へ 大 中 小 貢献度			01		01 社会教育行政一般管理事業 02 生涯学習推進事業 03 生涯学習支援事業 04 視聴覚ライブラリー運営事業														
			02 03																
	低い	普通	高い	優先度															

<b>施策名</b>	拠点施設による生涯学習の推進	<b>課名</b>	社会教育課																
<b>目的</b>	市民が自身の学習ニーズに応じて生涯学習施設を活用し、充実した生涯学習の場を得ることができることを意図するものです。																		
<b>22年度の成果</b>	22年度目標値が1,406,000人に対し、実績値が1,419,020人となっており、達成率は100.9%となっています。この結果の主な要因としては、江迎町、鹿町町との合併による生涯学習センターの増加、また、公民館活動における住民の主体的なサークル活動等について、構成人員の高齢化等による参加者の減が起因していると考えています。																		
<b>成果指標</b>	①施設利用者数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>1,372,999</td> <td>1,406,000</td> <td>1,419,020</td> <td>1,410,000</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人	1,372,999	1,406,000	1,419,020	1,410,000					
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値															
人	人	人	人																
1,372,999	1,406,000	1,419,020	1,410,000																
②	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
<b>施策の課題</b>	生涯学習施設での事業展開は、市民の「生涯学習」に対する意識の違いや地域特性、更には施設整備状況の違いなどから、各地域により差が生じやすい状況があります。基本的に教育機関として一定レベルの学習機会の提供を行う必要があることから、施設の役割や管理基準の明確化・平準化とともに、事業に携わる職員の資質向上により活動内容のさらなる充実が必要となっています。また、このような環境整備のためには、市教育振興基本計画さらには生涯学習推進計画等を拠り所としながら、これを体系的・計画的に実施しなければなりません。																		
<b>今後方向性</b>	【現状維持】 ●図書館や地区公民館・生涯学習センター等においては、市民の生涯学習の拠点施設として、主催講座の開催や学習情報の提供、図書・施設の提供を行うなど、教育機関としての機能の充実を図ります。●地区公民館では、公民館職員を対象とした研修等によりソフト面での充実を図るとともに、ハード面では計画的な施設整備を推進します。																		
<b>事務事業の優先度</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位へ 大 中 小 貢献度             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">09 10 12</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">01 02</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 少年科学館事業                  02 図書館運営事業                  03 公民館管理運営事業                  04 地区公民館等建設事業                  05 総合教育センター（仮称）建設事業                  06 吉井地区生涯学習センター管理運営事業                  07 世知原地区生涯学習センター管理運営事業                  08 宇久地区生涯学習センター管理運営事業                  09 小佐々地区生涯学習センター管理運営事業                  10 江迎地区生涯学習センター管理運営事業                  11 鹿町地区生涯学習センター管理運営事業                  12 総合教育センター事業             </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">06 07 08 11</td> <td style="text-align: center;">03</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table>			上位へ 大 中 小 貢献度		09 10 12	01 02	01 少年科学館事業 02 図書館運営事業 03 公民館管理運営事業 04 地区公民館等建設事業 05 総合教育センター（仮称）建設事業 06 吉井地区生涯学習センター管理運営事業 07 世知原地区生涯学習センター管理運営事業 08 宇久地区生涯学習センター管理運営事業 09 小佐々地区生涯学習センター管理運営事業 10 江迎地区生涯学習センター管理運営事業 11 鹿町地区生涯学習センター管理運営事業 12 総合教育センター事業		06 07 08 11	03					低い	普通	高い	優先度
上位へ 大 中 小 貢献度		09 10 12	01 02		01 少年科学館事業 02 図書館運営事業 03 公民館管理運営事業 04 地区公民館等建設事業 05 総合教育センター（仮称）建設事業 06 吉井地区生涯学習センター管理運営事業 07 世知原地区生涯学習センター管理運営事業 08 宇久地区生涯学習センター管理運営事業 09 小佐々地区生涯学習センター管理運営事業 10 江迎地区生涯学習センター管理運営事業 11 鹿町地区生涯学習センター管理運営事業 12 総合教育センター事業														
		06 07 08 11	03																
	低い	普通	高い	優先度															



# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
<b>学習機会の充実</b>										
社会教育行政一般管理事業	社会教育課	1	2	2	1	3	1	1	特に課題は見当たらない	維持
生涯学習推進事業	社会教育課	1	2	2	1	2	2	3	有効性に課題あり	維持
生涯学習支援事業	社会教育課	1	1	2	1	2	2	2	効率性に課題あり	改善
視聴覚ライブラリー運営事業	社会教育課	1	2	2	2	3	2	3	特に課題は見当たらない	休廃止
<b>拠点施設による生涯学習の推進</b>										
少年科学館事業	少年科学館	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
図書館運営事業	図書館	1	2	2	2	3	3	2	有効性に課題あり	改善
公民館管理運営事業	中央公民館	1	2	2	2	2	2	3	有効性に課題あり	維持
地区公民館等建設事業	社会教育課	1	2	2			3	3	特に課題は見当たらない	維持
総合教育センター（仮称）建設事業	社会教育課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	終了
吉井地区生涯学習センター管理運営事業	吉井地区生涯学習センター	1	2	2	2	2	2	2	効率性に課題あり	改善
世知原地区生涯学習センター管理運営事業	世知原地区生涯学習センター	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
宇久地区生涯学習センター管理運営事業	宇久地区生涯学習センター	1	2	2	3	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
小佐々地区生涯学習センター管理運営事業	小佐々地区生涯学習センター	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
江迎地区生涯学習センター管理運営事業	江迎地区生涯学習センター	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
鹿町地区生涯学習センター管理運営事業	鹿町地区生涯学習センター	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
総合教育センター事業	総合教育センター一課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：スポーツに親しめる環境づくり

部局名：教育委員会

対象	市民						
目的	●気軽にスポーツに親しむことができる環境が整備されます。●競技力を向上させることができる環境が整備されます。						
内容	●スポーツ振興の柱である「競技力の向上」「学校体育の推進」「誰もが生涯にわたって楽しめる生涯スポーツの推進」「受け皿となる体育施設の整備」を基本に、スポーツに親しめる環境づくりを進行しました。●平成26年に開催予定の長崎国体に向けて、第69回国民体育大会佐世保市準備委員会を設立し、本市での開催が決定している「バレーボール(少年女子)」「自転車(トラック)」「アーチェリー」「空手道」「軟式野球」「ソフトテニス」「ハンドボール」及び「ホッケー」の8競技について、長崎県をはじめ関係団体との検討を深めました。●平成26年に開催の長崎国体に向けて、総合グラウンドや吉井のテニスコートの改修及び東部スポーツ広場体育館(仮称)の造成工事等に着手しました。						
トータルコスト	853,933 千円	うち 事業費	692,670 千円	うち 人件費	161,263 千円		
22年度の成果	「佐世保市まちづくり市民意識アンケート調査」の結果、前年と同じく38%の市民が「週に1回以上スポーツを行った。」と回答しており、目標には届きませんでした。						
成果指標	①	指標名	スポーツをしている市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
			%	%	%	%	%
			38	45	38	50	
		指標式	市民がどのくらいスポーツに親しんでいるかを、スポーツをしている市民の割合として市民意識アンケート調査で測ります。				
	②	指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		
		指標式					
政策の課題	●市民の主体的なスポーツ活動を支援するため、スポーツ情報の発信を強化し、総合型地域スポーツクラブの設立後の運営・連携に関する支援、各種大会の開催、ニュースポーツの普及を如何に進めるかが課題です。●子どもたちの心と体の健全育成を学校体育の中で如何に充実させるかが課題です。●競技スポーツの振興を図るため、団体・個人の競技力向上に如何に取り組むかが課題です。●安全で快適にスポーツに親しめるよう、スポーツ施設の計画的な整備を行うことが課題です。						
今後の方向性	【改善】 ●市民が気軽に「生涯スポーツ」に親しめる環境を整えるため、総合型スポーツクラブのこれまでの取り組みを踏まえ、より一層の普及や安定した運営に向けての相互連携につとめます。●平成26年に開催予定の長崎国体を視野に入れ、競技力向上を図るため、新体育協会との連携に重点を置きながら、施設整備を計画的に行っていきます。●合併地域の施設管理方法について、現在取り組んでいる新たな仕組みを検証しながら、地域住民、NPO、事業者などが参画することの研究を行います。						

# 施策概要書

<b>施策名</b>	スポーツ機会の充実	<b>課名</b>	スポーツ振興課																							
<b>目的</b>	気軽にスポーツに親しむことができる機会の充実を図ります。																									
<b>22年度の成果</b>	●実績値1,524人/目標値1,550人×100=98.3%。●平成22年度に設立予定のクラブの設立が平成23年度にずれ込んだため、目標値の1,550人を超えることができませんでした。																									
<b>成果指標</b>	①総合型地域スポーツクラブ会員数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>1,131</td> <td>1,550</td> <td>1,524</td> <td>1,700</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	人	人	人	人	1,131	1,550	1,524	1,700												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																							
人	人	人	人																							
1,131	1,550	1,524	1,700																							
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
<b>施策の課題</b>	●総合型地域スポーツクラブについては、クラブ発足後の安定的な経営（会員数の確保など）をいかにやっていくかが課題です。●総合型地域スポーツクラブの継続的な支援が必要です。																									
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <p>●総合型地域スポーツクラブの普及・支援については、地域の主体的な取組みを促進するためクラブへの継続的な支援を行います。●会員数の増加対策として、魅力的で、特に若者のみならず、高齢者を引き付けられるプログラムの提供及び地域に埋もれているマンパワーの活用を図るための支援を行います。●佐世保市総合型地域スポーツクラブ連合会の活動を継続的にサポートしていきます。</p>																									
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: left;">01 04</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: left;">03</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: left;">02 05</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">01 スポーツ行政一般管理事業 02 地域スポーツ活動活性化事業 03 総合型地域スポーツクラブ支援事業 04 スポーツ大会推進事業 05 スポーツ少年団事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		01 04		03		02 05									低い	普通	高い			→ 優先度		
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		01 04			03																					
		02 05																								
		低い	普通	高い																						
		→ 優先度																								

  

<b>施策名</b>	学校体育の推進	<b>課名</b>	スポーツ振興課																							
<b>目的</b>	小・中学生の基礎体力の維持等を目的に、学校体育の推進を図ります。																									
<b>22年度の成果</b>	実績値は、小学校は前年に比べ目標値を下回りましたが、中学校は前年より伸び、目標値を達成しました。																									
<b>成果指標</b>	①小学生の体力測定値	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>74</td> <td>74.6</td> <td>70.4</td> <td>75</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	74	74.6	70.4	75												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
%	%	%	%																							
74	74.6	70.4	75																							
	②中学生の体力測定値	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>79.2</td> <td>79.4</td> <td>80.6</td> <td>80</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	79.2	79.4	80.6	80												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
%	%	%	%																							
79.2	79.4	80.6	80																							
<b>施策の課題</b>	●運動する子としない子のいわゆる「二極化」を解消していくことが課題です。●体育実技指導を行う現場の教職員の資質を向上させていくことが課題です。																									
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●子どもの体力低下に歯止めをかけるため、より一層の学校体育の充実を図る必要があるため、そのために教職員に対する定期的な体育実技指導研修を実施し指導者の資質向上を図っていきます。●小学校体育大会、中学校体育大会をそれぞれの開催目的に沿って充実させていきます。●中学校運動部活動の外部指導者についての支援を継続していきます。</p>																									
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: left;">01 02</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px; text-align: left;">03</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">01 小学校体育推進事業 02 学校体育実技指導研修事業 03 中学校体育推進事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		01 02				03									低い	普通	高い			→ 優先度		
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		01 02																								
		03																								
		低い	普通	高い																						
		→ 優先度																								

# 施策概要書

<b>施策名</b>	競技スポーツの振興	<b>課名</b>	スポーツ振興課																				
<b>目的</b>	スポーツの競技力を高める場・機会を確保します。																						
<b>22年度の成果</b>	●体育協会加盟競技の競技人口実績値24,375人/目標値23,000人×100=106.0%。●九州・全国大会の入賞者数210人/目標値191人×100=109.9%。●競技人口及び入賞者数ともに目標値を達成しました。																						
<b>成果指標</b>	①体育協会加盟競技の競技人口	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>#21年度実績値</th> <th>#22年度目標値</th> <th>#22年度実績値</th> <th>#24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>21,729</td> <td>23,000</td> <td>24,375</td> <td>22,000</td> </tr> </table>	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	人	人	人	人	21,729	23,000	24,375	22,000									
#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値																				
人	人	人	人																				
21,729	23,000	24,375	22,000																				
	②九州大会・全国大会等入賞者数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>#21年度実績値</th> <th>#22年度目標値</th> <th>#22年度実績値</th> <th>#24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>件</td> <td>件</td> <td>件</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>182</td> <td>191</td> <td>210</td> <td>210</td> </tr> </table>	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	件	件	件	件	182	191	210	210									
#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値																				
件	件	件	件																				
182	191	210	210																				
<b>施策の課題</b>	●スポーツ団体の競技力の底上げや、平成26年の長崎国体も視野に入れ、ジュニア層の競技力をどのようにして向上させるかが課題です。●平成26年に開催される長崎国体に向けた、競技力向上の支援策や所管部署の変更を含めた推進体制をどのように整えていくかが課題です。																						
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●スポーツ団体の競技力のさらなる向上のため、団体等への活動支援を行います。●ジュニア層の競技力向上のため、スポーツ大会やスポーツ教室等を開催します。●九州大会、全国大会、国際大会に出場する選手・団体に対しては、一定の助成を行います。●平成26年度の長崎国体に向けて、全庁的な推進体制を構築します。																						
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td style="border: none;">大</td> <td style="border: none;">01</td> <td style="border: none;">02</td> <td style="border: none;">03</td> <td rowspan="3" style="border: none; vertical-align: top;">01 ジュニアスポーツ推進事業 02 体育スポーツ振興補助事業 03 体育協会運営補助事業 04 長崎国体推進事業</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">04</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">小</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">低い</td> <td style="border: none;">普通</td> <td style="border: none;">高い</td> <td style="border: none; text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度	大	01	02	03	01 ジュニアスポーツ推進事業 02 体育スポーツ振興補助事業 03 体育協会運営補助事業 04 長崎国体推進事業	中		04		小						低い	普通	高い	優先度 →
上位への貢献度	大	01	02		03	01 ジュニアスポーツ推進事業 02 体育スポーツ振興補助事業 03 体育協会運営補助事業 04 長崎国体推進事業																	
	中		04																				
	小																						
		低い	普通	高い	優先度 →																		

<b>施策名</b>	スポーツ施設の充実	<b>課名</b>	スポーツ振興課																				
<b>目的</b>	気軽にスポーツに親しめるために、施設の充実に回ります。																						
<b>22年度の成果</b>	●施設の利用者数実績値1,084,596人/1,056,400人×100=102.7%。●江迎町と鹿町町を含めた目標値を上回る利用者がいました。																						
<b>成果指標</b>	①施設の年間利用者数（市内体育施設）	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>#21年度実績値</th> <th>#22年度目標値</th> <th>#22年度実績値</th> <th>#24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>1,056,840</td> <td>1,056,400</td> <td>1,084,596</td> <td>1,015,700</td> </tr> </table>	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	人	人	人	人	1,056,840	1,056,400	1,084,596	1,015,700									
#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値																				
人	人	人	人																				
1,056,840	1,056,400	1,084,596	1,015,700																				
	②施設利用者の満足度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>#21年度実績値</th> <th>#22年度目標値</th> <th>#22年度実績値</th> <th>#24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>点数</td> <td>点数</td> <td>点数</td> <td>点数</td> </tr> <tr> <td>4.1</td> <td>4.3</td> <td>3.8</td> <td>4.5</td> </tr> </table>	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	点数	点数	点数	点数	4.1	4.3	3.8	4.5									
#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値																				
点数	点数	点数	点数																				
4.1	4.3	3.8	4.5																				
<b>施策の課題</b>	●既存施設については、経年による老朽化が著しい施設を優先順位を検討しながら計画的な整備を効率的に行うことが課題です。●長崎国体に関連する施設改修について、限られた財源を有効活用して整備することが課題です。●体育施設の整備状況において、合併により北部に施設が増加したため、南北格差を是正することが課題です。●いかに合併地域の実情に応じた施設の管理運営を行うかが課題です。																						
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●平成26年に開催される長崎国体に向け、開催競技に応じた既存施設の改修や新施設の整備などを行っていきます。●施設の安全性、利便性、機能性の向上を図り、市民が気軽にスポーツに親しめるよう、計画的に施設整備を進めます。●合併により北部地区に体育施設が偏った配置となっていますが、長崎国体を機に東部スポーツ広場に新体育館を建設することで、一部解消する方向にもっていきます。●施設の利用状況により、指定管理、直営、地元管理など、合併地域の実情に応じた運営を行います。																						
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td style="border: none;">大</td> <td style="border: none;">01</td> <td style="border: none;">02</td> <td style="border: none;"></td> <td rowspan="3" style="border: none; vertical-align: top;">01 体育振興会運営補助事業 02 体育施設運営事業 03 体育施設整備事業 04 体育館建設事業 05 長崎国体施設整備事業</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">03</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">小</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">低い</td> <td style="border: none;">普通</td> <td style="border: none;">高い</td> <td style="border: none; text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度	大	01	02		01 体育振興会運営補助事業 02 体育施設運営事業 03 体育施設整備事業 04 体育館建設事業 05 長崎国体施設整備事業	中			03	小						低い	普通	高い	優先度 →
上位への貢献度	大	01	02			01 体育振興会運営補助事業 02 体育施設運営事業 03 体育施設整備事業 04 体育館建設事業 05 長崎国体施設整備事業																	
	中				03																		
	小																						
		低い	普通	高い	優先度 →																		

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
<b>スポーツ機会の充実</b>										
スポーツ行政一般管理事業	スポーツ振興課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
地域スポーツ活動活性化事業	スポーツ振興課	1	2	2	1	2	2	1	特に課題は見当たらない	維持
総合型地域スポーツクラブ支援事業	スポーツ振興課	1	2	2	1	3	3	3	有効性に課題あり	改善
スポーツ大会推進事業	スポーツ振興課	1	2	2	2	3	2	3	特に課題は見当たらない	維持
スポーツ少年団事業	スポーツ振興課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	改善
<b>学校体育の推進</b>										
小学校体育推進事業	スポーツ振興課	1	2	2	2	3	3	1	特に課題は見当たらない	維持
学校体育実技指導研修事業	スポーツ振興課	1	2	2	1	3	3	2	有効性に課題あり	改善
中学校体育推進事業	スポーツ振興課	1	2	2	2	2	3	1	効率性に課題あり	改善
<b>競技スポーツの振興</b>										
ジュニアスポーツ推進事業	スポーツ振興課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
体育スポーツ振興補助事業	スポーツ振興課	1	2	2	3	3	2	3	特に課題は見当たらない	改善
体育協会運営補助事業	スポーツ振興課	1	2	2	2	3	3	1	特に課題は見当たらない	維持
長崎国体推進事業	国体推進室				2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
<b>スポーツ施設の充実</b>										
体育振興会運営補助事業	スポーツ振興課	1	2	2	2	3	3	1	特に課題は見当たらない	休廃止
体育施設運営事業	スポーツ振興課	1	2	2	2	3	3	1	効率性に課題あり	改善
体育施設整備事業	スポーツ振興課	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	改善
体育館建設事業	スポーツ振興課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
長崎国体施設整備事業	スポーツ振興課		2	2			2	2	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：人権が尊重される社会づくり

部局名：市民生活部

対象	●市民（一般市民、企業、児童生徒）						
目的	●市民一人一人が、人権について正しく理解・認識することにより、お互いの人権を尊重し合う社会が実現されることです。						
内容	●人権啓発の事業としては、人権啓発講演会の実施、啓発用リーフレットの全世帯配布、企業での研修などを行いました。●また人権擁護委員の活動に対しては、市の広報紙への事業内容の掲載及び人権擁護委員協議会への負担金支出などを行いました。●社会教育としては地区公民館での啓発講座の開催を実施し、学校教育については児童生徒に対して人権・同和教育を行いました。						
トータルコスト	19,983 千円	うち 事業費	7,898 千円	うち 人件費	12,085 千円		
22年度の成果	目標83.0%に対して、80.0%（内訳・人権はとでも守られていると思う15.4%、ある程度は思う64.6%）であり、目標を若干下回りました。						
成果指標	①	指標名	人権が守られていると感じる市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
		指標式	人権が守られていると感じる市民の割合を「市民意識アンケート調査」で計ります。				
	②	指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
		指標式					
政策の課題	●人権に関する市民の意識改革を図るため、多くの年齢層及び職種的市民へ必要な情報発信や各種人権教育講座の開催など、多様な取組みを展開することが必要です。●いじめ等の人権問題を抜本的に解決するために、学校における人権教育を充実することが求められます。						
今後の方向性	【改善】 ●今後とも、あらゆる人権問題に関して、市民一人ひとりの人権に対する正しい知識の確立に向けて、継続的な人権教育・啓発活動に取り組んでいきます。●「佐世保市人権教育・啓発基本計画」に基づき、全庁的な取組みとして人権問題解消への政策を展開し、その目標に向かって取り組んだ各種施策の進捗状況を把握、検証し、実施状況及びその評価について公表します。						

# 施策概要書

<b>施策名</b>	人権に関する啓発・教育の推進	<b>課名</b>	人権男女共同参画課																		
<b>目的</b>	●人権問題に関して、市民一人ひとりが、正しい理解と認識を深め、日常生活の中でも実践できるようになることです。																				
<b>22年度の成果</b>	目標83%の対して80.0%（内訳・人権はとでも守られていると思う15.4%、ある程度は思う64.6%）であり目標を達成できませんでした。																				
<b>成果指標</b>	①人権が守られていると感じる市民の割合	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">80.5</td> <td style="text-align: center;">83</td> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">85</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	80.5	83	80	85							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
80.5	83	80	85																		
<b>施策の課題</b>	●近年は法務局に設置されている人権擁護委員の相談件数は減少傾向にあるが、人権侵害事案（女性・高齢者・児童への暴力・虐待等）が多く発生している。これらに対処する啓発を図るため各種人権講座の開設や情報発信などを計画的に取り組み、且つ展開する必要があります。																				
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●平成22年3月に策定した「佐世保市人権教育・啓発基本計画」に基づき、全庁的な関係部局や人権擁護委員協議会、人権施策審議会、人権啓発推進協議会並びに地域を含めた民生児童委員協議会と連携を密にすると共に、相談窓口を充実させる確かな被害状況の把握と迅速な対応により被害者救済を進めて行きます。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td style="border: 1px solid black;">大</td> <td style="border: 1px solid black;">02</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">中</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;">01</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">小</td> <td style="border: 1px solid black;">03</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">01 人権啓発推進事業 02 人権擁護関係事業 03 人権講座事業</p>			上位への貢献度	大	02		中		01	小	03				低い	高い			優先度	
上位への貢献度	大	02																			
	中		01																		
	小	03																			
		低い	高い																		
		優先度																			

<b>施策名</b>	学校における人権教育の推進	<b>課名</b>	学校教育課																		
<b>目的</b>	●児童生徒一人一人の人権尊重を基盤に、地域を取り巻く環境や児童・生徒の発達段階に応じた人権教育を推進します。●教職員については、研修や研究活動を通じ、人権教育に対する意識の高揚及び指導力の向上を図ります。																				
<b>22年度の成果</b>	成果の達成度については、数値目標をわずかに達成することができませんでしたが、毎年少しずつではあるが、評価は上がっており、参加者の意識が高く、一定の成果が出ているものと考えます。																				
<b>成果指標</b>	①人権問題に対する理解度（学校における人権教育）	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">90.5</td> <td style="text-align: center;">95</td> <td style="text-align: center;">94.1</td> <td style="text-align: center;">95</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	%	%	%	%	90.5	95	94.1	95							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
%	%	%	%																		
90.5	95	94.1	95																		
	②人権教育が推進され、人としての尊厳と責務を重んじる	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">81.2</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td style="text-align: center;">81.7</td> <td style="text-align: center;">85</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	%	%	%	%	81.2	85	81.7	85							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
%	%	%	%																		
81.2	85	81.7	85																		
<b>施策の課題</b>	●広く人権教育の大切さや意識の高揚を図るため、講演会や研修会等に参加する教職員や保護者等をさらに増やすとともに、学校の全教育活動の中で、児童生徒が人権教育について意識が高くなるよう校内研修の充実を図る必要があります。●子どもたちのいじめ問題が後を絶たず、さらに、最近ではインターネットや携帯電話の普及による誹謗中傷やいじめなどの人権侵害環境づくりをする必要があります。																				
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●一人一人の人権尊重を基盤に、地域を取り巻く環境や児童・生徒の発達段階に応じた人権教育を推進します。そのため、人権教育担当者への研修や各学校での校内研修及び全教育活動を通して、人権教育に対する意識の高揚や指導力の向上を図ります。●保護者、市民を含めた講演会の内容及び広報をいっそう充実させます。●佐世保市人権教育・啓発基本計画との整合をとって、国や県、各種機関などとの緊密な連携を図ります。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td style="border: 1px solid black;">大</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;">01</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">中</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">小</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">01 人権教育推進事業</p>			上位への貢献度	大		01	中			小					低い	高い			優先度	
上位への貢献度	大		01																		
	中																				
	小																				
		低い	高い																		
		優先度																			

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
人権に関する啓発・教育の推進										
人権啓発推進事業	人権男女共同参画課	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	改善
人権擁護関係事業	人権男女共同参画課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
人権講座事業	社会教育課	1	2	2	1	1	2	1	有効性及び効率性に課題あり	改善
学校における人権教育の推進										
人権教育推進事業	学校教育課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持



# 政策概要書

政策名：男女共同参画の社会づくり

部局名：市民生活部

対象	市民					
目的	男女相互の人権を尊重し、自らの意思で社会での活動に参画できる社会づくりを推進します。					
内容	<p>●男女共同参画に関するセミナー等を開催し、男女共同参画に係る啓発活動を行いました。●利用しやすい佐世保市男女共同参画推進センターを目指し、情報紙の発行など施設の周知に努めました。●政策の立案や決定の過程に参画できる機会を確保を図るために女性人材の育成及び発掘に努めました。●男女共同参画に関する相談、DV等の被害者を救済するための支援を行いました。</p>					
トータルコスト	42,531 千円	うち 事業費	26,199 千円	うち 人件費 16,332 千円		
22年度の成果	男女共同参画の取組みに対する市民満足度は、目標値18%に対し実績値18%と目標値は達成しました。しかし、一方で、地域や年齢層によって市民満足度に差があります。					
成果指標	指標名	男女共同参画の取組みに対する市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	①		% 12.4	% 18	% 18	% 20
	指標式	男女共同参画の取組全般に対する市民の満足度を「市民意識アンケート調査」で計ります				
	②	指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	指標式					
政策の課題	<p>●「佐世保市男女共同参画計画」に基づく各種の取組みを着実に進めることが必要です。●情報発信や各種講座の開催等を通じ、男女共同参画社会に対する効果的な意識啓発を進めることが必要です。●あらゆる場面で女性の能力が発揮できる、平等な参画機会を確保することが求められます。●男女共同参画社会に関する相談や被害者救済のための取組みを強化することが求められます。</p>					
今後の方向性	<p>【改善】 ●一人ひとりの個性や自主性が尊重され、男女が対等に様々な場面に参画し、その個性や能力を発揮し、ともに輝いて生きられる男女共同参画社会を目指すために、多様な情報発信・啓発による意識改革を行います。●特に、地域や小中学校を対象に出張講座を実施するなど、多くの年齢層や職種の方に向けた施策を展開します。●女性の市政における政策・方針決定の場への参画、拡大を図ります。●男女共同参画に関する相談、被害者救済を効果的に行うため、婦人相談員の資質向上や相談者の利便性向上により女性相談室を充実します。</p>					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	男女共同参画に関する啓発・教育の推進	<b>課名</b>	人権男女共同参画課												
<b>目的</b>	男女共同参画に関して正しく理解し、適切に行動できるよう、啓発・教育を推進します。														
<b>22年度の成果</b>	社会全体で男女平等になっていると感じる市民の割合が実績値24.5%（平成23年7月市民意識アンケート調査）となり、平成22年度の目標値27%を下回りました。														
<b>成果指標</b>	① 社会全体で男女平等になっていると感じる市民の割合	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">24.6</td> <td style="text-align: center;">27</td> <td style="text-align: center;">24.5</td> <td style="text-align: center;">29</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	24.6	27	24.5	29	②
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
%	%	%	%												
24.6	27	24.5	29												
<b>施策の課題</b>	「男女共同参画」について興味と関心を持てるような啓発方法を検討し、セミナー等の参加者を拡大するとともに「男女共同参画推進センター スピカ」の周知を図ることが必要です。														
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●多様な情報発信・啓発による意識改革、男女が性別に関わりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向け、セミナー等の開催や啓発情報紙「スピカ」等の発行を通じ、社会における制度・慣行の見直し、人々における意識の改革を促進します。</li> <li>●地域・企業・学校で出張講座を実施し、広く市民に対し意識啓発を行います。</li> </ul>														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<p>01 男女共同参画推進啓発事業 02 男女共同参画推進センター管理運営事業</p>														
<b>施策名</b>	平等な参画機会の確保	<b>課名</b>	人権男女共同参画課												
<b>目的</b>	政策の立案や決定の過程に参画できる機会の確保を図ります。														
<b>22年度の成果</b>	実績値は31.2%となり、目標値の34%を下回りましたが、前年度の実績28.7%より2.5ポイント上昇しました。														
<b>成果指標</b>	① 審議会等への女性の参画推進状況	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">28.7</td> <td style="text-align: center;">34</td> <td style="text-align: center;">31.2</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	28.7	34	31.2	40	②
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
%	%	%	%												
28.7	34	31.2	40												
<b>施策の課題</b>	広い分野、年齢層の登録者を増やしていくとともに、各審議会等においても積極的に女性を登用する必要があります。														
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●女性の人材育成・発掘 市政における政策・方針決定過程の場や各種のまちづくりへの女性の参画を促進するため、人材の育成を行うとともに、各分野で活躍している人材の発掘を進めます。</li> <li>●女性の能力が発揮できる環境づくり 審議会や委員会等への女性の積極的な登用を進めるなど、市政における政策・方針決定の場への参画拡大を図ります。</li> </ul>														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<p>01 男女共同参画行政推進事業</p>														

# 施策概要書

施策名	男女共同参画に関する相談・被害者救済への支援	課名	人権男女共同参画課																
目的	男女共同参画に関する相談、被害者を救済するための支援を行います。																		
22年度の成果	すべての相談に対して、適切な助言、指導及び情報の提供を行いました。																		
成果指標	①男女共同参画に関する相談処理率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	100	100	100	100					
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
%	%	%	%																
100	100	100	100																
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値													
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
施策の課題	すべての相談に対処するために、絶えず、相談員の資質の向上及び、関係機関との連携強化に努める必要があります。																		
今後の取組の方向性	<p>【改善】</p> <p>●相談体制の充実 条例に基づく附属機関としての男女共同参画推進委員による意見・苦情及び被害救済の申し出への対応に加え、多様化する相談に的確に対応し救済へと導くため、婦人相談員の資質の向上及び、関係機関との連携強化、相談者の利便性向上により女性相談室の充実を図ります。</p>																		
事業の優先順位	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑                  大                  中                  小                  ↓             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: right;">01</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">01 婦人保護更生相談事業</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> <td style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓			01	01 婦人保護更生相談事業								低い	普通	高い	→ 優先度
上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓			01		01 婦人保護更生相談事業														
	低い	普通	高い	→ 優先度															

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
男女共同参画に関する啓発・教育の推進										
男女共同参画推進啓発事業	人権男女共同参画課	1	2	2	1	2	2	2	有効性に課題あり	改善
男女共同参画推進センター管理運営事業	人権男女共同参画課	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	改善
平等な参画機会の確保										
男女共同参画行政推進事業	人権男女共同参画課	1	2	2	1	2	1	3	有効性に課題あり	改善
男女共同参画に関する相談・被害者救済への支援										
婦人保護更生相談事業	人権男女共同参画課	1	2	2	2	3	3	2	効率性に課題あり	改善
男女共同参画の社会づくりを実現するための包括的な施策										
DV等対策事業	人権男女共同参画課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：観光を活かしたまちづくり

部局名：企業立地・観光物産振興局

対象	市民・来訪者（来訪予定等を含む）					
目的	多くの来訪者により賑わいを創出するため、地域資源に対する市民の誇りと愛着を育み、それらを活用した観光を推進します。					
内容	<p>「佐世保市観光振興基本計画」、「させぼエコツーリズム基本計画」、「動植物園活性化計画」に基づき、西海パールシーリゾート、九十九島動物園をはじめとする地域の観光資源について、魅力アップを図るとともに、観光客の誘致促進のための施策を展開しました。●観光客誘致促進事業（コンベンション誘致や観光PRのため佐世保観光コンベンション協会補助事業等）●訪日外国人誘致事業（トップセールスや中国からの旅行関係者の招聘など）●YOSAKOIさせぼ祭りなどイベント支援事業●九十九島水族館の管理運営事業●エコツーリズム推進事業（ふるさと雇用再生特別基金事業）●動植物園活性化対策事業（「モンキーオン」、「ツシヤママネコ展示舎」新設など）</p>					
トータルコスト	1,291,505千円	うち 事業費	1,125,346千円	うち 人件費	166,159千円	
22年度の成果	<p>ハウステンボスが新たな支援会社のもとリニューアルオープンし、西海パールシーリゾートも引き続き好調を維持することができ、観光客数、宿泊客数はともに3年ぶりに増加しました。宿泊客数は、景気低迷の影響を受け安近短の旅行志向が強まり目標を達成していませんが、観光客数は目標を達成することができました。</p>					
成果指標	指標名	観光入込客数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	①		人	人	人	人
	指標式	本市を訪れる年間の観光客数で計ります。				
			3,465,100	3,985,000	4,150,900	4,530,000
成果指標	指標名	宿泊客数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	②		人	人	人	人
	指標式	本市の宿泊施設における年間の宿泊客数で計ります。				
			1,059,300	1,238,400	1,112,500	1,388,400
政策の課題	<p>●東日本大震災の影響が不透明ななか、観光客の動向とニーズに対応した観光関連団体等との連携による誘客対策の実施が重要になっています。特に観光消費が大きい宿泊者を増加させることが課題と なっています。●ハウステンボス、西海パールシーリゾート、動植物園等の観光施設をつなぐ、ソフト・ハード両面でのネットワーク化が課題となっています。●「させぼエコツーリズム」や「まちなか観光」など、佐世保固有の地域資源や魅力を活かした「佐世保スタイル観光」の創造と持続可能な運営が求められています。●今後増加が見込まれる東アジア諸国からの観光客の誘客が重要になって います。</p>					
今後の方向性	<p>【改善】 ●佐世保市観光振興基本計画に基づく事業展開を図ります。（関係機関と連携した人材育成等による「オール佐世保」体制の確立、「まちなか観光」の推進、滞在型観光の推進等）●「させぼエコツア ー」の販売体制を確立するとともに、ツアープログラムの商品力を強化します。●東アジアから、特に上海航路を活かした中国からの観光客誘致に努めます。また外国人観光客に優しい観光地づくりを 進めます。●動植物園・水族館・遊覧船・九十九島八景の三者連携を強化し、ハード・ソフト両面か ら、さらに施設の魅力アップを図ります。</p>					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	観光客の誘致促進	<b>課名</b>	企業立地・観光物産振興局																					
<b>目的</b>	佐世保市の魅力を知ってもらうこと。●観光予定者が本市を観光訪問先として選択されます。●本市への観光旅行者が増加します。●市民の観光意識が高揚し地域が活性化します。																							
<b>22年度の成果</b>	佐世保の観光情報ホームページアクセス数は目標を達成しましたが、本市への旅行経験の割合につきましては、昨年より0.3ポイント増加したものの、目標には届きませんでした。今後、旅行情報を提供するとともに実際の来訪へ繋げる施策を更に強化し展開する必要があります。																							
<b>成果指標</b>	①佐世保観光ホームページアクセス件数 ②佐世保市への旅行経験の割合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>699,502</td> <td>610,000</td> <td>620,944</td> <td>670,000</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>37.2</td> <td>56</td> <td>37.5</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	699,502	610,000	620,944	670,000	%	%	%	%	37.2	56	37.5	60						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
699,502	610,000	620,944	670,000																					
%	%	%	%																					
37.2	56	37.5	60																					
<b>施策の課題</b>	●合併町を含む地域の文化や歴史を盛り込んだ、佐世保らしい体験型観光の構築とブランディングが必要です。●魅力ある観光地としての質・満足度の向上のため個々の観光施設のみならず、ハード・ソフト面での連携が必要です。●観光ニーズ的確な把握と効果的な情報発信等による、リピーターの確保と、新たな観光客の誘致が必要です。																							
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●官民連携による観光客誘致の更なる促進を図ります。●海外から誘客促進については、東日本大震災の状況を見極めつつ対応を図ります。●観光マーケティングの強化による戦略的な施策の展開を促進します。●広域（観光圏）連携の強化による潜在型観光の促進を図ります。※上記施策の展開においては、HTB、西海パールシーリゾートを核に、九十九島動植物園や「まちなか」等の観光施設などとの連携強化を図ります。更に人材育成等による受入体制の整備を図ります。●上海航路就航を見据えた観光地づくりを進めます。																							
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     上位へ の 貢献度                 </td> <td style="text-align: right;">大</td> <td></td> <td></td> <td>03 04</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     01 観光客誘致促進事業                      02 福岡事務所運営事業                      03 観光情報分析事業                      04 観光情報センター運営事業                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">中</td> <td></td> <td></td> <td>01</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小</td> <td>02</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table>			上位へ の 貢献度	大			03 04	01 観光客誘致促進事業 02 福岡事務所運営事業 03 観光情報分析事業 04 観光情報センター運営事業	中			01	小	02						低い	普通	高い	優先度
上位へ の 貢献度	大				03 04	01 観光客誘致促進事業 02 福岡事務所運営事業 03 観光情報分析事業 04 観光情報センター運営事業																		
	中				01																			
	小	02																						
		低い	普通	高い	優先度																			

  

<b>施策名</b>	観光基盤の整備	<b>課名</b>	企業立地・観光物産振興局																					
<b>目的</b>	多くの観光客の方々が佐世保市を訪れ、快適に楽しんでもらうことを目標とします。																							
<b>22年度の成果</b>	平成22年度のアンケート調査では「観光客の満足度」が65.1%と、昨年度実績に対しては1.7ポイントの微減となり、目標値を達成することが出来ませんでした。これは、ハウステンボスのリニューアル効果、また九十九島水族館のリニューアル効果の持続により、集客力はアップしているものの、本市全体の観光施設においての評価として満足度アップに作用しなかったからではないかと思われます。																							
<b>成果指標</b>	①観光客の満足度 ②	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>66.8</td> <td>78</td> <td>65.1</td> <td>80</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	66.8	78	65.1	80	%	%	%	%										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
66.8	78	65.1	80																					
%	%	%	%																					
<b>施策の課題</b>	●多くの観光客に訪れていただくためにも、主要観光施設のさらなる魅力向上を図る必要があります。●観光施設、観光資源を点で案内するのではなく、線や面で案内できるようネットワーク化を図る必要があります。●市民共有の財産である西海国立公園の景観保全、九十九島の環境保全に努めなければなりません。																							
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●観光施設、観光資源のさらなる魅力と集客力の向上を図るために必要な施設の整備と管理を効果的、計画的に行います。●西海パールシーリゾートの新たな魅力アップを図る計画作りを行います。																							
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     上位へ の 貢献度                 </td> <td style="text-align: right;">大</td> <td></td> <td></td> <td>03 06 07</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     01 西海パールシーリゾート管理運営事業                      02 西海パールシーリゾート環境整備事業                      03 観光標識等整備事業                      04 観光施設設置奨励事業                      05 温浴宿泊施設管理事業                      06 宇久シーパークホテル管理事業                      07 九十九島展望拠点整備事業                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">中</td> <td></td> <td></td> <td>01 02</td> </tr> <tr> <td style="text-align: right;">小</td> <td>04</td> <td>05</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table>			上位へ の 貢献度	大			03 06 07	01 西海パールシーリゾート管理運営事業 02 西海パールシーリゾート環境整備事業 03 観光標識等整備事業 04 観光施設設置奨励事業 05 温浴宿泊施設管理事業 06 宇久シーパークホテル管理事業 07 九十九島展望拠点整備事業	中			01 02	小	04	05					低い	普通	高い	優先度
上位へ の 貢献度	大				03 06 07	01 西海パールシーリゾート管理運営事業 02 西海パールシーリゾート環境整備事業 03 観光標識等整備事業 04 観光施設設置奨励事業 05 温浴宿泊施設管理事業 06 宇久シーパークホテル管理事業 07 九十九島展望拠点整備事業																		
	中				01 02																			
	小	04	05																					
		低い	普通	高い	優先度																			

# 施策概要書

<b>施策名</b>	佐世保スタイル観光の創出	<b>課名</b>	企業立地・観光物産振興局																												
<b>目的</b>	●佐世保市民自身が佐世保の魅力再認識し、自信を持って、その魅力を市外に情報発信します。●観光関連事業者、まちづくり支援者、市民が協働して「佐世保独自の観光スタイル」の確立に取り組むようになります。																														
<b>22年度の成果</b>	佐世保市への旅行意欲度については、21年度の実績値を0.4ポイント下回りましたが、観光総入込客数は、22年度増加に転じました。一方、エコツーリズムの体験プログラム数については、目標40件に対し、60件となり、目標を大きく上まりました。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">① 佐世保市への旅行意欲度</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">65.8</td> <td style="text-align: center;">76</td> <td style="text-align: center;">65.4</td> <td style="text-align: center;">80</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">② 体験観光プログラム数</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">56</td> <td style="text-align: center;">40</td> <td style="text-align: center;">60</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </table>			① 佐世保市への旅行意欲度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		65.8	76	65.4	80	② 体験観光プログラム数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	件	件	件	件		56	40	60	50
① 佐世保市への旅行意欲度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	%	%	%	%																											
	65.8	76	65.4	80																											
② 体験観光プログラム数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	件	件	件	件																											
	56	40	60	50																											
<b>施策の課題</b>	●魅力ある着地型旅行商品の企画・開発、及び販売体制の確立が必要です。●受入体制の整備として、佐世保の観光分野における人材育成が急務となっています。●イベント支援（補助）に対する継続的な検証が必要です。																														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●魅力ある体験プログラムの開発及び効果的な情報発信を継続するとともに着地型観光商品の販売体制を確立します。（「まちなか」を含む）●市民参加によるイベント開催への支援を行います。●“オール佐世保”による受入体制づくりを実施します。（広報やHPを活用した市民への観光資源周知や、関係機関と連携した「観光マイスター（達人）」などの人材育成の推進等）																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">01 02 03</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 観光イベント支援事業                  02 エコツーリズム推進事業                  03 佐世保ブランド創出事業             </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">                 優先度 →             </td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小			01 02 03	01 観光イベント支援事業 02 エコツーリズム推進事業 03 佐世保ブランド創出事業	低い	普通	高い	優先度 →																			
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小			01 02 03		01 観光イベント支援事業 02 エコツーリズム推進事業 03 佐世保ブランド創出事業																										
	低い	普通	高い																												
	優先度 →																														

  

<b>施策名</b>	魅力ある動植物園づくり	<b>課名</b>	動植物園																												
<b>目的</b>	●動植物園の魅力を知っていただき、行ってみたいという気持ちになっていただきます。●憩いや安らぎの中で、家族のふれあいや絆を深めていただきます。●命の尊さや食物連鎖の仕組み、種の保存や希少生物の保護・繁殖、環境保護などへの理解を深めていただき、多様な自然環境に対する保護意識を啓発します。																														
<b>22年度の成果</b>	年間入園者数については、224,000人という目標を設定していましたが、4月末の口蹄疫発生による各種ふれあいイベントの中止、夏の酷暑、鳥インフル発生の影響などもあり、実績としては前年度比△11.7%の165,881人でした。また、満足度については76%と、目標を達成することができました。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">① 動植物園年間入園者数</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">187,940</td> <td style="text-align: center;">224,000</td> <td style="text-align: center;">165,881</td> <td style="text-align: center;">250,000</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">② 動植物園満足度</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">72</td> <td style="text-align: center;">65</td> <td style="text-align: center;">76</td> <td style="text-align: center;">80</td> </tr> </table>			① 動植物園年間入園者数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人		187,940	224,000	165,881	250,000	② 動植物園満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		72	65	76	80
① 動植物園年間入園者数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	人	人	人	人																											
	187,940	224,000	165,881	250,000																											
② 動植物園満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	72	65	76	80																											
<b>施策の課題</b>	●情報発信については、主に広報させほや雑誌・新聞の記事などパブリシティに頼っている状況でしたが、平成23年度に実施する動植物園水族館連携PR事業で、特に市外からの新たな入園者の獲得を目指します。●サービスの質の確保に留意しつつ、お客様のニーズに合わせ、入園者増につながるソフトの開発に取り組む必要があります。●また、第1期施設整備終了に合わせて、入園料の改定など歳入確保についても検討する必要があります。																														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●平成24年度までの施設整備により、ハード面の充実を図り、それと同時に憩いや安らぎの中で、家族のふれあいや絆を深める場、命の尊さや食物連鎖の仕組み、種の保存や希少生物の保護・繁殖、環境保護などへの理解を深める場として、ソフト面の充実にも取り組み、年間入園者数の増や満足度の向上を目指します。																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">01 05</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">02</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 動植物園管理運営事業                  02 動植物園集客対策事業                  03 動植物園社会学習事業                  04 動植物園活性化事業                  05 野生動植物の希少種保存繁殖事業             </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">                 優先度 →             </td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		01 05	02	01 動植物園管理運営事業 02 動植物園集客対策事業 03 動植物園社会学習事業 04 動植物園活性化事業 05 野生動植物の希少種保存繁殖事業	低い	普通	高い	優先度 →																			
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		01 05	02		01 動植物園管理運営事業 02 動植物園集客対策事業 03 動植物園社会学習事業 04 動植物園活性化事業 05 野生動植物の希少種保存繁殖事業																										
	低い	普通	高い																												
	優先度 →																														

# 事務事業 決算評価一覽

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
<b>観光客の誘致促進</b>										
観光客誘致促進事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	1	2	2	2	有効性に課題あり	改善
福岡事務所運営事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	1	1	3	有効性に課題あり	休廃止
観光情報分析事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	改善
観光情報センター運営事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	1	3	3	1	有効性に課題あり	改善
<b>観光基盤の整備</b>										
西海パールシーリゾート管理運営事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
西海パールシーリゾート環境整備事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	改善
観光標識等整備事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	改善
観光施設設置奨励事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	1	1	3	有効性に課題あり	改善
温浴宿泊施設管理事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	1	1	3	2	有効性に課題あり	改善
宇久シーパークホテル管理事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
九十九島展望拠点整備事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	3	3	1	効率性に課題あり	改善
<b>佐世保スタイル観光の創出</b>										
観光イベント支援事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	3	3	1	特に課題は見当たらない	改善
エコツーリズム推進事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	3	3	2	3	特に課題は見当たらない	維持
佐世保ブランド創出事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	3	3	3	有効性に課題あり	改善
<b>魅力ある動植物園づくり</b>										
動植物園管理運営事業	動植物園	1	2	2	2	3	3	1	効率性に課題あり	改善
動植物園集客対策事業	動植物園	1	2	2	2	3	3	1	効率性に課題あり	維持
動植物園社会学習事業	動植物園	1	2	2	2	2	1	3	特に課題は見当たらない	維持
動植物園活性化事業	動植物園	1	1	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
野生動植物の希少種保存繁殖事業	動植物園	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持



# 政策概要書

政策名：文化芸術に親しめる環境づくり

部局名：企画部

対象	●市民				
目的	文化芸術を身近に感じ、参加、創造、継承する環境が整えられます。				
内容	<p>●第6次総合計画の文化芸術部門の個別計画として平成20年3月に策定した「文化振興基本計画」に基づき、市民の有識者組織「さほ文化の育成会」から提言を受けた重点プロジェクト『市民文化の担い手育成』の推進のための人材育成事業を実施しています。●アルカスSASEBOでは、鑑賞や市民文化ホールは、指定管理者による効率的な施設運営を推進し、アルカスSASEBOでは、鑑賞や市民参加型事業の充実を図り、文化芸術に親しめる環境づくりに努めました。●文化情報紙の発行など文化情報の発信に努めました。●文化財の保護・愛護・啓発に取り組むとともに、特に世界遺産登録推進事業では、「黒島の文化的景観」について調査し国の選定を受けるための申出を行いました。●市民会館では、市民に舞台芸術の鑑賞、市民文化活動の発表の場を提供しました。●島瀬美術センターでは、企画展や特別展の開催及び市民の創作活動の発表の場として活用されました。</p>				
トータルコスト	984,221千円	うち 事業費	874,645千円	うち 人件費	109,576千円
22年度の成果	●文化芸術の取組みに対する市民満足度は、平成18年度45.5%を踏まえて、目標値を設定しましたが、平成22年度は43.2%にとどまり、目標値に対して達成度80%となりました。				
成果指標	① 指標名 文化芸術の取組みに対する市民満足度	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
	指標式	37.2	54	43.2	60
成果指標	② 指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	指標式				
政策の課題	<p>●アルカスSASEBOでの文化芸術にふれる機会をはじめ美術鑑賞や歴史的資源などの鑑賞など、文化芸術全般にわたる鑑賞や市民参加の機会などソフト面での充実が求められています。●市民の文化芸術活動の拠点となる各種施設の計画的な整備・充実が必要です。●地域の文化財を貴重な財産として、周知と市民理解を促進するとともに、地域活性化の資源として活用されるよう関係機関との連携が必要です。●文化芸術の環境づくりを支える人材育成とネットワーク化が重要です。</p>				
今後の方向性	<p>【現状維持】 ●アルカスSASEBOでの自主事業（鑑賞事業・市民参加型事業）の充実や島瀬美術センターでの運営面での改善など文化芸術に接する場や機会の確保を図ります。●伝統文化の保存・活用・継承を推進し、地域文化の向上及び観光・地域活性化に寄与します。●文化財の保存・顕彰・活用に向けた調査、整備を図ります。●文化芸術を支える人材の育成及び活動に対して必要な支援を推進します。●長崎県立美術館分館の誘致に向けた取り組みを行います。</p>				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	市民文化の振興	<b>課名</b>	文化振興課												
<b>目的</b>	市民が文化芸術に接する場や機会を確保します。														
<b>22年度の成果</b>	●アルカスSASEBO 490千人（目標比98.0%）、市民会館が65千人（目標比76.2%）島瀬美術センター72千人（目標比92.9%）、市民文化ホール・立神音楽室28千人（目標比126.9%）、であり、全体で655千人、目標比96.6%となっています。														
<b>成果指標</b>	①主要文化施設の利用者数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>646,669</td> <td>678,000</td> <td>654,945</td> <td>680,000</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人	646,669	678,000	654,945	680,000	
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値											
人	人	人	人												
646,669	678,000	654,945	680,000												
②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
<b>施策の課題</b>	●多様な文化芸術への理解を深めてもらうきっかけづくりや環境づくりが必要であり、効果的な情報発信や特に子どもが文化芸術に触れる施策の展開が重要です。●各施設の老朽化などによるハード面の整備方針を明確にし、施設の運営方針を明らかにしていく必要があります。														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●アルカスSASEBO、市民会館、島瀬美術センターなどを拠点とした文化芸術事業を展開します。●子どものための文化環境の充実を図ります。●市民主体の文化活動等への支援を図ります。●文化芸術の情報発信を図ります。●美術鑑賞の機会及び発表の場の創出を図ります。●長崎県立美術館分館の誘致に向けた取り組みを行います。														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">02 06</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 ↓ 低い 普通 高い → 優先度             </td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">01 03 04 05</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> </table> <div style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">                 01 アルカスSASEBO管理運営事業                  02 市民文化ホール管理運営事業                  03 芸術文化提供事業                  04 島瀬美術センター管理運営事業                  05 市民会館管理運営事業                  06 市民文化活動助成事業             </div>			上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小			02 06	↓ 低い 普通 高い → 優先度			01 03 04 05				
上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小			02 06		↓ 低い 普通 高い → 優先度										
			01 03 04 05												
<b>施策名</b>	伝統文化の保存・活用・継承	<b>課名</b>	社会教育課												
<b>目的</b>	市内の伝統文化や文化財が良好に保存され、正しい歴史を伝える財産として活用され、また次代へと継承されることを意図しています。														
<b>22年度の成果</b>	●文化財説明板の設置については、確実に設置を進めています。平成21年度設置率（62.5%）→平成22年度設置率（75.5%）対前年比+13%の進捗、単年度目標値をクリアしています。●平成22年度市民意識調査における文化財認知度については、単年度目標はクリアできず、また昨年度に比しても低下しています。平成21年度認知度（34.7%）→平成22年度認知度（28.0%）対前年比-6.7ポイント。これは特に江迎・鹿町地区など合併地域でポイントが低い状況にあり、今後の取組課題といえます。														
<b>成果指標</b>	①文化財説明板の設置率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>31年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>61.8</td> <td>62.5</td> <td>75.5</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	31年度目標値	%	%	%	%	61.8	62.5	75.5	100	
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	31年度目標値											
%	%	%	%												
61.8	62.5	75.5	100												
②伝統文化の認知度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>34.7</td> <td>42.5</td> <td>28</td> <td>50</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	34.7	42.5	28	50		
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
%	%	%	%												
34.7	42.5	28	50												
<b>施策の課題</b>	●文化財を社会全体で保護・顕彰し、保存・継承していくためには、啓発事業を通じて市民理解を促進し、市民ボランティアと連携するなど、市民協働による取り組みを促進していく必要があります。●世界遺産登録推進などの重点事業については、事業が直接的に観光や産業に結びつくところであり、関係部局との連携が課題となります。														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●市民文化の中に郷土の歴史を位置付けるため、重要な地域資源である洞窟遺跡、近代化遺産等の総合的な調査及び継続的な整備を行うとともに、史跡、名勝、天然記念物の保護・活用を図ります。●特に注目度の高い福井洞窟や針尾送信所の保存整備については、効果的計画的に行います。●文化財に関するパンフレットの発行やシンポジウムの開催を通じて広く市民に対して効果的な情報提供を行うとともに、佐世保市の歴史、文化財等を網羅的に展示できる博物館の構想について引き続き研究・検討を行います。														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">02 03</td> <td style="width: 20px;">01 04 05 06</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 ↓ 低い 普通 高い → 優先度             </td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> </table> <div style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">                 01 文化財の調査・保護・活用事業                  02 うつわ歴史館管理運営事業                  03 文化財展示施設等管理運営事業                  04 世界遺産登録推進事業                  05 福井洞窟整備・発掘事業                  06 針尾送信所保存整備事業             </div>			上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小		02 03	01 04 05 06	↓ 低い 普通 高い → 優先度							
上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小		02 03	01 04 05 06		↓ 低い 普通 高い → 優先度										

# 施策概要書

施策名	地域文化を創造する人材育成	課名	文化振興課																					
目的	●文化の振興を図るため、市民文化リーダー・指導者や文化をプロデュースする人材として育成されます。●文化芸術活動の次世代を担う新人芸術家等の人材が育成されます。																							
2.2年度の実績	●文化振興基本計画の市民参加の推進組織「させば文化の人材育成会議」の提言を具体化した「市民文化の担い手育成プロジェクト」の実現としての人材育成事業を平成21年度から実施しています。●人材育成の成果は即現われるものではなく、人材育成のためには継続的な取り組みが必要です。●成果目標値の達成（達成率84.5%）はできませんでしたが、事業実施により実績値は伸びてきています。																							
成果指標	①文化芸術に触れている市民の割合	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>19.8</td> <td>23.9</td> <td>20.2</td> <td>25</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	19.8	23.9	20.2	25										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
%	%	%	%																					
19.8	23.9	20.2	25																					
施策の課題	●地域文化を活性化させるためには、優れた人材を発掘・育成し、活用するとともに、文化事業を総合的にマネジメントする人材や運営等側面からサポートする人材が必要です。●また、地域文化の新たな広がり創造するためには、様々な分野の活動の交流が大切です。●可能性を持った人材が、発表の機会や、力を伸ばすことができるような指導などを受けられるように、能力を育み発揮できる環境を充実させる必要があります。●市民文化の主体は市民であるので、市民の意見を施策に反映させることで成果の向上を図る必要があります。																							
今後の方向性	【現状維持】 ●市民が持っている知識や経験等を文化活動に活かせるよう、幅広い分野にわたる文化プロデューサーなど市民文化の担い手の育成を推進します。●文化芸術活動の次世代を担う地芸芸術家等の人材の発掘・育成を図るため、指導を受けたり能力を育み発揮できる環境を充実することにより、団体や個人のスキルアップを支援します。●文化振興基本計画に則り、「させば文化の人材育成会議」での検討結果を施策に活かすことで、施策の内容を改善・充実させながら、目標の達成を目指し、施策の展開を図ります。																							
業務の貢献度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 大 ↑ 中 ↓ 小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 地域文化創造人材育成事業             </td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">01</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table>			大 ↑ 中 ↓ 小				01 地域文化創造人材育成事業			01					低い	普通	高い			→ 優先度			
大 ↑ 中 ↓ 小					01 地域文化創造人材育成事業																			
			01																					
	低い	普通	高い																					
	→ 優先度																							

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	正位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
市民文化の振興										
アルカスSASEBO管理運営事業	文化振興課	1	2	2	3	2	3	2	効率性に課題あり	維持
市民文化ホール管理運営事業	社会教育課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
芸術文化提供事業	社会教育課	1	2	2	3	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
島瀬美術センター管理運営事業	島瀬美術センター	1	2	2	2	2	3	1	特に課題は見当たらない	維持
市民会館管理運営事業	市民会館	1	2	2	1	2	2	2	有効性に課題あり	維持
市民文化活動助成事業	社会教育課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
伝統文化の保存・活用・継承										
文化財の調査・保護・活用事業	社会教育課	1	2	2	2	3	3	1	特に課題は見当たらない	維持
うつわ歴史館管理運営事業	社会教育課	1	2	2	1	3	3	1	特に課題は見当たらない	休廃止
文化財展示施設等管理運営事業	社会教育課	1	2	2	1	3	3	1	効率性に課題あり	改善
世界遺産登録推進事業	社会教育課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
福井洞窟整備・発掘事業	社会教育課	1	2	2	1	3	3	3	有効性に課題あり	改善
針尾送信所保存整備事業	社会教育課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
地域文化を創造する人材育成										
地域文化創造人材育成事業	文化振興課	1	2	2	3	2	3	2	有効性に課題あり	維持
文化芸術に親しめる環境づくりを実現するための包括的な施策										
文化振興基本計画推進事業	文化振興課	1	2	2	1	2	2	2	有効性に課題あり	改善

# 政 策 概 要 書

政策名：国際色豊かなまちづくり

部局名：企画部

対 象	●市民 ●市内在住外国人 ●国際交流を推進する市民団体 ●各姉妹都市等						
目 的	●中国、韓国の各都市と観光や産業など多くの分野で関係を進化させることで、本市の経済発展につなげます。●市民と外国人との双方向の国際理解が深まります。						
内 容	<p>●23年1月に本市の国際的観点での都市ビジョンや戦略事業などをまとめた「国際戦略活動指針」を策定するとともに、中国や韓国等の各都市と本市との交流可能性の現地調査を行いました。●アルパキ市青少年ホームステイ事業で両市の生徒5名ずつの受入・派遣を行い、学校行事や地域活動を通して異文化理解、国際感覚の醸成を図りました。●坡州市について理解促進を図りました。●市民庁舎内に姉妹友好親善都市コーナーを設置しました。●環境学習会の開催や優待乗車の交付など、留学生の生活支援に取組みました。●中国と韓国からの2人の国際交流員を活用した、地域や学校での出前講座を実施することでの物産展などへの出店など交流を図りました。●国内姉妹都市九重町でのイベントへの参加や佐世保市での</p>						
トータルコスト	58,600 千円	うち 事業費	31,654 千円	うち 人件費	26,946 千円		
22年度の 取 組 果	●国際色豊かなまちだと感じる市民の割合は、平成22年度については73%を目標にしましたが、結果は75.8%となり、目標に対しての達成度は103.8%になりました。						
成果指標	①	指標名	国際色豊かなまちだと感じる市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
		指標式		%	%	%	%
				68.7	73	75.8	75
			国際色豊かだと感じる市民の割合が「(とても思う) + (ある程度思う)」の合計数				
②	指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値			
	指標式						
政 策 の 課 題	●本市の持続的発展のためには、経済成長が続いている東アジア、特に中国、韓国の活力を取り込むことが必要です。●海外姉妹都市等との交流は国際感覚の醸成や異文化理解の点では一定の成果を上げています。より効果的に事業を行うため、実施主体の変更などの検討が必要となっています。●地域全体の国際化を進めるため、市民団体や、学校、行政の国際交流情報の共有が求められています。						
今 後 の 方 向 性	<p>【改善】</p> <p>●次世代を担う青少年等の人材育成に重点を置いた、姉妹都市との交流事業を行います。●市民団体を関係機関、行政が国際交流情報を共有し、在住外国人との交流の場や機会を提供を連携して行います。●国際交流員が出前講座を活用して、市民に対して外国の文化や習慣を紹介するなど、東アジア文化理解・国際理解に重点を置いた事業を展開します。●安定的な経済成長を維持している東アジア、特に中国、韓国の各都市と交流を深め、多くの観光客を本市に受入れるなど、その活力を取り込んでいきます。そのために、「国際戦略活動指針」に掲げる戦略事業について、順次、プロジェクト化を図ってまいります。</p>						

# 施策概要書

<b>施策名</b>	市民交流の推進	<b>課名</b>	国際政策課																					
<b>目的</b>	●市民と外国人が交流する場や機会が確保され、相互に異文化を理解することができることです。																							
<b>22年度の成果</b>	●国際理解のための取組みに対する市民満足度を平成22年度は22.8%を目標設定しましたが20.4%になり達成度は89.5%となりました。																							
<b>成果指標</b>	①国際理解のための取組みに対する市民満足度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13.3</td> <td style="text-align: center;">22.8</td> <td style="text-align: center;">20.4</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	13.3	22.8	20.4	25										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
%	%	%	%																					
13.3	22.8	20.4	25																					
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
<b>施策の課題</b>	●姉妹友好都市との交流事業は、今後、行政主導から民間主導へ移行していくことが望まれます。●市民団体、関係機関、行政の各種国際交流の取組みについての情報の共有化、発信が必要となってきています。																							
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●次世代を担う青少年等の育成に重点を置いた、姉妹都市等を活用した青少年交流事業を積極的に推進します。●市民団体、関係機関、行政が相互に連携して、各種国際交流事業での市民と在住外国人との交流の場・機会を広げ、相互の国際理解の促進を図ります。																							
<b>事務事業のマトリョーシク</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">01</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 姉妹都市等交流事業 02 市民交流事業             </td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">02</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01	01 姉妹都市等交流事業 02 市民交流事業			02						低い	普通	高い			優先度 →		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01		01 姉妹都市等交流事業 02 市民交流事業																			
			02																					
		低い	普通	高い																				
		優先度 →																						

<b>施策名</b>	地域における国際化の推進	<b>課名</b>	国際政策課																					
<b>目的</b>	市民と在住外国人が相互理解を深め、国際理解を深めるための環境がつくられる。																							
<b>22年度の成果</b>	●国際理解促進事業への参加者数は、目標930名に対し1,105名を達成し、118.8%の達成度となりました。●外国人に親しみを感じる市民の割合は、目標57.8%に対し、56.7%の実績となり、98.2%の達成度でした。																							
<b>成果指標</b>	①国際理解促進事業への参加者数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,280</td> <td style="text-align: center;">930</td> <td style="text-align: center;">1,105</td> <td style="text-align: center;">950</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人	1,280	930	1,105	950										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
人	人	人	人																					
1,280	930	1,105	950																					
	②外国人に親しみを感じる市民の割合	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">48.2</td> <td style="text-align: center;">57.8</td> <td style="text-align: center;">56.7</td> <td style="text-align: center;">60</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	48.2	57.8	56.7	60										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																					
%	%	%	%																					
48.2	57.8	56.7	60																					
<b>施策の課題</b>	●国際理解を促進するための情報提供や機会の提供など、地域と在住外国人、特に留学生との交流促進が求められています。																							
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●外国から招致した国際交流員を活用して、外国の文化や習慣等を市民に紹介する講座等の開催など、市民の国際理解・異文化理解に重点を置いた事業を展開します。●留学生など在住外国人の利便性を図るため、各種情報の提供に努めます。																							
<b>事務事業のマトリョーシク</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">01</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 市民の国際理解促進事業             </td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01	01 市民の国際理解促進事業									低い	普通	高い			優先度 →		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01		01 市民の国際理解促進事業																			
		低い	普通	高い																				
		優先度 →																						

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
市民交流の推進											
	姉妹都市等交流事業	国際政策課	1	2	2	3	3	3	3	効率性に課題あり	改善
	市民交流事業	国際政策課	1	2	2	2	2	1	3	効率性に課題あり	維持
地域における国際化の推進											
	市民の国際理解促進事業	国際政策課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
国際色豊かなまちづくりを実現する包括的な施策											
	国際政策推進事業	国際政策課	1	2	2	3		3	2	効率性に課題あり	改善

# 政策概要書

政策名：魅力ある景観づくり

部局名：都市整備部

対象	●市民、事業者です。					
目的	●自然や歴史、街並み等を活かした個性のある景観を形成することです。					
内容	●景観計画及び景観条例を制定し、平成23年1月から施行しました。●三川内山地区においては、焼き物の里としての個性を活かした景観の形成の実現に向けて、地区内の散策路である市道の美化整備等を行いました。●歴史や生活・文化が感じられる地域の魅力ある景観を対象に景観100選の追加募集を行いました。また、景観100選の取り組みについて、ホームページや街頭での応募チラシの配布等により広報するなど啓発活動に努めました。					
トータルコスト	72,086 千円	うち 事業費	45,141 千円	うち 人件費	26,945 千円	
22年度の成果	●佐世保の景観を魅力的だと感じる市民の割合：市民アンケート調査による 72.5% (実績値) / 74.1% (目標値) = 97.8% 景観形成の取組みを行い前年度の実績を上回りましたが、目標値は達成できませんでした。					
成果指標	指標名	佐世保の景観を魅力的だと感じる市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	①		% 70.9	% 74.1	% 72.5	% 75
	指標式	佐世保の景観を魅力的だと感じる市民の割合を「市民意識アンケート調査」で計ります。				
	指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	②					
	指標式					
政策の課題	●黒島地区の文化的景観を保全していくために、黒島地区重点景観計画の策定が求められています。●景観づくりに対する市民の意識の醸成を図るため、情報発信の強化や啓発活動を充実することが必要です。					
今後の方向性	【改善】 ●地元と協議を行いながら黒島地区重点景観計画の策定を進めます。●景観計画等について、ホームページ等を通じ広く発信し、景観に対する市民の意識の醸成を図ります。					



# 施策概要書

施策名	景観形成に関する啓発	課名	まち整備課									
目的	景観に対する意識や関心を持つようになります。											
22年度の成果	●行政の景観づくりの取組みに対する認知度 24.3% (市民アンケートによる) 景観100選の追加募集の取組み等を行うことで前年度を上回ったが、目標値を下回りました。●24.3 (実績値) / 33.2 (目標値) = 73.2%											
成果指標	①行政の景観づくりの取組みに対する認知度	#21年度実績値	#22年度目標値									
		%	%									
		19.9	33.2									
	②	#22年度実績値	#22年度目標値									
		%	%									
		24.3	35									
施策の課題	●魅力ある景観づくりが日常の市民生活と直接的に結びつきにくいことから、市民に身近にある魅力的な景観を再認識してもらうための情報発信が必要です。											
今後の方向性	【改善】 ●景観意識の醸成を図るために新たに景観賞の取組みを行います。●景観100選で選定した景観を活用したまちづくりの可能性について、地区住民との意見交換会等を行います。●景観づくりの取組みや本市の魅力的な景観について、ホームページ等の媒体を通じ広く市民や事業者に向けて発信します。●景観計画、景観条例の必要性についての広報周知の取組みを通じて啓発活動を行います。											
事務事業のポジショニング	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">             上位へ の 貢献度                            大              中              小         </div> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;">01</td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td></tr> </table> <div style="margin-left: 10px;">             01 景観啓発事業         </div> </div> <div style="margin-top: 10px; text-align: center;">             低い          普通          高い                           優先度         </div>								01			
		01										

  

施策名	景観形成の推進	課名	まち整備課									
目的	景観の視点を持って建築物など施設の計画・設計・建設を行います。近代化資産や文化遺産等の既存施設について景観資産としての視点を持つようになります。											
22年度の成果	●景観形成地区内における建築行為等届出適合率 100% = 実績値3件 / 目標値3件 × 100 景観形成地区内の届出については成果が上がっています。											
成果指標	①景観形成地区内における建築行為等届出適合率	#21年度実績値	#22年度目標値									
		%	%									
		100	100									
	②景観計画区域における建築行為等届出適合率	#21年度実績値	#22年度目標値									
		%	%									
			100									
施策の課題	●現在施行している景観計画は、市域全体を対象として緩やかな景観形成の誘導を行う取組みであるが、佐世保らしい個性ある景観形成を図るためには、各地域の景観特性に合わせた重点的なルールづくりが必要です。●黒島の重要な文化的景観を世界遺産に登録するための重点景観計画の策定が必要です。●三川内山地区のまちづくりを将来に向けて継続していくために協議会との協働による事業推進が必要です。											
今後の方向性	【改善】 ●佐世保らしい景観形成のため、市域全体を対象とした景観法に基づく景観計画、景観条例の必要性について広報、周知に取り組みます。●重点景観計画により地域特性に応じた景観の形成を推進します。●公共施設整備完了後の事業について、三川内山地区まちづくり協議会との協働により検討を行います。											
事務事業のポジショニング	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="margin-right: 10px;">             上位へ の 貢献度                            大              中              小         </div> <table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;">01</td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td></tr> <tr><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td><td style="width: 25px; height: 25px;"></td></tr> </table> <div style="margin-left: 10px;">             01 景観形成推進事業 02 三川内山まちづくり推進事業         </div> </div> <div style="margin-top: 10px; text-align: center;">             低い          普通          高い                           優先度         </div>					01						
		01										

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
景観形成に関する啓発										
景観啓発事業	まち整備課	1	2	2	2	2	3	3	有効性に課題あり	改善
景観形成の推進										
景観形成推進事業	まち整備課	1	2	2	2	3	2	2	有効性に課題あり	改善
三川内山まちづくり推進事業	まち整備課		2	2			3	3	特に課題は見当たらない	改善

# 政策概要書

政策名：地域経済を支える地場企業の振興

部局名：農水商工部

対象	市民・地場企業															
目的	●技術力の高度化、新事業創出、新規創業などが進み、本市企業の経営を安定・拡大させることにより、雇用が維持・拡大します。●特産品生産者の新商品開発・販路開拓の意欲が高まり、売上の拡大による経営強化が進みます。															
内容	●経営基盤の強化：企業経営の安定を図るため、資金二一ズに及びたく制度融資の設利子補給などにより、技術力の高度化を図るため、企業が取り組む技術開発や販路開拓の支援を行います。●技術力の高度化：企業経営の安定を図るため、資金二一ズに及びたく制度融資の設利子補給などにより、技術力の高度化を図るため、企業が取り組む技術開発や販路開拓の支援を行います。●新規創業の支援：企業経営の安定を図るため、資金二一ズに及びたく制度融資の設利子補給などにより、技術力の高度化を図るため、企業が取り組む技術開発や販路開拓の支援を行います。															
トータルコスト	5,949,914千円	うち 事業費	5,887,205千円	うち 人件費 62,709千円												
22年度の成果	本市の主要産業である造船業が受注残を抱え、高操業が持続したこともあり、製造品出荷額等は目標を達成しました。しかしながら、中小零細企業におきましては、売上減少やコストダウン圧力などもあり、厳しい経営環境が続いています。															
成果指標	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>製造品出荷額等</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>億円 1,749</td> <td>億円 1,574</td> <td>億円 1,770</td> <td>億円 1,770</td> </tr> </table>	指標名	製造品出荷額等	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値			億円 1,749	億円 1,574	億円 1,770	億円 1,770	① 指標式 製造品出荷額、加工賃収入額、修理料その他の総額		
指標名	製造品出荷額等	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値											
		億円 1,749	億円 1,574	億円 1,770	億円 1,770											
	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>事業所数（国及び地方公共団体は除く）</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>事業所 11,270</td> <td>事業所 11,800</td> <td>事業所 11,963</td> <td>事業所 11,963</td> </tr> </table>	指標名	事業所数（国及び地方公共団体は除く）	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値			事業所 11,270	事業所 11,800	事業所 11,963	事業所 11,963	② 指標式 地場企業の振興の成果として、市内に立地する事業所の数で計ります。		
指標名	事業所数（国及び地方公共団体は除く）	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値											
		事業所 11,270	事業所 11,800	事業所 11,963	事業所 11,963											
政策の課題	●技術開発から販路確保までの一貫した支援、新分野進出や開業者の育成・掘り起こしなどが課題となります。●新たな販路開拓を行う際に、大・小の受注ロットに柔軟に対応できる産地と事業者の生産基盤の整備が課題となっています。●産地間や企業間競争が激化するなか、佐世保ブランドを確立することが求められています。															
今後の方向性	【改善】 ●今後も関係機関との連携をさらに強化しながら、市内企業の技術力向上、経営の安定・拡大、新規創業、人材育成などの取り組みを積極的に行うことで、地域経済の安定、雇用の確保につなげていきます。●「売れる商品づくり」を目指し、新設した商品開発等の支援制度やアンテナショップを活用して、事業者の新商品開発・研究意欲を醸成するとともに、戦略産品を中心に佐世保ブランドの確立に向けた需要開拓支援を行います。															

# 施策概要書

<b>施策名</b>	経営基盤の強化・企業経営の安定	<b>課名</b>	産業振興課																		
<b>目的</b>	中小企業の経営基盤を強化し、地場企業の安定した企業経営を支援します。																				
<b>22年度の成果</b>	資金需要のある事業者に円滑な資金供給を行うべく制度の拡充等を図りましたが、成果の達成状況は前年度と同じ程度であり、目標達成には至りませんでした。																				
<b>成果指標</b>	①利益を上げた企業の割合	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">37.9</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">37.3</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	37.9	48	37.3	50							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
37.9	48	37.3	50																		
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値															
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
<b>施策の課題</b>	<p>●経済状況が依然として厳しい状況が続いており、今後も引き続き、企業の経営安定・経営継続に向けた取り組みが必要です。</p> <p>●産業分野での情報化は一定普及（パソコン導入状況調査H18：90%）してきており、今後は、ITを活用できる人材の育成を引き続き図る必要があります。</p>																				
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●地場企業の経営基盤の強化、経営の安定を図るため、今後も引き続き協調金融機関等との連携により、常に少しでも利用しやすい制度への改善や資金需要への対応などを融資制度の見直しを行っていきます。</p> <p>●産業分野の情報化を推進するために、ITを経営に有効に活用できる人材の育成を図ります。（人材育成支援事業で実施します。）</p>																				
<b>事務事業のポジション</b>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;">01</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;">02</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p>01 地域産業情報化推進事業 02 中小企業経営基盤強化事業 03 中小企業緊急経済対策事業</p>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小	01		02								低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小	01		02																		
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				
<b>施策名</b>	技術力の高度化	<b>課名</b>	産業振興課																		
<b>目的</b>	市内企業の高度な技術力を活かし、競争力のある付加価値の高い製品を開発できるようになることです。																				
<b>22年度の成果</b>	技術開発や新製品開発への意欲の高い企業に対し、支援事業を実施しました。																				
<b>成果指標</b>	①新製品・新技術開発支援件数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">件</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	件	件	件	件	6	6	6	8							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
件	件	件	件																		
6	6	6	8																		
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値															
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																		
<b>施策の課題</b>	<p>技術開発、新製品開発に対して、企業も熱心に取り組まれ、一定の成果が出ていますが、企業収益に貢献できる商品に至るものを生み出すには、技術力はもちろん、資金力・マーケティング・営業など多様な要素が必要となってくるものと思われます。ただし中小企業はそれらの資源に限りがある場合が多いため、個々の企業が抱える課題に対応できるようなサポートを求められるケースが増えてきています。</p>																				
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>製造業が今後も活発な企業活動を続けていくためには、技術力の高度化、付加価値の高い製品づくりが必要です。そのためには市としても資金面での支援をはじめ、その他必要な支援を継続し、県をはじめ各種支援機関との連携をしながら、より効果的なものとしていきます。</p>																				
<b>事務事業のポジション</b>	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;">02</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;">01</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20px; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p>01 新製品新規開発支援事業 02 産学官連携技術振興事業</p>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			02			01					低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			02																		
			01																		
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	地場産業の振興	<b>課名</b>	企業立地・観光物産振興局														
<b>目的</b>	●地場産業が活性化し、知名度の高い産地となることを目的とします。●特産品生産者の新商品開発や販路開拓への意欲が高まり、売上の拡大による経営強化が進むことを目的とします。																
<b>22年度の成果</b>	●三川内焼生産額：実績値2.3億円/目標値5億円×100=46%。全国的な陶磁器の需要低迷の影響により、目標を達成できませんでした。安価な外国製品の流入や旅館・ホテル、割烹など業務用食器の受注も大幅に減少するなど、業界界が抱える構造的な問題も影響しています。●ふるさと特産品の件数：実績値28件/目標値31件×100=90.3%。目標数値には達しませんでした。平成22年度は4件の採択がありました。																
<b>成果指標</b>	①三川内焼生産額	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> </tr> <tr> <td>2.5</td> <td>5</td> <td>2.3</td> <td>5</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	億円	億円	億円	億円	2.5	5	2.3	5			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
億円	億円	億円	億円														
2.5	5	2.3	5														
	②ふるさと特産品の件数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>件</td> <td>件</td> <td>件</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>31</td> <td>28</td> <td>35</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	件	件	件	件	24	31	28	35			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
件	件	件	件														
24	31	28	35														
<b>施策の課題</b>	●地場産業の零細企業は、売上低迷等のため経営存続そのものも厳しい状況にあります。●陶磁器業界は、需要の低迷等の影響もあり、全国的に厳しい状況にあることから、有望な販路の開拓や、購入意欲を醸成するような取り組みを行うことが課題です。●市場（消費者）の動向を意識し、また市民が愛着を有する特産品づくりおよびその販路開拓・拡大に継続して取り組み、特産品関連企業の売上拡大を図ることで、経営強化につなげていく必要があります。																
<b>今後性の方向</b>	【改善】 ●させば戦略産品の一つでもある「みかわち焼」については、地域資源を活用した体験型観光メニューの造成や購買力の高い都市圏での販路開拓を行うなど、伝統産業の活性化を図ります。●特産品開発については、県・市の支援制度の積極的な活用による新商品の創出に努めるとともに、戦略産品を中心としたマーケティングに継続して取り組み、特産品のブランド化に努め、本市特産品の認知度・売上の増加を目指します。●福岡アンテナショップ「キトラス」を拠点に、特産品販売や食と観光の相乗効果による本市の魅力発信に取り組みます。																
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑大 中 ↓小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">02</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>03</td> <td>01</td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">01 伝統産業振興事業 02 特産品の販路拡大事業 03 農工商等連携促進事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		02			03	01	低い	普通	高い	→ 優先度			
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		02															
		03	01														
	低い	普通	高い														
→ 優先度																	

<b>施策名</b>	新規創業の支援	<b>課名</b>	産業振興課														
<b>目的</b>	新たな事業活動をおこし、経営を軌道にのせるなど新産業の創出が図られ、技術の交流や相互受発注、新製品開発等の拡大など企業の新たな分野への進出が図られるようになることです。																
<b>22年度の成果</b>	起業を目指す人の積極的な取り組み、商工会議所、産業振興財団、金融機関など関係機関による対象者の掘り起こし・熱心な支援などにより、目標値を達成できました。																
<b>成果指標</b>	①開業・創業企業への融資件数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>件</td> <td>件</td> <td>件</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>15</td> <td>8</td> <td>19</td> <td>10</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	件	件	件	件	15	8	19	10			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
件	件	件	件														
15	8	19	10														
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
<b>施策の課題</b>	雇用の場を確保していくためには、既存企業の発展はもとより、新たな創業、起業家を一人でも多く育成することが必要です。そのためには、起業家を目指す方々に対して、支援をしていく必要があります。																
<b>今後性の方向</b>	【現状維持】 異業種交流については、参加企業による新たな会員獲得のための活動や新規事業への検討など活発な活動が続けられており、今後もこの取り組みに対し支援していきます。創業支援については、産業支援センターのコーディネーターを中心に相談・指導等を実施していきます。創業資金についても、商工会議所との連携を図りながら支援体制を充実させるとともに、利子補給事業については業種の拡大など、利用される方々のニーズに対応していきます。																
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑大 中 ↓小             </td> <td style="width: 33%;">01</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>02</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: small;">01 異業種交流事業 02 新規企業金融支援事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小	01				02		低い	普通	高い	→ 優先度			
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小	01																
		02															
	低い	普通	高い														
→ 優先度																	

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
経営基盤の強化・企業経営の安定										
地域産業情報化推進事業	産業振興課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	休廃止
中小企業経営基盤強化事業	産業振興課	1	2	2	3	3	2	2	特に課題は見当たらない	改善
中小企業緊急経済対策事業	産業振興課	1	2	2	3	3	3	1	特に課題は見当たらない	
技術力の高度化										
新製品新規開発支援事業	産業振興課	1	2	2	3	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
産学官連携技術振興事業	産業振興課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
地場産業の振興										
伝統産業振興事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	改善
特産品の販路拡大事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	1	3	2	3	有効性に課題あり	改善
農商工等連携促進事業	産業振興課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
新規創業の支援										
異業種交流事業	産業振興課	1	2	2	1	3	1	2	効率性に課題あり	改善
新規企業金融支援事業	産業振興課	1	2	2	1	2	2	3	有効性に課題あり	休廃止

# 政策概要書

政策名：魅力ある商業の振興と流通の活性化

部局名：農水商工部

対 象	●市民 ●商業・サービス業 ●商店街 ●卸売市場 ●生産者、卸、仲卸、小売業者等の市場関係者。					
目 的	●活発な商業活動が行われています。●商品の円滑な流通により、安定した取引を行うことができます。					
内 容	●商工会議所や商工会等と連携して、経営指導や商業振興施策の展開を図りました。●成長が続く中流市場への進出の定着を図りました。●消費者の嗜好の変化、流通の変化など、商業サービス業の活性化を図りました。●消費の低迷が続く中、中小零細企業を支援する観点から、技術研修（観光分野）を活用した経済交流の促進を図りました。●消費者の嗜好の変化、流通の変化など、商業サービス業の活性化を図りました。●消費の低迷が続く中、中小零細企業を支援する観点から、技術研修（観光分野）を活用した経済交流の促進を図りました。●消費の低迷が続く中、商業・サービス業の全体的な活性化を図る必要がありますが、特に、中小・零細企業の支援を充実することが求められています。●中心商店街や各地域の商店街が、元気で便利な商店街として発展するための取組みが求められています。●卸売市場の効率的な運営のため、将来的な市場のあり方を関係業界とともに検討し、公正で安定的な商品取引を支える環境整備が必要です。					
トータルコスト	716,213 千円	うち 事業費	602,718 千円	うち 人件費	113,495 千円	
22年度の成果	●商店街など商業分野に係る各種施策を実施するも、消費人口の減少、大型店の影響や消費者の買い物形態の変化などの影響で、地域の商店は減少しています。そのような中でも、日常の買い物に対する利便性については、昨年比4.6%改善できています。●水産市場において取扱数量が目標に達しませんでした。●消費の低迷が続く中、商業・サービス業の全体的な活性化を図る必要がありますが、特に、中小・零細企業の支援を充実することが求められています。●中心商店街や各地域の商店街が、元気で便利な商店街として発展するための取組みが求められています。●卸売市場の効率的な運営のため、将来的な市場のあり方を関係業界とともに検討し、公正で安定的な商品取引を支える環境整備が必要です。					
成果指標	指標名	商品販売額	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値
①	指標式		億円 6,371	億円 6,610	億円 6,371	億円 6,640
	指標式	小売業・卸売業年間商品販売額				
②	指標名	市内での日常の買い物に対する利便性	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	指標式		% 61.7	% 67	% 66.3	% 70
	指標式	市内での日常の買い物を便利だと思う市民の割合を「市民意識アンケート調査」				
政策の課題	●消費の低迷が続く中、商業・サービス業の全体的な活性化を図る必要がありますが、特に、中小・零細企業の支援を充実することが求められています。●中心商店街や各地域の商店街が、元気で便利な商店街として発展するための取組みが求められています。●卸売市場の効率的な運営のため、将来的な市場のあり方を関係業界とともに検討し、公正で安定的な商品取引を支える環境整備が必要です。					
今後の方向性	【現状維持】 ●商店街が必要とし、主体的に取り組む各種魅力向上・イベント・研修などの活性化事業を、関係機関との連携を確保しながら支援を継続します。●商工会議所・商工会など各支援機関が実施する経営指導などの中小零細企業振興事業を継続して支援します。●買物難民など新たな社会課題について調査検討を進めます。●中国などとの経済交流については、新たな動向など必要な情報収集を行いながら進めていきます。●市場流通機能の維持確保と効率化により安全・安心な生鮮食料品の安定供給を図ります。					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	商業・サービス業の活性化	<b>課名</b>	産業振興課														
<b>目的</b>	企業の経営安定、事業拡大。商業・サービス業の活性化。																
<b>22年度の成果</b>	経済支援機関との連携の中で、経営安定のための相談業務をはじめ、様々な支援施策を実施しましたが、厳しい経済状況が続く中、成果の達成状況は前年度と同程度にとどまり、目標は達成できませんでした。																
<b>成果指標</b>	①利益を上げた企業の割合	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">37.9</td> <td style="text-align: center;">48</td> <td style="text-align: center;">37.3</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	37.9	48	37.3	50			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
%	%	%	%														
37.9	48	37.3	50														
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
<b>課題</b>	中小企業は「ヒト・モノ・カネ・情報」という経営資源全般において大企業と比べて弱い部分があります。中小企業が抱える課題の解決のためには、中小企業診断士など様々な分野の専門家によるサポートが必要となっています。また、中国をはじめアジア等との取引拡大に関しては、単なる海外への生産拠点の移転ではなく、海外を市場とする相互の事業展開ができるような取組みができないか引き続き検討する必要があります。																
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●商工会議所、商工会、中小企業団体中央会等支援機関と連携協力して、専門家等によるサポートを通して、中小零細企業の経営の安定及び企業活動の活性化を支えます。●また、姉妹都市であるアモイ市を足がかりとして企業の中国との経済交流を支援していきます。</p>																
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑大 中 ↓小             </td> <td style="border: 1px solid black;">03</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;">01 02</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">→ 優先度</p> <p>01 中小企業経営支援事業 02 研修生受入事業 03 させぼ振興券発行事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小	03		01 02								低い	普通	高い
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小	03		01 02														
	低い	普通	高い														

  

<b>施策名</b>	魅力ある商店街づくり	<b>課名</b>	産業振興課														
<b>目的</b>	人々で賑わう魅力ある商店街づくり																
<b>22年度の成果</b>	店舗の状況については、再開発事業の影響もあり、空き店舗が多くなっています。商店街の活性化を図るための取り組みは実施してきていますが、消費人口の減少という要因も含め、通行量は減少してきています。																
<b>成果指標</b>	①商店街空き店舗数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">店舗</td> <td style="text-align: center;">店舗</td> <td style="text-align: center;">店舗</td> <td style="text-align: center;">店舗</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">67</td> <td style="text-align: center;">43</td> <td style="text-align: center;">68</td> <td style="text-align: center;">39</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	店舗	店舗	店舗	店舗	67	43	68	39			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
店舗	店舗	店舗	店舗														
67	43	68	39														
	②商店街の歩行者通行量	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">68,627</td> <td style="text-align: center;">62,500</td> <td style="text-align: center;">56,417</td> <td style="text-align: center;">59,200</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人	68,627	62,500	56,417	59,200			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値														
人	人	人	人														
68,627	62,500	56,417	59,200														
<b>課題</b>	●市外への消費の流出や市内近郊の大型店、ロードサイド店等との競合、消費者の嗜好の変化、流通形態の変化など、商店街を取り巻く課題は多岐にわたっています。●日常品の買い物に不便を感じる人も増えています。																
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●消費の低迷など景気悪化の影響を強く受けている商店・商店街に対して、人々で賑わう魅力ある個店、商店街作りを進めていこうとする活動に今後も支援していく必要があります。●今後は、買物難民などの状況など、より詳細な商業的・地理的な事情の把握を行い、対応を検討していくこととしています。</p>																
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑大 中 ↓小             </td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;">01</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">→ 優先度</p> <p>01 商店街支援事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小			01								低い	普通	高い
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小			01														
	低い	普通	高い														



# 施策概要書

施策名	安定的な商品取引の環境整備（卸売市場事業の運営）	課名	卸売市場												
目的	●生産者が安心して出荷できます。●市場関係者が安心して取引できます。●消費者が安定的に適正な価格で供給を受けることができます。														
22年度の成果	●青果市場の取扱数量は、目標32,400tに対し実績では28,407t、87.7%です。●水産市場の取扱数量は、目標39,500tに対し実績では32,942t、83.4%です。●食肉市場の上場頭数は、目標36,000頭に対し実績では35,793頭、99.4%の達成となっています。														
成果指標	①青果市場・水産市場の取扱数量	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>60,610</td> <td>71,900</td> <td>61,349</td> <td>77,000</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	t	t	t	t	60,610	71,900	61,349	77,000	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
t	t	t	t												
60,610	71,900	61,349	77,000												
	②食肉市場の取扱数量	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>頭</td> <td>頭</td> <td>頭</td> <td>頭</td> </tr> <tr> <td>37,313</td> <td>36,000</td> <td>35,793</td> <td>37,600</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	頭	頭	頭	頭	37,313	36,000	35,793	37,600	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
頭	頭	頭	頭												
37,313	36,000	35,793	37,600												
施策の課題	●近年の取引形態の多様化や、消費低迷により市場での取扱数量が減少していることに対する方策が求められています。●厳しい財政状況の下、施設の劣化や老朽化の進行に伴い、増加傾向にある施設整備費に対応していく必要があります。●中央卸売市場の地方卸売市場への転換に向けて円滑に推進する必要があります。														
今後の方向性	【改善】 ●関係業界と連携して出荷要請や新規買受人の確保など集荷対策、販売対策を強化し取扱数量の増大を目指します。●計画的な施設の整備を行い市場流通機能の維持確保を図り生鮮食料品の安定供給に努めます。●中央卸売市場の地方卸売市場への転換へ向けて所定の手続きを進めています。														
事業の優先順位	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">03</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">01 02 04</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">             01 中央卸売市場青果市場管理運営事業              02 中央卸売市場水産市場管理運営事業              03 食肉地方卸売市場管理運営事業              04 花き地方卸売市場管理運営事業         </p>					03				01 02 04					
		03													
		01 02 04													

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
商業・サービス業の活性化										
中小企業経営支援事業	産業振興課	1	2	2	2	3	2	2	効率性に課題あり	改善
研修生受入事業	産業振興課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	改善
させば振興券発行事業	産業振興課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	終了
魅力ある商店街づくり										
商店街支援事業	産業振興課	1	2	2	2	2	2	2	効率性に課題あり	改善
安定的な商品取引の環境整備（卸売市場事業の運営）										
中央卸売市場青果市場管理運営事業	卸売市場	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	改善
中央卸売市場水産市場管理運営事業	水産市場	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	改善
食肉地方卸売市場管理運営事業	卸売市場	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
花き地方卸売市場管理運営事業	卸売市場	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	改善

# 政策概要書

政策名：農林業の振興

部局名：農水商工部

対象	●市民 ●農林畜産事業者																					
目的	豊かな自然を育み、新鮮で安全・安心な農林畜産物が安定的に供給されます。																					
内容	<p>●活力ある農林業を展開する生産基盤の整備については、農道、かんがい施設・農業機械施設等の基盤整備（間伐等）を行いました。また、森林の適正管理・保全事業として、市有林の管理・保護育成等（下刈・支払制度）により農地の保全を図りました。また、有害な鳥獣被害防止対策として、ワイヤーメッシュ防護柵の設置や捕獲免許取得のための支援を行いました。●新鮮・安全・安心な農林畜産物の供給に努めるため、本市のブランドみかん「西海みかん」の安定した生産を行うため、ハウス使用済みフィルム等のほか、世知原茶の振興事業（新改植、農道整備等）を行いました。また、農産物の流通・加工・販売の促進を図るとともに、グリーンツーリズムの推進を行い、都市部住民、消費者に対して農林業の理解を深めていただく取り組みを行いました。</p>																					
トータルコスト	1,501,650 千円	うち 事業費	1,181,654 千円	うち 人件費	319,996 千円																	
22年度の成果	●長引く景気低迷や農業資材の高止まりが続く中、農業産出額は合併により前年度より増加し目標値は達成しました。●農業従事世帯数は減少傾向で推移していますが合併により前年度より増加し、目標値を達成しました。																					
成果指標	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>農業産出額</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>89.4</td> <td>89.2</td> <td>101.8</td> <td>89.5</td> </tr> </table>	指標名	農業産出額	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値			億円	億円	億円	億円			89.4	89.2	101.8	89.5	<p>① 指標式 農林業の振興の成果として、年間の農業産出額で計ります</p>		
指標名	農業産出額	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																	
		億円	億円	億円	億円																	
		89.4	89.2	101.8	89.5																	
	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>農業従事世帯数</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>3,177</td> <td>3,350</td> <td>3,765</td> <td>3,350</td> </tr> </table>	指標名	農業従事世帯数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値			世帯	世帯	世帯	世帯			3,177	3,350	3,765	3,350	<p>② 指標式 一定条件のもとで農業に従事する者がいる世帯数で計ります。</p>		
指標名	農業従事世帯数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																	
		世帯	世帯	世帯	世帯																	
		3,177	3,350	3,765	3,350																	

政策の課題

●農業経営者の高齢化や農産物価格の低迷等、農業で生計を保つことが厳しくなり、農業従事世帯数は年々減少傾向にあるため、農業経営の基盤強化と付加価値の高い農産物の産地化が求められています。●市内の人工林は戦後を中心に植林され、熱心に撫育管理されてきましたが、外材の輸入や住宅事情の変化により、国産材の利用が減少し、手入れをしても収入に繋がらないことで悪循環に陥っている状況にあります。●イノシシ等有害鳥獣被害は深刻化しており、これが離農に結びつく懸念があります。

今後の方向性

【現状維持】  
●農業生産効率が悪い中山間地域では、中山間地域等直接支払制度等を活用し、集落で地域の農業をき守る機運を高めて農業従事者の減少に歯止めをかけます。●他産地との差別化による有利販売ができの守る、農産物のブランド化を図るための支援策を講じていきます。●林業については、今後も市有林の融資等を計画的な下刈、間伐等の委託を行い、民有林については森林整備に対する支援や事業資金の融資等を推進します。●近年はイノシシに加えアライグマやアナグマ等による農作物被害が発生し、また、家畜侵入等による生活環境被害が発生していることから、被害が拡大しないよう捕獲対策を講じていきます。

# 施策概要書

<b>施策名</b>	活力ある農林業を展開する生産基盤の整備	<b>課名</b>	農林整備課										
<b>目的</b>	生産活動を支える基盤を整備します。												
<b>22年度の成果</b>	基盤整備事業（農道・用水路等）を実施し、目標値を達成することができました。												
<b>成果指標</b>	① 国・県の補助事業で基盤整備事業を実施した面積	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>30年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	30年度目標値		ha	ha	ha			
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	30年度目標値									
	ha	ha	ha										
② 農道舗装率	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>30年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>59.8</td> <td>62.1</td> <td>62.1</td> <td>65</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	30年度目標値	%	%	%	%	59.8	62.1	62.1	65
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	30年度目標値										
%	%	%	%										
59.8	62.1	62.1	65										
<b>施策の課題</b>	本市は中山間地域が多く、生産基盤の整備や機械化が遅れている。また、環境にやさしい資源循環型農林業への取り組みも今後の課題となります。												
<b>今後の方針</b>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農林業生産基盤整備の推進 生産物を安定的に供給するため、農地、農林道、ため池等の営農環境を改善するとともに、農林業用施設の整備や機械の導入、認定農業者等による遊休農地有効利用を推進し、生産コストの低減や営農規模の拡大を図ります。</li> <li>●環境に配慮した資源循環型農林業の推進 環境に配慮した資源循環型農業を推進するため、施設・機械等の整備や耕畜連携によるネットワークの構築等を通じ、有機性資源の更なる利活用を推進します。</li> </ul>												
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="border: 1px solid black;"> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>01 03 05 06</td> <td>02 04 08 09</td> </tr> <tr> <td>07 10 11 12</td> <td></td> </tr> </table> </td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 低い      普通      高い                  優先度             </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">                 13 17             </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">                 14 16 19             </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>01 農地行政一般管理事業</li> <li>02 干害恒久対策事業</li> <li>03 農地基盤整備促進事業</li> <li>04 営農用道路整備事業</li> <li>05 市営農業用施設管理事業</li> <li>06 土地基盤整備償還助成</li> <li>07 市有ため池管理事業</li> <li>08 老朽ため池対策事業</li> <li>09 農道整備事業（県営事業負担金）</li> <li>10 農業用基幹施設維持管理事業</li> <li>11 ほ場整備換地事務補助事業</li> <li>12 農林行政一般管理事業</li> </ul>			上位への貢献度 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>01 03 05 06</td> <td>02 04 08 09</td> </tr> <tr> <td>07 10 11 12</td> <td></td> </tr> </table>	01 03 05 06	02 04 08 09	07 10 11 12		低い      普通      高い 優先度	13 17	14 16 19	
上位への貢献度 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>01 03 05 06</td> <td>02 04 08 09</td> </tr> <tr> <td>07 10 11 12</td> <td></td> </tr> </table>	01 03 05 06	02 04 08 09		07 10 11 12		低い      普通      高い 優先度						
	01 03 05 06	02 04 08 09											
	07 10 11 12												
13 17													
14 16 19													
<b>施策名</b>	活力ある農林業を展開する生産基盤の整備	<b>課名</b>	農林整備課										
<b>目的</b>	生産活動を支える基盤を整備します。												
<b>22年度の成果</b>	基盤整備事業（農道・用水路等）を実施し、目標値を達成することができました。												
<b>成果指標</b>	① 国・県の補助事業で基盤整備事業を実施した面積	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>30年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td>ha</td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	30年度目標値		ha	ha	ha			
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	30年度目標値									
	ha	ha	ha										
② 農道舗装率	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>30年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>59.8</td> <td>62.1</td> <td>62.1</td> <td>65</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	30年度目標値	%	%	%	%	59.8	62.1	62.1	65
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	30年度目標値										
%	%	%	%										
59.8	62.1	62.1	65										
<b>施策の課題</b>	本市は中山間地域が多く、生産基盤の整備や機械化が遅れている。また、環境にやさしい資源循環型農林業への取り組みも今後の課題となります。												
<b>今後の方針</b>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●農林業生産基盤整備の推進 生産物を安定的に供給するため、農地、農林道、ため池等の営農環境を改善するとともに、農林業用施設の整備や機械の導入、認定農業者等による遊休農地有効利用を推進し、生産コストの低減や営農規模の拡大を図ります。</li> <li>●環境に配慮した資源循環型農林業の推進 環境に配慮した資源循環型農業を推進するため、施設・機械等の整備や耕畜連携によるネットワークの構築等を通じ、有機性資源の更なる利活用を推進します。</li> </ul>												
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="border: 1px solid black;">                 18             </td> <td style="border: 1px solid black;">                 15             </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">                 13 17             </td> <td style="border: 1px solid black;">                 14 16 19             </td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;">                 13 17             </td> <td style="border: 1px solid black;">                 14 16 19             </td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>13 林道改良事業</li> <li>14 農業施設・機械整備事業</li> <li>15 家畜導入促進事業</li> <li>16 畜産施設・機械整備事業</li> <li>17 農地・水・環境保全向上対策事業（営農活動）</li> <li>18 農業委員会一般管理事業</li> <li>19 遊休農地の有効利用事業</li> </ul>			上位への貢献度 大 中 小	18	15	13 17	14 16 19	13 17	14 16 19			
上位への貢献度 大 中 小	18	15											
	13 17	14 16 19											
	13 17	14 16 19											

# 施策概要書

<b>施策名</b>	安定した農林業を支える経営体制の強化	<b>課名</b>	農業畜産課																												
<b>目的</b>	農地の荒廃等を減少させ、農業後継者や担い手の確保対策を図ります。																														
<b>22年度の成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●育成すべき担い手数については、合併及び新規認定者により増加となりました。</li> <li>●農地流動化面積については、農用地の利用権設定数が平成21年度実績より大幅に向上し、目標値も達成しました。</li> </ul>																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">①育成すべき担い手数</td> <td>※21年度実績値</td> <td>※22年度目標値</td> <td>※22年度実績値</td> <td>※24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>経営体</td> <td>経営体</td> <td>経営体</td> <td>経営体</td> </tr> <tr> <td></td> <td>431</td> <td>421</td> <td>461</td> <td>440</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②農地流動化面積</td> <td>※21年度実績値</td> <td>※22年度目標値</td> <td>※22年度実績値</td> <td>※24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>ha</td> <td>ha</td> <td>ha</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>68</td> <td>30</td> <td>121</td> <td>30</td> </tr> </table>			①育成すべき担い手数	※21年度実績値	※22年度目標値	※22年度実績値	※24年度目標値	経営体	経営体	経営体	経営体		431	421	461	440	②農地流動化面積	※21年度実績値	※22年度目標値	※22年度実績値	※24年度目標値	ha	ha	ha	ha		68	30	121	30
①育成すべき担い手数	※21年度実績値	※22年度目標値	※22年度実績値		※24年度目標値																										
	経営体	経営体	経営体	経営体																											
	431	421	461	440																											
②農地流動化面積	※21年度実績値	※22年度目標値	※22年度実績値	※24年度目標値																											
	ha	ha	ha	ha																											
	68	30	121	30																											
<b>施策の趣</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本市のような中山間地域においては、平地に比べ生産コストが高み、集落における高齢化の進展や担い手の減少により産地形成が困難な状況になっていますが、中山間地域等直接支払制度等によって、かろうじて農地が維持されている状況です。</li> </ul>																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●認定農業者が策定した経営改善計画を達成することにより他産業並みの農業所得確保を目指します。</li> <li>●中山間地域の農地の水源涵養、国土保全、景観形成等の公益的機能を維持し、耕作放棄地の拡大を防止します。</li> <li>●新規就農者育成確保事業等により自立できる農業者の育成を図ります。</li> <li>●有害鳥獣対策として、防護面を強化するとともに捕獲の充実を図ります。</li> </ul>																														
<b>事務事業の貢献度が</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">                 上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小 ↓             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">03 09 10</td> <td style="width: 25%;">01 05 06</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">                 01 米生産調整対策事業                  02 有害鳥獣対策事業                  03 農業金融対策事業                  04 中山間地域等振興対策事業                  05 畜産振興対策事業                  06 家畜保健衛生対策事業                  07 農業担い手育成事業                  08 認定農業者育成事業                  09 林業担い手対策事業                  10 農業経営環境支援事業             </td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">02 04 07 08</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">優先度 →</p>			上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小 ↓		03 09 10	01 05 06	01 米生産調整対策事業 02 有害鳥獣対策事業 03 農業金融対策事業 04 中山間地域等振興対策事業 05 畜産振興対策事業 06 家畜保健衛生対策事業 07 農業担い手育成事業 08 認定農業者育成事業 09 林業担い手対策事業 10 農業経営環境支援事業		02 04 07 08			低い	普通	高い																
上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小 ↓		03 09 10	01 05 06		01 米生産調整対策事業 02 有害鳥獣対策事業 03 農業金融対策事業 04 中山間地域等振興対策事業 05 畜産振興対策事業 06 家畜保健衛生対策事業 07 農業担い手育成事業 08 認定農業者育成事業 09 林業担い手対策事業 10 農業経営環境支援事業																										
		02 04 07 08																													
	低い	普通	高い																												

  

<b>施策名</b>	新鮮・安全・安心な農林畜産物の供給	<b>課名</b>	農業畜産課																												
<b>目的</b>	農業者は、新鮮・安全・安心な農産物を生産・供給し、消費者はこれを購入します。																														
<b>22年度の成果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●卸売市場で取り扱う地場野菜・果物の量が、目標の77%にしか達しませんでした。</li> <li>●ブランド商品の出荷額にあつては、前年度より大きく上回り、平成22年度目標値を達成しました。これは、生産量が少なかったものの、それぞれのブランド力により、高単価を示したために達成したものと考えます。</li> </ul>																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2">①地場産（市場）取扱割合（野菜・果物）</td> <td>※21年度実績値</td> <td>※22年度目標値</td> <td>※22年度実績値</td> <td>※24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>12</td> <td>15.5</td> <td>11.9</td> <td>15.5</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②ブランド商品の出荷額</td> <td>※21年度実績値</td> <td>※22年度目標値</td> <td>※22年度実績値</td> <td>※24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> <td>億円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>9.8</td> <td>13.2</td> <td>13.4</td> <td>14.1</td> </tr> </table>			①地場産（市場）取扱割合（野菜・果物）	※21年度実績値	※22年度目標値	※22年度実績値	※24年度目標値	%	%	%	%		12	15.5	11.9	15.5	②ブランド商品の出荷額	※21年度実績値	※22年度目標値	※22年度実績値	※24年度目標値	億円	億円	億円	億円		9.8	13.2	13.4	14.1
①地場産（市場）取扱割合（野菜・果物）	※21年度実績値	※22年度目標値	※22年度実績値		※24年度目標値																										
	%	%	%	%																											
	12	15.5	11.9	15.5																											
②ブランド商品の出荷額	※21年度実績値	※22年度目標値	※22年度実績値	※24年度目標値																											
	億円	億円	億円	億円																											
	9.8	13.2	13.4	14.1																											
<b>施策の趣</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●本市卸売市場における地元農産物の出荷割合は低下傾向にありますが、生産農家においては高価で取り引きされる他市場に出荷することが有利であることから、卸売市場への出荷を要請することが難しくなっています。</li> <li>●ブランド商品としている出島の茶（みかん）、長崎さちのか（いちご）、長崎和牛西海の牛、世知原茶の出荷額については若干増加したものの、これ以外の農産物を含め、今後、いかに付加価値を高めて、消費拡大を図っていくかが課題となっています。</li> </ul>																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●研修や各種整備事業を実施することにより、消費者ニーズに応じた農産物の提供が可能となり、佐世産農畜産物の安定生産供給に努めていきます。</li> </ul>																														
<b>事務事業の貢献度が</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">                 上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小 ↓             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">01</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">                 01 果樹振興対策事業                  02 野菜花き振興事業                  03 茶振興対策事業             </td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;">02 03</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">優先度 →</p>			上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小 ↓		01	01 果樹振興対策事業 02 野菜花き振興事業 03 茶振興対策事業		02 03		低い	普通	高い																		
上位へ の 貢献度 ↑ 大 中 小 ↓		01	01 果樹振興対策事業 02 野菜花き振興事業 03 茶振興対策事業																												
		02 03																													
	低い	普通	高い																												

# 施策概要書

施策名	都市と農村が共生する地域づくり	課名	農林整備課												
目的	●農村と都市との交流を通じ、農村が活性化すること。●森林整備の推進等を通じ、多面的機能が発揮されること。														
22年度の成果	農地・水・環境保全事業や林業教室への参加者が多く、またグリーンツーリズムにおける体験イベントにも関心が集まりました。														
成果指標	① 農林業体験者数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5,939</td> <td style="text-align: center;">4,470</td> <td style="text-align: center;">5,409</td> <td style="text-align: center;">5,000</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	人	人	人	人	5,939	4,470	5,409	5,000	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値												
人	人	人	人												
5,939	4,470	5,409	5,000												
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値									
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値												
施策の課題	農山漁村地域で自然や文化、人々の交流を楽しむ過ごし方が余暇活動の一つとして普及していることから、これらの受け入れを通じて地域活性化や農家の所得向上に結びつける展開が求められています。														
今後の方向性	<p>【現状維持】</p> <p>●農林業従事者が主体的に取り組むグリーンツーリズムに対し、体制づくりや活動の面で必要な支援を行います。●農地等の保全・活用に関する集落や地域ぐるみでの活動への支援、森林整備の推進等を通じ、多面的機能を発揮する森林や田園空間の保全整備・維持を図る。●交流施設や交流農地の整備等を支援します。</p>														
事業の優先順位	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">02 03</td> <td style="width: 20%;">01 04</td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">05 06</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↑ 上位への貢献度 (大, 中, 小)</p> <p style="text-align: center;">← 低い      普通      高い (優先度)</p> <p style="font-size: small;">01 農地・水・環境保全事業 02 森林整備事業 03 森林空間総合整備事業 04 ふれあい農業推進事業 05 農山村交流施設等管理運営事業 06 松くい虫対策事業</p>				02 03	01 04		05 06							
	02 03	01 04													
	05 06														

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の 方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的与 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減努力		
活力ある農林業を展開する生産基盤の整備										
農地行政一般管理事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
干害恒久対策事業	農林整備課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
農地基盤整備促進事業	農林整備課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
営農用道路整備事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
市営農業用施設管理事業	農林整備課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
土地基盤整備償還助成	農林整備課				2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
市有ため池管理事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
老朽ため池対策事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
農道整備事業（県営事業負担金）	農林整備課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
農業用基幹的施設維持管理事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
ほ場整備換地事務補助事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
農林行政一般管理事業	産業振興課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
林道改良事業	農林整備課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
農業施設・機械整備事業	農業畜産課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
家畜導入促進事業	農業畜産課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
畜産施設・機械整備事業	農業畜産課	1	2	2	2	2	1	3	特に課題は見当たらない	維持
農地・水・環境保全向上対策事業（営農活動）	農業畜産課	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	改善
農業委員会一般管理事業	農業委員会事務局	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	改善
遊休農地の有効利用事業	農業委員会事務局	1	2	2	3	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
安定した農林業を支える経営体制の強化										
米生産調整対策事業	農業畜産課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
有害鳥獣対策事業	有害鳥獣対策室	1	2	2	1	2	1	2	有効性に課題あり	維持
農業金融対策事業	農業畜産課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
中山間地域等振興対策事業	農業畜産課	1	2	2	2	2	3		特に課題は見当たらない	維持
畜産振興対策事業	農業畜産課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
家畜保健衛生対策事業	農業畜産課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
農業担い手育成事業	農業畜産課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
認定農業者育成事業	農業畜産課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
安定した農林業を支える経営体制の強化											
	林業担い手対策事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	農業経営環境支援事業	農業委員会事務局	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
新鮮・安全・安心な農林畜産物の供給											
	果樹振興対策事業	農業畜産課	1	2	2	1	3	3	2	有効性に課題あり	維持
	野菜花き振興事業	農業畜産課	1	2	2	2	2	1	3	有効性に課題あり	維持
	茶振興対策事業	農業畜産課	1	1	2	1	2	2	3	有効性に課題あり	改善
都市と農村が共生する地域づくり											
	農地・水・環境保全事業	農林整備課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
	森林整備事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	森林空間総合整備事業	農林整備課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	ふれあい農業推進事業	農業畜産課	1	2	2	2	3	3	2	有効性に課題あり	維持
	農山村交流施設等管理運営事業	農業畜産課	1	2	2	1	2	2	1	有効性に課題あり	改善
	松くい虫対策事業	農林整備課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持



# 政策概要書

政策名：水産業の振興

部局名：農水商工部

対象	●市民 ●漁業事業者																					
目的	豊かな自然を活かし、新鮮で安全・安心な水産物の安定的な供給されることです。																					
内容	<p>●資源回復のための生産基盤として、沿岸域の魚類漁場として根付漁場として針尾地区に漁場を造成し、黒島、高島、浅子、柿ノ浦、神崎、太郎ヶ浦の各漁港を整備を行いました。また有用種苗（ウー、イワガキ、アカガイの試験生産を行い技術の確立に努めました。●安定した漁業を支える経営体制を維持するために資金制度による支援や生産基盤施設の整備の支援を実施し、離島地区における漁業と水産物の流通の確保を図りました。●新鮮・安全・安心な食料供給として、水産資源の保護管理、水域の環境保全及び食普及を市民に周知するための水産加工まつりや漁協が行う販売促進等の事業の支援を行いました。●都市と漁村の交流として、他の部局との連携し漁業体験館の利用促進の支援を行いました。</p>																					
トータルコスト	1,446,033 千円	うち 事業費	1,299,062 千円	うち 人件費	146,971 千円																	
22年度の成果	平成18年度より水産業基本計画を実施に移し各種事業を行ってきましたが、魚価の低迷、後継者不足、燃油高騰が続く中、平成22年度の漁獲量は31,002tとほぼ横ばい、漁獲高も魚価の低迷等により9,300百万円と目標値の達成までは至っておりません。																					
成果指標	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>漁獲量</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>27年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>トン</td> <td>トン</td> <td>トン</td> <td>トン</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td></td> <td>31,019</td> <td>55,940</td> <td>31,002</td> <td>58,300</td> </tr> </table>	指標名	漁獲量	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値			トン	トン	トン	トン	①		31,019	55,940	31,002	58,300	指標式 佐世保市管内6漁協の漁獲量合計（漁協調査）		
指標名	漁獲量	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値																	
		トン	トン	トン	トン																	
①		31,019	55,940	31,002	58,300																	
②	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>漁獲高</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>27年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> <td>百万円</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>8,130</td> <td>16,690</td> <td>9,300</td> <td>18,780</td> </tr> </table>	指標名	漁獲高	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値			百万円	百万円	百万円	百万円			8,130	16,690	9,300	18,780	指標式 佐世保市管内6漁協の漁獲高合計（漁協調査）		
指標名	漁獲高	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値																	
		百万円	百万円	百万円	百万円																	
		8,130	16,690	9,300	18,780																	

# 施策概要書

<b>施策名</b>	資源回復のための生産基盤の整備	<b>課名</b>	水産課																		
<b>目的</b>	沿岸域での漁場造成および有用種を中心とした種苗の生産・放流により漁業資源が増加し、また高齢化が進む漁業者の労力軽減化対策や安全性の向上に重点を置いた漁港整備により沿岸域での漁業を営むことができる環境が整います。																				
<b>22年度の成果</b>	漁場（藻場・漁場環境）においては、各施策の取組により一部には改善の方向が見られましたが、平成23年度に掲げた沿岸漁業の漁獲量の目標値に対して56.8%の達成で、かなりの落ち込みがみられ、漁獲高も魚価の低迷が影響しさらに下落しております。																				
<b>成果指標</b>	① 沿岸漁業の漁獲量	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>27年度目標値</th> </tr> <tr> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td>2,810</td> <td>4,570</td> <td>2,594</td> <td>5,370</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値	t	t	t	t	2,810	4,570	2,594	5,370	②						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値																		
t	t	t	t																		
2,810	4,570	2,594	5,370																		
<b>施策の課題</b>	●就業者の減少と高齢化の進行および燃油等の高騰に伴い、低コストで安全に漁業が行える沿岸域での漁場の重要性が増えています。しかし沿岸海域は、磯焼け等による藻場の減少や漁場環境の悪化に伴い、漁業資源は減少傾向にあり、今後の漁業維持が徐々にではあるが難しい状況になってきています。																				
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <p>●漁村の総合的な振興⇒漁港・漁場の一体的、総合的な整備・保全を行い、水産資源の生産力向上と生活環境等の改善を図ります。●栽培漁業の推進と養殖業の育成⇒資源の適切な管理の下、効率的かつ持続的な利用を図るため「つくり・育てる漁業」と安全安心な水産物供給のための漁場の監視を推進します。●種苗生産事業の推進⇒施設の充実を図り、安定的な種苗の供給と多様化する多様化するニーズに対応した種苗生産技術の確立を目指します。⇒栽培漁業の推進と養殖業の育成に統合します。</p>																				
<b>事務事業のマトリクス</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">上位への貢献度</td> <td>大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td>01 02 03</td> <td></td> </tr> <tr> <td>小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">優先度 →</p> <p>01 漁村の総合的な振興事業 02 栽培漁業の推進と養殖業の育成事業 03 種苗生産事業の推進事業</p>			上位への貢献度	大				中		01 02 03		小						低い	普通	高い
上位への貢献度	大																				
	中		01 02 03																		
	小																				
		低い	普通	高い																	

  

<b>施策名</b>	安定した漁業を支える経営体制の強化	<b>課名</b>	水産課																		
<b>目的</b>	●健全で自立可能な漁協が育ち、制度資金・交付金等の活用により漁家経営が安定することがねらいです。●漁業後継者（新規就業者）が確保され、さらに女性部、青年部、漁業集落等の活動を支援し、漁村の活性化を図られることです●特に離島地区においては、生産、流通、価格のハンディの解消策が構築がされることです。																				
<b>22年度の成果</b>	漁業従事者の高齢化（60歳以上が半数を超えている）、漁協合併や組合員資格審査の徹底により組合からの脱退者が増加し、当初の見込みより組合員数の減少率が高くなっています。																				
<b>成果指標</b>	① 担い手数（漁協組合員数）	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>27年度目標値</th> </tr> <tr> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>1,834</td> <td>2,169</td> <td>1,910</td> <td>2,130</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値	人	人	人	人	1,834	2,169	1,910	2,130	②						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値																		
人	人	人	人																		
1,834	2,169	1,910	2,130																		
<b>施策の課題</b>	●佐世保市内の漁協は、依然として経営基盤が脆弱な小規模漁協が多く、経営が厳しい状況になっています。また離島地区においては、漁業者の高齢化に伴う担い手不足が深刻化し、離島漁業再生交付金事業により維持していますが、今後は漁業の維持が困難になってくるのではとの懸念もあります。																				
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●漁家経営の安定強化⇒健全で自立可能な漁協が育成し、制度資金・交付金等の活用により漁家の経営が安定強化を図ります。●意欲ある担い手の育成・支援⇒漁業後継者（新規就業者）が確保されることにより漁村の活性化を図ります。●漁業関連施設の充実⇒漁業生産体制を構築するための漁業用関連施設の充実を図ります。</p>																				
<b>事務事業のマトリクス</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="writing-mode: vertical-rl;">上位への貢献度</td> <td>大</td> <td></td> <td>01 02</td> <td>03</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">優先度 →</p> <p>01 漁家経営の安定強化事業 02 漁業関連施設の充実事業 03 意欲ある担い手の育成・支援事業</p>			上位への貢献度	大		01 02	03	中				小						低い	普通	高い
上位への貢献度	大		01 02		03																
	中																				
	小																				
		低い	普通	高い																	

# 施策概要書

<b>施策名</b>	新鮮・安全・安心な水産物の供給	<b>課名</b>	水産課																														
<b>目的</b>	●水域の監視や藻場の保全、海浜清掃により漁場環境が保全され水産物の安全・安心な生産が行えることが必要です●ブランド化、販路拡大等により地域特産物の生産と消費が拡大することです。●地域の流通施設の活用や食育の推進により水産物の消費が拡大することです。																																
<b>22年度の成果</b>	特産品においては、生産量について、イリコ(3,719t)⇒(3,020t)、九十九島カキ(1,100t)⇒(1,080t)品目による変動があり、また大村産ナマコは、佐世保地区以外では減少傾向にありますが、佐世保では種苗放流等により現状維持の状況にあります。																																
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">①地域特産品の出荷量</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>27年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>4,836</td> <td>4,800</td> <td>4,115</td> <td>5,000</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">②市内向け出荷量の推移</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>27年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> <td>t</td> </tr> <tr> <td></td> <td>11,705</td> <td>15,100</td> <td>13,176</td> <td>16,000</td> </tr> </table>			①地域特産品の出荷量	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値		t	t	t	t		4,836	4,800	4,115	5,000	②市内向け出荷量の推移	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値		t	t	t	t		11,705	15,100	13,176	16,000
①地域特産品の出荷量	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値																													
	t	t	t	t																													
	4,836	4,800	4,115	5,000																													
②市内向け出荷量の推移	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値																													
	t	t	t	t																													
	11,705	15,100	13,176	16,000																													
<b>施策の課題</b>	佐世保市の水産物や水産加工品の知名度はまだ低く、生産者と消費者の連携が上手くかみ合っていない状況が見受けられます。今後、地元水産物、加工品の知名度を上げ、高付加価値化を図る等の対策も必要であるが、いかに多くの水産物や水産加工品を多く消費してもらうことが不可欠であるため、商品等の積極的なPRを実施し、消費拡大を図る必要があります。																																
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <p>●漁場環境の保全対策⇒水域の監視や地域と一体となり藻場の保全、海浜清掃により漁場環境が保全され水産物の安全・安心な生産環境を支援します。⇒ハード部分は漁場へ、ソフトの部分は栽培漁業の推進と養殖業の育成に統合します。●地域水産物の消費拡大の促進⇒地域ブランド品の創出やアンテナショップや県外出店による販路拡大等による地域特産物の消費拡大を支援します。●地産地消の推進⇒地域の流通施設(市場や生産物直販所等)の活用や食育の推進(給食等への水産物の利用拡大)により、さらなる水産物の消費拡大を支援します。</p>																																
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">03</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">02</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">01</td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 地域水産物の消費拡大促進事業 02 地産地消の推進事業 03 漁場環境の保全対策事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小			03		02	01				低い		普通	高い	優先度 →															
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小			03																														
		02	01																														
低い		普通	高い																														
優先度 →																																	
<b>施策名</b>	都市と漁村の交流による地域づくり	<b>課名</b>	水産課																														
<b>目的</b>	●漁業との調和を図り、市民の憩いと安らぎの空間を創出します。●漁業体験施設等の整備により都市と漁村の交流促進を行い、漁村の活性化を図ります。																																
<b>22年度の成果</b>	施設及び体験メニュー等の不足による乗客数の伸び悩みがあったが、体験施設の整備が完了し、地元の体制も整いつつあるので今後の体験者数の増加が見込まれます。																																
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">①漁業体験者の推移</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>27年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td></td> <td>5,636</td> <td>4,000</td> <td>5,850</td> <td>5,000</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 25%;">②</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>27年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			①漁業体験者の推移	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値		人	人	人	人		5,636	4,000	5,850	5,000	②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値										
①漁業体験者の推移	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値																													
	人	人	人	人																													
	5,636	4,000	5,850	5,000																													
②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値																													
<b>施策の課題</b>	●体験プログラムや地域のリーダー養成等が完了しておらず、漁村が持つ多面的な機能と豊かな資源(自然)が、十分に活用されていないために、市民や都市と漁村との交流が十分に図られていません。																																
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●ブルー・ツーリズムの推進のためにも漁業体験プログラムの創出や地域のリーダー養成等を図り、市民や都市と漁村との交流による漁村の活性化を図られるようにします。一方多くの市民の方に自然(海を中心とした)の中で楽しんでもらうためにも漁業と海洋性レクリエーションとのルール作り等により調和を図ります。⇒施策全体を安定した漁業を支える経営体制の強化へ統合します。</p>																																
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">01 02</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 漁業と海洋レクリエーションとの調和事業 02 ブルー・ツーリズムの推進事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小					01 02					低い		普通	高い	優先度 →															
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小																																	
		01 02																															
低い		普通	高い																														
優先度 →																																	

# 施策概要書

施策名	水産業の振興を実現するための包括的な施策	課名	水産課															
目的	水産振興事業の円滑な推進が行われることです。																	
22年度の成果	水産振興のための協議会等においては、意見交換を関係団体行い業務に反映させるとともに、佐世保市農林水産業基本計画は、計画に基づく予算執行を行い、10年計画の5年目の事業の進捗を図りました。また、合併や国の施策の転換等に伴う環境変化に対応するために、5年目の22年度に中間見直しを行いました。																	
成果指標	① 水産業基本計画の実行進捗率  ②	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;">21年度実績値</td> <td style="width: 25%;">22年度目標値</td> <td style="width: 25%;">22年度実績値</td> <td style="width: 25%;">27年度目標値</td> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>50</td> <td>50</td> <td>100</td> </tr> </table>		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値	%	%	%	%	40	50	50	100			
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	27年度目標値															
%	%	%	%															
40	50	50	100															
施策の課題	今年度は、佐世保市農林水産業基本計画（水産業編）の各事業毎の経過を考慮し、施策の方向性の見直しを行いました。次年度以降も後期5年間の進捗管理を図ることが必要と考えられます。																	
今後の方向性	【現状維持】 消費者、生産者、流通事業者等、多様な声を積極的に受信・反映しながら、本市の水産業の長期的将来ビジョンに基づく施策展開を実施します。																	
事業事業の優先順位	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">                     上位への貢献度                      ↑                      大                      中                      小                      ↓                 </td> <td style="width: 40%; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100px; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">01</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table> </td> <td style="width: 45%; vertical-align: top;">                     01 水産行政一般管理事業                 </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">                     低い                      普通                      高い                      ←                      →                      優先度                 </td> <td></td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">01</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>					01					01 水産行政一般管理事業		低い                      普通                      高い ←                      → 優先度	
上位への貢献度 ↑ 大 中 小 ↓	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px; border-collapse: collapse;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">01</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>					01					01 水産行政一般管理事業							
	01																	
	低い                      普通                      高い ←                      → 優先度																	

# 事務事業 決算評価一覧

施策名		課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
事務事業名	目的妥当性		手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力			
資源回復のための生産基盤の整備											
漁村の総合的な振興事業	水産課	1	2	2	2	2	2	2	有効性に課題あり	維持	
栽培漁業の推進と養殖業の育成事業	水産課	1	2	2	1	2	2	2	効率性に課題あり	維持	
種苗生産事業の推進事業	水産センター	1	2	2	1	2	2	3	効率性に課題あり	改善	
安定した漁業を支える経営体制の強化											
漁家経営の安定強化事業	水産課	1	2	2	1	3	1	3	有効性に課題あり	維持	
漁業関連施設の充実事業	水産課	1	2	2	1	3	3	3	有効性に課題あり	改善	
意欲ある担い手の育成・支援事業	水産課	1	2	2	1	3	2	3	有効性に課題あり	改善	
新鮮・安全・安心な水産物の供給											
地域水産物の消費拡大促進事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	2	1	2	有効性に課題あり	改善	
地産地消の推進事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	3	2	3	2	有効性に課題あり	改善	
漁場環境の保全対策事業	水産課	1	2	2	2	3	2	1	効率性に課題あり	改善	
都市と漁村の交流による地域づくり											
漁業と海洋レクリエーションとの調和事業	水産課	1	2	2	2	2	2	3	効率性に課題あり	改善	
ブルー・ツーリズムの推進事業	水産課	1	2	2	2	2	3		特に課題は見当たらない	維持	
水産業の振興を実現するための包括的な施策											
水産行政一般管理事業	水産課	1	1	2	2	2	3	2	効率性に課題あり	維持	

# 政策概要書

政策名:雇用の創出と労働の安定

部局名:農水商工部

対 象	市民（働く意欲のある人）、県外及び県市内の企業						
目 的	市民（働く意欲のある人）が、雇用され安定して働くことができる環境が創出されることです。						
内 容	<p>●製造業の受け皿となる県補助による市町営大規模工業団地の整備支援事業の候補地として、本市小佐々地区が決定を受け、平成23年度から整備事業を実施する。●地場企業の振興・発展による雇用の場の創出が求められています。●若者、高齢者、女性、障がい者等の多様な雇用・就業機会の創出と就職支援が重要です。●勤労者が安心して快適に働けるよう、勤労者福祉の充実が必要です。ひいては、それが労働の安定につながります。</p>						
トータルコスト	391,561 千円	うち 事業費	348,285 千円	うち 人件費	43,276 千円		
22年度の成果	<p>●企業立地件数は15件で、各企業の雇用計画総数では、1,445人以上の新規雇用の場が創出できたが、企業の求めるスキルを持った人材の不足等のため、実採用数は、目標達成には至りませんでした。●国、県等関係機関の協力により、就職活動の支援と勤労者福祉の増進に積極的に取り組んできましたが、20年度後半からの経済・雇用情勢の悪化が大きく影響し、目標を達成することはできませんでした。</p>						
成果指標	指標名	有効求人倍率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	36年度目標値	
①	指標式	倍	0.38	倍	0.86	倍	1
		雇用の創出と労働の安定の成果として、本市における有効求人倍率で計ります。					
②	指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		
		指標式					
政策の課題	<p>●新たな雇用を生み出す企業誘致の受け皿となる新規工業団地の整備と、企業誘致活動に係る体制強化が求められています。●地場企業の振興・発展による雇用の場の創出が求められています。●若者、高齢者、女性、障がい者等の多様な雇用・就業機会の創出と就職支援が重要です。●勤労者が安心して快適に働けるよう、勤労者福祉の充実が必要です。ひいては、それが労働の安定につながります。</p>						
今後の方向性	<p>【現状維持】 ●企業立地の受け皿となる市営工業団地（小佐々地区）の整備事業に着手します。併せて県・長崎県の振興財団と連携を密にし、既存団地や新規工業団地への企業立地を促進します。●雇用対策は、国の等関係機関との連携強化のもと、各施策を取り組みます。●求職者に対する相談・指導等の就職支援を行ない、就職率の向上に努めます。●中小企業の福利厚生の上りや退職金共済制度の加入促進に努めます。</p>						

# 施策概要書

<b>施策名</b>	就職活動の支援	<b>課名</b>	産業振興課																												
<b>目的</b>	●就職活動の場・機会が確保されることです。																														
<b>22年度の成果</b>	新規学校卒業者の市内就職率は、目標に対して85.8%と前年度の91.3%から下落しています。市内就職者数は前年度比10.4%の増となったものの、県外への就職者数が前年度比23.6%の増と増加率が大きかったことが要因の一つと考えられます。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">① 新規学校卒業者の市内就職率</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">29.2</td> <td style="text-align: center;">33</td> <td style="text-align: center;">28.3</td> <td style="text-align: center;">35</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			① 新規学校卒業者の市内就職率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		29.2	33	28.3	35	②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値									
① 新規学校卒業者の市内就職率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	%	%	%	%																											
	29.2	33	28.3	35																											
②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
<b>施策の課題</b>	●就職活動の場と機会の提供、就労環境の整備・改善と並行して、雇用の受け皿となる地場企業の活性化と企業誘致など、新規求人への増を促す必要があります。●市内就職を希望している新規学卒者と、地元からの優秀な人材を求めている市内企業があるにもかかわらず、企業の採用情報が不足していたり、求人時期が都市圏に比べて遅いなどの理由により、求人とのミスマッチが生じ、新規学卒者の市内就職率の向上につながらない実態があります。																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <p>●厳しい雇用環境が続いている中、ハローワークなど関係機関との連携を深め、積極的な情報発信と効果的な合同企業面接会の開催等により、就職活動の場の提供と機会の確保に努めます。●また、県の基金事業（ふるさと雇用再生、緊急雇用創出）を活用しながら、雇用の創出に取り組みます。●国や県と連携・協力しながら、求職者に対する相談や指導などの就職支援に取り組みます。●市内の企業と学校、若年求職者等から情報を収集して相互に提供し、埋もれた求人を掘り起こすなど、求人とのミスマッチの解消に努めます。</p>																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">02</td> <td rowspan="3" style="width: 34%; vertical-align: middle;">                 01 労働雇用対策事業                  02 シルバー人材センター支援事業                  03 ワークプラザ求職者支援事業             </td> </tr> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">01 03</td> </tr> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		02	01 労働雇用対策事業 02 シルバー人材センター支援事業 03 ワークプラザ求職者支援事業		01 03				低い	普通	高い		優先度 →														
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		02	01 労働雇用対策事業 02 シルバー人材センター支援事業 03 ワークプラザ求職者支援事業																												
		01 03																													
	低い	普通	高い																												
	優先度 →																														
<b>施策名</b>	企業立地の促進及び多様な就労場の確保	<b>課名</b>	企業立地・観光物産振興局																												
<b>目的</b>	市内外の企業が市内へ進出しやすい（市内企業の増設を伴う移設を含む）環境を整え、他の自治体との地域間競争に打ち勝ち、市内への企業誘致を図り、市民のための多様な就業の場を確保することを目指しています。																														
<b>22年度の成果</b>	平成22年度は、「立地企業の雇用者数1,200名」、「企業立地件数18社」（いずれも平成18年10月以降の累計値）を成果指標としていましたが、「雇用者数790名」、「企業立地件数14社」といずれも目標値を達成できませんでした。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">① 立地企業の新規雇用者数</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">645</td> <td style="text-align: center;">1,200</td> <td style="text-align: center;">790</td> <td style="text-align: center;">1,980</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">② 立地企業数</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">社</td> <td style="text-align: center;">社</td> <td style="text-align: center;">社</td> <td style="text-align: center;">社</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">13</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">25</td> </tr> </table>			① 立地企業の新規雇用者数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人		645	1,200	790	1,980	② 立地企業数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	社	社	社	社		13	18	14	25
① 立地企業の新規雇用者数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	人	人	人	人																											
	645	1,200	790	1,980																											
② 立地企業数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	社	社	社	社																											
	13	18	14	25																											
<b>施策の課題</b>	平成22年12月に県の大規模工業団地整備支援事業の候補地に本市小佐々地区が決定し、平成23年度より整備事業に着手しますが、光通信等のインフラ整備が課題です。																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <p>「市営工業団地の整備」については、市内企業向けへの吉井町御橋工業団地が竣工し、現在分譲中です。また、平成22年12月に県の大規模工業団地整備支援事業候補地に本市小佐々地区が決定しました。平成23年度から事業着手し、早期完成を目指します。</p>																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">02</td> <td style="width: 34%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 34%; text-align: center;">01</td> </tr> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 34%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 企業立地推進事業 02 産業団地管理事業 03 市営工業団地整備事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		02				01					低い	普通	高い		優先度 →												
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		02																													
			01																												
	低い	普通	高い																												
	優先度 →																														

# 施策概要書

施策名	勤労者福祉の増進	課名	産業振興課																		
目的	福利厚生の実施をはじめとして、中小企業に働く勤労者の福祉が増進します。																				
22年度の成果	会員数は目標の78.8%と、厳しい経済情勢を反映した実績となっているが、中小企業従業員の福利厚生の実施には一定の効果がありました。平成22年度実績5,829人/目標7,400人=達成率78.8%																				
成果指標	① 中小企業勤労者福祉サービスセンター会員数	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> <th>人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,777</td> <td>7,400</td> <td>5,829</td> <td>8,000</td> </tr> </tbody> </table>		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	人	人	人	人	5,777	7,400	5,829	8,000						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値																		
人	人	人	人																		
5,777	7,400	5,829	8,000																		
施策の趣	市内中小企業を会員として、その福利厚生事業を代行している「(財)中小企業勤労者福祉サービスセンター」に対する支援事業については、平成22年度に制定した補助要綱では、補助金の終期を平成25年3月31日として、この間に事業の目的と効果を検証することとしています。																				
今後の方向性	<p>【現状維持】</p> <p>●中小企業の退職金共済制度への加入促進のため、引き続き助成制度に取り組みます。●(財)中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業については、登録会員の増や経費節減など、財団自体の自助努力を前提としつつ、会員確保のための積極的な情報発信と財団への働きかけを強化して継続していきます。●労働福祉センター運営事業は、サービスの向上とともに、経費節減によるコスト削減に努めます。</p>																				
事業の優先度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度                  ↑大                  中                  ↓小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">02</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>01 03</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="margin-top: 5px;">01 中小企業退職金助成事業 02 中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業 03 労働福祉センター運営事業</p>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小			02			01 03					低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小			02																		
			01 03																		
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				



# 事務事業 決算評価一覧

施策名		妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
事務事業名	課名	目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
就職活動の支援										
労働雇用対策事業	産業振興課	1	2	2	1	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持
シルバー人材センター支援事業	産業振興課	1	2	2	1	3	1	1	特に課題は見当たらない	維持
ワークプラザ求職者支援事業	産業振興課	1	2	2	2	2	3	1	特に課題は見当たらない	維持
企業立地の促進及び多様な就労の場の確保										
企業立地推進事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	1	2	2	2	効率性に課題あり	改善
産業団地管理事業	産業振興課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
市営工業団地整備事業	企業立地・観光物産振興局	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
勤労者福祉の増進										
中小企業退職金助成事業	産業振興課	1	2	2	2	2	2	1	効率性に課題あり	維持
中小企業勤労者福祉サービスセンター支援事業	産業振興課	1	2	2	1	3	2	3	特に課題は見当たらない	維持
労働福祉センター運営事業	産業振興課	1	2	2	1	2	3	1	効率性に課題あり	維持

# 政策概要書

政策名：環境に配慮したまちづくり

部局名：環境部

対象	●市民 ●市民団体 ●事業者 ●行政				
目的	環境負荷を少なくすることなどにより、市民・事業者に係る恵み豊かな環境が保全され、次世代に継承されます。				
内容	<p>●19年度に改定した「佐世保市環境基本計画」に基づき、計画の重点取組として、省エネ・省資源の推進を図ります。また、環境基本計画の推進を図るため、市民協働事業や環境学習事業などを実施し、市民の理解と関心を高めるための環境教育・環境学習計画に基づき、市内の野生生物調査を行うとともに、自然環境保全の意識啓発を図ります。</p>				
トータルコスト	207,337千円	うち 事業費	177,616千円	うち 人件費	144,031千円
22年度の成果	温室効果ガス排出量、環境保全の取組に対する市民満足度とも目標達成に至りませんでした。温室効果ガス排出量の民生部門等で前年度に比して削減することができました。				
成果指標	指標名 温室効果ガス排出量の1990年（平成2年）比削減率 指標式 1990年（平成2年）の温室効果ガス排出量と、それ以降の各年度の排出量とを比較した削減率	21年度実績値 % -6.5	22年度目標値 % 1.1	22年度実績値 % -6	24年度目標値 % 6
成果指標	指標名 環境保全の取組に対する市民満足度 指標式 環境保全の取組全般に対する市民の満足度について「市民意識アンケート調査」	21年度実績値 % 18	22年度目標値 % 39.7	22年度実績値 % 23.1	24年度目標値 % 50
政策の課題	●地球温暖化対策の市民・市民団体・事業者・行政の連携・協働の取り組みと市域全体への広がりをもさらに進める必要があります。●また、「環境市民」の育成に向けて環境教育・学習の推進のための施策充実が必要と考えます。				
今後の方向性	【改善】 ●環境基本計画の推進及び計画の進行管理を図っていきます。●温室効果ガス削減の重点的取組として、住宅用太陽光発電設備の普及促進やエコドライブ教室など、省エネルギーへの関心を高めるための、普及・啓発に取り組んでいきます。●佐世保市環境教育・環境学習計画に基づき、人づくり、地域づくりなどの事業展開を計画的に実施します。●大気汚染等の監視強化及び事業所への立入調査等監視指導の充実を図ります。				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	環境保全活動の促進	<b>課名</b>	環境保全課																								
<b>目的</b>	●環境に関する啓発や環境教育・環境学習の充実により、市民等が環境についての理解を深め、自発的な環境保全活動を実践できることです。●学校版ISOの普及により、学校での環境保全活動が活発化し、家庭や地域での取組が拡大することです。●事業者が環境に配慮した事業活動が活発となることです。																										
<b>22年度の成果</b>	22年度実績値60.5%÷同目標値73.9%＝81.9%																										
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">①エコライフ・エコオフィス実践度</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">60.7</td> <td style="text-align: center;">73.9</td> <td style="text-align: center;">60.5</td> <td style="text-align: center;">85</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			①エコライフ・エコオフィス実践度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		60.7	73.9	60.5	85	②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値					
①エコライフ・エコオフィス実践度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																						
	%	%	%	%																							
	60.7	73.9	60.5	85																							
②	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
<b>施策の課題</b>	環境教育・環境学習の推進並びに地球温暖化対策防止に向けた取組みについての市民、事業者への周知と支援の必要があります。																										
<b>今方後向の性</b>	【改善】 ●佐世保市環境教育・環境学習計画に基づいた事業の推進を図ります。●市民や事業者への温暖化対策に係る啓発事業を実施します。●市民向け住宅用太陽光発電設備設置補助や事業者へのエコアクション21の導入支援などを行います。																										
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     上位への貢献度                      ↑大                      中                      ↓小                 </td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%; text-align: center;">04</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%; text-align: center;">02</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">01 03</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">05</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <div style="margin-top: 10px;">                     01 環境基本計画推進事業                      02 環境教育・環境学習推進事業                      03 地球温暖化防止対策事業                      04 省エネルギー法対策事業                      05 風力発電施設管理運営事業                 </div>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		04		02				01 03		05					低い	普通	高い			→ 優先度			
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		04			02																						
					01 03																						
		05																									
	低い	普通	高い																								
	→ 優先度																										

  

<b>施策名</b>	自然環境の保全	<b>課名</b>	環境保全課																												
<b>目的</b>	●市民が、自然環境保全への意識を高めることです。●市民団体活動の輪が広がり、行政と連携した自然環境保全活動が行われることです。●希少野生生物が保護され、地域の豊かな自然環境が保全されることです。●自然環境に配慮した開発が行われることです。																														
<b>22年度の成果</b>	22年度実績値76.7%÷同目標値85%＝90.2%であり、目標を達成できませんでした。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">①自然環境への市民満足度</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">82</td> <td style="text-align: center;">85</td> <td style="text-align: center;">76.7</td> <td style="text-align: center;">85</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②ホテルの生息把握箇所数</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">箇所</td> <td style="text-align: center;">箇所</td> <td style="text-align: center;">箇所</td> <td style="text-align: center;">箇所</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">107</td> <td style="text-align: center;">62</td> <td style="text-align: center;">122</td> <td style="text-align: center;">62</td> </tr> </table>			①自然環境への市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		82	85	76.7	85	②ホテルの生息把握箇所数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	箇所	箇所	箇所	箇所		107	62	122	62
①自然環境への市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	%	%	%	%																											
	82	85	76.7	85																											
②ホテルの生息把握箇所数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	箇所	箇所	箇所	箇所																											
	107	62	122	62																											
<b>施策の課題</b>	●自然観察会等の啓発イベントの開催や生息調査等に係る人材育成等の市民協働事業の拡大の必要があります。																														
<b>今方後向の性</b>	【現状維持】 ●市民、市民団体との協働による取組み及び自然観察員等を通じて市民の自然環境保全意識の向上を図ります。●希少生物の継続した把握と地元との協働作業による監視等の必要な対策を講じます。●啓発イベント開催やパンフレット作成等を行い、市民へ自然環境保全の情報提供を行います。																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     上位への貢献度                      ↑大                      中                      ↓小                 </td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%; text-align: center;">01</td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%;"></td> <td style="border: 1px solid black; width: 20%; text-align: center;">02</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black; text-align: center;">03</td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> <td style="border: 1px solid black;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table> <div style="margin-top: 10px;">                     01 野生生物保護事業                      02 自然環境保全の推進事業                      03 疾病野生鳥獣保護事業                 </div>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		01		02		03									低い	普通	高い			→ 優先度							
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		01			02																										
		03																													
	低い	普通	高い																												
	→ 優先度																														

# 施策概要書

施策名	環境負荷の低減	課名	環境保全課																							
目的	事業活動や日常生活からの環境への負荷を低減し、大気環境や水環境、その他の生活環境の保全を図ります。																									
22年度の成果	水質、大気、騒音に係る環境基準達成率は、85.5%で目標達成できませんでした。原因は大気環境の黄砂等自然要因によるものです。21年度83.9%からは改善しました。																									
成果指標	① 環境基準達成率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">83.9</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">85.5</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	83.9	100	85.5	100	②											
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
%	%	%	%																							
83.9	100	85.5	100																							
施策の課題	●光化学オキシダント注意報発令等、環境汚染に係る危機管理体制の充実が必要です。●下水道未整備地域での生活排水対策が必要です●環境調査の精度の向上及び効率化の更なる取組みが必要です。																									
今後の方向性	【現状維持】 ●大気、水、騒音の常時監視を行うとともに、大気汚染、水質汚濁、騒音等の環境負荷の発生を抑制するため、事業所等への立入り調査のマニュアルを整備し、監視指導の充実を図ります。●市民の健康に影響を及ぼす恐れがある緊急事態等への市民等の周知、健康被害の把握など必要な措置を講じます。																									
事業の優先度	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">↑</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%; text-align: center;">01</td> <td rowspan="3" style="width: 60%; padding-left: 10px;">                     01 水質汚濁防止対策事業                      02 大気汚染防止対策事業                      03 騒音・振動・悪臭規制事業                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td style="text-align: center;">03</td> <td style="text-align: center;">02</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">←</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td style="text-align: center;">優先度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> </table>			↑	大		01	01 水質汚濁防止対策事業 02 大気汚染防止対策事業 03 騒音・振動・悪臭規制事業	中		03	02	↓	小					←	→	優先度			低い	普通	高い
↑	大		01	01 水質汚濁防止対策事業 02 大気汚染防止対策事業 03 騒音・振動・悪臭規制事業																						
中		03	02																							
↓	小																									
		←	→	優先度																						
		低い	普通	高い																						

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
環境保全活動の促進											
	環境基本計画推進事業	環境政策課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	改善
	環境教育・環境学習推進事業	環境保全課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	地球温暖化防止対策事業	環境保全課	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	改善
	省エネルギー法対策事業	建築指導課	1	2	2	1	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	風力発電施設管理運営事業	宇久環境センター	1	2	2	1	1	1	1	有効性及び効率性に課題あり	改善
自然環境の保全											
	野生生物保護事業	環境保全課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	休廃止
	自然環境保全の推進事業	環境保全課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	疾病野生鳥獣保護事業	動植物園	1	2	2	1	2	1	1	特に課題は見当たらない	改善
環境負荷の低減											
	水質汚濁防止対策事業	環境保全課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	大気汚染防止対策事業	環境保全課	1	2	2	1	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	騒音・振動・悪臭規制事業	環境保全課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	改善

# 政策概要書

政策名：循環型のまちづくり

部局名：環境部

対象	●市民 ●事業者				
目的	日常生活や事業活動を通じて、市民・事業者に係る循環型のまちづくりが推進されます。				
内容	<p>●一般廃棄物処理計画に基づき、市内で発生するごみと尿を適正に処理しました。●不適正処理業者に対する事業場の実態把握を行うとともに不法投棄対策として、不法投棄多発箇所を監視カメラを設置し監視・指導を強化しました。●廃棄物処理施設の適正かつ効率的な運営を行うとともに、施設の総合整備事業として老朽化施設の建て替えを中心とした基本的な整備方針の検討を行いました。●尿収集運搬に関する指導要綱に基づき尿収集運搬料金の基準額についてコスト等の評価・検証を行いました。●生活排水処理の推進のために、浄化槽設置促進策の実施方針に基づき市単独補助の上乗せなどを実施しました。</p>				
トータルコスト	6,230,088 千円	うち 事業費	4,815,910 千円	うち 人件費	1,439,898 千円
22年度の成果	<p>22年度実績値（一般廃棄物処理基本計画目標達成項目数3；「1人1日平均排出量」「ごみ排出量」「焼却量」÷同目標項目数6；「1人1日平均排出量」「ごみ排出量」「リサイクル率」「焼却量」「埋立量」「生活排水処理率」）×100=50% ごみ排出量は前年度より1.7%減少、未達成項目のリサイクル率や埋立量も前年よりも向上していますが、生活排水処理率は、前年と横ばい状態であります。</p>				
成果指標	指標名 「一般廃棄物処理基本計画」の目標達成率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	① 指標式	%	%	%	%
政策の課題	循環型のまちづくりの成果として、「一般廃棄物処理基本計画」に掲げる1人あたりのごみ排出量ほか6項目の目標の達成率で計ります。				
	② 指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
今後の方向性	<p>【改善】 ●平成24年度以降今後10年間の「一般廃棄物処理基本計画」の見直しを行うとともに、事業系ごみの減量化・資源化対策として、排出事業者等への指導・啓発の強化や資源化促進のためのシステムの構築を検討します。●不適正処理事案に対しては、今後も法に基づき監視・指導を強化していきます。●公共下水道の整備推進及び当該計画内外での浄化槽設置の普及・促進に努めます。</p>				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	ごみ適正排出・減量化	<b>課名</b>	廃棄物減量推進課																												
<b>目的</b>	廃棄物の排出が抑制、適正な循環が促進され、その他適正処理がされます。																														
<b>22年度の成果</b>	家庭系ごみの減量化については、平成17年1月の有料化制度導入後、目標以上の水準を保って減少していましたが21、22年度ではほぼ横ばいとなっており平成22年度までは目標値を達成しています。また、近年、増加の傾向にあった事業系ごみが、景気の低迷でここ3年ほど微減傾向にありましたが、22年度は逆に微増となっています。家庭系、事業系を合わせた全体では目標値を上回って減少しています。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">①ごみ減量化率</td> <td>#21年度実績値</td> <td>#22年度目標値</td> <td>#22年度実績値</td> <td>#24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">17.6</td> <td style="text-align: center;">15</td> <td style="text-align: center;">19</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②ごみの適正排出率</td> <td>#21年度実績値</td> <td>#22年度目標値</td> <td>#22年度実績値</td> <td>#24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">98.13</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">98.37</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>			①ごみ減量化率	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	%	%	%	%		17.6	15	19	15	②ごみの適正排出率	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	%	%	%	%		98.13	100	98.37	100
①ごみ減量化率	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値		#24年度目標値																										
	%	%	%	%																											
	17.6	15	19	15																											
②ごみの適正排出率	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	98.13	100	98.37	100																											
<b>施策の趣旨</b>	<p>●地域事情に応じた効率的で環境負荷の少ないリサイクルの推進が必要です。●不法投棄をはじめとする廃棄物の不適正処理に対し、排出者責任を明確にするためにも重点的な指導（分別説明会、個別指導等）を行います。また適正排出については、市民の理解と協力が必要です。●事業所から排出される廃棄物の適正な分別と処理や事業系一般廃棄物（資源ごみ）の適正な回収ルートの確立が必要です。</p>																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】          ●「佐世保市一般廃棄物処理計画」に基づき、ごみ処理への総合的かつ計画的な対策を通じて、循環型のまちづくりの推進を図ります。●廃棄物について、適正処理及び4Rの取り組みを推進します。●不適正排出について年齢層、地域別に重点的な指導啓発を行います。●事業系ごみの減量化推進のため、事業者や回収業者との意見交換会の開催や、立入指導の強化を図っていきます。また、資源ごみの民間レベル回収ルートの確立や、事業系資源集団回収助成など減量化システムを構築していくための検討を行います。</p>																														
<b>事業の優先順位</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="text-align: center;">05</td> <td style="text-align: center;">01 02 03 04</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">06</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">優先度 → 高い</td> </tr> </table> <p>01 減量リサイクル推進事業          02 適正排出啓発事業          03 廃棄物処理監視指導事業          04 環境行政一般管理事業          05 一般廃棄物処理基本計画推進事業          06 建設リサイクル法対策事業</p>			上位への貢献度 大 中 小	05	01 02 03 04	06					低い	普通		優先度 → 高い																
上位への貢献度 大 中 小	05	01 02 03 04																													
	06																														
	低い	普通																													
	優先度 → 高い																														
<b>施策名</b>	ごみ適正処理	<b>課名</b>	施設課																												
<b>目的</b>	<p>●快適な生活環境を維持することです。●環境負荷の少ない循環型社会を構築することです。●適正かつ安定したごみの収集、ごみ処理、施設運転に係る各種環境基準値を満足していることです。</p>																														
<b>22年度の成果</b>	<p>●効率的な収集と適正・安全な施設運営に努めながら安定したごみ処理を行いました。●人口1人当たりの収集運搬経費も、昨年度から継続して、目標を達成しています。</p>																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">①人口1人当たりの収集運搬経費</td> <td>#21年度実績値</td> <td>#22年度目標値</td> <td>#22年度実績値</td> <td>#26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">円</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td style="text-align: center;">円</td> <td style="text-align: center;">円</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">2,549</td> <td style="text-align: center;">2,818</td> <td style="text-align: center;">2,490</td> <td style="text-align: center;">2,818</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②ごみ処理施設的环境基準適合率</td> <td>#21年度実績値</td> <td>#22年度目標値</td> <td>#22年度実績値</td> <td>#26年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>			①人口1人当たりの収集運搬経費	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#26年度目標値	円	円	円	円		2,549	2,818	2,490	2,818	②ごみ処理施設的环境基準適合率	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#26年度目標値	%	%	%	%		100	100	100	100
①人口1人当たりの収集運搬経費	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値		#26年度目標値																										
	円	円	円	円																											
	2,549	2,818	2,490	2,818																											
②ごみ処理施設的环境基準適合率	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#26年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	100	100	100	100																											
<b>施策の趣旨</b>	<p>●施設整備においては、循環型のまちづくりに配慮した適正な廃棄物処理計画による総合的な整備が必要となります。</p>																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】          ●安定したごみの収集・運搬に関し、分別収集区分に基づく効率的な収集を行います。●ごみ処理施設の運営においては、運転計画に基づき適正かつ安全で効率的な運転を行います。●また、安定したごみ処理を行うため施設総合整備を図ります。</p>																														
<b>事業の優先順位</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="text-align: center;">05</td> <td style="text-align: center;">01 02 03 04 06</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">優先度 → 高い</td> </tr> </table> <p>01 ごみ収集運搬事業          02 西部クリーンセンター運営事業          03 東部クリーンセンター運営事業          04 宇久清掃センター運営事業          05 漂着ごみ対策事業          06 一般廃棄物処理施設総合整備事業（ごみ）</p>			上位への貢献度 大 中 小	05	01 02 03 04 06						低い	普通		優先度 → 高い																
上位への貢献度 大 中 小	05	01 02 03 04 06																													
	低い	普通																													
	優先度 → 高い																														

# 施策概要書

施策名	生活排水処理		課名	環境政策課										
目的	生活排水処理施設及び浄化槽の整備により、生活排水が適正に処理され、その結果、水質が保全されます。また、し尿収集が、安定的かつ確実に行われることです。													
22年度の成果	H22年度実績値67.4%÷同目標値70.3%×100=95.9%													
成果指標	①生活排水処理率	%	%	%	%									
	67.4	70.3	67.4	78.1										
施策の課題	生活排水の適正な処理を進めるため、公共下水道の整備及び浄化槽設置を柱として進めていますが、公共下水道整備は多額な事業費の確保、浄化槽設置では、個人負担の大きさとともに社会経済情勢に左右されやすいことなど根本的な課題があることから、公共下水道整備における長期的な整備期間を踏まえ、生活排水の適正な処理を促進するため、今後も引き続き浄化槽設置促進に取り組む必要があります。													
今後の方向性	<p>【改善】</p> <p>●公共用水域の水質保全を図るために、市街化区域や河川・海域の水質への影響が懸念される地域で経済性を考慮しつつ公共下水道の整備を計画的に進めるとともに、公共下水道未整備区域などにおける浄化槽の設置促進に取り組みます。●浄化槽が適正に維持管理されるための必要な監視指導を行います。●し尿及び浄化槽汚泥の処理については、効率的な施設運営に努めます。</p>													
事業の貢献度	<table border="1" style="border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20px;">大</td> <td style="width: 40px;">02 05</td> <td style="width: 40px;">01 03 04</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;">中</td> <td style="width: 40px;">06</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;">小</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		大	02 05	01 03 04	中	06		小			<p>01 浄化槽普及促進事業                  02 クリーンピュアとどろき運営事業                  03 離島し尿処理補助金                  04 災害し尿くみとり補助                  05 宇久衛生センター運営事業                  06 下水道事業会計繰出金</p>		
大	02 05	01 03 04												
中	06													
小														
	<p>低い ← 普通 → 高い</p> <p>→ 優先度</p>													



# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
ごみ適正排出・減量化										
減量リサイクル推進事業	廃棄物減量推進課	1	2	2	1	2	1	2	効率性に課題あり	改善
適正排出啓発事業	廃棄物減量推進課	1	2	2	2	2	2	2	効率性に課題あり	改善
廃棄物処理監視指導事業	廃棄物指導課	1	2	2	1	2	1	1	有効性に課題あり	改善
環境行政一般管理事業	環境政策課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	改善
一般廃棄物処理基本計画推進事業	環境政策課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	改善
建設リサイクル法対策事業	建築指導課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
ごみ適正処理										
ごみ収集運搬事業	廃棄物減量推進課	1	2	2	3	3	3	1	特に課題は見当たらない	改善
西部クリーンセンター運営事業	西部クリーンセンター	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
東部クリーンセンター運営事業	東部クリーンセンター	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
宇久清掃センター運営事業	宇久環境センター	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
漂着ごみ対策事業	宇久環境センター	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
一般廃棄物処理施設総合整備事業(ごみ)	施設課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
生活排水処理										
浄化槽普及促進事業	環境保全課	1	2	2	2	3	2	3	効率性に課題あり	改善
クリーンピュアとどろき運営事業	クリーンピュアとどろき	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
離島し尿処理補助金	環境政策課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	改善
災害し尿くみとり補助	環境政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
宇久衛生センター運営事業	宇久環境センター	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
下水道事業会計繰出金	保健福祉政策課	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持

# 政 策 概 要 書

政策名 : 快適で魅力ある街の再生

部局名 : 都市整備部

対 象	●市民●事業者					
目 的	●計画的な土地利用が推進されます。●中心市街地においては拠点として活力と賑わいが創出されます。●地域特性を活かしたまちづくりが推進されます。●バリアフリーの住まいづくりなど、安全で快適な住環境が形成されます。					
内 容	●都市計画に関する基本的な方針である都市計画マスタープランを策定しました。●市役所周辺地区では、高砂駐車場や周辺道路及び公園などの整備を完了しました。●斜面密集市街地対策事業では、矢岳・今福地区において道路整備に着手し用地買収等を行い、東山地区、福田・中通地区、戸尾・松川地区において調査設計等を行いました。●公営住宅や民間の公的な賃貸住宅など良質な住宅を供給すると共に、建築物のバリアフリー化を推進しました。●栄・常盤地区市街地再開発事業の権利変換計画認可及び支援等を行いました。					
トータルコスト	4,146,059 千円	うち 事業費	3,708,330 千円	うち 人件費	462,224 千円	
22年度の成果	●機能的にバランスがとれた街づくりに対する市民の認知度の目標値47.8%に対して、実績値48.5%でした。達成率101.5%で目標を達成することができました。					
成果指標	①	指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
		機能的にバランスがとれた街づくりに対する市民の認知度	% 48.3	% 47.8	% 48.5	% 50
		指標式	快適で魅力的な街づくりに関する市民の認知度を「市民意識アンケート調査」			
	②	指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
		指標式				
政策の課題	●市町合併による市域の拡大や西九州自動車道の開通、人口減少や少子高齢社会の進展など都市を取り巻く環境の変化に対応した土地利用の推進を求められています。●中心市街地では都市基盤を活かした再生が必要となっています。●既成市街地の再生には、地元の理解が必要となります。●急速に進む高齢化等によりバリアフリー化された住宅のニーズが高まっています。					
今後の方向性	【現状維持】 ●都市計画マスタープランに基づき機能連携・調和型のまちづくりを推進します。●中心市街地においては民間活力の導入等を積極的に促進しながら、魅力的な街の形成に努めます。●斜面密集市街地のモデル地区や早岐地区では、地元まちづくり協議会との協働により進めていきます。●市営住宅の整備にあたっては、バリアフリー化を進め良質な住宅づくりを推進します。					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	中心市街地の再生	<b>課名</b>	都市政策課												
<b>目的</b>	●中心市街地について、商業、業務、文化芸術の拠点として、人や物、情報等が集まり、活力と賑わいを創出します。														
<b>22年度の成果</b>	高砂街区再整備事業の進捗率は、目標値100%に対して、実績値100%であり、達成率は100%でした。														
<b>成果指標</b>	①高砂街区再整備事業の進捗率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">85.6</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	85.6	100	100	%	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
%	%	%	%												
85.6	100	100	%												
	②歩行者通行量	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">62,074</td> <td style="text-align: center;">62,500</td> <td style="text-align: center;">56,417</td> <td style="text-align: center;">60,300</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	人	人	人	人	62,074	62,500	56,417	60,300	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
人	人	人	人												
62,074	62,500	56,417	60,300												
<b>施策の課題</b>	●これまでに整備された都市基盤を活かした中心市街地の再生が必要となります。●少子高齢化等に伴う人口減や郊外型大型店舗などにより中心市街地の歩行者通行量が減少傾向にあります。●中心市街地の自転車やバイクの無秩序な駐車を解消することが求められています。														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●中心市街地においては、県北地域最大の商業・業務拠点、また文化芸術の拠点として、必要な基盤整備を計画的に進めるとともに、民間活力・事業の導入を積極的に促進しながら、民間主導・市民参加による賑わいと活力の原点となる魅力的な街の形成に努めていきます。●商店街等の意見を反映した活性化支援策を検討します。●二輪車駐車場の確保について、行政や民間団体等と協議調整し公有地の有効活用など検討します。														
<b>事務事業のポジションング</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>01 中心市街地活性化事業</li> <li>02 駐車場整備事業</li> <li>03 高砂街区再整備事業</li> <li>04 栄・常盤地区市街地再開発事業</li> <li>05 松浦栄町線歩道環境整備事業</li> </ul>													
<b>施策名</b>	地域特性に応じた市街地の再生	<b>課名</b>	まち整備課												
<b>目的</b>	まちづくり協議会等の活動に多くの人が参加され、主体性を持って街の再生に取り組むようになることです。														
<b>22年度の成果</b>	●まちづくり協議会にかかる事業着手率は100%です。●達成率100%=実績値100%/目標値100%×100。●平成19年度に矢岳・今福地区、平成20年度に東山地区、福田・中通地区、平成21年度に早岐地区が事業着手しました。平成22年度より戸尾・松川地区が事業着手し、5地区すべてが事業着手できました。														
<b>成果指標</b>	①まちづくり協議会に係る事業着手率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">80</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	80	100	100	100	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値												
%	%	%	%												
80	100	100	100												
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値									
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値												
<b>施策の課題</b>	●既存市街地の再生を進める場合、地元の同意等を得ることが重要です。街を住み易くするため、地元住民が自ら係わり協働していく意識を持つことが大切ですが、一部この考えが浸透せず事業の理解を得るのが難しい状況もございます。●斜面地においては、車の通れる道は少なく急な坂道や階段道が多いなどの生活基盤上の問題に加え、老朽住宅が密集した居住環境や防災面での危険な状況もございます。														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 ●各地区において重点整備地区等を中心に、地元まちづくり協議会との協働や支援等により、地元住民が自らかかわる事業との意識を持つようになることや事業の実施に向けた取組みを推進します。●斜面地では居住環境の改善や防災性を高めるために道路等公共施設の整備を推進します。														
<b>事務事業のポジションング</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>01 斜面密集市街地対策事業</li> <li>02 街づくり推進団体補助事業</li> <li>03 市街地再生指導事業</li> <li>04 早岐駅周辺整備推進事業</li> </ul>													

# 施策概要書

施策名	計画的な土地利用の推進	課名	都市政策課																							
目的	●市民、事業者が都市計画法や都市計画マスタープラン等に基づき、計画的な土地利用を図ることで。																									
22年度の成果	●目的に応じた土地利用に対する市民認識度は、目標値49%に対して実績値45.7%でした。達成率は93%でしたが、21年度実績値の45.1%を上回ることができました。																									
成果指標	① 目的に応じた土地利用に対する市民の認識度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">45.1</td> <td style="text-align: center;">49</td> <td style="text-align: center;">45.7</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	45.1	49	45.7	50												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
%	%	%	%																							
45.1	49	45.7	50																							
施策の課題	●市街化区域及び市街化調整区域の見直しについて、県の基準に基づき、適正な土地利用を踏まえて検討する必要があります。 ●長期未着手都市計画道路について、市民の意見等聴きながら都市計画の存続、廃止等の見直しを検討する必要があります。																									
今後の方向性	【現状維持】 ●市街化区域及び市街化調整区域の見直しについて、県の基準に基づき検討を進めます。●長期未着手都市計画道路について、都市計画の存続、廃止等の見直しを検討するにあたり、市民等への地元説明会を開催し、意見を聴きながら進めていきます																									
事務事業のポジション	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">↑</td> <td style="width: 10%;">大</td> <td style="width: 10%;">02</td> <td style="width: 10%;">03</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; vertical-align: middle;">01 都市計画決定事業 02 開発行為適正指導事業 03 指定道路図・台帳整備事業 04 都市計画マスタープラン策定事業</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td></td> <td>01</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>小</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table>			↑	大	02	03	01 都市計画決定事業 02 開発行為適正指導事業 03 指定道路図・台帳整備事業 04 都市計画マスタープラン策定事業	中			01	↓	小					低い	普通	高い			→ 優先度		
↑	大	02	03	01 都市計画決定事業 02 開発行為適正指導事業 03 指定道路図・台帳整備事業 04 都市計画マスタープラン策定事業																						
中			01																							
↓	小																									
		低い	普通	高い																						
		→ 優先度																								

  

施策名	安全で快適な住環境の形成	課名	住宅課																							
目的	●バリアフリー意識が定着し、施設のバリアフリー化を図ることで、在宅の高齢者や障がい者とその家族の生活の質が向上します。●市民・建築主・事業主・設計者等が違反建築物の建築や売買をしないようになります。●高齢者や障がい者に良質な住居が確保されます。																									
22年度の成果	●バリアフリー化等に対応した市営住宅160戸/目標0戸×100=0% (江迎・鹿町合併に伴い160戸の増加) ●特定生活関連施設の整備基準適合率 97.8% 46件/47件×100=97.8 ●建築関連規定検査済証等交付率 (641+18)/(768+38)×100=81.8%																									
成果指標	① バリアフリー化等に対応した市営住宅	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">戸</td> <td style="text-align: center;">戸</td> <td style="text-align: center;">戸</td> <td style="text-align: center;">戸</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">111</td> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">160</td> <td style="text-align: center;">250</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	戸	戸	戸	戸	111	0	160	250												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																							
戸	戸	戸	戸																							
111	0	160	250																							
	② 特定生活関連施設の整備基準適合率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>25年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">97.4</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">97.8</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値	%	%	%	%	97.4	100	97.8	100												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	25年度目標値																							
%	%	%	%																							
97.4	100	97.8	100																							
施策の課題	●急速に進む高齢化により、市営住宅入居者においても高齢者の割合が増加しつつあり、バリアフリー化された住宅のニーズが高まっています。また高齢者の単身又は夫婦のみの世帯が増加しており、単身向け住戸の整備を行っていく必要があります。●公的民間住宅については入居率の低迷する住宅も見られます。●市民のバリアフリー化ニーズが高まっている一方で、施設設置者等は、管理やコスト面からバリアフリー化に消極的になる傾向が見受けられます。●建築後の違反建築物の是正は困難であります。																									
今後の方向性	【現状維持】 ●市営住宅の計画的な建て替えや維持管理を行うとともに、公的民間住宅への支援・PRを行い、住宅セーフティネット機能の充実を図ります。また、市営住宅の整備については、バリアフリー化を進め、良質な住宅づくりを推進します。●違反建築物防止等に係る業務を通じ、住環境の向上を図ります。また過去物件の追跡調査を行い是正計画をたてるなどし、安全で安心な住みよい住環境の形成を図ります。●一定規模の建築行為について、審査・指導を行いバリアフリー化を推進していきます。また啓発活動により、バリアフリー化を誘導します。																									
事務事業のポジション	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%;">↑</td> <td style="width: 10%;">大</td> <td style="width: 10%;">05 06</td> <td style="width: 10%;">02 03 04</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; vertical-align: middle;">01 建築指導業務 02 建築物バリアフリー化事業 03 市営住宅管理事業 04 市営住宅建替事業 05 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 06 特定優良賃貸住宅供給促進事業</td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td></td> <td>01</td> </tr> <tr> <td>↓</td> <td>小</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2" style="text-align: center;">→ 優先度</td> <td></td> </tr> </table>			↑	大	05 06	02 03 04	01 建築指導業務 02 建築物バリアフリー化事業 03 市営住宅管理事業 04 市営住宅建替事業 05 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 06 特定優良賃貸住宅供給促進事業	中			01	↓	小					低い	普通	高い			→ 優先度		
↑	大	05 06	02 03 04	01 建築指導業務 02 建築物バリアフリー化事業 03 市営住宅管理事業 04 市営住宅建替事業 05 高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業 06 特定優良賃貸住宅供給促進事業																						
中			01																							
↓	小																									
		低い	普通	高い																						
		→ 優先度																								

# 事務事業 決算評価一覧

施策名	事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
			目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
中心市街地の再生											
	中心市街地活性化事業	産業振興課	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	改善
	駐車場整備事業	都市政策課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
	高砂街区再整備事業	高砂街区再整備室	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	終了
	栄・常盤地区市街地再開発事業	まち整備課				1	1	3		有効性に課題あり	維持
	松浦栄町線歩道環境整備事業	まち整備課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	終了
地域特性に応じた市街地の再生											
	斜面密集市街地対策事業	まち整備課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
	街づくり推進団体補助事業	まち整備課	1	2	2	2	2	3	3	有効性に課題あり	維持
	市街地再生指導事業	まち整備課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	早岐駅周辺整備推進事業	まち整備課				1	3	3		特に課題は見当たらない	維持
計画的な土地利用の推進											
	都市計画決定事業	都市政策課				2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	開発行為適正指導事業	建築指導課				2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	指定道路図・台帳整備事業	建築指導課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	都市計画マスタープラン策定事業	都市政策課				2	2	3	2	特に課題は見当たらない	終了
安全で快適な住環境の形成											
	建築指導業務	建築指導課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
	建築物バリアフリー化事業	建築指導課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	市営住宅管理事業	住宅課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	市営住宅建替事業	住宅課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
	高齢者向け優良賃貸住宅供給促進事業	住宅課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
	特定優良賃貸住宅供給促進事業	住宅課	1	2	2	3	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
快適で魅力ある街の再生を実現するための包括的な施策											
	都市計画一般管理事業	都市政策課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名：公園・緑地による憩いの場づくり

部局名：都市整備部

対象	●市民（地域住民） ●都市公園																										
目的	●都市における緑環境の保全や、防災空間としての機能を果たすとともに、市民が休息・活動できる場所が身近に提供されていることです。																										
内容	●「都市公園等整備5ヶ年計画」に基づいて、地域住民の身近な公園を、安全で快適な利用に供するため、4公園（天岳台第二公園、赤崎公園、泉水田公園、吉岡公園）の再整備を完了しました。また、特色ある公園として、烏帽子スポーツの里（ドッグラン）の整備を行いました。●市内全公園において、安全性、快適性の向上を図るための維持管理を行いました。																										
トータルコスト	686,006 千円	うち 事業費	565,163 千円	うち 人件費 120,843 千円																							
22年度の成果	達成率は①98.8%、②90.7%であり、あまり達成できませんでした。																										
成果指標	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>身近に公園が配置された市街化区域の割合</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>76.6</td> <td>77.9</td> <td>77</td> <td>79</td> </tr> </table>	指標名	身近に公園が配置された市街化区域の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値			%	%	%	%			76.6	77.9	77	79	<table border="1"> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">身近に公園が配置されている市街化区域（工業並びに工業専用地域を除く）の面積の割合</td> </tr> </table>			指標式	身近に公園が配置されている市街化区域（工業並びに工業専用地域を除く）の面積の割合			
指標名	身近に公園が配置された市街化区域の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																						
		%	%	%	%																						
		76.6	77.9	77	79																						
指標式	身近に公園が配置されている市街化区域（工業並びに工業専用地域を除く）の面積の割合																										
	<table border="1"> <tr> <td>指標名</td> <td>公園・緑地を利用している市民の割合</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>38.3</td> <td>43</td> <td>39</td> <td>47</td> </tr> </table>	指標名	公園・緑地を利用している市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値			%	%	%	%			38.3	43	39	47	<table border="1"> <tr> <td>指標式</td> <td colspan="4">公園・緑地を日頃どのくらい利用しているかを「市民意識アンケート調査」</td> </tr> </table>			指標式	公園・緑地を日頃どのくらい利用しているかを「市民意識アンケート調査」			
指標名	公園・緑地を利用している市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																						
		%	%	%	%																						
		38.3	43	39	47																						
指標式	公園・緑地を日頃どのくらい利用しているかを「市民意識アンケート調査」																										

| 政策の課題 | ●市民の憩いの場となるような魅力的で安全、快適な公園・緑地づくりを、地域特性に応じて、計画的に進める必要があります。●「烏帽子スポーツの里の再生については、市民が自然とのふれあいを楽しむ憩いの場として、さらに、高原地域の利用における拠点施設の役割を担う公園として、利用者の満足度が高まるよう如何に整備を進めていくかが課題となります。●公園・緑地の整備及び適正な管理を行うにあたっては、市民及び事業者と協働して進めることが求められています。 | | | |
| 今後の方向性 | 【現状維持】 ●公園整備の後期計画策定として「佐世保市緑の基本計画」に基づく「第三次都市公園等整備5ヶ年計画」を平成24年度に作成し、計画的な公園整備を進めていきます。●烏帽子スポーツの里整備事業については、市民や指定管理者などの意見を反映した再生計画に基づき事業を推進します。●公園の利用が促進されるよう安全性、快適性を重視した維持管理を行っていきます。 | | | |

# 施策概要書

<b>施策名</b>	公園・緑地の整備	<b>課名</b>	公園緑地課												
<b>目的</b>	公園・緑地を整備することで、身近な公園の安全性、快適性及び魅力の向上を図り、市民の公園利用に対する満足度を高めます。														
<b>22年度の成果</b>	●再整備率 53.6% (前年度11公園+今年度4公園) / 全体28公園 × 100 = 53.6% ●目標値53.6%を概ね達成できました														
<b>成果指標</b>	①再整備率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">39.3</td> <td style="text-align: center;">53.6</td> <td style="text-align: center;">53.6</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	39.3	53.6	53.6	100	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
%	%	%	%												
39.3	53.6	53.6	100												
	②公園整備後に対する満足度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">70.7</td> <td style="text-align: center;">91.7</td> <td style="text-align: center;">91.1</td> <td style="text-align: center;">93</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	70.7	91.7	91.1	93	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
%	%	%	%												
70.7	91.7	91.1	93												
<b>施策の課題</b>	既存公園のバリアフリー化の推進及び老朽化による安全性、快適性、魅力の低下の解消を図る必要があります。また、身近な公園などの整備について、全市的に適正配置を目指しているが、公園未整備地区が存在しており、これを解消していく必要があります。														
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●近年の少子高齢社会に対応するため、公園のバリアフリー化を図るとともに、防災空間・レクリエーション空間として有効に機能できるよう配慮します。また、都市に潤いを与え、都市景観の向上に資するよう配慮します。●烏帽子スポーツの里の再生については、市民が自然とのふれあいを楽しむ憩いの場として、更に高原地域の利用における拠点施設の役割を担う公園として利用者の満足度を高められるよう、平成25年度までに順次整備を行っていきます。</p>														
<b>事務事業のポジションング</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="width: 60%; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">01 02</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">                 01 身近な公園整備事業                  02 特色ある公園整備事業             </td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">01 02</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>		01 02		低い	普通	高い	優先度 →			01 身近な公園整備事業 02 特色ある公園整備事業
上位への貢献度 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">01 02</td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>		01 02		低い	普通	高い	優先度 →			01 身近な公園整備事業 02 特色ある公園整備事業				
	01 02														
低い	普通	高い													
優先度 →															

  

<b>施策名</b>	公園・緑地の適正な管理	<b>課名</b>	公園緑地課												
<b>目的</b>	●市民や地域住民のコミュニティ形成及び醸成の場として、また観光レクリエーション施設として、快適で安全な利用に供することです。●一時避難場所など災害時の防災空間として機能できるよう適切な管理を行うことです。														
<b>22年度の成果</b>	まちづくり市民アンケート調査の(7)快適な生活と交流を支えるまち「公園・緑地」のカテゴリで「非常に満足」「やや満足」の回答割合において、●成果目標値37.7%に対し、●実績値34.7%で実績値が目標値の92.0%となっており、わずかに及びませんでした。														
<b>成果指標</b>	①公園・緑地の取り組みに対する市民満足度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">33.6</td> <td style="text-align: center;">37.7</td> <td style="text-align: center;">34.7</td> <td style="text-align: center;">40</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	33.6	37.7	34.7	40	
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
%	%	%	%												
33.6	37.7	34.7	40												
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> <td style="text-align: center;"></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%					
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値												
%	%	%	%												
<b>施策の課題</b>	●公園愛護会については、地域の公園への愛着を深め、町内自治の一環として活動してもらえるよう啓発活動を行っています。しかし、高齢社会となり、愛護会活動に従事する会員の高齢化は徐々に活動を弱めており、今後の展開が懸念されます。また、住宅地の開発により生み出される公園については、新規居住者の状況に左右されるため、管理者が不在になる場合が課題となります。●幅広い年齢層の公園利用者に対して、効果的な手段と内容の利用情報提供を行い、利用促進を図ることが課題となります。														
<b>今後の方向性</b>	<p>【現状維持】</p> <p>●地域や広く市民に親しまれる公園を維持するため、公園愛護会や町内会等との連携・協力やボランティア活動により、遊具の点検、草刈・清掃を定期的実施します。また、公園管理におけるボランティア活動の活用推進について検討していきます。開発公園については、新しい住民に管理がスムーズに行われるよう開発事業者との連携を図っていきます。●公園に係る情報について、ホームページなどで積極的に発信を行い、利用促進を図っていきます。</p>														
<b>事務事業のポジションング</b>	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%; text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="width: 60%; text-align: center;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">01</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> </td> <td style="width: 15%; vertical-align: top;">                 01 公園の安全性・快適性確保事業                  02 公園利用促進事業             </td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">01</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>	01			低い	普通	高い	優先度 →			01 公園の安全性・快適性確保事業 02 公園利用促進事業
上位への貢献度 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center;">01</td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table>	01			低い	普通	高い	優先度 →			01 公園の安全性・快適性確保事業 02 公園利用促進事業				
01															
低い	普通	高い													
優先度 →															

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト縮減努力		
公園・緑地の整備										
身近な公園整備事業	公園緑地課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
特色ある公園整備事業	公園緑地課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
公園・緑地の適正な管理										
公園の安全性・快適性確保事業	公園緑地課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
公園利用促進事業	公園緑地課	1	2	2	1	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持



# 政策概要書

政策名 : 安全・安心で安定した水の供給

部局名 : 企画部

対 象	●市民					
目 的	●安全・安心で安定した水の供給がされることです。					
内 容	●石木ダム建設促進佐世保市民の会への活動助成や、安定的な水道事業を推進するため、水道事業会管計画出金などを行っています。●安全で安定した水の供給ができるよう、既存の浄水施設の適正な管理を行うとともに、老朽化した浄水場を統合し更新する事業を進めています。●全ての市民が安全な水を安定的に飲めるよう、水道未普及地区の解消に向けて、公共の福祉と地域振興の観点から必要な施設整備を計画的に行っています。●効率的な管理と安定給水のため、水源確保を前提としながら、簡易水道等の統合の検討を進めています。					
トータルコスト	636,944 千円	うち 事業費	623,716 千円	うち 人件費 13,228 千円		
22年度の成果	●水道普及率は、平成18年度を起点として平成24年度に0.05ポイント上昇を目的する目標値を設定しております。●平成21年度において目標値を達成しましたが、平成22年度は、合併地区(鹿町、江迎)の未普及地域(82人、31戸)が新たに加算されたため、水道普及率を下げる結果となりました。また、旧市内の普及率も現状維持であり、向上した状況ではありません。●安定給水という視点では、市民満足度が向上しないことから、抜本的解決が図れたとは言えません。					
成果指標	① 指標名	水道普及率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
			% 99.78	% 99.78	% 99.76	% 99.75
	指標式	安定した水の供給の成果として、行政区内人口における給水人口の割合で計ります。				
	② 指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	指標式					
政策の課題	●石木ダムや関連施設の計画的な整備を進め、水源を確保することが重要です。また、下水道処理水の利用など、関連の調査研究も求められています。●老朽化した水道設備の計画的な更新に向け財源を含めた実効性のある更新が求められています。●水道未普及地域の解消が求められています。●簡易水道施設の多くは老朽化しており、民営簡易水道ではさらに施設の維持管理を行う人材(後継者不足)等の問題を抱えています。					
今後の方向性	【改善】 ●水源の確保において、石木ダム建設促進については国のダム検証及び事業認定の動向を注視し進めていきます。●安全で安定した水の供給を行うために北部浄水場の統合事業について、完成に向けて進めていきます。●水道の未普及地区を解消するために目指し、水道施設の計画的な整備を進めていきます。●簡易水道の統合に向けた検討、及び現状の課題である民間施設の運営管理の維持に向けた公的関与の取り組みの検討を進めていきます。					

# 施策概要書

施策名	水源の確保	課名	政策経営課																
目的	●安定的に水が確保できることです。																		
22年度の成果	成果目標54.1%に対し、実績（事業費ベース）48.8%でありました（達成率90.2%）が、これは、事業費ベースの予算額に対しての実績値であり、事業そのものが停滞しているものではありません。																		
成果指標	①石木ダム建設事業進捗率（事業費ベース）	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>47.7</td> <td>54.1</td> <td>48.8</td> <td>70.3</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	47.7	54.1	48.8	70.3					
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
%	%	%	%																
47.7	54.1	48.8	70.3																
	②																		
施策の課題	●石木ダム建設については、話し合いの促進のために、土地収用法に基づく事業認定申請を行ったところですが、ご理解を頂けていない地権者の方々との対話についても並行して進めていく必要があります。●水資源の有効活用を図るための手段、事業主体等を明確にする必要があります。																		
今後の方向性	【現状維持】 ●本市の水事情の抜本的な改善策としては、石木ダム建設を推進していくことに変わりはありません。●また石木ダム建設とは別に水の有効利用等の調査検討を行っていきます。																		
事業の位置づけ	<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td style="text-align: center;">大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td style="text-align: center;">02</td> <td style="text-align: center;">01</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">↑ 上位への貢献度 → 優先度</p> <p style="margin-left: 20px;">01 水道水源開発推進事業 02 水道事業会計繰出金</p>			大				中	02	01		小					低い	普通	高い
大																			
中	02	01																	
小																			
	低い	普通	高い																

# 事務事業 決算評価一覧

施策名		課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
事務事業名	目的 妥当性		手段 妥当性	公的 関与	目的 達成 度	上位 貢献 度	活動 量	コスト 削減 努力			
水源の確保											
水道水源開発推進事業		政策経営課	1	2	2	3	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
水道事業会計繰出金		保健福祉政策課	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名 : 交流を支える地域交通づくり

部局名 : 企画部

対象	●市民					
目的	●安全で快適な移動を確保する地域交通づくりを進めることです。					
内容	<p>●地域交通再生計画プログラム編の事業進捗について地域交通再生計画推進協議会において検査を行行度国あを置り                  いました。●地方バス路線維持対策について、維持基準に該当する9路線を運行する) ●平成25年度に                  して、運行にかかると整備事業計画に基づき、平成22年度に、分業としてICカード導入事業に対                  までの松浦鉄道施設整備事業計画に基づき、平成22年度に、分業としてICカード導入事業に対                  長崎県、佐賀県、及び沿線自治体と連携して財政支援を行いました。●黒島、高島、生計航路特別                  黒島航路を運行する事業者に対して、国・県の補助を網に基づき、佐世保市として係る特別                  とともに、運営資金の貸付制度を継続しました。●宇久・寺島航路については、運航の在り方につ                  設け、国・県の補助を受け運航する一方、今後の航路や松浦鉄道の佐世保中央駅の整備し                  いました。●佐世保市交通局へのノンステップバス導入や松浦鉄道の佐世保中央駅の整備し                  に対する補助を行い、交通バリアフリー化を推進しました。●市道の整備は、安心安全のま                  や観光振興、高齢社会への対応、合併新市の交流に寄与する事業について重点的に進めま</p>					
トータルコスト	3,531,477 千円	うち 事業費	2,850,921 千円	うち 人件費	721,381 千円	
22年度の成果	目的地点まで安全で円滑に移動できると思う市民の割合は目標値81%に対し、77%でした。しかし、 地域交通に対する市民の不満足度は前年度実績値(18.6%)及び本年度目標値(17%)を下回 る12.5%と一定の満足度が得られる結果となっています。					
成果指標	① 指標名	目的地点まで円滑に移動できる と思う市民の割合	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
	指標式	目的地点まで円滑に移動できると思う市民の割合を「市民意識アンケート調査」				
②	指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	指標式					
政策の課題	●利用者が減少している既存の公共交通機関の利用促進と、交通不便地区の対策について持続可能な しくみづくりの構築が課題となっています。また、一方、渋滞対策や安全性の向上を重視した機能的 で効率的な質の高い道路整備を推進していく上で、財源の制約や用地環境の問題から、進捗が遅れる 可能性があります。●西九州自動車道が相浦中里ICまで開通されたことに加え23年度には、佐々 ICまで開通される予定であることから、車の流れや公共交通機関利用への影響を把握し、今後の施 策を進める必要があります。					
今後の方向性	【改善】 ●公共交通機関を中心とした利便性の高いネットワークづくりを推進するための「地域公共交通再生 計画」に基づき計画的に取り組んでいくことと、自動車交通(自家用車、路線バス等)の移動の基盤 となる道路整備について、現状を十分に把握しながら必要とされる機能を重視した計画的な整備を進 めます。●新たな交通政策として、全市域に存在する交通不便地区対策について具体的な取組を推 進していきます。					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	幹線道路網の整備	<b>課名</b>	道路整備課																							
<b>目的</b>	目的地まで安全で円滑に移動することができるようになります。																									
<b>22年度の成果</b>	各路線については成果目標が長期的な目標であるため、現状維持という単年度の成果目標は達成できました。																									
<b>成果指標</b>	①移動時間（小佐々行政センターから市役所）	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>23</td> <td>31</td> <td>23</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	分	分	分	分	31	23	31	23												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
分	分	分	分																							
31	23	31	23																							
	②移動時間（ハウステンボスから市役所）	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> <td>分</td> </tr> <tr> <td>30</td> <td>30</td> <td>30</td> <td>27</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	分	分	分	分	30	30	30	27												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
分	分	分	分																							
30	30	30	27																							
<b>施策の課題</b>	平成22年3月20日に西九州自動車道（相浦中里1Cから佐世保みなと1C）が延伸され、平成23年秋頃には更なる延伸（佐々1Cから相浦中里1C）見込みですが、松浦市から佐々町間については、未事業化区間となっています。また、平成23年3月に発生した「東日本大震災」による被災地の復興に多額の国の予算が投入されることが予想され、今後の道路整備費の確保が不透明な中、西九州自動車道を中心とした幹線道路ネットワークの整備の進捗が遅れる可能性があります。																									
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 本市及び県北地域の発展を図るため、また合併して市域が広がった新市の一体化を推進するため、西九州自動車道を中心とした幹線道路ネットワークの整備について、国・県と連携しながら整備促進を図ります。																									
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td>大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 幹線道路整備事業 02 広域幹線道路整備促進事業 03 街路整備事業（県営事業負担金）</p>			上位への貢献度	大				中				小						低い	普通	高い			優先度 →		
上位への貢献度	大																									
	中																									
	小																									
		低い	普通	高い																						
		優先度 →																								
<b>施策名</b>	生活関連道路の整備	<b>課名</b>	道路整備課																							
<b>目的</b>	日常生活において安全で安心に移動することができるようになります。																									
<b>22年度の成果</b>	一部の事業でやむなく繰越を行いました。全般として事業実施環境が整った箇所への重点的な予算の配分を行い事業の進捗を図ることができました。 (65/63×100=103%)																									
<b>成果指標</b>	①主要な生活関連道路の整備率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>59</td> <td>63</td> <td>65</td> <td>70</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	59	63	65	70												
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																							
%	%	%	%																							
59	63	65	70																							
	②																									
<b>施策の課題</b>	●道路整備に対する市民のニーズは高く、限られた予算の中での効率的な整備が必要です。また、事業箇所において、用地環境の整理が困難なため事業の進捗が図れない箇所があり、今後、道路整備の遅れが懸念されます。●平成23年3月に発生した「東日本大震災」による被災地の復興に多額の国の予算が投入されることが予想され、今後の道路整備費の確保が不透明な中、市民の安全で快適な移動環境を確保するため、「真に必要な道路」について計画的かつ効率的に整備していく必要があります。																									
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 生活関連道路として必要とされる機能を重視し、国の交付金などの財源を活用した計画的かつ効率的な整備を推進します。また、用地環境整理の推進を図ると共に適切な予算配分を実施し、事業効果の早期発現を図ります。																									
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td>大</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 生活関連道路整備事業 02 里道等補助金及び交付金事業 03 通学路整備事業</p>			上位への貢献度	大				中				小						低い	普通	高い			優先度 →		
上位への貢献度	大																									
	中																									
	小																									
		低い	普通	高い																						
		優先度 →																								

# 施策概要書

<b>施策名</b>	安全な道路環境の維持管理	<b>課名</b>	道路維持課																		
<b>目的</b>	道路の安全性と景観が維持されます。																				
<b>22年度の成果</b>	管理瑕疵による事故件数が目標値を上回ってしまい達成できませんでした。																				
<b>成果指標</b>	① 管理瑕疵による事故件数	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>4</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>2</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	4	2	4	2	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
4	2	4	2																		
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
<b>施策の課題</b>	高度経済成長期に建設された橋梁などの道路施設が、今後急速に老朽化し維持・更新費が集中することが予想されます。また、管理瑕疵による事故を未然に防止する緊急対応や、市民協働による道路の維持管理など、維持・管理体制の充実に努める必要があります。																				
<b>合方向の性</b>	【現状維持】道路施設のアセットマネジメントの積極的な導入により、橋梁等の補修を着実に推進しています。また、市民参加による美化プロジェクトの推進を図ります。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">02 03</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">01</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">01 道路環境維持管理事業 02 法定外公共物（里道・水路）対策事業 03 させぼ美化プロジェクト（道路）事業</p>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			02 03			01					低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			02 03																		
			01																		
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

<b>施策名</b>	公共交通機関の利便性の確保・支援	<b>課名</b>	地域政策課																		
<b>目的</b>	●公共交通機関を利用した移動を確保することです。																				
<b>22年度の成果</b>	●鉄道・バスの利用者数24,192,584/24,335,528=99.4%（バス・MRは減少、JRは微増）●航路の利用者数344,296/367,768=93.6%となり、目標及び前年度実績値を下回りました●市内人口の減少率が△1%程度あることから、鉄道バスの利用者の自然減を加味するとほぼ前年度並みの結果となりました●宇久地区及び黒島地区は市内より人口の減少が大きく△4%程度あり、公共事業の減少等、利用促進以外の環境要因で利用者が減る結果となりました。																				
<b>成果指標</b>	① 公共交通利用者数（鉄道・バス）	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>24,335,528</td> <td>24,335,528</td> <td>24,192,584</td> <td>24,335,528</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	24,335,528	24,335,528	24,192,584	24,335,528	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>349,054</td> <td>367,768</td> <td>344,296</td> <td>367,768</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	349,054	367,768	344,296	367,768		
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
24,335,528	24,335,528	24,192,584	24,335,528																		
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
349,054	367,768	344,296	367,768																		
<b>施策の課題</b>	●既存の公共交通を持続可能なものにするため、利用者の増加を図るには、行政単独ではなく、事業者間の連携や利用者の意識の変革が喫緊の課題となります。●交通不便地区対策等の新たな施策をすすめるための持続可能なしくみづくりを確立することが課題となります。																				
<b>合方向の性</b>	【改善】●これまでの生活路線の維持のみでなく、利用者の利便性向上や利用促進PRによる公共交通の活性化を図っていきます。●交通事業者間の連携を図り、持続可能なサービス提供を図っていきます。●交通政策全般に渡る地域交通再生計画に基づき、個別具体的な各施策・事業の計画的な推進を図っていきます。●交通空白地区や市全域に存在する不便地区の対策を推進していきます。																				
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">01 02 03 05 07</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">08 09</td> </tr> <tr> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;"></td> <td style="width: 20px;">04 06</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: x-small; margin-top: 5px;">01 地方バス路線維持対策事業 02 黒島航路対策事業 03 佐世保市営交通船事業 04 佐世保線等対策事業 05 松浦鉄道対策事業 06 長崎空港支援事業 07 地域交通再生事業 08 交通事業会計繰出金 09 佐世保市等地域交通体系整備事業</p>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01 02 03 05 07			08 09			04 06		低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01 02 03 05 07																		
			08 09																		
			04 06																		
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

# 施策概要書

施策名	安全で快適な交通環境づくり	課名	地域政策課																									
目的	●安全で快適に移動できる交通環境を創出することです。																											
22年度の成果	主要経路のバリアフリー化においては、目標にとどきませんでした。継続中の路線については、事業の推進を図ることができました。																											
成果指標	①主要経路（市道）のバリアフリー化率	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>48.6</td> <td>100</td> <td>57.3</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	48.6	100	57.3	100	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値										
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																									
%	%	%	%																									
48.6	100	57.3	100																									
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値																										
②																												
施策の趣	●平成18年12月に施行された「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」及び平成23年3月に出された国のバリアフリー化の目標設定に伴い、今後、より一層の各部署におけるバリアフリー事業の連携を図る必要があります。																											
今後の方向性	【改善】 各部署におけるバリアフリー事業の連携強化に努めると共に、国県の補助制度を最大限に活用した交通施設等のバリアフリー化の推進を図ります。																											
事業の貢献度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 20%;">↑</td> <td style="width: 20%;">大</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td>中</td> <td>01 02</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>低い</td> <td>普通</td> <td>高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">→ 優先度</td> </tr> </table> <div style="font-size: small; margin-top: 5px;">                     01 交通バリアフリー事業                      02 交通機関バリアフリー化事業                      03 バリアフリーネットワーク整備事業                 </div>			↑	大					中	01 02				小						低い	普通	高い			→ 優先度		
↑	大																											
	中	01 02																										
	小																											
		低い	普通	高い																								
		→ 優先度																										

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
<b>幹線道路網の整備</b>										
幹線道路整備事業	道路整備課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
広域幹線道路整備促進事業	土木政策・管理課		2	2			3		特に課題は見当たらない	維持
街路整備事業（県営事業負担金）	土木政策・管理課		2	2			3		特に課題は見当たらない	維持
<b>生活関連道路の整備</b>										
生活関連道路整備事業	道路整備課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
里道等補助金及び交付金事業	道路維持課		2	2			2	2	特に課題は見当たらない	維持
通学路整備事業	道路維持課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
<b>安全な道路環境の維持管理</b>										
道路環境維持管理事業	道路維持課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
法定外公共物（里道・水路）対策事業	土木政策・管理課	1	2	2	1	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
させば美化プロジェクト（道路）事業	土木政策・管理課	1	2	2	1	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
<b>公共交通機関の利便性の確保・支援</b>										
地方バス路線維持対策事業	公共交通推進室	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	改善
黒島航路対策事業	公共交通推進室	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
佐世保市営交通船事業	宇久行政センター産業建設課	1	1	2	2	3	3	2	効率性に課題あり	改善
佐世保線等対策事業	公共交通推進室	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
松浦鉄道対策事業	公共交通推進室	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
長崎空港支援事業	公共交通推進室	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
地域交通再生事業	公共交通推進室	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	改善
交通事業会計繰出金	財政課	1	2	2	3	3	3	3	効率性に課題あり	改善
佐世保市等地域交通体系整備事業	公共交通推進室	1	2	2	1	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
<b>安全で快適な交通環境づくり</b>										
交通バリアフリー事業	公共交通推進室	1	2	2	1	2	3	3	特に課題は見当たらない	改善
交通機関バリアフリー化事業	公共交通推進室	1	2	2	2	2	3	3	有効性に課題あり	休廃止
バリアフリーネットワーク整備事業	道路維持課		2	2			1	2	特に課題は見当たらない	維持
<b>交流を支える地域交通づくりを実現するための包括的な施策</b>										
土木行政一般管理事業	土木政策・管理課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持



# 政策概要書

政策名 : 活力と賑わいのあるみなとづくり

部局名 : 港湾部

対象	●市民 ●来訪者 ●事業者																						
目的	物流活動、人の交流を支えるみなとづくりを進めることです。																						
内容	<p>●『潤いと賑わいのある海辺づくり』に関して、ポートルネッサンス21計画2・3ゾーンの事業予定者撤退を受け、土地利用の再公募に向けた検討を行い、新たに「三浦地区みなとまちづくり計画」を定めました。●『安心・安全なみなとづくり』に関して、既存施設の有効活用や安心・安全な施設設置の維持管理の準備や調査を行いました。●『暮らしを支える活力あるみなとづくり』の取組として国際航路開設に向けた多目的国際ターミナルの整備への着手、及びポートセールスによるクルーズ船の誘致を行いました。</p>																						
トータルコスト	2,128,892 千円	うち 事業費	1,834,950 千円	うち 人件費	326,602 千円																		
22年度の成果	<p>貨物取扱量については、295万トンから285万トンと減少しました。また、みなとづくりに対する市民満足度についても、23.8%から29.1%と増加しましたが、目標達成には至りませんでした。</p>																						
成果指標	①	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">指標名</td> <td>貨物取扱量</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>万トン</td> <td>万トン</td> <td>万トン</td> <td>万トン</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>295</td> <td>312</td> <td>285</td> <td>320</td> </tr> </table>	指標名	貨物取扱量	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値			万トン	万トン	万トン	万トン			295	312	285	320	<p>指標式 物流の拠点となるみなとづくりの成果として、年間の貨物取扱量で計ります。</p>		
指標名	貨物取扱量	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
		万トン	万トン	万トン	万トン																		
		295	312	285	320																		
②	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">指標名</td> <td>みなとづくりの取組みに対する市民満足度</td> <td>21年度実績値</td> <td>22年度目標値</td> <td>22年度実績値</td> <td>24年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>23.8</td> <td>40</td> <td>29.1</td> <td>45</td> </tr> </table>	指標名	みなとづくりの取組みに対する市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値			%	%	%	%			23.8	40	29.1	45	<p>指標式 みなとづくりの取組全般に対する市民の満足度を「市民意識アンケート調査」</p>			
指標名	みなとづくりの取組みに対する市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
		%	%	%	%																		
		23.8	40	29.1	45																		

政策の課題

●人や物が集まり交流の拠点となるみなとづくりのため、東アジア諸国との交流を促進する国際ターミナルの実現を目指します。具体的には国際航路開設に向けた多目的国際ターミナル整備事業の推進が課題となります。●地域の魅力を活かした海辺づくりのため、三浦地区みなとまちづくり計画（旧ポートルネッサンス21計画）地区の早期の賑わいの創出が課題となっています。●安全性を重視したみなとの維持管理のため、既存施設の状況調査を行い安全確保と利便性の向上を図ります。具体的には第一段階として、施設の維持管理計画の策定が課題となります。

今後の方向性

【改善】  
●多目的国際ターミナル整備を進めると同時にクルーズ船の誘致や定期航路開設に努めます。●佐世保港全体の利用形態について再編の検討を行い、利用促進を図ります。●三浦地区みなとまちづくり計画（旧ポートルネッサンス21計画）事業用地について、社会経済情勢や市民ニーズの変化に合わせた土地活用を行いません。●長寿化計画と連動した港湾施設のアセットマネジメントを進めます。

# 施策概要書

<b>施策名</b>	暮らしを支える活力あるみなとづくり	<b>課名</b>	みなと振興・管理課																												
<b>目的</b>	●貨物量増加による地域経済の活性化 ●港湾施設の利用促進と適正な維持管理 ●東アジア地域における国際航路の開設。																														
<b>22年度の成果</b>	貨物取扱量については、295万トンから285万トンと減少し、また、目標を達成することができませんでした。港湾施設・用地の利用についても、76.1%から72.7%と、3.4%利用率が減少しました。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">①貨物取扱量</td> <td style="text-align: center;">#21年度実績値</td> <td style="text-align: center;">#22年度目標値</td> <td style="text-align: center;">#22年度実績値</td> <td style="text-align: center;">#24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">万トン</td> <td style="text-align: center;">万トン</td> <td style="text-align: center;">万トン</td> <td style="text-align: center;">万トン</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">295</td> <td style="text-align: center;">312</td> <td style="text-align: center;">285</td> <td style="text-align: center;">320</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">②港湾用地利用率</td> <td style="text-align: center;">#21年度実績値</td> <td style="text-align: center;">#22年度目標値</td> <td style="text-align: center;">#22年度実績値</td> <td style="text-align: center;">#24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">76.1</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">72.7</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>			①貨物取扱量	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	万トン	万トン	万トン	万トン		295	312	285	320	②港湾用地利用率	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値	%	%	%	%		76.1	100	72.7	100
①貨物取扱量	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値		#24年度目標値																										
	万トン	万トン	万トン	万トン																											
	295	312	285	320																											
②港湾用地利用率	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#24年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	76.1	100	72.7	100																											
<b>施策の課題</b>	米海軍等の制限水域設定による航路の制限、狭隘な後背地や港湾機能が分散していることなど、厳しい状況にあるなか、港湾施設の効率性を上げるために、既存施設の配置見直し等、港の再編が課題となっています。また、国際航路及び防災の拠点としての役割を担う多目的国際ターミナル整備の推進が近々の課題となっています。																														
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●国際航路開設に向けた多目的国際ターミナル整備を進めます。</li> <li>●港のビジョンづくりに向け佐世保港の長期構想の策定を進めます。</li> <li>●港湾施設の利便性の向上と有効活用を行うため、港の再編を進めます。</li> <li>●国内外との人や物の交流を推進するため、積極的なポートセールスを行います。</li> </ul>																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td style="text-align: center;">04</td> <td style="text-align: center;">02</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 港湾行政一般管理事業                  02 港湾計画促進事業                  03 ふ頭用地管理運営事業                  04 ポートセールス振興事業                  05 多目的国際ターミナル整備事業             </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">01 03</td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小	04	02	01 港湾行政一般管理事業 02 港湾計画促進事業 03 ふ頭用地管理運営事業 04 ポートセールス振興事業 05 多目的国際ターミナル整備事業	01 03				低い	普通	高い	優先度																
上位への貢献度 大 中 小	04	02	01 港湾行政一般管理事業 02 港湾計画促進事業 03 ふ頭用地管理運営事業 04 ポートセールス振興事業 05 多目的国際ターミナル整備事業																												
	01 03																														
低い	普通	高い	優先度																												

  

<b>施策名</b>	酒いと賑わいのある海辺づくり	<b>課名</b>	みなと整備課																								
<b>目的</b>	●三浦地区みなとまちづくり計画（みなと交流エリア）においては、民間企業の参画を得ながら、人々の交流による賑わいと活力の創出を図るとともに憩いの空間を提供します。また、佐世保港周辺の豊かな観光資源を活かしながら、観光とタイアップした賑わいのみなとを創ります。																										
<b>22年度の成果</b>	実績値/目標値=29.2/45.0×100=64.9%。市民意識アンケートによる海辺の利用者は、昨年度調査実績の38.4%から9.2%減少し、目標値には達しませんでした。																										
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2">①港や海辺を利用している市民の割合</td> <td style="text-align: center;">#21年度実績値</td> <td style="text-align: center;">#22年度目標値</td> <td style="text-align: center;">#22年度実績値</td> <td style="text-align: center;">#29年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">38.4</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">29.2</td> <td style="text-align: center;">50</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td style="text-align: center;">#21年度実績値</td> <td style="text-align: center;">#22年度目標値</td> <td style="text-align: center;">#22年度実績値</td> <td style="text-align: center;">#22年度目標値</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> </table>			①港や海辺を利用している市民の割合	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#29年度目標値	%	%	%	%		38.4	45	29.2	50	②	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#22年度目標値					
①港や海辺を利用している市民の割合	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値		#29年度目標値																						
	%	%	%	%																							
	38.4	45	29.2	50																							
②	#21年度実績値	#22年度目標値	#22年度実績値	#22年度目標値																							
<b>施策の課題</b>	民間活用を進める中で、「みなとの賑わい」を生みだしていく必要があります。																										
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 社会経済の動向に注目しながら、市民・企業ニーズを把握し、民間土地活用を推進します。																										
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 大 中 小             </td> <td></td> <td style="text-align: center;">01</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 01 三浦地区みなとまちづくり計画賑わい促進事業             </td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度 大 中 小		01	01 三浦地区みなとまちづくり計画賑わい促進事業					低い	普通	高い	優先度												
上位への貢献度 大 中 小		01	01 三浦地区みなとまちづくり計画賑わい促進事業																								
低い	普通	高い	優先度																								

# 施策概要書

施策名	安心・安全なみなとづくり	課名	みなと整備課																								
目的	●港湾施設の維持管理を計画的かつ効率的に行います ●旅客施設等のバリアフリー化の推進や小型船だまりの整備（放置艇対策）により港湾施設の安全性を確保します ●計画的な海岸整備により人々の生命や財産を保全します																										
22年度の成果	●補修が完了した施設の割合：実績値/目標値=90.7/90.7×100=100.0% ●バリアフリー化された旅客施設の割合：実績値/目標値=75/75×100=100%																										
成果指標	①補修が完了した施設の割合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>23年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>88.5</td> <td>90.7</td> <td>90.7</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	23年度目標値	%	%	%	%	88.5	90.7	90.7	100	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>50</td> <td>75</td> <td>75</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	50	75	75	100
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	23年度目標値																								
%	%	%	%																								
88.5	90.7	90.7	100																								
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																								
%	%	%	%																								
50	75	75	100																								
施策の問題	●本市の既存港湾施設の多くが高度成長期に建設されており、今後、耐用年数を超えることにより、維持補修にかかる経費がますます増大することが予想される。●補修コストの平準化																										
今後の方向性	【改善】 ●今後もアセットマネジメントの取り組みにより、計画的かつ効率的な施設の維持管理に努めていきます。●港湾海岸施設の定期点検による現状把握（18年度から）●維持管理計画書の策定（21年度から）●中長期維持補修計画の策定（25年度予定）																										
事業の貢献度	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                     上位への貢献度                      ↑大                      中                      ↓小                 </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;">04 08 09</td> <td style="width: 33%;">05 07</td> </tr> <tr> <td></td> <td>06</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <div style="margin-top: 10px;">                     01 港湾施設維持補修事業                      02 漁業用施設整備事業                      03 港湾海岸整備事業                      04 港湾業務一般管理事業                      05 旅客ターミナル等管理運営事業                      06 荷役機械管理運営事業                      07 港湾区域維持管理事業                      08 港湾施設保安対策事業                      09 船舶給水事業                 </div>			上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		04 08 09	05 07		06						低い	普通	高い		→ 優先度								
上位への貢献度 ↑大 中 ↓小		04 08 09	05 07																								
		06																									
	低い	普通	高い																								
	→ 優先度																										

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
暮らしを支える活力あるみなとづくり										
港湾行政一般管理事業	みなと振興・管理課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
港湾計画促進事業	みなと整備課				2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
ふ頭用地管理運営事業	みなと振興・管理課	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	維持
ポートセールス振興事業	みなと振興・管理課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	改善
多目的国際ターミナル整備事業	みなと整備課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
潤いと賑わいのある海辺づくり										
三浦地区みなとまちづくり計画賑わい促進事業	みなと整備課	1	2	2	2	2	2	2	特に課題は見当たらない	改善
安心・安全なみなとづくり										
港湾施設維持補修事業	みなと整備課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	改善
漁業用施設整備事業	みなと整備課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
港湾海岸整備事業	みなと整備課		2	2			3	2	特に課題は見当たらない	維持
港湾業務一般管理事業	みなと振興・管理課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
旅客ターミナル等管理運営事業	みなと振興・管理課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
荷役機械管理運営事業	みなと振興・管理課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
港湾区域維持管理事業	みなと振興・管理課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
港湾施設保安対策事業	みなと振興・管理課				2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
船舶給水事業	みなと振興・管理課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	改善

# 政策概要書

政策名：市民協働によるまちづくり

部局名：市民生活部

対象	市民、市民活動団体（NPO法人やボランティア団体、町内会、自治会、PTA等）、行政職員				
目的	市民が市政情報を確実に入手し、的確に理解でき、市民が活発に提案し、それが市政に反映されることです。また、市民活動が活発化し公共サービスの担い手として成長するなど、市民と行政の協働によるまちづくりが進められることです。				
内容	<p>●平成20年3月に策定した「市民協働推進計画」の見直しを行うと、NPO等の推進に努め、まちづくりの推進を図ります。</p> <p>●「市民協働推進計画」の見直しを行うと、NPO等の推進に努め、まちづくりの推進を図ります。</p> <p>●「市民協働推進計画」の見直しを行うと、NPO等の推進に努め、まちづくりの推進を図ります。</p> <p>●「市民協働推進計画」の見直しを行うと、NPO等の推進に努め、まちづくりの推進を図ります。</p>				
トータルコスト	384,370 千円	うち 事業費	285,163 千円	うち 人件費	99,207 千円
22年度の成果	第6次総合計画策定に伴い、「まちづくり活動に参加している市民の割合」を新政策体系に連動した成果指標として設定しています。毎年度1%ずつの上積みを目指しており、前年度との比較では、1.2%増加しましたが、目標を達成できていません。				
成果指標	① 指標名 まちづくり活動に参加している市民の割合	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
	指標式 町内会やボランティア等の活動に参加している市民の割合「市民意識アンケート調査」	22	31	23.2	33
政策の課題	② 指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	指標式				
今後の方向性	<p>【改善】</p> <p>●「市民協働推進計画（第二次計画）」及び「第6次佐世保市総合計画」をもとに、「市民協働のまちづくり」の総合的、体系的な推進を図ります。</p> <p>●「市民協働推進計画（第二次計画）」及び「第6次佐世保市総合計画」をもとに、「市民協働のまちづくり」の総合的、体系的な推進を図ります。</p> <p>●「市民協働推進計画（第二次計画）」及び「第6次佐世保市総合計画」をもとに、「市民協働のまちづくり」の総合的、体系的な推進を図ります。</p>				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	市民が求める市政情報の提供	<b>課名</b>	秘書課																		
<b>目的</b>	市民および佐世保市に関心のある人が、市政や行政サービスに関する情報を、的確かつ迅速に入手することで、市からの情報提供に満足する人を増やします。																				
<b>22年度の成果</b>	22年度実績値/22年度目標値 $69.3 \times 100 = 78 \times 100 = 88.8\%$																				
<b>成果指標</b>	① 市役所からの情報提供に対する市民満足度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>70.3</td> <td>78</td> <td>69.3</td> <td>80</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	70.3	78	69.3	80							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
70.3	78	69.3	80																		
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値																
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値																			
<b>施策の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●増加傾向にある行政情報を効果的に市民に伝えていくためには、必要な情報をより精査していくことが重要となっています。</li> <li>●すべての人にとって、更に分かりやすさ、使いやすさを追求していく必要があります。</li> </ul>																				
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●個人情報等の保護に配慮しつつ情報公開の推進を図ります。</li> <li>●広報紙やホームページに加え、テレビ・ラジオ・新聞など民間の媒体も利用して市政情報の提供を行います。</li> <li>●広く市民に対して、市政や行政サービスに関する情報をわかりやすく、的確かつ迅速に提供できるよう、すべての人にとっての分かりやすさ・使いやすさに配慮しながら、よりアピール性の高い広報を展開します。</li> </ul>																				
<b>事務事業のポジション</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 25%; height: 20px;">02</td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;">01 03</td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">01 市政情報提供事業 02 情報公開事業 03 市政情報提供事業（インターネット）</p>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小	02				01 03						低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小	02																				
		01 03																			
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

<b>施策名</b>	市民の声を広く聴く機会の充実	<b>課名</b>	秘書課																		
<b>目的</b>	市民の声を広く聴く機会の充実を図り、また、その声を市の施策や業務の改善に反映させることにより、市民サービスの向上を図ります。また、市民の声に真摯に応えることで、市民と行政の相互理解、信頼関係の向上につなげます。																				
<b>22年度の成果</b>	●達成度は、22年度実績値/22年度目標値 $\times 100 = 33 / 33 \times 100 = 100.0\%$ となり、成果目標を達成することができました。																				
<b>成果指標</b>	① 民意の反映に対する市民の認識度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>31</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>35</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	31	33	33	35							
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
31	33	33	35																		
	②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値																
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値																			
<b>施策の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●広聴の仕組みについては、各種の審議会・委員会、ワークショップ、パブリックコメント、市政懇談会、市長への手紙、ご意見箱、じげもんトーク、FAQシステムなど一定整いつつあるが、若い世代の幅広いニーズの把握が課題です。</li> <li>●市政懇談会の参加者数が減少し、目標を達成することができませんでした。</li> </ul>																				
<b>今後の方向性</b>	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き広聴制度に取り組みます。また、更なる充実を図るため、Eモニター制度の導入検討を行います。</li> <li>●市政懇談会については、24年度からの3巡目に向けて、多くの方が参加しやすい開催日時や手法等を検討します。</li> </ul>																				
<b>事務事業のポジション</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> <td style="width: 25%; height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;">01 02</td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> <td style="height: 20px;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: left;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: right;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">01 広聴の仕組み構築事業 02 市政懇談会事業</p>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小					01 02						低い	普通	高い		→ 優先度		
上位への貢献度 ↑ 大 中 小																					
		01 02																			
	低い	普通	高い																		
	→ 優先度																				

# 施策概要書

<b>施策名</b>	市民活動及び市民と行政との協働の促進	<b>課名</b>	市民協働推進室																												
<b>目的</b>	●市民等が市政に参加していることです。●市民と行政とが連携・協力することです。●市民活動団体の活動が活発化し、協働の担い手として定着することです。																														
<b>22年度の成果</b>	市民活動団体数については、させほ市民活動交流プラザ登録団体の整理（年度更新）を実施したことから、目標値を下回りました。市民協働事業数については、目標値とほぼ同数となっています。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">①市民活動団体数</th> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <th>団体</th> <th>団体</th> <th>団体</th> <th>団体</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>190</td> <td>190</td> <td>179</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">②市民協働事業（市民参画、活動支援、協働）</th> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <th>件</th> <th>件</th> <th>件</th> <th>件</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>196</td> <td>198</td> <td>191</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table>			①市民活動団体数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	団体	団体	団体	団体		190	190	179	200	②市民協働事業（市民参画、活動支援、協働）	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	件	件	件	件		196	198	191	200
①市民活動団体数	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	団体	団体	団体	団体																											
	190	190	179	200																											
②市民協働事業（市民参画、活動支援、協働）	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	件	件	件	件																											
	196	198	191	200																											
<b>施策の課題</b>	協働に対する意識の醸成が未だ課題であり、「市民協働推進計画（第二次計画）」による具体的な施策の推進が意識啓発につながることから、計画の着実な進捗管理が必要です。																														
<b>今後の方向性</b>	【現状維持】 「市民協働推進計画（第二次計画）」に基づき、市民協働の基盤整備及び市民公益活動の活性化のための施策を引き続き実施します。																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">02</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">01 03</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> 01 ボランティア活動支援事業 02 市民協働基盤整備事業 03 市民公益活動支援事業			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			02			01 03					低い	普通	高い		→ 優先度												
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			02																												
			01 03																												
	低い	普通	高い																												
	→ 優先度																														

  

<b>施策名</b>	地域コミュニティの活性化	<b>課名</b>	市民生活課																												
<b>目的</b>	地域コミュニティの基盤となる町内会等自治組織が強化されることで、自ら住む地域のまちづくりへの参加や地域活動の活性化に資すると考えます。また、地域の市民活動団体（自治組織、NPO、ボランティア、PTA等）の連携は、協働によるまちづくりのための行政の対等なパートナーとなります。																														
<b>22年度の成果</b>	町内会加入率は、86.4%で目標値（91%）には到達できませんでした。引き続き町内会活動の活性化を促すことで加入率の向上を目指したいと考えます。達成率94.9%でした。																														
<b>成果指標</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">①町内会等加入率</th> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <th>%</th> <th>%</th> <th>%</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>87.1</td> <td>91</td> <td>86.4</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">②身近な地域でまちづくり活動が盛んだと思う市民の割合</th> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <th>%</th> <th>%</th> <th>%</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>42.4</td> <td>47</td> <td>43.6</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>			①町内会等加入率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		87.1	91	86.4	91	②身近な地域でまちづくり活動が盛んだと思う市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		42.4	47	43.6	50
①町内会等加入率	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	%	%	%	%																											
	87.1	91	86.4	91																											
②身近な地域でまちづくり活動が盛んだと思う市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	42.4	47	43.6	50																											
<b>施策の課題</b>	「地域コミュニティ」推進指針の策定が急務です。現在活動されている町内会等の皆様にご理解いただけるよう丁寧な説明が必要です。引き続き行う町内会等活動支援についても現状を把握し、町内会等との一層の連携が必要です。																														
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ①住民主体の「地域コミュニティ」推進に向けた指針策定を目指し、周知とモデル事業実施を検討します。②町内会加入率減少の歯止め・加入率向上のために、町内会等と共に加入促進マニュアルを作成し、住民の転入時など加入促進の運動に取り組めます。																														
<b>事務事業のポジショニング</b>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%;"></td> <td style="width: 33%; text-align: center;">01</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="3" style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table> 01 コミュニティ活動等支援事業			上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01								低い	普通	高い		→ 優先度												
上位への貢献度 ↑ 大 中 小			01																												
	低い	普通	高い																												
	→ 優先度																														

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
市民が求める市政情報の提供										
市政情報提供事業	秘書課	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	改善
情報公開事業	総務課				2	3	3	3	有効性に課題あり	改善
市政情報提供事業（インターネット）	情報政策課	1	2	2	1	2	2	2	有効性に課題あり	改善
市民の声を広く聴く機会の充実										
広聴の仕組み構築事業	秘書課	1	2	2	3	2	2	2	有効性に課題あり	改善
市政懇談会事業	市民生活課	1	2	2	1	2	2	3	有効性に課題あり	維持
市民活動及び市民と行政との協働の促進										
ボランティア活動支援事業	保健福祉政策課	1	2	2	1	2	2	2	有効性に課題あり	維持
市民協働基盤整備事業	市民協働推進室	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
市民公益活動支援事業	市民協働推進室	1	2	2	1	2	1	3	効率性に課題あり	改善
地域コミュニティの活性化										
コミュニティ活動等支援事業	市民生活課	1	2	2	2	2	2	2	有効性に課題あり	改善



# 政策概要書

政策名 : 経営の視点による行政運営

部局名 : 企画部

対象	●市（行政） ●市民															
目的	●市民ニーズに応じた効果的・効率的な行政運営を行うことです。市民が本市の行政サービスに満足（納得）することです。															
内容	●行政サービスに対する市民満足度やニーズ等の把握・分析、その結果に基づき計画立案や資源配分、さらに、施策・事業の計画的な推進を図る等々の把握・分析、その結果に基づき計画立案や資源配分、政評価システムを活用し、管理目標の達成を図る等々の把握・分析、その結果に基づき計画立案や資源配分、職員の研修を計画的に実施するなどの成果を収め、市民サービスの向上を図る等々の把握・分析、その結果に基づき計画立案や資源配分、進捗計画（便利な市役所推進計画）を策定し、今後取り組むべき課題・テーマを明確にしました。●地上デジタル放送に対応した視聴覚施設の整備（支援）など、地															
トータルコスト	549,570 千円	うち 事業費	331,810 千円	うち 人件費 217,760 千円												
22年度の成果	●成果指標は目標に達することができませんでしたが、「市職員の対応への市民満足度」は満足度が70%の高い評価を得ています。															
成果指標	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>行政サービス全般に対する市民満足度</th> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>①</td> <td></td> <td>% 44.8</td> <td>% 62</td> <td>% 46.8</td> <td>% 65</td> </tr> </table>	指標名	行政サービス全般に対する市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	①		% 44.8	% 62	% 46.8	% 65	指標式 市役所が市民の求めるサービスを提供していると思う市民の割合（「市民意識アンケート調査」で測定）		
指標名	行政サービス全般に対する市民満足度	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値											
①		% 44.8	% 62	% 46.8	% 65											
②	指標名	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値												
	指標式															

政策の課題

●景気の不透明さと地方財政の厳しさが長引く中、限られた行政資源の有効活用と、市民の視点・経営の視点での行政運営が求められています。●中でも、効率的な行政運営、具体的には、適正な市の関与に基づく民間活力の導入や、市民視点での効率的かつ機能的な行政体制の整備、電子自治体の推進が求められています。

今後の方向性

【改善】  
●市民の視点で、わかりやすさ、効率性、安定性に重点を置いた行政運営を行います。●市民ニーズとくに地域活性化及び市民生活の安定に対応し、柔軟で総合的な計画行政を推進していきます。●「佐世保市行政改革アクションプラン」の次なる「新たな行政改革プラン」に基づき、定員管理の適正化、政策課題に対応した簡素で機動的な体制づくり、適材適所の配置等による組織の活性化、効果的な研修による市民感覚、コスト意識、専門的知識を有する自立した職員育成など、各種取り組みを計画的かつ重点的に推進します。●「新電子自治体推進計画（便利な市役所推進計画）」のもと、更なる市民サービスの向上と行政事務の効率化を推進します。

# 施策概要書

施策名	柔軟で総合的・計画的な行政の推進	課名	政策経営課																
目的	●市（職員）が、市民の意見を聴きながら、ニーズに柔軟に対応した総合的・計画的な行政運営を行います。																		
22年度の成果	●成果指標である「計画に掲げる成果目標の達成状況」については86%となりましたが、22年度の目標であった90%には届きませんでした。●産業・雇用分野や福祉分野を中心に、全体として景気の後退や社会保障制度の改正等取り巻く環境の変化に起因して、市民の満足度が減少したためと考えられます。																		
成果指標	①総合計画に掲げる成果指標の達成状況（達成度）		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>66.1</td> <td>90</td> <td>86</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	66.1	90	86	100				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
%	%	%	%																
66.1	90	86	100																
	②主要事業の着手率		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>98.1</td> <td>99</td> <td>99.1</td> <td>100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	98.1	99	99.1	100				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
%	%	%	%																
98.1	99	99.1	100																
施策の課題	●平成20年度から進めている市民協働による総合計画の点検評価について、評価の結果を政策・施策立案へ反映する仕組みへと改善する必要があります。●政策・施策の成果目標に関し、後期基本計画の策定準備に向けて、取り巻く環境変化を勘案した設定に見直す必要があります。																		
今後の方向性	<p>【改善】</p> <p>●まちづくりの基本理念として市民協働によるまちづくりを掲げていることから、政策・施策・事務事業の点検評価については、審議会や市民会議を通じて、議論の結果を政策・施策・事務事業の立案・改善へ反映させるためのローリング作業を行います。また、事務事業評価の精度向上を目的に導入した「市民による行政評価」を引き続き行います●各政策・施策の点検評価を行う中で、後期基本計画の策定を見据えた成果目標の設定方法などの検証を進めます。</p>																		
事務事業のローリング	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">↑ 大 中 小 ↑ 上位への貢献度</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">01</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">01 計画行政推進事業 02 行政評価推進事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">02</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table>			↑ 大 中 小 ↑ 上位への貢献度			01	01 計画行政推進事業 02 行政評価推進事業		02						低い	普通	高い	→ 優先度
↑ 大 中 小 ↑ 上位への貢献度			01		01 計画行政推進事業 02 行政評価推進事業														
		02																	
	低い	普通	高い	→ 優先度															

  

施策名	簡素で機動的な行政体制の整備	課名	行財政改革推進局																
目的	●公的関与の妥当性の観点に基づく優れた民間活力の導入を進めながら、市民ニーズに基づく政策課題に応じた組織を整え、様々な課題に対応できる優れた人材の育成と適切な配置ができるようになります。																		
22年度の成果	●「市職員の対応への市民満足度」に関しては、年度目標を達成しました。（実績値）70.8% / （目標値）69% × 100 = （達成度）102.6% ●「行政サービス全般に対する市民満足度」に関しては、年度目標の達成には至りませんでした。（実績値）44.8% / （目標値）62% × 100 = （達成度）75.5%																		
成果指標	①市職員の対応への市民満足度		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>パーセント</td> <td>パーセント</td> <td>パーセント</td> <td>パーセント</td> </tr> <tr> <td>70</td> <td>69</td> <td>70.8</td> <td>70</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	パーセント	パーセント	パーセント	パーセント	70	69	70.8	70				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
パーセント	パーセント	パーセント	パーセント																
70	69	70.8	70																
	②行政サービス全般に対する市民満足度		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>44.8</td> <td>62</td> <td>46.8</td> <td>65</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	44.8	62	46.8	65				
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																
%	%	%	%																
44.8	62	46.8	65																
施策の課題	●「佐世保市行財政改革アクションプラン」の次なる「新たな行財政改革プラン」の推進を通じ、簡素で機動的な行政体制のさらなる整備、業務実態に応じた人員配置、職員や職場のニーズにあった研修の実施、OJTの積極的な推進、人事評価制度〔システム〕の見直し等が今後求められます。																		
今後の方向性	<p>【改善】</p> <p>●「佐世保市行財政改革アクションプラン」の次なる「新たな行財政改革プラン」に基づき、定員管理の適正化、政策課題に対応した簡素で機動的な体制づくり、適材適所の配置等による組織の活性化、効果的な研修による市民感覚、コスト意識、専門的知識を有する自立した職員の育成など、各種取組みを計画的かつ重点的に推進します。</p>																		
事務事業のローリング	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">↑ 大 中 小 ↑ 上位への貢献度</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%; text-align: center;">02</td> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">01 行財政改革・地方分権推進事業 02 人材育成推進事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">01</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">→ 優先度</td> </tr> </table>			↑ 大 中 小 ↑ 上位への貢献度			02	01 行財政改革・地方分権推進事業 02 人材育成推進事業			01					低い	普通	高い	→ 優先度
↑ 大 中 小 ↑ 上位への貢献度			02		01 行財政改革・地方分権推進事業 02 人材育成推進事業														
			01																
	低い	普通	高い	→ 優先度															

# 施策概要書

施策名	情報化によるサービスの向上	課名	情報政策課																												
目的	●行政事務の効率化 ●市民サービスの高度化、市民満足度の向上																														
22年度の成果	●ほぼ達成しています。電子自治体ランキングにおいては、お役立ちQ&Aシステム、公開型WebGIS、メールマガジンの稼働によるサービス向上や情報セキュリティ管理基準の整備が高い評価を得た原因と考えられます。																														
成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 50%;">①電子自治体ランキング</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">21年度実績値</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">22年度目標値</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">22年度実績値</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">位</td> <td style="text-align: center;">位</td> <td style="text-align: center;">位</td> <td style="text-align: center;">位</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">30</td> <td style="text-align: center;">26</td> <td style="text-align: center;">30</td> </tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="2" style="width: 50%;">②市役所が便利だと感じる市民の割合</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">21年度実績値</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">22年度目標値</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">22年度実績値</td> <td style="width: 12.5%; text-align: center;">24年度目標値</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">66</td> <td style="text-align: center;">68</td> <td style="text-align: center;">63</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> </table>			①電子自治体ランキング	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	位	位	位	位		26	30	26	30	②市役所が便利だと感じる市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%		66	68	63	70
①電子自治体ランキング	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値		24年度目標値																										
	位	位	位	位																											
	26	30	26	30																											
②市役所が便利だと感じる市民の割合	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																											
	%	%	%	%																											
	66	68	63	70																											
施策の課題	●情報システム最適化指針の運用により、システム全体の投資対効果の最大化を図ってきましたが、今後は、情報化にあわせて業務の見直しによる、事務の更なる効率化を図ることが重要です。																														
今後の方向性	<p>【現状維持】</p> <p>●情報化を推進し、行政事務の効率化と市民サービスの向上を基本としており、その方向性を継続して推進していきます。●地域情報化計画の第2期計画として策定した新電子自治体推進計画を推進します。</p>																														
重要事業の貢献度が	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; vertical-align: middle;">                 上位へ の貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%;"></td> <td style="width: 15%; text-align: center;">01 02 03 04 05 06</td> <td style="width: 45%;"></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p style="margin-left: 40px;">01 庁内情報化基盤整備事業 02 庁内情報化推進事業 03 統合型地理情報システム整備事業 04 地域情報化推進事業 05 基幹系業務システム管理事業 06 地上デジタル放送対策事業</p>			上位へ の貢献度 ↑ 大 中 小			01 02 03 04 05 06												低い	普通	高い	優先度 →									
上位へ の貢献度 ↑ 大 中 小			01 02 03 04 05 06																												
	低い	普通	高い	優先度 →																											

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
柔軟で総合的・計画的な行政の推進										
計画行政推進事業	政策経営課	1	2	2	2	3	3	3	効率性に課題あり	改善
行政評価推進事業	政策経営課	1	2	2	2	2	2	2	効率性に課題あり	改善
簡素で機動的な行政体制の整備										
行財政改革・地方分権推進事業	行財政改革推進局	1	1	2	2	2	2	3	有効性に課題あり	改善
人材育成推進事業	職員課	1	2	2	2	3	2	1	効率性に課題あり	改善
情報化によるサービスの向上										
庁内情報化基盤整備事業	情報政策課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
庁内情報化推進事業	情報政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
統合型地理情報システム整備事業	情報政策課	1	2	2	1	3	3	2	有効性に課題あり	維持
地域情報化推進事業	情報政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
基幹系業務システム管理事業	情報政策課	1	2	2	3	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
地上デジタル放送対策事業	情報政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持

# 政策概要書

政策名 : 持続可能な財政運営

部局名 : 財務部

対象	●佐世保市 ●市民					
目的	行政サービスを将来にわたって安定的に提供していくために、持続可能な財政を確立することが目標です。このため、収支の均衡と地方債残高の適減をめざしつつ改革プランによって財政規模の是正を進めます。また、地方分権（税源配分の見直しを含む）を進めることが重要です。					
内容	【安定的な税収の確保】税の徴収率は効果的な滞納整理などによって0.7ポイント上昇し91.7%となり目標を上回りました。電子申告、国税連携、コンビニ収納（軽自）などにも、遊休資産の売却など円滑な資産活用を努めました。また、高砂駐車場の開設、本庁舎耐震改修の計画など行政サービスの視点としての機能向上に努めました。【財政の健全性の確保】収支バランス、後年度負担残高も約20億円の減、健全化指標も基準以下の見込みとなり、概ね堅実な財政運営となりました。経済対策として、国の財政支援措置を活用しながら、ハウステンボス再生支援のための財源調整を図りました。また、資産・債務改革、公会計改革など新たな財政対策の検討を行い、特に、債権管理については条例を制定し適正な管理を進めることとしました。					
トータル 予算	30,372,402 千円	うち 事業費	29,310,294 千円	うち 人件費	1,143,758 千円	
22年度の 成果	財政調整基金は赤字補てんの必要がなかったことから、残高は53.4億円→70.7億円（減債基金を加えると88.9億円→106.4億円）と増加し、目標値（標準財政規模の5%以上）を上回り11.4%となりました。なお、後年度の大型支出に備えて34.5億円を確保しています。決算は黒字の見込みであり堅実な財政運営といえますが、財政構造は依然脆弱であり厳しい状況に変わりはありません。					
成果指標	指標名	財政調整基金（貯金）の残高	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値
	①		% 9.1	% 5	% 11.4	% 5
	指標式	持続可能な財政運営の成果として、財政運営状況を適正な貯金残高で計ります。				
	指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	②					
	指標式					
政策の 課題	●収支の均衡をめざしながらも、中長期的な見通しのもとで財政規律と財政出動のバランスを考慮しながら、計画的な財政運営を続ける必要があります。●活力ある地域づくりに向け積極的に関与することにより、税源の涵養や公共サービスの適正化を進め、財政の健全化を図らなければなりません。●特に、平成27年度から合併での財政支援措置が段階的に終了することから、財政基盤の強化、サービスの調整、施設の統廃合など大きな変革の必要に迫られています。●財政運営についての市民満足度を向上させる取り組みが必要です。					
今後の 方向性	【改善】 ●財政見通しでの収支不足を解消する必要があり、特に合併平年度以降を適正な財政規模に是正するため、新たな改革プランを示すことが不可欠となります。●また、この改革を進めるために近い将来予想される危機的な状況と財政改革の必要性（財源とサービスの均衡）を全市民が共有することが重要であり、財政運営指針を明確にするとともに、財務情報（税、資産、財政）のわかりやすい形で提供と財源調達についての対話によって財政責任を果たす必要があります。●財政計画を公表することとし、総合計画の進捗管理との連携を図りつつ、計画的な財政運営を目指します。					

# 施策概要書

施策名	安定的な税収の確保	課名	市民税課																																																																						
目的	賦課された市税を納税義務者が納税していただき、その市税が確実に市に収納されることで安定的な財源が確保され、佐世保市が持続可能な財政運営を行うことに貢献します。																																																																								
22年度の成果	平成22年度目標値の91.2%に対して、実績値は91.73%（達成度100.58%）となり、厳しい納税環境の中でも目標達成することができました。																																																																								
成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">21年度実績値</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">22年度目標値</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">22年度実績値</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>①市税収納率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">90.98</td> <td style="text-align: center;">91.2</td> <td style="text-align: center;">91.73</td> <td style="text-align: center;">91.6</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	①市税収納率	%	%	%	%		90.98	91.2	91.73	91.6	②																																																						
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																																																																					
①市税収納率	%	%	%	%																																																																					
	90.98	91.2	91.73	91.6																																																																					
②																																																																									
施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●従前の滞納は、倒産等を初めとする不良債権化した固定資産税が根幹を成していましたが、今後は、市県民税の増税に伴う少額滞納者の増が見込まれます。●こうした少額滞納者を極力抑制するため、更なる滞納処分（差押）の強化を図る必要があります。●一方、納税者サービスとして、収納窓口の拡大など納税環境の整備も並行して推進する必要があります。</li> </ul>																																																																								
今後の方向性	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●税制改正、国税・地方税の電子化などの環境変化に的確に対応し、適正かつ公平な課税に努めます。●自主納税の啓発と滞納整理の促進により、市税の収納率を向上させ、安定的な税収の確保に努めます。●収納窓口の拡大となるコンビニ収納等納税環境の整備を推進します。●税負担と行政サービスとの関連から、税の使途についても関心が高くなっており、簡潔で分かり易い説明に努めます。</li> </ul>																																																																								
事務事業のポジショニング	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↑</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">01</td> <td style="text-align: center;">02</td> <td style="text-align: center;">03</td> <td style="text-align: center;">04</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="9" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 自主財源確保事業（資産税） 02 税務一般管理事業 03 自主財源確保事業（市民税） 04 自主財源確保事業（納税）</p>			大										↑			01	02	03	04				中										↓										小											低い	普通	高い								優先度 →								
大																																																																									
↑			01	02	03	04																																																																			
中																																																																									
↓																																																																									
小																																																																									
	低い	普通	高い																																																																						
	優先度 →																																																																								
施策名	財産の適正管理及び有効活用	課名	財産管理課																																																																						
目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>●遊休財産の有効活用を図るため、市有財産の現状を詳細に把握し、不要な財産の積極的な処分や貸付け、重複資産の整理統合を図ります。●市有財産を適正に管理し、境界問題や市有地の雑草などで市民の皆さんにご迷惑をおかけしないよう十分配慮します。</li> </ul>																																																																								
22年度の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>●滞納整理業務を継続して実施しましたが、目標値には到達しませんでした。●財産管理課所管分の過年度分を含む収納済額（108,605千円）÷額定額（139,665千円）×100＝77.8%●成果目標達成率77.8%÷91.2%＝85.3%●普通財産取得事業は、取得の必要性が発生しませんでした。</li> </ul>																																																																								
成果指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 25%;"></td> <td style="width: 25%; text-align: center;">21年度実績値</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">22年度目標値</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">22年度実績値</td> <td style="width: 25%; text-align: center;">24年度目標値</td> </tr> <tr> <td>①使用料等収納率</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">92.4</td> <td style="text-align: center;">94.9</td> <td style="text-align: center;">92.8</td> <td style="text-align: center;">95.3</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	①使用料等収納率	%	%	%	%		92.4	94.9	92.8	95.3	②																																																						
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																																																																					
①使用料等収納率	%	%	%	%																																																																					
	92.4	94.9	92.8	95.3																																																																					
②																																																																									
施策の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市町合併に伴ない、管理すべき財産が増えたことから、その取扱いに関する事務量や財政的な負担が増大しています。一方で管理に要する予算等の伸びは期待できません。●今後は、財源となる土地賃貸料等の収納率の向上を図るため、滞納整理の手順等債権管理の手法を確立する必要があります。●普通財産取得事業は、公共事業との関連が深いため、実績はないものの継続することが必要と思われる。</li> </ul>																																																																								
今後の方向性	<p>【改善】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●遊休財産については、民間（不動産業者）のノウハウを活用することも視野に入れ、有効的な処分を促進します。●施設白書の策定を手掛け、適正な財産の管理、運用、処分等を進めます。●債権管理条例の施行を受け、実効性のある取扱い要領等を策定し、滞納料等の徴収率の向上を図ります。●普通財産取得事業は、当面継続いたします。</li> </ul>																																																																								
事務事業のポジショニング	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 10%; text-align: center;">大</td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> <td style="width: 10%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↑</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: center;">01</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">中</td> <td style="text-align: center;">02</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">↓</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い</td> <td style="text-align: center;">普通</td> <td style="text-align: center;">高い</td> <td colspan="6"></td> </tr> <tr> <td></td> <td colspan="9" style="text-align: center;">優先度 →</td> </tr> </table> <p>01 市有財産管理事業 02 普通財産取得事業</p>			大										↑				01						中	02									↓										小											低い	普通	高い								優先度 →								
大																																																																									
↑				01																																																																					
中	02																																																																								
↓																																																																									
小																																																																									
	低い	普通	高い																																																																						
	優先度 →																																																																								

# 施策概要書

<b>施策名</b>	財政の健全性の確保	<b>課名</b>	財政課															
<b>目的</b>	単年度決算における収支均衡を基本としながら、人件費・公債費などの経常的経費が一定割合を超えないように柔軟性を保ち、将来世代への負担の先送りを回避しながら財政の健全性を確保していきます。																	
<b>22年度の成果</b>	予算編成におけるプライマリーバランスの黒字化に努めるとともに、将来負担の軽減に向け、次年度繰越を勘案しながら、交付税措置率の低い起債について、その圧縮に努めた結果、公債費の負担割合を示す実質公債費比率は、0.7ポイント改善した。また、財政構造の弾力性を示す経常収支比率も、3.7ポイント改善し、いずれも成果指標の目標を達成しました。																	
<b>成果指標</b>	①実質公債費比率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">13.8</td> <td style="text-align: center;">18</td> <td style="text-align: center;">13.1</td> <td style="text-align: center;">18</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	13.8	18	13.1	18				
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値														
%	%	%	%															
13.8	18	13.1	18															
②経常収支比率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>26年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">87.4</td> <td style="text-align: center;">90</td> <td style="text-align: center;">83.7</td> <td style="text-align: center;">90</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値	%	%	%	%	87.4	90	83.7	90					
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	26年度目標値															
%	%	%	%															
87.4	90	83.7	90															
<b>施策の課題</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 少子高齢・人口減少社会が進展していく中、行政サービスを安定的に提供し続けていくためには、将来にわたって財政の健全性を維持していく必要があることから、財政の健全性を示す2つの指標にイエロー信号を灯さないことを成果指標としています。</li> <li>● 創意工夫により行政のさらなる効率化を推し進めるとともに、限りある財源の有効活用の観点から、市民ニーズに適應した行政サービスの提供、適正な受益者負担による制度の持続、市民協働によるサービスの向上などの必要性について、行政、市民が共通認識を持つことが重要となってきます。</li> </ul>																	
<b>実行の方針</b>	<p>【現状維持】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 限られた財源を最適配分するための予算編成のあり方の更なる検討を行います。</li> <li>● 大型事業などの位置づけについて中期財政計画の策定段階における全庁的な合意形成を行います。</li> <li>● 行財政改革アクションプランに掲げられた改革改善方を段階的に着実に実行します。</li> <li>● 財政健全化法にも対応した中期的な財政収支の均衡を目標とした財政運営指針の改訂を行います。</li> <li>● 財政状況について、市民にわかりやすく説明する手法等について検討します。</li> <li>● 平成23年3月債権管理条例の制定を受け、債権管理の適正化に向けて実行組織の確立を図ります。</li> </ul>																	
<b>事業の貢献度</b>	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; font-size: small;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">02</td> <td style="width: 20%;">05</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;">04</td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;">01 03</td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> <td style="width: 20%;"></td> </tr> </table> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 5px;"> <div style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">上位への貢献度</div> <div style="text-align: center;"> <p>低い ← 普通 → 高い</p> <p>← 優先度 →</p> </div> <div style="font-size: x-small;"> <p>01 財政一般管理事業</p> <p>02 基金造成事業</p> <p>03 財政状況分析・公表事業</p> <p>04 競輪事業</p> <p>05 地方債償還元利金・公債諸費</p> </div> </div>				02	05			04			01 03						
	02	05																
04			01 03															

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
安定的な税収の確保										
自主財源確保事業（資産税）	資産税課	1	2	2	2	3	3	1	特に課題は見当たらない	改善
税務一般管理事業	市民税課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
自主財源確保事業（市民税）	市民税課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	改善
自主財源確保事業（納税）	納税課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	改善
財産の適正管理及び有効活用										
市有財産管理事業	財産管理課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	改善
普通財産取得事業	財産管理課	1	2	2	3	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持
財政の健全性の確保										
財政一般管理事業	財政課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	維持
基金造成事業	財政課	1	1	2	3	3	3		特に課題は見当たらない	維持
財政状況分析・公表事業	財政課	1	1	2	3	2	3	2	有効性に課題あり	改善
競輪事業	競輪事務所	1	1	2	1	2	2	1	有効性に課題あり	改善
地方債償還元金・公債諸費	財政課	1	2	2	3	3	3		特に課題は見当たらない	維持



# 政策概要書

政策名 : 合併地域等の振興

部局名 : 企画部

対象	市民					
目的	合併地域等の振興を通じて、市全体の均衡ある発展を図ります。					
内容	<p>●まちづくり計画に基づき、合併地域の振興を図るために各種調整業務を行いました。住民アンケートや地区協議会・地域審議会等の活動を通じて合併地域住民の声を把握し、市政に反映しました。また、合併市町村振興基金の運用の活用した合併地域まちづくり特別事業で地域の振興に努めました。●離島・半島地域の活性化のための基盤整備、財政支援措置等の充実・強化について国への働きかけを行いました。●過疎地域自立促進特別措置法の延長を受けて、平成22年度から27年度までを計画期間とする新たな過疎地域自立促進計画を策定しました。●まちづくり特別事業の要綱を改正し、より利用しやすい制度へと見直しを行いました。</p>					
トータルコスト	1,170,492 千円	うち 事業費	226,127 千円	うち 人件費	944,365 千円	
22年度の成果	<p>暮らしやすさの満足度は41.1%（達成率83.9%）となっており目標の49%は達成できませんでした。なお、新たに合併した江迎・鹿町では30.0%、これらを除く残り4地区では47.9%でした。今後とも、行政センターにおける説明やサービスの向上に努める必要があります。</p>					
成果指標	指標名	合併地域における「暮らしやすさ」の満足度	21年度実績値 %	22年度目標値 %	22年度実績値 %	24年度目標値 %
	①		47.1	49	41.1	55
	指標式	合併地域での「暮らしやすさ」に関する住民の意識を「合併地域住民へのアンケート調査」で計ります。				
	指標名		21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	
	②					
	指標式					
政策の課題	<p>●合併算定替による財政支援措置が段階的に終了に向かうことを踏まえ、コスト削減を図る必要があります。●引き続き、まちづくり計画に基づき、合併地域の振興、新市としての一体感の醸成を進めていくことが必要です。また、地区協議会の効果的な運営などにより地域住民の声を市政に反映させるとともに、行政センターにおける説明やサービスの向上に努め、合併に伴う諸問題を解決していく必要があります。●行政サービスのあり方を整理していく中で、行政センターのあり方についても整理・検討が必要です。●離島・半島地域の振興のために、県の離島・半島計画等に基づく生活・産業基盤の整備等、庁内各部局との連携が必要です。</p>					
今後の方向性	<p>【改善】 ●地区協議会の議論を踏まえ、地域の要望や諸問題に対応しながら、新市としての一体化を推進していきます。そのため、行政センターにおける説明やサービスの向上を図り、人材育成や地域間の交流を促進するとともに、財政面での合併効果を表すためにコスト削減に努め、合併市町村振興基金の運用を益の活用を進めます。●離島・半島地域の振興については、地域間の人々の交流や人材育成を進めるとともに、各種協議会の活動を通じ、広域で連携・協力していきます。また、国・県に対し必要な要望を定期的に行います。●まちづくり計画や過疎地域自立促進計画に基づき、合併地域の施策を進めます。●行政センターのあり方について整理・検討を行います。</p>					

# 施策概要書

<b>施策名</b>	合併地域の振興	<b>課名</b>	地域政策課																										
<b>目的</b>	●まちづくり計画等を適切に実施し、合併地域の振興を図ります。●合併後において行政センターはもとより全庁的に業務を円滑に行います。●地域の課題は地域で解決するといった取り組みが進むようになります。																												
<b>22年度の成果</b>	合併地域における主要事業の着手率は57.1%であり、目標の55.7%を達成することができました。行政センターの満足度は45.0%（達成率86.5%）であり、目標の52%を達成できませんでした。なお、新たに合併した江迎・鹿町では37.5%、これらを除く残り4地域では49.5%でした。今後とも、行政センターにおける説明やサービスの向上に努める必要があります。																												
<b>成果指標</b>	① 合併地域における主要事業の着手率	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>29年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">88.4</td> <td style="text-align: center;">55.7</td> <td style="text-align: center;">57.1</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	29年度目標値	%	%	%	%	88.4	55.7	57.1	100															
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	29年度目標値																									
%	%	%	%																										
88.4	55.7	57.1	100																										
② 行政センターの行政サービスに対する満足度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>21年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">46.7</td> <td style="text-align: center;">52</td> <td style="text-align: center;">45</td> <td style="text-align: center;">66</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	21年度目標値	%	%	%	%	46.7	52	45	66																
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	21年度目標値																										
%	%	%	%																										
46.7	52	45	66																										
<b>施策の課題</b>	●まちづくり計画に基づく新市全体の均衡ある発展など、合併地域の振興を図る必要があります。●新市としての一体感の醸成を進めるため、人材育成とともに地域間交流などを推進する必要があります。●合併期間中に合併地域の住民主体の取組みを推進する必要があります。●行政センターにおける説明やサービスの向上を図るとともに、合併地域住民の意見を施策に反映させるため、地区協議会や住民アンケートを活用して集約する必要があります。●行政センターのあり方について、支所との均衡を含め、整理・検討が必要です。																												
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●合併特例債や過疎債などの有利な財源を活用しながら、まちづくり計画を円滑に推進し、期間内での成果達成に努めます。●まちづくり特別事業によって、合併地域における人材育成、活力創出などを図ります。●合併地域の住民の声をより市政に反映させるため、地区協議会の効果的な運営や、住民アンケートの改善を行います。●合併に伴う諸問題については、行政センターにおける説明やサービスの向上を図るとともに、庁内横断的な調整・検討を行い、速やかな対処を図ります。●行政センターのあり方について整理・検討を行います。																												
<b>事務事業のポジティング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td style="border: none;">大</td> <td></td> <td></td> <td>01 04</td> <td rowspan="3" style="border: none; vertical-align: middle;">01 合併地域振興事業 02 吉井地域振興事業 03 世知原地域振興事業 04 新市一体化促進事業 05 宇久地域振興事業 06 小佐々地域振興事業 07 鹿町地域振興事業 08 江迎地域振興事業</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中</td> <td></td> <td></td> <td>02 03 05 06 07 08</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;">低い</td> <td style="border: none;">普通</td> <td style="border: none;">高い</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;">→</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度	大			01 04	01 合併地域振興事業 02 吉井地域振興事業 03 世知原地域振興事業 04 新市一体化促進事業 05 宇久地域振興事業 06 小佐々地域振興事業 07 鹿町地域振興事業 08 江迎地域振興事業	中			02 03 05 06 07 08	小						低い	普通	高い				→			優先度
上位への貢献度	大				01 04	01 合併地域振興事業 02 吉井地域振興事業 03 世知原地域振興事業 04 新市一体化促進事業 05 宇久地域振興事業 06 小佐々地域振興事業 07 鹿町地域振興事業 08 江迎地域振興事業																							
	中				02 03 05 06 07 08																								
	小																												
		低い	普通	高い																									
		→			優先度																								

  

<b>施策名</b>	離島・半島地域の振興	<b>課名</b>	地域政策課																										
<b>目的</b>	●地域間交流等を通じ、離島・半島地域の活性化を図ることです。																												
<b>22年度の成果</b>	体験プログラムを開発し、観光旅行商品として各種体験プログラムや着地型ツアーを実施することにより、目標を達成できました。																												
<b>成果指標</b>	① 離島・半島地域における体験プログラム・ツアー参加者	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>29年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">人</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">1,869</td> <td style="text-align: center;">1,050</td> <td style="text-align: center;">1,802</td> <td style="text-align: center;">-</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	29年度目標値	人	人	人	人	1,869	1,050	1,802	-															
	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	29年度目標値																									
人	人	人	人																										
1,869	1,050	1,802	-																										
②	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>29年度目標値</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	29年度目標値																								
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	29年度目標値																										
<b>施策の課題</b>	●離島・半島地域の振興のために、県の離島・半島計画や辺地計画等に基づいた生活・産業基盤の整備、交流推進等、庁内各部署と連携した取り組みや人材の育成が必要です。●離島・半島地域の自然、歴史・文化等の特性を活用することにより、人々の交流を促進するとともに、UIターン等の取組みを推進します。●現在、「体験プログラム・ツアー参加者数」を成果指標としていますが、より適切に離島・半島地域の振興を表すため、新たな指標を検討する必要があります。																												
<b>今後の方向性</b>	【改善】 ●離島・半島地域の振興については、各部署が実施している取組について連携を図りながら、振興策を検討します。また、各種協議会の活動を通じ、広域で連携・協力し、さらに国・県に対し必要な要望を定期的に行います。●地域間の人々の交流を進めるとともに、各地域の人材を発掘・育成します。																												
<b>事務事業のポジティング</b>	<table border="1" style="font-size: small; text-align: center;"> <tr> <td rowspan="3" style="vertical-align: middle;">上位への貢献度</td> <td style="border: none;">大</td> <td></td> <td>02</td> <td>01</td> <td rowspan="3" style="border: none; vertical-align: middle;">01 離島半島振興対策事業 02 離島就学助成事業</td> </tr> <tr> <td style="border: none;">中</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td style="border: none;">小</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td style="border: none;">低い</td> <td style="border: none;">普通</td> <td style="border: none;">高い</td> <td style="border: none;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="border: none;"></td> <td colspan="2" style="border: none;">→</td> <td style="border: none;"></td> <td style="border: none;">優先度</td> </tr> </table>			上位への貢献度	大		02	01	01 離島半島振興対策事業 02 離島就学助成事業	中				小						低い	普通	高い				→			優先度
上位への貢献度	大		02		01	01 離島半島振興対策事業 02 離島就学助成事業																							
	中																												
	小																												
		低い	普通	高い																									
		→			優先度																								

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減努力		
合併地域の振興										
合併地域振興事業	地域政策課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
吉井地域振興事業	吉井行政センター住民課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	改善
世知原地域振興事業	世知原行政センター住民課	1	2	2	1	2	3	2	有効性に課題あり	改善
新市一体化促進事業	地域政策課	1	1	2	1	3	2	1	妥当性に課題あり	改善
宇久地域振興事業	宇久行政センター住民課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	改善
小佐々地域振興事業	小佐々行政センター住民課	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	改善
鹿町地域振興事業	鹿町行政センター総務課	1	2	2	1	2	2	3	有効性に課題あり	改善
江迎地域振興事業	江迎行政センター総務課	1	2	2	1	2	3	3	有効性に課題あり	改善
離島・半島地域の振興										
離島半島振興対策事業	地域政策課	1	2	2	3	3	2	2	効率性に課題あり	改善
離島就学助成事業	地域政策課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持

# 政 策 概 要 書

政策名 : 広域行政の推進

部局名 : 企画部

対 象	●市民 ●佐世保市周辺住民 ●佐世保市（行政）			
目 的	●佐世保市及び周辺自治体が連携を図りながら、新たな広域行政のあり方について検討を進めることです。			
内 容	●江迎町・鹿町町と合併新法期限内の合併が完了しました。●「西九州北部地域開発促進協議会」の活動を通じ、広域連携による要望活動が実施できました。●九州市長会などを通じ合併や道州制等を視野に入れて、新たな広域行政のあり方についての検討を進めました。●その他国の地方分権にかかわる情報をホームページ等を通じて収集しました。			
トータルコスト	5,787 千円	うち 事業費	3,011 千円	うち 人件費 2,776 千円
22年度の成果	●江迎町・鹿町町との合併もあり、広域行政の認知度（満足度）については、前年度49.5%に対し、今年度57.8%と8.3%高くなっています。			
成果指標	①	指標名	21年度実績値	22年度目標値
		広域行政の取組みに対する市民の認知度	%	%
			49.5	64
		指標式	22年度実績値	24年度目標値
		市民意識アンケート調査の広域行政に対する「非常に満足」+「やや満足」+「どちらともいえない」で算出しています。	%	%
			57.8	70
	②	指標名	21年度実績値	22年度目標値
		指標式		
政策の課題	●市町合併の進展を踏まえ、周辺市町と地域に応じた課題解決に向け、様々な広域連携のあり方が求められています。●国の地域主権改革に伴う新しい市町村の役割や九州市長会などで検討が進んでいる道州制など、新しい広域行政についての検討・推進が求められています。			
今後の方向性	【現状維持】 ●今後新たな広域行政のあり方についての整理、その方向性を踏まえた広域市町との行政連携の推進を図ります。●国・県、周辺町の動向など、取り巻く環境変化を踏まえ、新たな合併も含めた広域行政のあり方について、幅広い検討を行います。			

# 施策概要書

施策名	広域市町との行政連携の推進	課名	政策経営課																		
目的	●周辺市町との行政連携の推進を図ります。																				
22年度の成果	●22年3月に江迎町・鹿町町との合併を行い、広域行政の取り組みに対する市民の関心は上昇しました。広域行政に対する認知度（満足度）も49.5%から57.8%からもそのことが見てとれます。																				
成果指標	①広域行政の取り組みに対する市民の認知度	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">49.5</td> <td style="text-align: center;">64</td> <td style="text-align: center;">57.8</td> <td style="text-align: center;">70</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	49.5	64	57.8	70	②						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
49.5	64	57.8	70																		
施策の課題	●周辺自治体との広域的な行政連携は維持しつつも、今後の広域行政の実情（市町村合併の進展、人々の生活圏域等）に応じた効果的な方法を検討する必要があります。																				
今後の方向性	【現状維持】 ●広域市町との行政連携を維持していきながら、今後の広域連携のあり方（新たな広域行政のあり方）についての整理していきます。そのため施策としては「新たな広域行政の検討・推進」との統合を検討します。																				
事務事業のマトリョニング	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 40%; border: 1px solid black;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">01</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">01 佐世保地域広域市町村圏推進事業</td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い      普通      高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">← 優先度 →</td> <td></td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">01</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>		01								01 佐世保地域広域市町村圏推進事業		低い      普通      高い			← 優先度 →	
上位への貢献度 ↑ 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">01</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>		01								01 佐世保地域広域市町村圏推進事業										
	01																				
	低い      普通      高い																				
	← 優先度 →																				

  

施策名	新たな広域行政の検討・推進	課名	政策経営課																		
目的	●地域の広域連携や地方分権を視野に入れた道州制等、新たな広域行政や将来基礎自治体のあり方についての検討を進めることです。																				
22年度の成果	●各種会議等への出席・参加を通じ、検討を進めました。																				
成果指標	①新たな広域行政の検討状況（各種会議等への出席・参加）	<table border="1" style="font-size: small;"> <tr> <th>21年度実績値</th> <th>22年度目標値</th> <th>22年度実績値</th> <th>24年度目標値</th> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> <td style="text-align: center;">%</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> <td style="text-align: center;">100</td> </tr> </table>	21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値	%	%	%	%	100	100	100	100	②						
21年度実績値	22年度目標値	22年度実績値	24年度目標値																		
%	%	%	%																		
100	100	100	100																		
施策の課題	●国・県、周辺町の動向など、取り巻く環境変化を踏まえ、広域行政のあり方について、幅広い検討が求められます。																				
今後の方向性	【改善】 ●市町村合併、定住自立圏構想など基礎自治体のあり方に影響を与える国・県の制度の改正・推進や、周辺町の動向を把握しながら、新たな広域行政の必要性やあり方等について、調査研究を行います。●九州市長会がとりまとめた「九州府」構想報告書をもとに、九州市長会の一員として、道州制の実現に向けた調査研究に参画するなど、広域行政のあり方について、幅広い検討を行います。																				
事務事業のマトリョニング	<table style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="width: 10%; vertical-align: middle;">                 上位への貢献度 ↑ 大 中 小             </td> <td style="width: 40%; border: 1px solid black;"> <table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">02</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;">                 01 市町合併準備事業 02 広域行政検討事業             </td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">低い      普通      高い</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td style="text-align: center;">← 優先度 →</td> <td></td> </tr> </table>			上位への貢献度 ↑ 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">02</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>		02								01 市町合併準備事業 02 広域行政検討事業		低い      普通      高い			← 優先度 →	
上位への貢献度 ↑ 大 中 小	<table border="1" style="width: 100%; height: 100px;"> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%; text-align: center;">02</td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> <tr><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td><td style="width: 33%;"></td></tr> </table>		02								01 市町合併準備事業 02 広域行政検討事業										
	02																				
	低い      普通      高い																				
	← 優先度 →																				

# 事務事業 決算評価一覧

施策名		課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
事務事業名	目的 妥当性		手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力			
広域市町との行政連携の推進											
佐世保地域広域市町村圏推進事業		政策経営課	1	2	2	3	2	3	2	有効性に課題あり	改善
新たな広域行政の検討・推進											
市町合併準備事業		政策経営課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	終了
広域行政検討事業		政策経営課	1	2	2	2	3	3	2	有効性に課題あり	改善

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
		目的妥当性	手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力		
総合計画を支える包括的な施策										
市民生活一般管理事業	市民生活課	1	2	2	2	2	2	3	特に課題は見当たらない	改善
国民年金事業	医療保険課				2	3	2		特に課題は見当たらない	維持
営繕業務	営繕課	1	2	2	2		3	2	特に課題は見当たらない	維持
東京事務所運営事業	東京事務所	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
議会一般管理事業	議会運営課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
公平委員会一般管理事業	総務課				1	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
選挙一般管理事業	選挙管理委員会事務局				2	2	2	2	特に課題は見当たらない	維持
明るい選挙常時啓発事業	選挙管理委員会事務局				1	2	3	3	特に課題は見当たらない	維持
選挙執行事業	選挙管理委員会事務局				2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
監査一般管理事業	監査事務局	1	2	2	1	2	3	2	特に課題は見当たらない	改善
出納一般管理事業	会計管理室	1	2	2	2	2	2	3	効率性に課題あり	改善
戸籍住民基本台帳一般管理事業	戸籍住民課				2	2	2	2	特に課題は見当たらない	改善
基地政策事業	基地政策局	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	維持
庁舎管理事業	財産管理課	1	2	2	2	2	3	3	特に課題は見当たらない	改善
公用車管理事業	財産管理課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
市民総合賠償補償保険事業	財産管理課	1	2	2	2	3	3		特に課題は見当たらない	維持
用地交渉事業	財産管理課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
土地取得事業	財産管理課	1	1	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	改善
契約事業	契約課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
技術監理事業	技術監理課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
人事一般管理事業	職員課	1	2	2	2	2	3	2	特に課題は見当たらない	改善
文書一般管理事業	総務課	1	2	2	2	3	3	3	有効性に課題あり	改善
行政一般管理事業	総務課	1	2	2	2	3	3	2	特に課題は見当たらない	維持
秘書一般管理事業	秘書課	1	2	2	2	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持
職員厚生事業	職員課	1	2	2	2	2	3	2	有効性に課題あり	改善
統計調査一般管理事業	政策経営課	1	2	2	3	3	2	2	効率性に課題あり	改善
基幹統計調査事業	政策経営課	1	2	2	2	3	2	3	効率性に課題あり	改善

# 事務事業 決算評価一覧

施策名 事務事業名	課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度の 方向性
		目的 妥当性	手段 妥当性	公的 関与	目的 達成度	上位 貢献度	活動 量	コスト 削減 努力		
総合計画を支える包括的な施策										
支所管理運営事業	相浦支所				2	2	2	3	有効性に課題あり	改善
住居表示等整備事業	建築指導課	1	2	2	2	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持
税その他歳入の過誤納返還金	市民税課	1	2	2	2	3	3		有効性に課題あり	改善
事故賠償金	財産管理課	1	2	2	2	3	3		特に課題は見当たらない	維持
恩給及び旧共済年金事業	職員課				2	3	3		特に課題は見当たらない	維持
外部監査事業	総務課				1	3	3	1	特に課題は見当たらない	終了
土地開発公社貸付金	財産管理課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	休廃止



# 事務事業 決算評価一覧

施策名		課名	妥当性			有効性		効率性		総合評価	次年度以降の方向性
事務事業名	目的妥当性		手段妥当性	公的関与	目的達成度	上位貢献度	活動量	コスト削減努力			
総合計画に位置付けられない施策											
交通安全共済事業	交通安全・防犯推進室	1	2	1	3		3		特に課題は見当たらない	終了	
火災共済事業	交通安全・防犯推進室	1	2	1	3		3		特に課題は見当たらない	終了	
戦没者等援護事業	市民生活課	1	2	2	2	2	2	3	効率性に課題あり	改善	
市民相談等事業	市民相談室	1	2	2	1	3	2	2	特に課題は見当たらない	維持	
消防音楽隊運営事業	消防局総務課	1	2	2	3	3	3	3	特に課題は見当たらない	維持	
犯罪被害者支援事業	交通安全・防犯推進室	1	2	2	2		3	2	特に課題は見当たらない	維持	